

平成 2 3 年 度

埼 玉 県 政 世 論 調 査

報 告 書

彩の国

埼 玉 県

は じ め に

この冊子は、平成23年7月から8月にかけて実施した県政世論調査の結果をまとめたものです。

本県では、県民参加の行政を一層推進するため、昭和43年度から毎年度「埼玉県政世論調査」を実施してまいりました。

今年度は、「自転車利用」、「生涯学習」、「買い物弱者」の3つのテーマと、時系列項目である「生活意識」、「日常生活」、「県政への要望」について調査を行いました。

この調査結果が、県及び市町村の施策立案や諸事業の実施に有効に利用されるとともに、県内外の方にも幅広く活用されることを願ってやみません。

終わりに、このたび調査にご協力いただきました県民の皆様をはじめ、ご支援いただきました関係市町村の皆様に厚くお礼申し上げます。

平成23年11月

埼玉県県民生活部長 土屋 綱男

目 次

I	調査の方法	1
1	調査のあらまし	3
2	標本抽出方法	4
3	標本構成	6
4	調査結果の見方	9
II	調査結果の解説	11
1	生活意識	13
(1)	昨年と比べた暮らし向き	14
(1-1)	暮らし向きが苦しくなった理由	19
(2)	生活程度	22
(3)	生活全体の満足度	27
(4)	住みよさ	33
2	日常生活	59
(1)	地域社会活動への参加経験	60
(1-1)	地域社会活動への不参加の理由	63
(2)	文化芸術活動の経験	66
(3)	文化芸術活動の鑑賞	69
(4)	文化芸術活動の機会や環境の満足度	72
(5)	スポーツをする機会	76
(5-1)	スポーツをする機会がなかった理由	79
(6)	消費生活センターの認知度	82
(7)	食品の安全性に対する意識	85
(8)	外国人増加に対する感想	88
(8-1)	外国人増加をよいことだと思う理由	91
(8-2)	外国人増加をよいことだと思わない理由	94
(9)	埼玉県に関する情報の入手先	97
(10)	県広報紙「彩の国だより」の閲読状況	100
	課題調査	103
3	自転車利用について	104
(1)	自転車の利用目的	104
(1-1)	自転車の利用時間	107
(1-2)	自転車に乗っていて危険と感ずること	111
(2)	自転車利用の交通ルールの認知度	114

(3) 自転車に対して危険を感じていること	131
(4) 自転車に関わる事故を抑制するために必要な取組	136
(5) 今後、自転車利用を促進するために必要な取組	139
4 生涯学習について	142
(1) 「生涯学習」という言葉の認知度	142
(2) 生涯学習に関する情報の入手先	145
(3) 生涯学習の経験内容	148
(4) 生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方	151
(5) 今後の生涯学習に対する意向	154
(5-1) 生涯学習を行いたい理由	157
(6) 生涯学習の機会として増えてほしいもの	160
5 買い物弱者について	163
(1) 普段の買い物の回数	163
(2) 日常生活品の買い物で最も利用する店	166
(2-1) 最も利用する店までの距離	169
(2-2) 最も利用する店までの主な移動手段	172
(3) 日常生活品の買い物の不便状況	175
(3-1) 買い物に不便を感じている理由	178
(4) 今後、買い物に利用したいサービス	181
	(課題調査ここまで)
6 県政への要望	185
Ⅲ 調査票・単純集計結果	201
(参考資料) 世論調査実施状況	221

I 調査の方法

1 調査のあらまし

(1) 調査の目的

県民の県政に対する要望、意見及び県民の生活意識などを把握し、県政推進の資料とする。

(2) 調査の項目

この調査の項目は次のとおりである。

- (ア) 生活意識（昨年と比べた暮らし向き、生活程度、生活全体の満足度、住みよさ）
- (イ) 日常生活
- (ウ) 自転車利用
- (エ) 生涯学習
- (オ) 買い物弱者
- (カ) 県政への要望

(3) 調査の設計

この調査は次のように設計した。

- | | |
|--------------|---------------------|
| (ア) 調査地域 | 埼玉県全域 |
| (イ) 調査対象 | 満20歳以上の男女個人 |
| (ウ) 標本数 | 3,000 |
| (エ) 抽出方法 | 住民基本台帳による層化2段無作為抽出法 |
| (オ) 調査方法 | 調査員による個別面接聴取法 |
| (カ) 調査時期 | 平成23年7月8日～8月1日 |
| (キ) 調査実施委託機関 | 株式会社 サーベイリサーチセンター |

(4) 回収結果

- | | |
|--------------|--------------|
| (ア) 有効回収数（率） | 2,271（75.7%） |
| (イ) 調査不能数（率） | 729（24.3%） |

〔調査不能の内訳〕

- | | | | |
|------|------------|-------|----------|
| 転居 | 77（10.6%） | 長期不在 | 63（8.6%） |
| 一時不在 | 241（33.1%） | 住所不明 | 34（4.7%） |
| 拒否 | 245（33.6%） | 病気・入院 | 31（4.3%） |
| その他 | 38（5.2%） | | |

2 標本抽出方法

母集団：埼玉県内の市町村に居住する満20歳以上の男女個人

標本数：3,000

地点数：市部 152地点 郡部（町村）13地点 合計 165地点

抽出方法：層化2段無作為抽出法

（1）地域・市郡規模区分

ア 県内を次の3ゾーン10地域に分類した。（本表及び下の「地域区分図」は、平成23年4月1日現在の市町村名により表示している。）

地 域		該 当 市 町 村 名
県南	南部地域	川口市、蕨市、戸田市、鳩ヶ谷市
	南西部地域	朝霞市、志木市、和光市、新座市、富士見市、ふじみ野市、三芳町
	東部地域	春日部市、草加市、越谷市、八潮市、三郷市、吉川市、松伏町
	さいたま地域	さいたま市
圏央道	県央地域	鴻巣市、上尾市、桶川市、北本市、伊奈町
	川越比企地域	川越市、東松山市、坂戸市、鶴ヶ島市、毛呂山町、越生町、滑川町、嵐山町、小川町、川島町、吉見町、鳩山町、ときがわ町、東秩父村
	西部地域	所沢市、飯能市、狭山市、入間市、日高市
	利根地域	行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、幸手市、宮代町、白岡町、杉戸町
県北	北部地域	熊谷市、本庄市、深谷市、美里町、神川町、上里町、寄居町、長瀨町、皆野町
	秩父地域	秩父市、横瀬町、小鹿野町

地域区分図



イ 各地域においては、さらに市郡規模によって次のように分類し、層化した。

人口10万以上の市／人口10万未満の市／郡部（町村）

（注）ここでいう市とは、平成23年4月1日現在市制施行の地域をいう。

（２）標本の配分

各地域・市郡規模別の層における満20歳以上の人口（平成23年1月1日現在の推定数）により、3,000の標本を比例配分した。

（３）抽出

ア 第1次抽出単位となる調査地点として、平成17年国勢調査時に設定された調査区を使用した。

イ 調査地点の抽出数については、1調査地点当たりの標本数が19程度になるように、各層に割り当てられた標本数から算出した。

調査地点抽出は、

抽出間隔＝ $\frac{\text{層における満20歳以上人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}}$ を算出し、等間隔抽出法によって

該当人数番目の者が含まれる基本単位区を抽出し、抽出の基点とした。

ウ 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、総務省設定の「市町村コード」の配列順序に従った。

エ 調査地点における対象者の抽出は、住民基本台帳により、抽出の起点から等間隔抽出法によって抽出した。

オ 以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のとおりとなった。

地 域		市郡規模	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡部（町村）	計
県南	南 部 地 域		522,649	112,129		634,778
			264(15)	57(3)		321(18)
	南 西 部 地 域		411,200	121,998	31,247	564,445
			208(11)	62(4)	15(1)	285(16)
	東 部 地 域		772,326	119,312	25,072	916,710
圏央道	さいたま地域		390(21)	60(3)	13(1)	463(25)
			1,000,243			1,000,243
	県 央 地 域		505(28)			505(28)
			284,182	120,187	33,314	437,683
			143(8)	60(4)	17(1)	220(13)
県北	川越比企地域		364,025	130,714	163,140	657,879
			184(10)	66(4)	82(4)	332(18)
	西 部 地 域		536,210	116,258		652,468
			271(15)	59(3)		330(18)
	利 根 地 域		225,786	217,852	108,483	552,121
計	北 部 地 域		114(6)	110(6)	55(3)	279(15)
			288,374	66,428	77,227	432,029
	秩 父 地 域		146(8)	34(2)	39(2)	219(12)
				56,462	34,910	91,372
				28(1)	18(1)	46(2)
計			4,404,995	1,061,340	473,393	5,939,728
			2,225(122)	536(30)	239(13)	3,000(165)

（注）上段…推定母集団数（満20歳以上人口） 下段左方…標本数 下段右方（カッコ内）…地点数

3 標本構成

(上段：人、下段：％、以下同)

(1) 地域別 (3区分)

総 数	県 南 圏 央 道 県	北
2,271	1,197	862
100.0	52.7	38.0
		9.3

(2) 地域別

総 数	南 部 地 域	南 西 部 地 域	東 部 地 域	さいたま地域
2,271	241	193	347	416
100.0	10.6	8.5	15.3	18.3

県 央 地 域	川 越 比 企 地 域	西 部 地 域	利 根 地 域
197	232	224	209
8.7	10.2	9.9	9.2

北 部 地 域	秩 父 地 域
187	25
8.2	1.1

(3) 市郡規模別

総 数	人口10万以上の市	人口10万未満の市	郡 部 (町 村)
2,271	1,685	399	187
100.0	74.2	17.6	8.2

(4) 性 別

総 数	男 性	女 性
2,271	1,107	1,164
100.0	48.7	51.3

(5) 年代別

総 数	20 歳 代	30 歳 代	40 歳 代	50 歳 代	60 歳 代	70歳以上
2,271	240	357	381	381	495	417
100.0	10.6	15.7	16.8	16.8	21.8	18.4

(6) 職業別

自営業・家族従業 (計)			雇用者 (計)		無職 (計)			
総 数	自 営 業 主	家 族 従 業 (家業手 伝 い)	勤 め (全日)	勤 め (パート タイム)	無 職 の 主 婦・主夫	学 生	そ の 他 の 無 職	無 回 答
2,271	183	56	794	329	430	52	425	2
100.0	8.1	2.5	35.0	14.5	18.9	2.3	18.7	0.1

(7) 県内居住年数別

総 数	5 年 未 満	5 年～ 10年未満	10年～ 20年未満	20年～ 30年未満	30年以上	無 回 答
2,271 100.0	89 3.9	106 4.7	274 12.1	434 19.1	1,346 59.3	22 1.0

(8) 出生地別

総 数	埼 玉 県	埼 玉 県 外	無 回 答
2,271 100.0	1,030 45.4	1,239 54.6	2 0.1

(9) 家族人数別

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	6 人	7人以上	無 回 答
2,271 100.0	154 6.8	619 27.3	568 25.0	542 23.9	236 10.4	103 4.5	45 2.0	4 0.2

(10) 未既婚別

総 数	未 婚	既婚・有配偶	既婚・離死別	無 回 答
2,271 100.0	444 19.6	1,584 69.7	239 10.5	4 0.2

(10-1) 子どもの有無・人数別（既婚者）

総 数	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	い な い	無 回 答
1,823 100.0	347 19.0	968 53.1	315 17.3	39 2.1	6 0.3	141 7.7	7 0.4

(10-2) 子どもの段階

総 数	0 ～ 3 歳	4 歳 以上で 小学校入学前	小 学 生	中 学 生	高 校 生
1,675 100.0	143 8.5	119 7.1	254 15.2	164 9.8	172 10.3

短大生・ 専門学校生	大学生・ 大学院生	学 校 教 育 終了・未婚	学 校 教 育 終了・既婚	そ の 他	無 回 答
36 2.1	107 6.4	568 33.9	768 45.9	13 0.8	9 0.5

(11) 家族形態別

総 数	単 身	夫 婦 の み	二世世代世帯	三世世代世帯	そ の 他	無 回 答
2,271 100.0	151 6.6	475 20.9	1,291 56.8	280 12.3	33 1.5	41 1.8

- ・二世世代世帯とは「親と子がいる」世帯を指す。
- ・三世世代世帯とは「親と子と孫がいる」世帯を指す。

(12) 住居形態別

総 数	持家（一戸建）	持家（集合住宅）	民間の借家（賃貸マンション、一戸建の借家など）	都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅
2,271 100.0	1,719 75.7	223 9.8	228 10.0	81 3.6

社宅・公務員住宅 など給与住宅	住み込み、寮、 寄宿舎など	そ の 他	無 回 答
12 0.5	5 0.2	2 0.1	1 0.0

(13) ライフステージ別

総 数	独 身 期	家 族 形 成 期	家 族 成 長 前 期	家 族 成 長 後 期	家 族 成 熟 期	高 齢 期	そ の 他
2,271 100.0	295 13.0	185 8.1	240 10.6	198 8.7	505 22.2	575 25.3	273 12.0

※ ライフステージの分類

「年齢」「職業」「結婚」「子どもの有無」「子どもの成長段階」「家族形態」の組み合わせにより分類した。

ライフステージ	構 成 内 容
① 独 身 期	●本人が40歳未満で未婚
② 家 族 形 成 期	●本人が40歳未満で、かつ、子どもがいない夫婦 ●第一子が小学校入学前の親
③ 家 族 成 長 前 期	●第一子が小・中学生の親
④ 家 族 成 長 後 期	●高校・大学生（院生含む）の子どもがおり、かつ、学校教育を終えた子どもはいない親
⑤ 家 族 成 熟 期	●学校教育を終えた子どもがおり、かつ、既婚の子どもがいない親 ●本人が男性の場合65歳未満、女性の場合60歳未満で、子ども全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑥ 高 齢 期	●本人が男性の場合65歳以上、女性の場合60歳以上で、子ども全員が学校教育を終えており、かつ、既婚の子どもがいる親
⑦ そ の 他	●上記①～⑥以外（40歳以上の独身者、子どものいない40歳以上の夫婦など）

4 調査結果の見方

(1) 調査結果の誤差

この調査は、全数調査ではないので、調査結果の数値は真の値（全数を調査した場合に得られる数値）から隔たっている可能性がある。（これを標本誤差という。）

この標本誤差の大きさは、層化2段抽出の場合、経験的に95%の信頼度で、

$$2\sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}} \div 2\sqrt{2 \frac{P(1-P)}{n}}$$

を超えないことが確認されている。（N：母集団、n：標本数、P：出現率）

今回の調査では、n=2,271であるから、例えば、ある回答（調査結果）が20%（P=0.2）の場合、標本誤差は

$$2\sqrt{2 \frac{0.2 \times 0.8}{2,271}} \div 0.024$$

となり、真の値は95%の信頼度で20%±2.4の範囲内にあることとなる。同様に計算したものが次表である。

〔 標本誤差早見表（主なもの） 〕

区 分		基 数	回 答 率				
			90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
全 体		2,271	±1.8	±2.4	±2.7	±2.9	±3.0
性 別	男性	1,107	±2.6	±3.4	±3.9	±4.2	±4.3
	女性	1,164	±2.5	±3.3	±3.8	±4.1	±4.1
年 代 別	20歳代	240	±5.5	±7.3	±8.4	±8.9	±9.1
	30歳代	357	±4.5	±6.0	±6.9	±7.3	±7.5
	40歳代	381	±4.3	±5.8	±6.6	±7.1	±7.2
	50歳代	381	±4.3	±5.8	±6.6	±7.1	±7.2
	60歳代	495	±3.8	±5.1	±5.8	±6.2	±6.4
	70歳以上	417	±4.2	±5.5	±6.3	±6.8	±6.9
地 域 別	南部	241	±5.5	±7.3	±8.3	±8.9	±9.1
	南西部	193	±6.1	±8.1	±9.3	±10.0	±10.2
	東部	347	±4.6	±6.1	±7.0	±7.4	±7.6
	さいたま	416	±4.2	±5.5	±6.4	±6.8	±6.9
	県央	197	±6.0	±8.1	±9.2	±9.9	±10.1
	川越比企	232	±5.6	±7.4	±8.5	±9.1	±9.3
	西部	224	±5.7	±7.6	±8.7	±9.3	±9.4
	利根	209	±5.9	±7.8	±9.0	±9.6	±9.8
	北部	187	±6.2	±8.3	±9.5	±10.1	±10.3
	秩父	25	±17.0	±22.6	±25.9	±27.7	±28.3

(2) 調査結果の見方

- ア 結果は、百分率で表示し、小数第2位を四捨五入した。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体またはカテゴリーを小計した数値が一致しないことがある。なお、回答者を絞った質問では、質問該当者を100%とするのを原則とした。
- イ 図表中の「-」は回答者が皆無のもの、「0.0」は回答者の割合が0.05%未満のため四捨五入の結果0.0%となったものである。
- ウ 一人の対象者に2つ以上の回答を認めた質問では、回答の合計を回答者（n）で割った比率を算出しており、通常その百分率の合計は、100%を超える。また、この回答の合計数をM.T.（Multiple Totalの略）として表示した。
- エ 調査票上のFはFace Sheetの略で、回答者の基本的属性についての質問である。

Ⅱ 調査結果の解説

1 生活意識

(問1～問4)

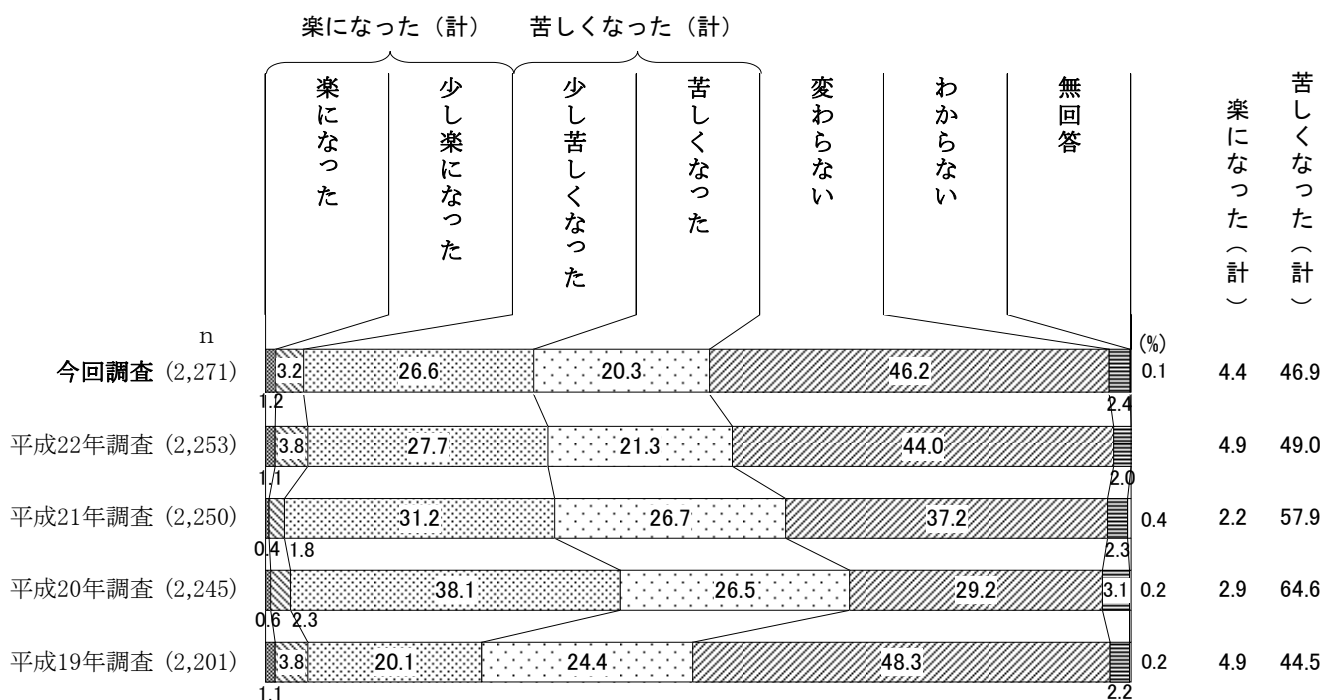
- 問1「昨年と比べた暮らし向き」、問2「生活程度」、問3「生活全体の満足度」は、昭和56年度から毎年実施しています。問1－1「暮らし向きが苦しくなった理由」は、平成20年度から実施しており、今回が4回目となります。
- 問4「住みよさ」は、平成5年度以降は3年毎に実施しています。

1 生活意識

(1) 昨年と比べた暮らし向き

◇『苦しくなった（計）』が46.9%と前年より2.1ポイント減少

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年の今ごろと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。



暮らし向きが「楽になった」(1.2%)と「少し楽になった」(3.2%)を合わせた『楽になった(計)』は4.4%となっている。一方、「苦しくなった」(20.3%)と「少し苦しくなった」(26.6%)を合わせた『苦しくなった(計)』(46.9%)は4割半ばで、「変わらない」(46.2%)とほぼ同程度となっている。

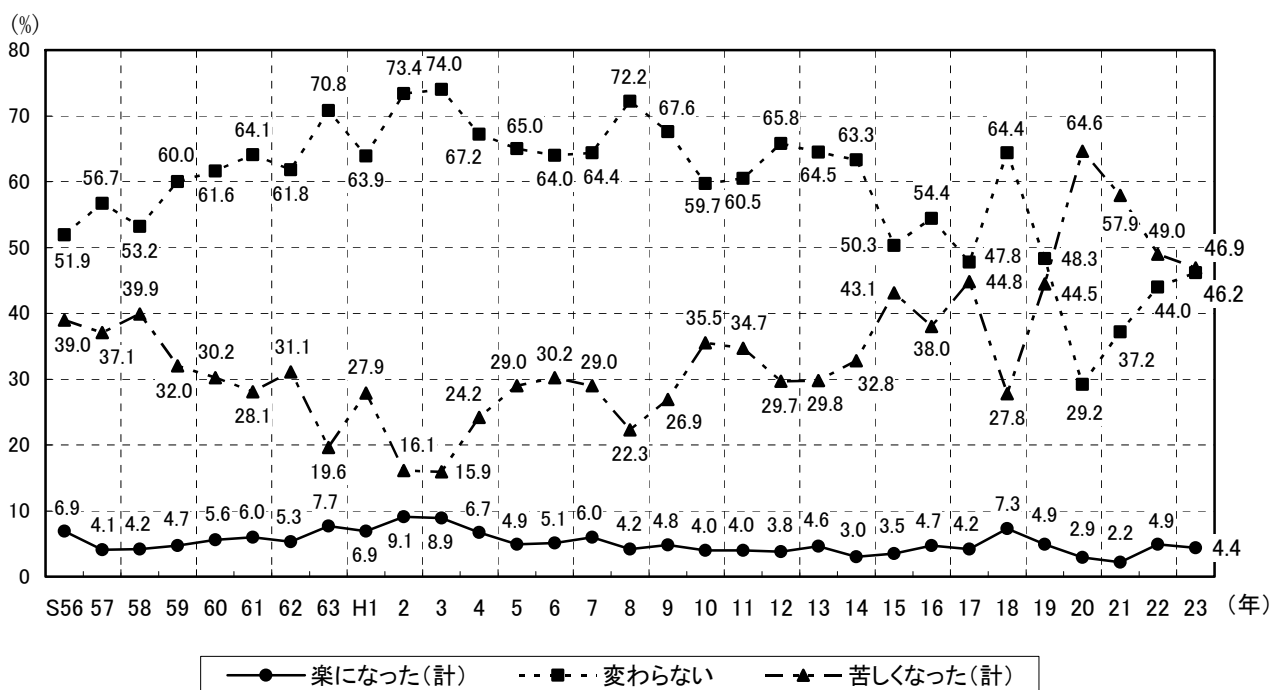
【過去4年間との比較】

前年から『苦しくなった(計)』が2.1ポイント減少した。一方、「変わらない」が2.2ポイント増加した。

【経年比較】

この調査を開始した昭和56年以降の推移をみると、『苦しくなった（計）』は最も高かった平成20年から3年連続で減少して4割半ばとなり、「変わらない」をわずかに上回っている。また、『楽になった（計）』はわずかに減少している。

○ 昨年と比べた暮らし向き・昭和56年以降の推移



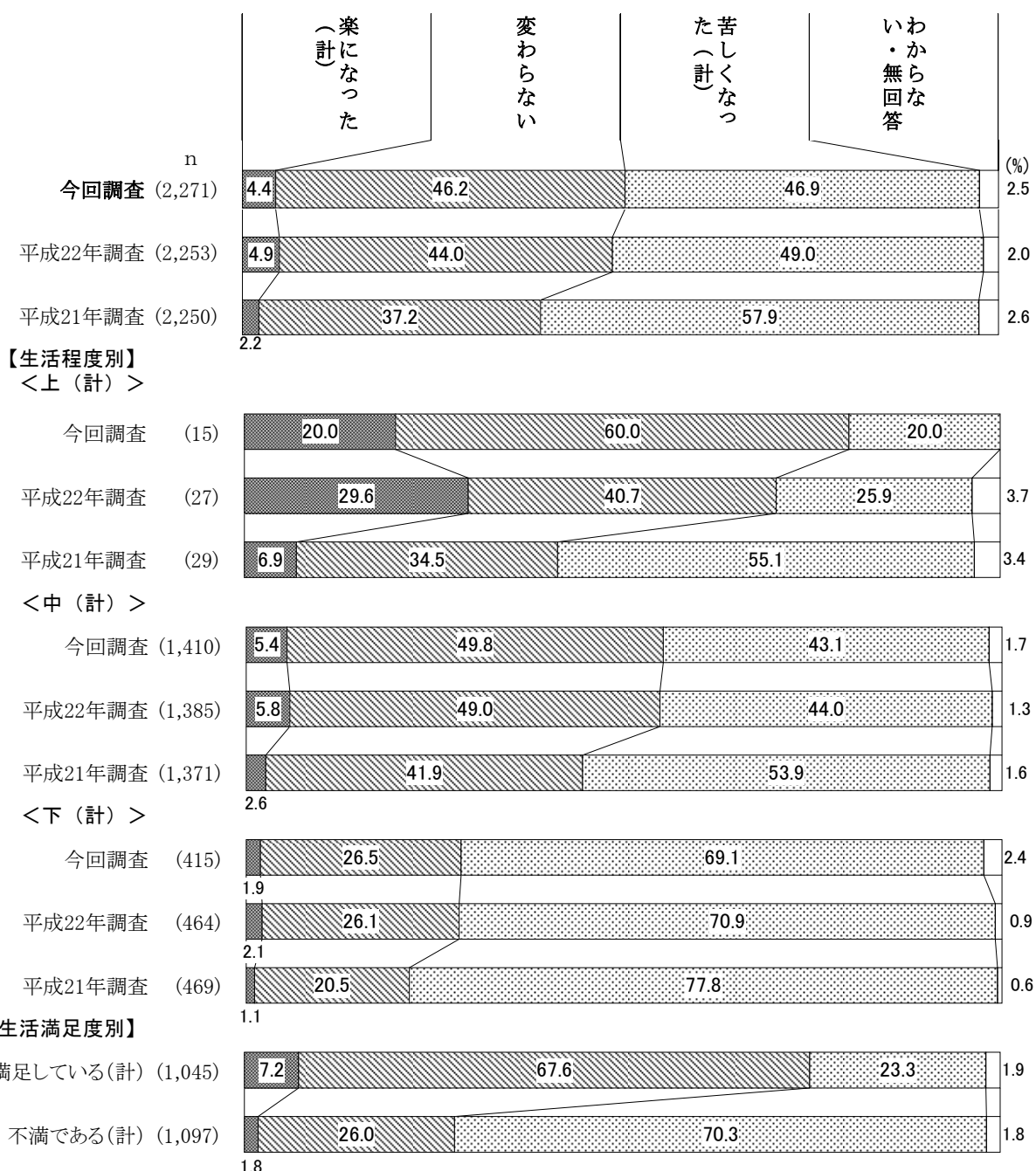
【生活程度別】

問2の生活程度別にみると、『楽になった（計）』は生活程度が上（計）（20.0％）で2割、中（計）（5.4％）、下（計）（1.9％）で1割を下回っており差がみられる。『苦しくなった（計）』は生活程度が下（計）（69.1％）で約7割、中（計）（43.1％）で4割強、上（計）（20.0％）で2割と差がみられ、平成22年調査から差が広がっている。「変わらない」では上（計）（60.0％）、中（計）（49.8％）、下（計）（26.5％）の順で高くなっている。

【生活満足度別】

問3の生活全体の満足度別にみると、『苦しくなった（計）』は、満足している（計）（23.3％）の2割強に対して、不満である（計）（70.3％）では約7割と著しい差がある。一方、「変わらない」は、満足している（計）（67.6％）で7割弱、不満である（計）（26.0％）で2割半ばとなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・生活程度別／生活満足度別



【属性別比較】

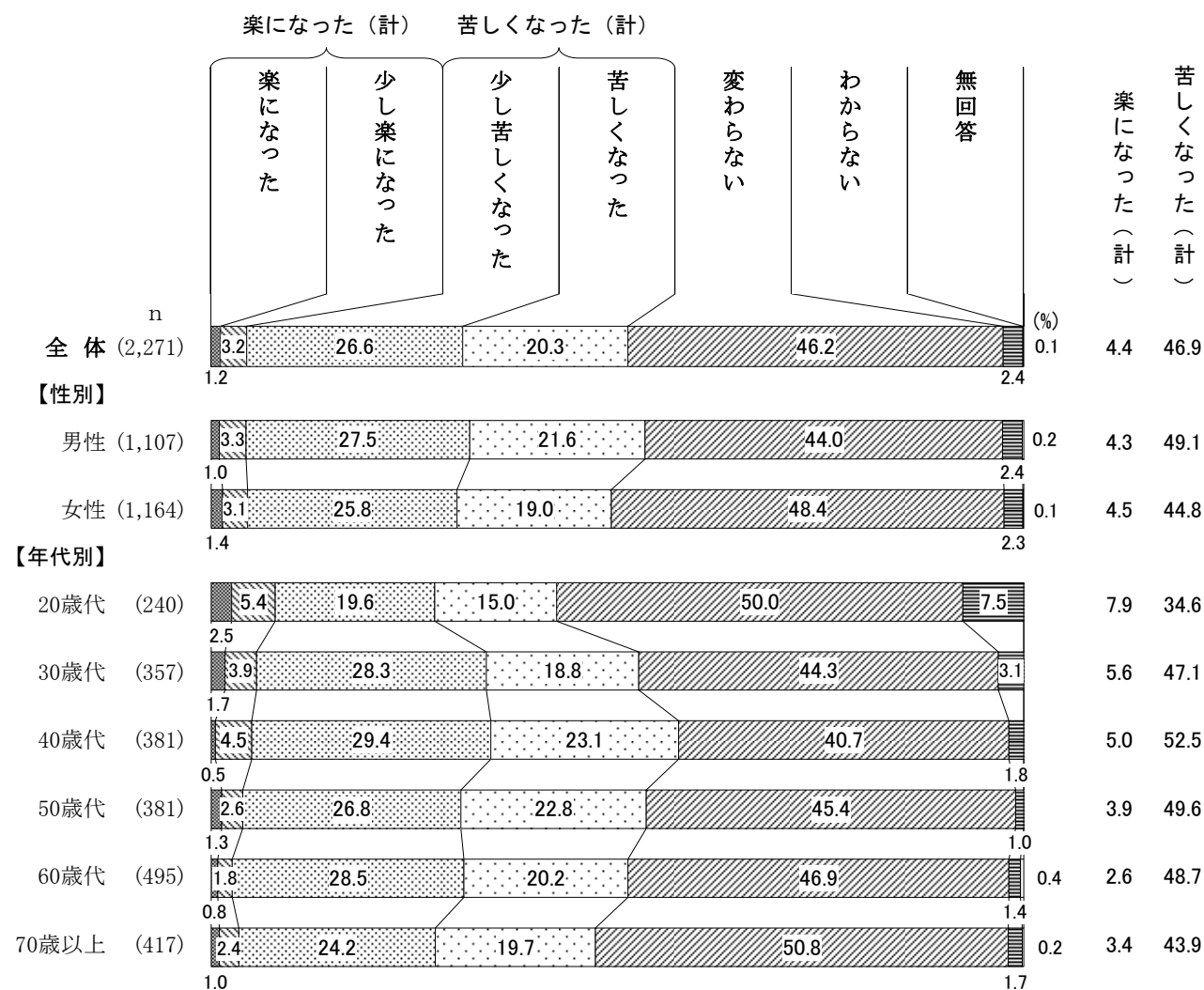
① 性別

『苦しくなった（計）』は男性（49.1%）が女性（44.8%）よりも4.3ポイント高くなっている。

②年代別

『苦しくなった（計）』は40歳代（52.5%）で5割強、50歳代（49.6%）で約5割と高くなっている一方、20歳代（34.6%）で3割半ば、70歳以上（43.9%）で4割強と低くなっている。

○昨年と比べた暮らし向き・性別／年代別



③地域別

『苦しくなった（計）』は、北部地域（53.0％）で5割強と高く、秩父地域（32.0％）では3割強と低くなっている。また、南部地域、県央地域、川越比企地域、秩父地域では「変わらない」が『苦しくなった（計）』よりも高くなっている。

④性・年代別

『苦しくなった（計）』は男性の40歳代から60歳代、女性の40歳代（50.2％）で5割を超えて高くなっている。また、男性では30歳代から60歳代、女性では40歳代と50歳代で『苦しくなった（計）』が「変わらない」よりも高くなっており、男女とも特に40歳代でその差が著しくなっている。

⑤職業別

『苦しくなった（計）』は自営業・家族従業（計）（51.4％）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

『苦しくなった（計）』は独身期（32.6％）で3割強と低くなっているが、家族形成期から家族成熟期では5割を超えて高くなっている。

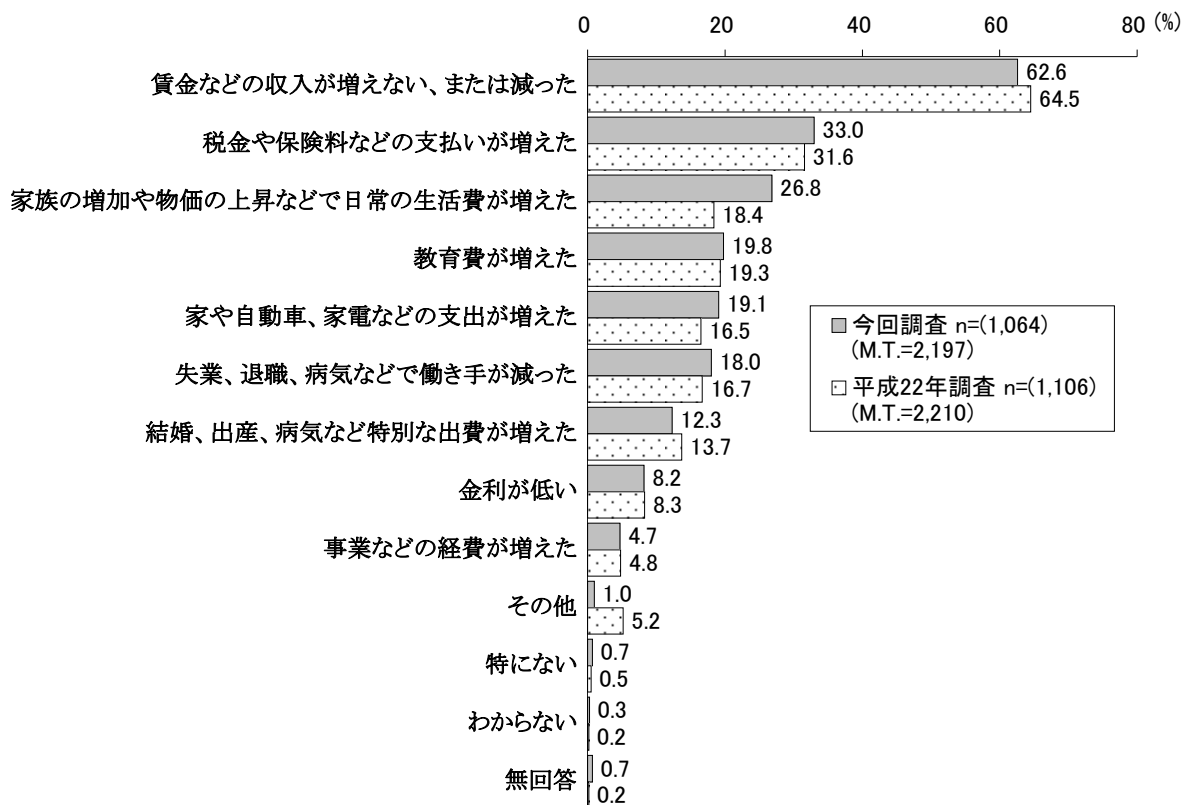
○昨年と比べた暮らし向き・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	楽になった	少し楽になった	少し苦しくなった	苦しくなった	変わらない	わからない	無回答	(計) 楽になった	(計) 苦しくなった
全 体	2271	1.2	3.2	26.6	20.3	46.2	2.4	0.1	4.4	46.9
地域別										
南部地域	241	1.2	3.3	26.6	19.9	46.9	2.1	-	4.5	46.5
南西部地域	193	2.1	5.2	26.4	20.2	44.0	1.6	0.5	7.3	46.6
東部地域	347	2.0	3.2	27.4	20.7	44.4	2.0	0.3	5.2	48.1
さいたま地域	416	1.0	2.6	29.1	19.5	45.0	2.6	0.2	3.6	48.6
県央地域	197	0.5	3.0	25.9	17.3	52.3	1.0	-	3.5	43.2
川越比企地域	232	1.3	3.9	22.8	17.7	50.4	3.9	-	5.2	40.5
西部地域	224	0.9	3.6	24.6	22.8	45.1	3.1	-	4.5	47.4
利根地域	209	1.4	3.3	27.8	20.6	43.1	3.8	-	4.7	48.4
北部地域	187	-	0.5	27.3	25.7	46.0	0.5	-	0.5	53.0
秩父地域	25	-	8.0	20.0	12.0	56.0	4.0	-	8.0	32.0
性・年代別										
男性・20歳代	97	1.0	8.2	20.6	11.3	53.6	5.2	-	9.2	31.9
30歳代	193	2.1	2.6	27.5	21.2	43.0	3.6	-	4.7	48.7
40歳代	176	-	5.1	26.7	28.4	37.5	2.3	-	5.1	55.1
50歳代	191	1.0	2.6	25.7	25.7	44.0	1.0	-	3.6	51.4
60歳代	241	0.4	1.7	36.1	19.1	40.7	1.7	0.4	2.1	55.2
70歳以上	209	1.4	2.9	23.0	20.1	49.8	2.4	0.5	4.3	43.1
女性・20歳代	143	3.5	3.5	18.9	17.5	47.6	9.1	-	7.0	36.4
30歳代	164	1.2	5.5	29.3	15.9	45.7	2.4	-	6.7	45.2
40歳代	205	1.0	3.9	31.7	18.5	43.4	1.5	-	4.9	50.2
50歳代	190	1.6	2.6	27.9	20.0	46.8	1.1	-	4.2	47.9
60歳代	254	1.2	2.0	21.3	21.3	52.8	1.2	0.4	3.2	42.6
70歳以上	208	0.5	1.9	25.5	19.2	51.9	1.0	-	2.4	44.7
職業別										
自営業・家族従業（計）	239	2.1	3.3	28.0	23.4	40.6	2.1	0.4	5.4	51.4
雇用者（計）	1123	1.3	4.4	27.3	20.3	44.5	2.0	0.1	5.7	47.6
無職（計）	907	0.8	1.8	25.4	19.3	49.8	2.9	0.1	2.6	44.7
ライフステージ別										
独身期	295	2.0	4.1	19.0	13.6	54.9	6.4	-	6.1	32.6
家族形成期	185	2.2	4.9	30.3	20.0	37.8	4.9	-	7.1	50.3
家族成長前期	240	0.4	5.0	30.0	22.9	40.4	1.3	-	5.4	52.9
家族成長後期	198	1.0	2.5	30.3	20.2	45.5	0.5	-	3.5	50.5
家族成熟期	505	0.8	3.4	27.5	23.4	43.0	1.8	0.2	4.2	50.9
高齢期	575	0.9	2.1	26.3	18.3	51.1	1.0	0.3	3.0	44.6
その他	273	1.8	2.2	25.6	23.8	44.0	2.6	-	4.0	49.4

（１－１）暮らし向きが苦しくなった理由

◇「賃金などの収入が増えない、または減った」が62.6%

（問１で「少し苦しくなった」、「苦しくなった」のいずれかを答えた方に）
問１－１ その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



暮らし向きが苦しくなった理由は、「賃金などの収入が増えない、または減った」（62.6%）が6割強で最も高く、次いで「税金や保険料などの支払いが増えた」（33.0%）、「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」（26.8%）、「教育費が増えた」（19.8%）、「家や自動車、家電などの支出が増えた」（19.1%）、「失業、退職、病気などで働き手が減った」（18.0%）の順となっている。

【前年（平成22年）調査との比較】

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」（8.4ポイント増）、「家や自動車、家電などの支出が増えた」（2.6ポイント増）などが増加し、「賃金などの収入が増えない、または減った」（1.9ポイント減）、「結婚、出産、病気など特別な出費が増えた」（1.4ポイント減）などがわずかに減少している。

【属性別比較】

① 地域別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は利根地域（73.3%）で7割強と高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は南部地域（41.1%）で4割強、北部地域（39.4%）で約4割と高くなっている。

② 性別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性（65.6%）のほうが女性（59.5%）よりも6.1ポイント高くなっている。逆に「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は女性（30.7%）のほうが男性（23.0%）よりも7.7ポイント高く、「教育費が増えた」は女性（24.4%）のほうが男性（15.5%）よりも8.9ポイント高くなっている。

③ 年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は40歳代から50歳代で7割を超えて高く、60歳代以上では低くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は60歳代（41.9%）と70歳以上（41.0%）で4割強と高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は30歳代（33.3%）で最も高く、「教育費が増えた」は40歳代（44.5%）で特に高くなっている。

④ 性・年代別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は男性では40歳代から50歳代で高く、女性では40歳代（74.8%）で7割半ばと高くなっている。「税金や保険料などの支払いが増えた」は男性60歳代以上で4割半ばと高くなっている。「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は女性30歳代（36.5%）と50歳代（34.1%）で高く、「教育費が増えた」は男性40歳代（35.1%）、女性30歳代（51.4%）と40歳代（53.4%）で特に高くなっている。

⑤ 職業別

「賃金などの収入が増えない、または減った」は無職（計）（43.2%）を除き7割を超えて高くなっている。「教育費が増えた」は雇用者（計）（27.3%）で高く、「失業、退職、病気などで働き手が減った」は無職（計）（26.2%）で特に高くなっている。

⑥ ライフステージ別

「家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた」は家族形成期（49.5%）で約5割と特に高くなっている。「教育費が増えた」は家族成長前期（55.9%）、家族成長後期（75.0%）で特に高くなっている。

【生活程度別】

問2の生活程度別でみると、「教育費が増えた」は生活程度が高いほど割合が高くなっている。また、「失業、退職、病気などで働き手が減った」は下（計）で高くなっている。

【生活満足度別】

「失業、退職、病気などで働き手が減った」では不満である（計）（20.5%）が満足している（計）（9.4%）を11.1ポイント上回っている。一方、「教育費が増えた」では満足している（計）（30.3%）が不満である（計）（16.7%）を13.6ポイント上回っている。

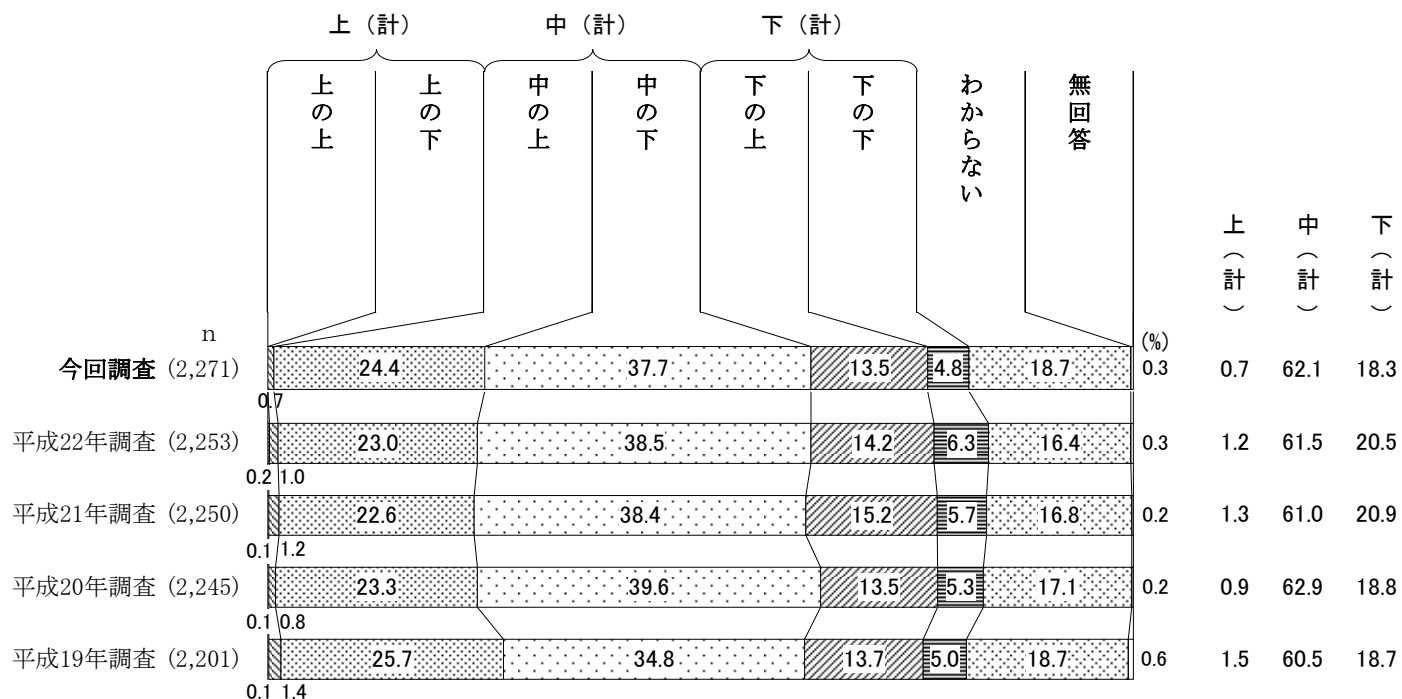
○暮らし向きが苦しくなった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別／生活程度別／生活満足度別

	調査数	賃金などは減った収入が増えない、	税金や保険料などの支払いが増えた	家族の増加や物価の上昇などで日常生活費が増えた	教育費が増えた	家や自動車、家電などの支出が増えた	失業、退職、病気などで働き手が減った	結婚、出産、病気など特別な出費が増えた	金利が低い	事業などの経費が増えた	その他	特にな	わからない	無回答
全 体	1064	62.6	33.0	26.8	19.8	19.1	18.0	12.3	8.2	4.7	1.0	0.7	0.3	0.7
地域別														
南部地域	112	62.5	41.1	26.8	21.4	18.8	19.6	12.5	8.0	3.6	2.7	-	0.9	0.9
南西部地域	90	62.2	24.4	27.8	25.6	13.3	23.3	8.9	5.6	2.2	-	2.2	-	-
東部地域	167	66.5	34.7	25.1	18.6	17.4	17.4	15.0	10.2	6.0	1.2	-	-	-
さいたま地域	202	56.9	26.7	28.7	26.2	22.8	16.3	9.9	5.4	3.0	1.0	1.0	0.5	1.0
県央地域	85	60.0	25.9	23.5	11.8	18.8	18.8	12.9	9.4	4.7	2.4	-	1.2	-
川越比企地域	94	64.9	37.2	26.6	13.8	10.6	16.0	16.0	12.8	5.3	1.1	-	-	-
西部地域	106	62.3	35.8	24.5	17.9	17.9	17.0	17.0	12.3	5.7	0.9	-	-	1.9
利根地域	101	73.3	34.7	26.7	15.8	24.8	18.8	10.9	5.9	4.0	-	1.0	-	-
北部地域	99	56.6	39.4	29.3	21.2	25.3	18.2	9.1	5.1	9.1	-	1.0	-	2.0
秩父地域	8	75.0	25.0	37.5	12.5	-	12.5	-	12.5	-	-	12.5	-	-
性別														
男性	543	65.6	34.8	23.0	15.5	18.0	17.7	10.5	7.9	4.6	1.1	0.2	0.4	0.7
女性	521	59.5	31.1	30.7	24.4	20.2	18.4	14.2	8.4	4.8	1.0	1.2	0.2	0.6
年代別														
20歳代	83	61.4	34.9	27.7	22.9	22.9	26.5	16.9	7.2	2.4	3.6	-	1.2	1.2
30歳代	168	60.7	26.8	33.3	37.5	22.0	11.9	10.7	4.8	3.0	-	0.6	-	0.6
40歳代	200	79.5	26.0	27.0	44.5	23.5	9.5	5.0	5.5	3.5	0.5	-	-	-
50歳代	189	75.1	25.9	24.3	14.8	17.5	16.4	12.7	4.8	8.5	0.5	1.1	-	-
60歳代	241	56.4	41.9	22.8	1.7	17.8	28.2	14.1	11.2	4.6	-	-	-	0.4
70歳以上	183	41.5	41.0	27.9	4.4	13.1	17.5	16.9	14.2	4.9	3.3	2.2	1.1	2.2
性・年代別														
男性・20歳代	31	67.7	32.3	19.4	12.9	22.6	22.6	12.9	9.7	-	6.5	-	-	3.2
30歳代	94	67.0	35.1	30.9	26.6	17.0	9.6	9.6	6.4	2.1	-	1.1	-	1.1
40歳代	97	84.5	23.7	25.8	35.1	20.6	8.2	4.1	4.1	4.1	-	-	-	-
50歳代	98	81.6	21.4	15.3	16.3	19.4	17.3	11.2	4.1	8.2	-	-	-	-
60歳代	133	58.6	45.1	21.1	2.3	16.5	25.6	11.3	12.0	6.8	-	-	-	-
70歳以上	90	35.6	46.7	24.4	2.2	15.6	23.3	15.6	11.1	2.2	4.4	-	2.2	2.2
女性・20歳代	52	57.7	36.5	32.7	28.8	23.1	28.8	19.2	5.8	3.8	1.9	-	1.9	-
30歳代	74	52.7	16.2	36.5	51.4	28.4	14.9	12.2	2.7	4.1	-	-	-	-
40歳代	103	74.8	28.2	28.2	53.4	26.2	10.7	5.8	6.8	2.9	1.0	-	-	-
50歳代	91	68.1	30.8	34.1	13.2	15.4	15.4	14.3	5.5	8.8	1.1	2.2	-	-
60歳代	108	53.7	38.0	25.0	0.9	19.4	31.5	17.6	10.2	1.9	-	-	-	0.9
70歳以上	93	47.3	35.5	31.2	6.5	10.8	11.8	18.3	17.2	7.5	2.2	4.3	-	2.2
職業別														
自営業・家族従業（計）	123	73.2	26.8	17.9	9.8	14.6	12.2	8.1	4.9	24.4	-	-	0.8	-
雇用者（計）	535	74.8	34.6	26.4	27.3	21.7	13.3	9.5	6.7	2.2	0.7	0.2	0.2	0.4
無職（計）	405	43.2	32.6	29.9	12.8	16.8	26.2	17.3	10.9	2.0	1.7	1.5	0.2	1.2
ライフステージ別														
独身期	96	70.8	31.3	19.8	10.4	18.8	25.0	5.2	9.4	3.1	2.1	1.0	1.0	1.0
家族形成期	93	55.9	30.1	49.5	33.3	24.7	14.0	26.9	2.2	4.3	1.1	-	-	-
家族成長前期	127	67.7	22.8	29.1	55.9	26.0	6.3	4.7	3.1	2.4	-	-	-	0.8
家族成長後期	100	65.0	24.0	24.0	75.0	21.0	6.0	2.0	5.0	3.0	1.0	-	-	-
家族成熟期	257	70.0	34.6	23.7	4.7	15.2	22.2	16.0	9.3	8.6	-	0.8	0.4	0.4
高齢期	256	44.9	43.4	27.3	3.1	14.8	18.8	15.2	12.1	3.5	2.3	1.2	-	1.6
その他	135	74.1	29.6	20.7	3.0	23.0	26.7	9.6	8.9	4.4	0.7	0.7	0.7	-
生活程度別（3区分）														
上（計）	3	66.7	33.3	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	-
中（計）	609	63.7	31.5	26.8	22.2	18.4	15.6	13.1	8.2	4.9	0.7	0.5	0.2	0.5
下（計）	287	63.8	34.8	27.5	15.0	20.2	25.8	12.5	10.1	3.8	1.7	1.0	0.7	0.7
生活満足度別														
満足している（計）	244	57.4	24.6	27.5	30.3	15.2	9.4	11.9	7.4	3.3	0.8	0.8	-	-
不満である（計）	772	64.0	35.1	26.4	16.7	20.1	20.5	12.7	8.7	5.1	1.0	0.6	0.4	0.6

(2) 生活程度

◇『中（計）』程度が62.1%、『下（計）』は18.3%

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。



世間一般からみた生活程度は、「中の下」（37.7%）が最も高く、「中の上」（24.4%）がこれに次いでいる。両者を合わせた『中（計）』（62.1%）は6割強を占めている。同様に「下の上」（13.5%）と「下の下」（4.8%）を合わせた『下（計）』は18.3%、「上の下」（0.7%）と「上の上」（回答者なし）を合わせた『上（計）』は0.7%となっている。

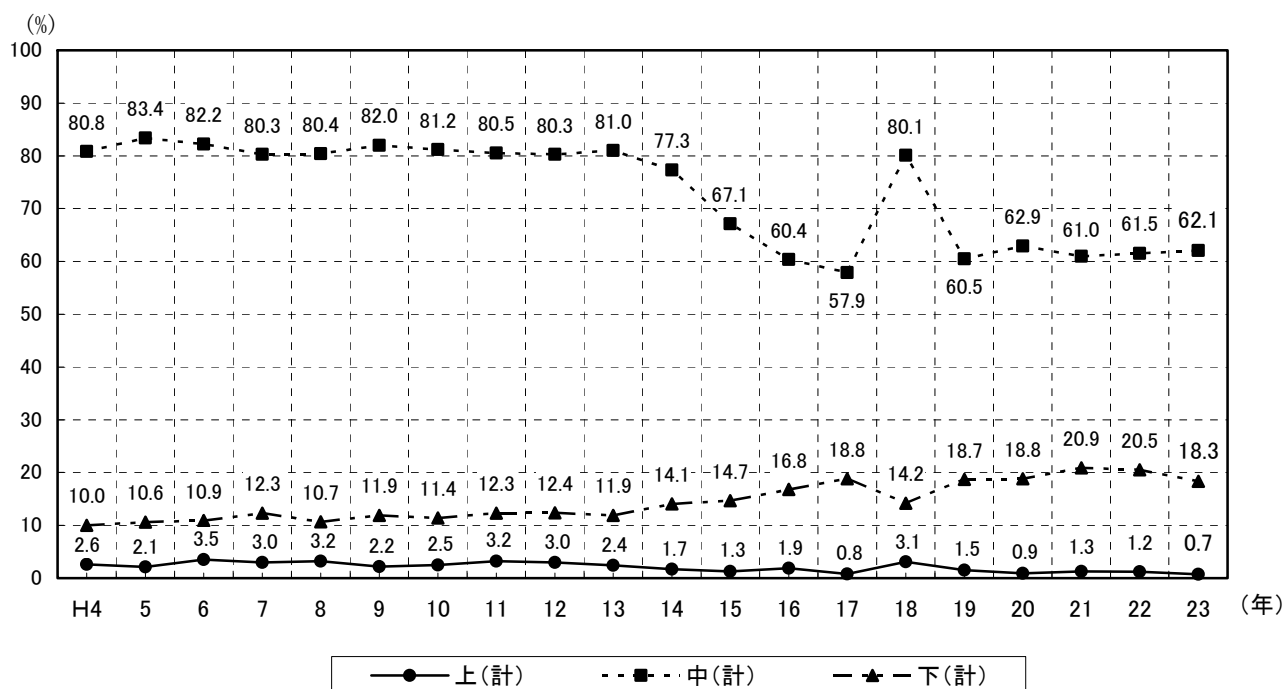
【過去4年間との比較】

過去4年間と比較すると、『上（計）』、『中（計）』、『下（計）』ともほぼ同程度の水準で推移している。

【経年比較】

平成4年からの推移をみると、平成17年に6割を下回った『中（計）』は、平成19年以降は6割台を回復している。『下（計）』は過去最高だった平成21年からは減少傾向にあり、前年から2.2ポイント減少して3年ぶりに2割を下回った。

○生活程度・平成4年以降の推移



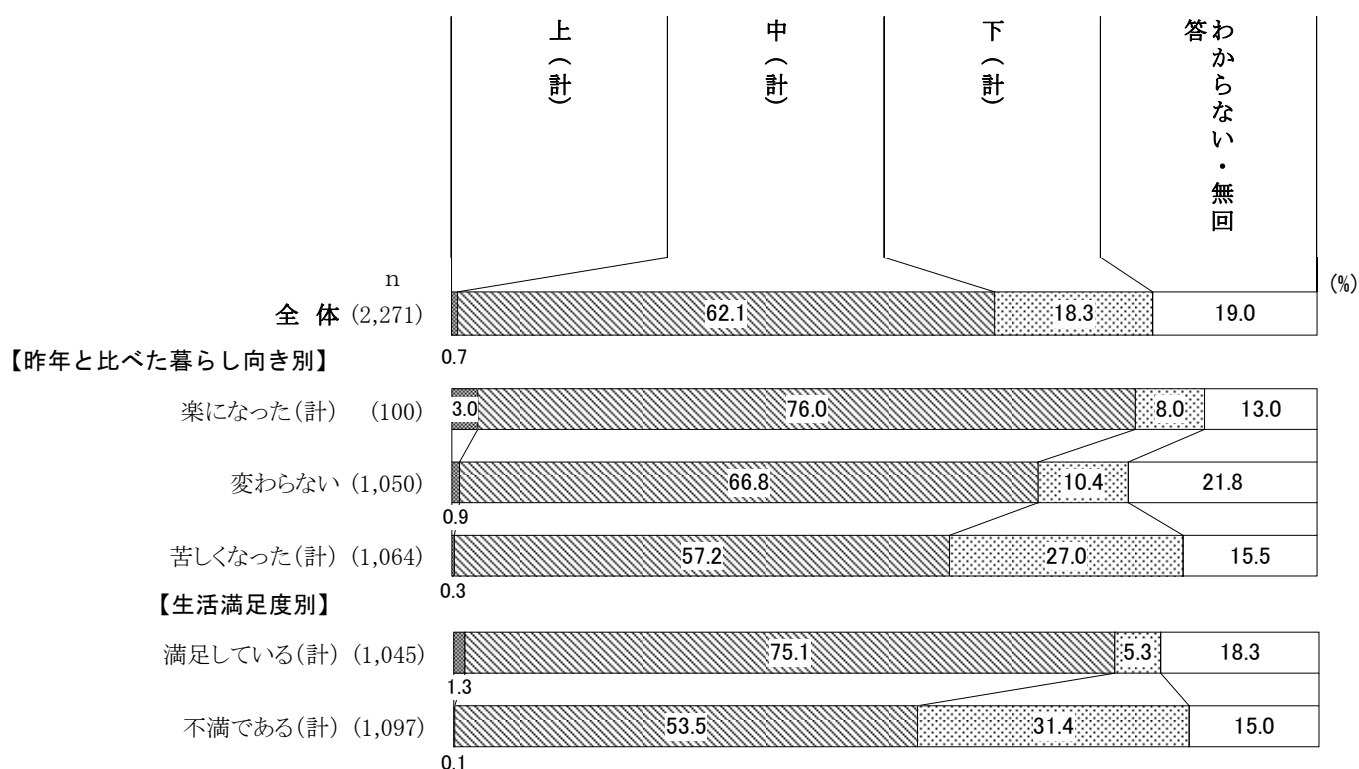
【昨年と比べた暮らし向き別】

問1の昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、いずれの段階でも『中（計）』が5割を超えているが、楽になった（計）（76.0%）で7割半ばであるのに対して、変わらない（66.8%）で6割半ば、苦しくなった（計）（57.2%）で6割弱となっている。苦しくなった（計）では『下（計）』（27.0%）が3割弱と高くなっている。

【生活満足度別】

生活全体の満足度別にみると、『中（計）』は満足している（計）で75.1%、不満である（計）で53.5%と、満足している（計）が高くなっている。『下（計）』は逆に、不満である（計）で31.4%、満足している（計）で5.3%で、不満である（計）が高くなっている。

○生活程度・昨年と比べた暮らし向き別／生活満足度別



【属性別比較】

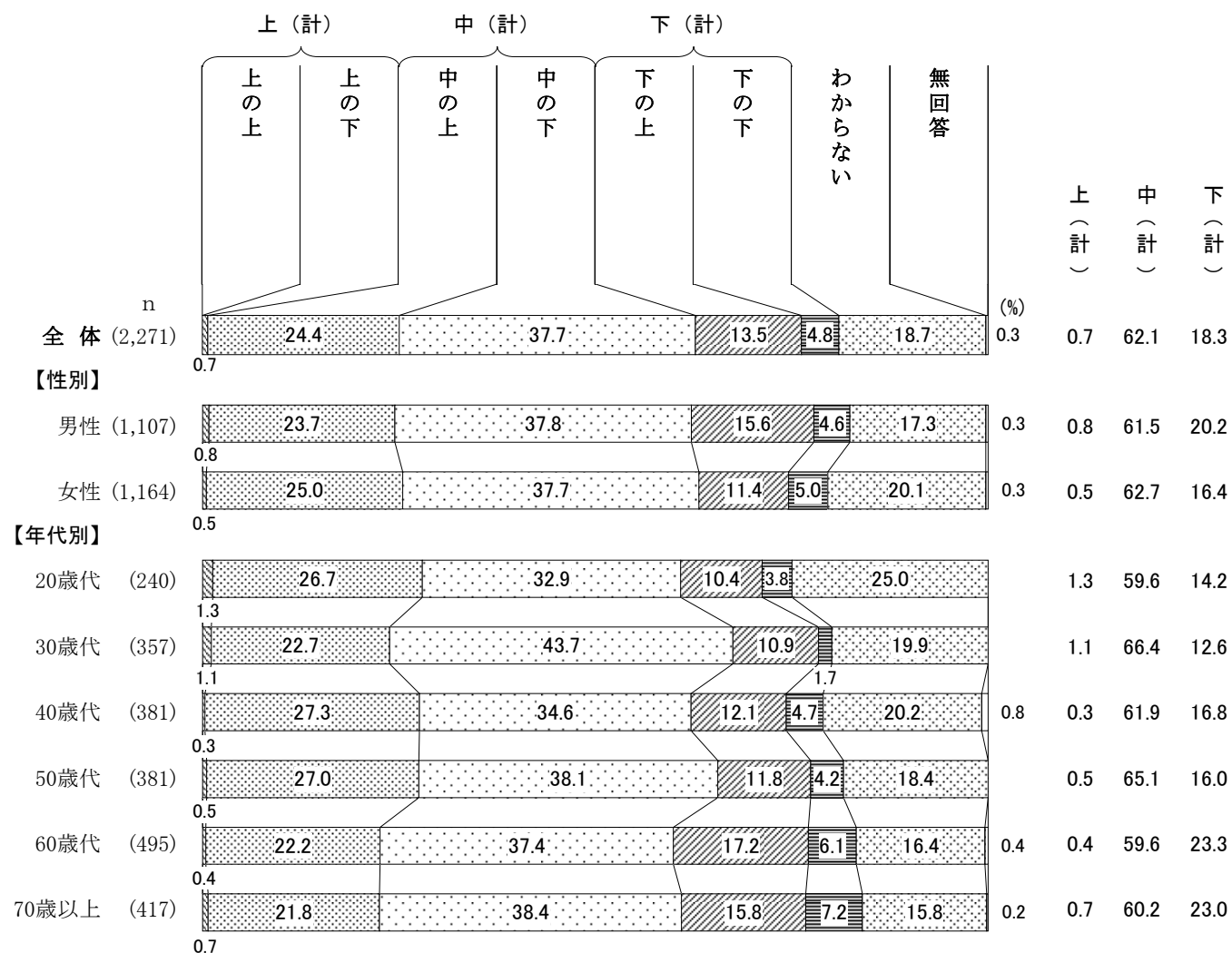
①性別

『下（計）』は男性（20.2%）が女性（16.4%）よりも3.8ポイント高くなっている。

②年代別

『中（計）』は30歳代（66.4%）、50歳代（65.1%）の順で高くなっている。一方、『下（計）』は30歳代（12.6%）で最も低く、60歳代（23.3%）、70歳以上（23.0%）で2割を超えて高くなっている。

○生活程度・性別／年代別



③地域別

『中（計）』はさいたま地域（65.6%）や北部地域（64.2%）で高くなっている。一方、『下（計）』は秩父地域（24.0%）で2割半ばと高くなっている。

④性・年代別

『中（計）』は男性では30歳代（66.8%）と50歳代（65.5%）、女性では30歳代から50歳代で6割半ばと高く、男性の20歳代（55.7%）と40歳代（56.9%）で比較的低くなっている。一方、『下（計）』は男性では60歳代（25.3%）で2割半ばと高く、女性では70歳以上（23.0%）で2割強と高くなっている。

⑤職業別

『下（計）』は雇用者（計）（16.2%）で1割半ばと低くなっている。

⑥ライフステージ別

『中（計）』は家族成長前期（70.4%）、家族成長後期（71.2%）で高く、その他（49.8%）で低くなっている。一方、『下（計）』はその他（24.9%）で2割半ばと高くなっている。

○生活程度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	上の上	上の下	中の上	中の下	下の上	下の下	わからない	無回答
全 体	2271	-	0.7	24.4	37.7	13.5	4.8	18.7	0.3

上 (計)	中 (計)	下 (計)
0.7	62.1	18.3

地域別

南部地域	241	-	0.8	29.0	34.0	14.1	2.5	19.5	-
南西部地域	193	-	1.0	27.5	36.3	16.1	5.2	14.0	-
東部地域	347	-	0.3	26.5	33.4	15.6	4.9	19.0	0.3
さいたま地域	416	-	0.7	26.4	39.2	11.3	4.6	17.5	0.2
県央地域	197	-	-	21.3	36.5	16.2	4.6	21.3	-
川越比企地域	232	-	1.7	26.7	34.5	9.9	4.7	22.0	0.4
西部地域	224	-	0.4	19.2	43.3	12.5	5.8	18.3	0.4
利根地域	209	-	-	19.6	41.6	16.3	3.8	18.2	0.5
北部地域	187	-	0.5	18.7	45.5	9.6	8.0	17.1	0.5
秩父地域	25	-	4.0	20.0	20.0	20.0	4.0	32.0	-

0.8	63.0	16.6
1.0	63.8	21.3
0.3	59.9	20.5
0.7	65.6	15.9
-	57.8	20.8
1.7	61.2	14.6
0.4	62.5	18.3
-	61.2	20.1
0.5	64.2	17.6
4.0	40.0	24.0

性・年代別

男性・20歳代	97	-	2.1	26.8	28.9	12.4	4.1	25.8	-
30歳代	193	-	1.0	23.8	43.0	13.0	1.6	17.6	-
40歳代	176	-	-	23.9	33.0	16.5	6.3	19.3	1.1
50歳代	191	-	0.5	24.1	41.4	12.0	4.2	17.8	-
60歳代	241	-	0.8	21.6	39.4	19.5	5.8	12.4	0.4
70歳以上	209	-	1.0	23.9	35.9	17.7	5.3	16.3	-
女性・20歳代	143	-	0.7	26.6	35.7	9.1	3.5	24.5	-
30歳代	164	-	1.2	21.3	44.5	8.5	1.8	22.6	-
40歳代	205	-	0.5	30.2	36.1	8.3	3.4	21.0	0.5
50歳代	190	-	0.5	30.0	34.7	11.6	4.2	18.9	-
60歳代	254	-	-	22.8	35.4	15.0	6.3	20.1	0.4
70歳以上	208	-	0.5	19.7	40.9	13.9	9.1	15.4	0.5

2.1	55.7	16.5
1.0	66.8	14.6
-	56.9	22.8
0.5	65.5	16.2
0.8	61.0	25.3
1.0	59.8	23.0
0.7	62.3	12.6
1.2	65.8	10.3
0.5	66.3	11.7
0.5	64.7	15.8
-	58.2	21.3
0.5	60.6	23.0

職業別

自営業・家族従業（計）	239	-	0.4	24.7	39.3	17.6	3.8	14.2	-
雇用者（計）	1123	-	0.6	25.2	38.3	12.0	4.2	19.5	0.2
無職（計）	907	-	0.8	23.3	36.7	14.2	5.8	18.7	0.4

0.4	64.0	21.4
0.6	63.5	16.2
0.8	60.0	20.0

ライフステージ別

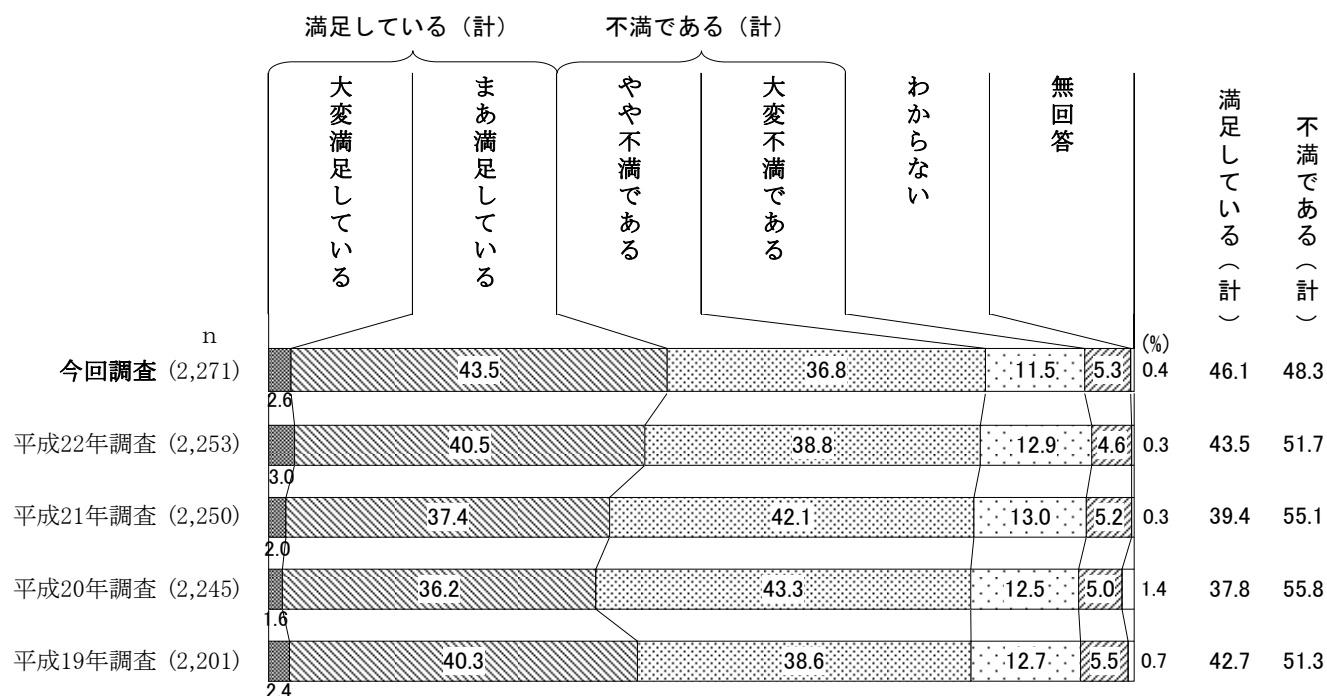
独身期	295	-	1.4	27.1	32.5	12.5	3.1	23.4	-
家族形成期	185	-	1.1	20.5	44.3	9.2	0.5	24.3	-
家族成長前期	240	-	0.4	29.6	40.8	9.2	2.9	16.7	0.4
家族成長後期	198	-	0.5	32.3	38.9	10.1	4.0	14.1	-
家族成熟期	505	-	0.4	25.3	36.6	13.3	6.9	17.0	0.4
高齢期	575	-	0.7	21.2	40.5	16.3	5.2	15.8	0.2
その他	273	-	0.4	18.3	31.5	17.9	7.0	24.2	0.7

1.4	59.6	15.6
1.1	64.8	9.7
0.4	70.4	12.1
0.5	71.2	14.1
0.4	61.9	20.2
0.7	61.7	21.5
0.4	49.8	24.9

(3) 生活全体の満足度

◇『満足している（計）』は46.1%、『不満である（計）』は48.3%

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。



生活全体に対する満足度は、「まあ満足している」(43.5%)が4割強と最も高く、次いで「やや不満である」(36.8%)が3割半ばとなっている。「大変満足している」(2.6%)と「まあ満足している」(43.5%)を合わせた『満足している(計)』(46.1%)は4割半ば、一方、「大変不満である」(11.5%)と「やや不満である」(36.8%)を合わせた『不満である(計)』(48.3%)は5割弱となっている。

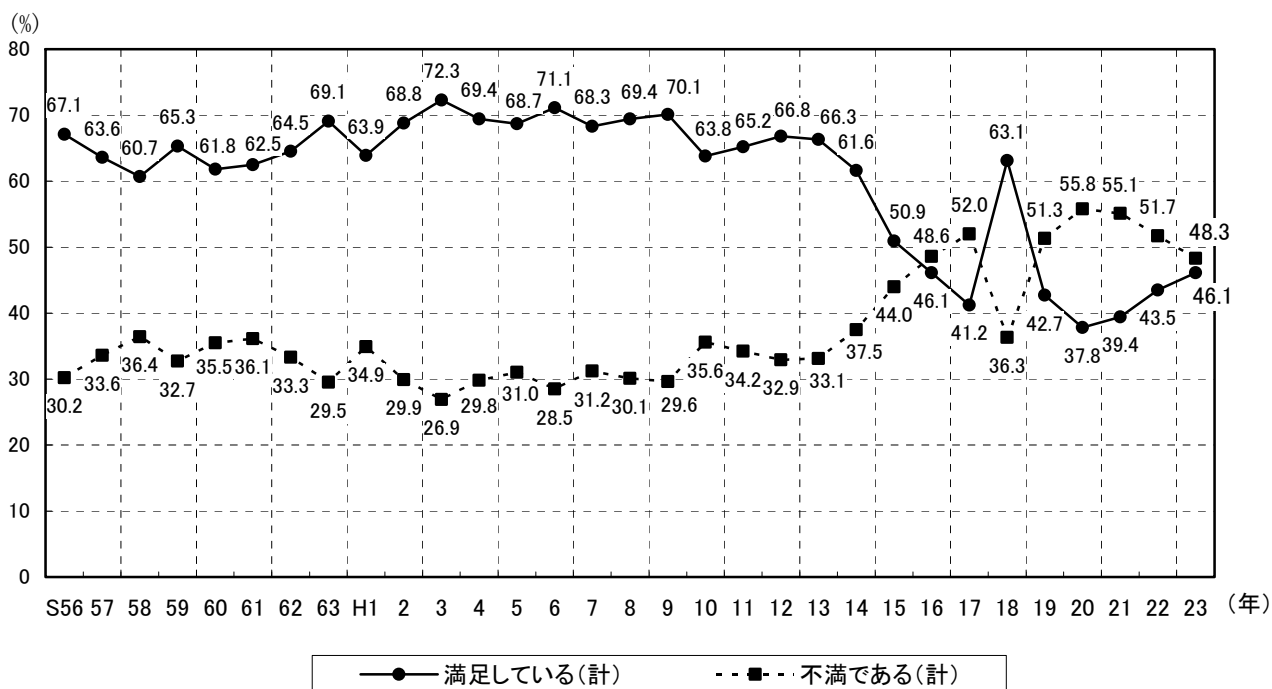
【過去4年間との比較】

『満足している(計)』は3年連続で増加し、平成19年以降で最も多くなっている。『不満である(計)』は平成20年から3年連続で減少し、5割未満となっている。

【経年比較】

昭和56年以降の推移をみると、前年より『満足している（計）』が2.6ポイント増加し、『不満である（計）』は3.4ポイント減少し5割未満となった。『満足している（計）』と『不満である（計）』が逆転した平成19年以降最も差が小さい。

○生活全体の満足度・昭和56年以降の推移



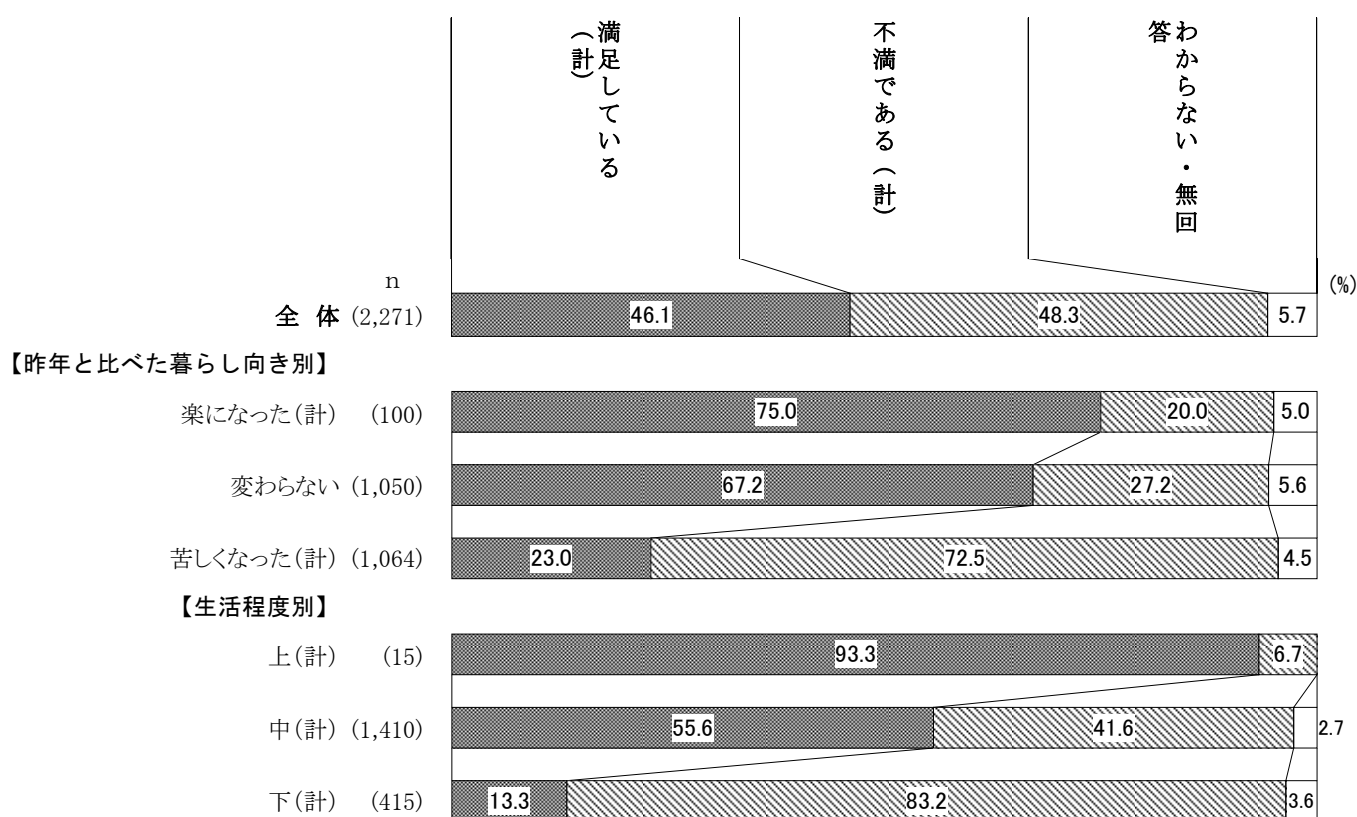
【昨年と比べた暮らし向き別】

昨年と比べた暮らし向きの回答別でみると、『満足している（計）』は楽になった（計）（75.0%）で7割半ば、変わらない（67.2%）で7割弱となっており、両者の差は7.8ポイントとなっている。一方、苦しくなった（計）（23.0%）では2割強と低くなっている。

【生活程度別】

生活程度別にみると、『満足している（計）』は上（計）（93.3%）で9割強、中（計）（55.6%）で5割半ばとなっている。しかし、下（計）（13.3%）では1割強にとどまり、『不満である（計）』（83.2%）が8割強となっている。

○生活全体の満足度・昨年と比べた暮らし向き別／生活程度別



【属性別比較】

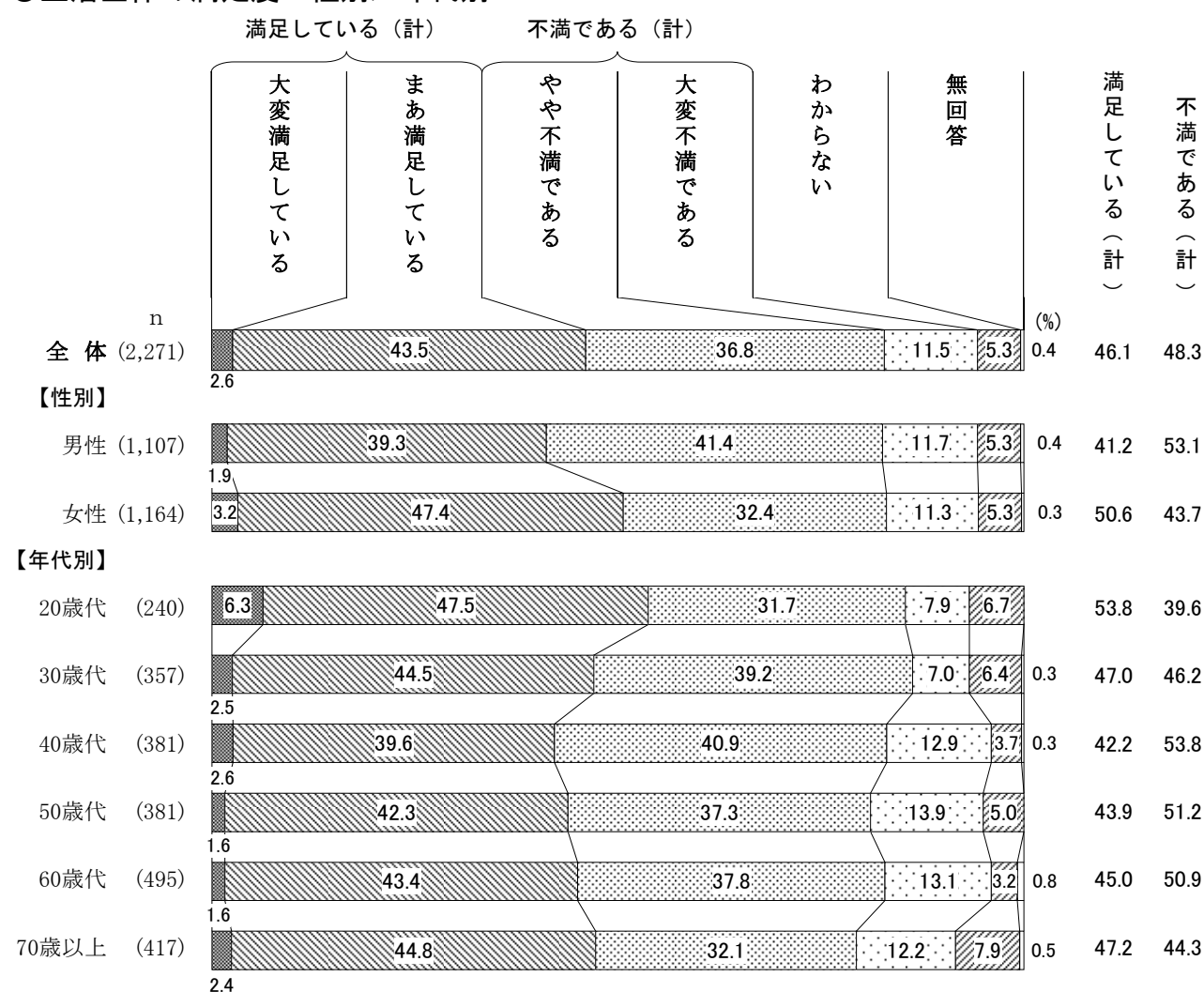
①性別

『満足している（計）』は女性（50.6%）が男性（41.2%）よりも9.4ポイント高くなっている。男性は『不満である（計）』（53.1%）が『満足している（計）』（41.2%）を11.9ポイント上回っている。

②年代別

『満足している（計）』は20歳代（53.8%）で高く、40歳代（42.2%）で最も低くなっている。『不満である（計）』は逆に40歳代（53.8%）で高く、20歳代（39.6%）では低くなっている。20歳代では『満足している（計）』が『不満である（計）』を大きく上回っているが、40歳代から60歳代では『不満である（計）』が『満足している（計）』を上回っている。

○生活全体の満足度・性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は川越比企地域（53.9%）で5割強となっている。一方、『不満である（計）』は利根地域（54.0%）で5割半ばとなっている。また、さいたま地域と川越比企地域以外の地域で『不満である（計）』が『満足している（計）』よりも高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性の20歳代（55.3%）で最も高く、男性では40歳代（32.9%）で3割強、50歳代（36.6%）で3割半ばと低くなっている。一方、『不満である（計）』は男性の40歳代（62.5%）で6割強、50歳代（58.6%）で6割弱と高くなっている。また、女性ではすべての年代で『満足している（計）』が『不満である（計）』よりも高くなっている。

⑤職業別

『不満である（計）』は自営業・家族従業（計）と雇用者（計）で5割を超えて高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は家族形成期（56.3%）で5割半ばと高くなっている。一方、『不満である（計）』は家族成長前期から家族成熟期で約5割と高くなっている。その他では『不満である（計）』（57.5%）が『満足している（計）』（34.8%）を22.7ポイント上回っている。

○生活全体の満足度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	大変満足している	まあ満足している	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
全 体	2271	2.6	43.5	36.8	11.5	5.3	0.4

満足している（計）	不満である（計）
46.1	48.3

地域別

南部地域	241	1.7	41.1	41.1	10.4	5.8	-
南西部地域	193	4.1	43.5	38.3	9.8	4.1	-
東部地域	347	3.5	41.2	38.0	10.7	6.6	-
さいたま地域	416	1.7	47.4	35.6	10.8	4.1	0.5
県央地域	197	2.5	44.2	37.6	11.7	4.1	-
川越比企地域	232	3.9	50.0	27.2	11.2	6.5	1.3
西部地域	224	1.3	40.6	38.4	12.9	6.7	-
利根地域	209	3.3	37.8	41.6	12.4	4.3	0.5
北部地域	187	1.6	42.2	33.2	15.5	6.4	1.1
秩父地域	25	-	48.0	40.0	12.0	-	-

42.8	51.5
47.6	48.1
44.7	48.7
49.1	46.4
46.7	49.3
53.9	38.4
41.9	51.3
41.1	54.0
43.8	48.7
48.0	52.0

性・年代別

男性・20歳代	97	7.2	44.3	32.0	8.2	8.2	-
30歳代	193	1.6	41.5	42.5	7.8	6.2	0.5
40歳代	176	3.4	29.5	48.9	13.6	4.0	0.6
50歳代	191	1.0	35.6	42.9	15.7	4.7	-
60歳代	241	0.8	40.2	43.6	12.0	2.5	0.8
70歳以上	209	0.5	45.5	34.4	11.5	8.1	-
女性・20歳代	143	5.6	49.7	31.5	7.7	5.6	-
30歳代	164	3.7	48.2	35.4	6.1	6.7	-
40歳代	205	2.0	48.3	34.1	12.2	3.4	-
50歳代	190	2.1	48.9	31.6	12.1	5.3	-
60歳代	254	2.4	46.5	32.3	14.2	3.9	0.8
70歳以上	208	4.3	44.2	29.8	13.0	7.7	1.0

51.5	40.2
43.1	50.3
32.9	62.5
36.6	58.6
41.0	55.6
46.0	45.9
55.3	39.2
51.9	41.5
50.3	46.3
51.0	43.7
48.9	46.5
48.5	42.8

職業別

自営業・家族従業（計）	239	0.8	39.3	38.9	14.6	5.9	0.4
雇用者（計）	1123	2.2	43.1	39.2	10.9	4.5	0.2
無職（計）	907	3.4	45.1	33.2	11.6	6.2	0.6

40.1	53.5
45.3	50.1
48.5	44.8

ライフステージ別

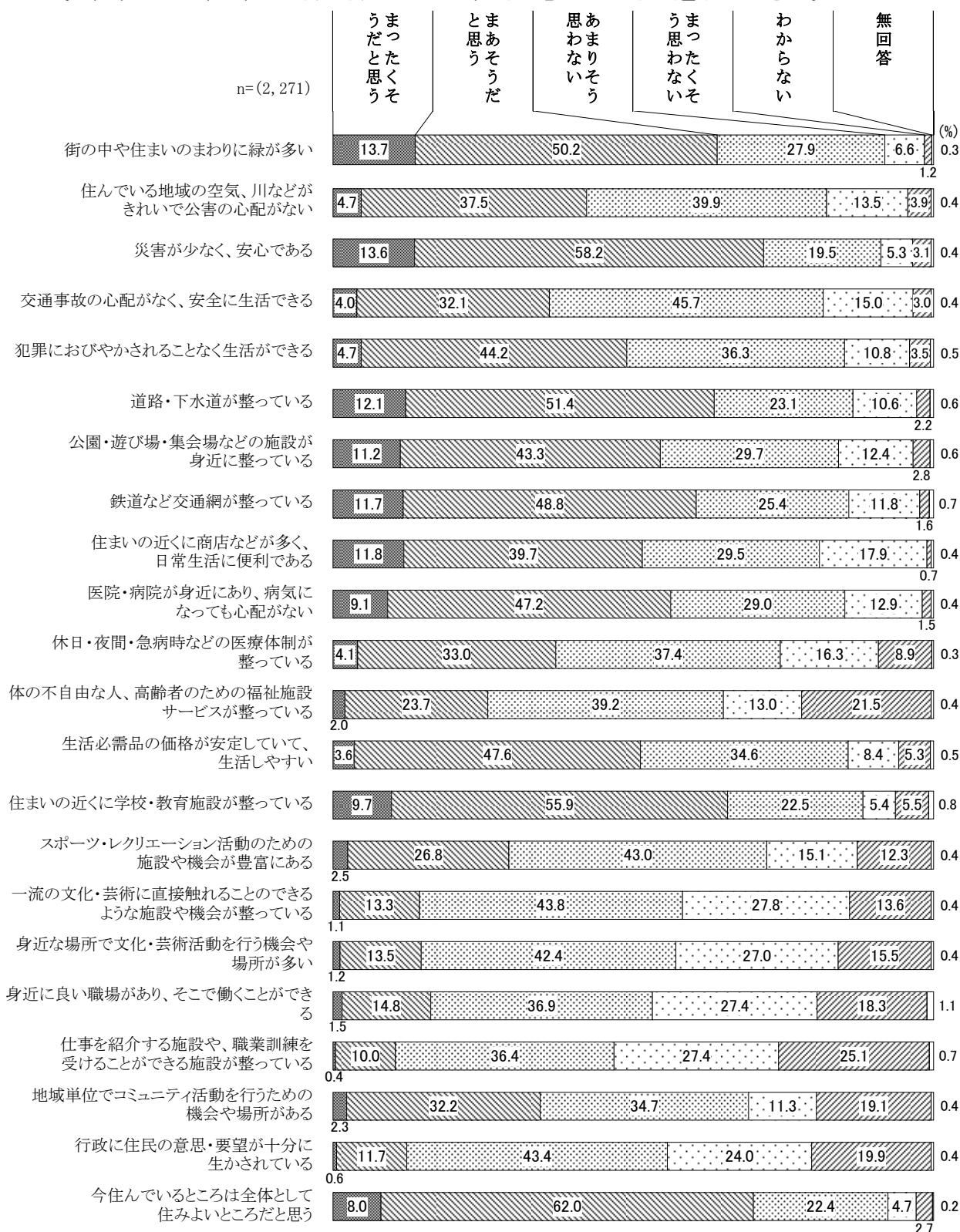
独身期	295	4.1	43.1	36.3	8.5	8.1	-
家族形成期	185	4.9	51.4	33.0	5.9	4.3	0.5
家族成長前期	240	2.9	42.9	40.4	9.6	4.2	-
家族成長後期	198	2.0	44.9	39.9	9.6	3.5	-
家族成熟期	505	1.4	43.6	35.4	15.0	4.0	0.6
高齢期	575	2.8	45.4	34.3	11.5	5.6	0.5
その他	273	1.1	33.7	42.1	15.4	7.3	0.4

47.2	44.8
56.3	38.9
45.8	50.0
46.9	49.5
45.0	50.4
48.2	45.8
34.8	57.5

(4) 住みよさ

◇同意率が高いのは「災害が少なく、安心である」「住まいの近くに学校・教育施設が整っている」「街の中や住まいのまわりに緑が多い」

問4 あなたは、日ごろの生活の中で今お住まいの地域について、どのように感じていますか。(1) から (22) のそれぞれについて、そう思うものをお選びください。



日ごろの生活の中で、今住んでいる地域の評価を22の項目（個別評価項目21、全体評価項目1）に分けて聞いた。分析に当たっては、『そうだと思う（計）』（「まったくそうだと思う」＋「まあそうだと思う」）と『そう思わない（計）』（「まったくそう思わない」＋「あまりそう思わない」）の分類と、平均点（「まったくそうだと思う」にプラス2、「まあそうだと思う」にプラス1、「あまりそう思わない」にマイナス1、「まったくそう思わない」にマイナス2、「わからない」に0の得点）の算出を行った。

【個別評価の21項目について】

①同意率・不同意率の比較

『そうだと思う（計）』（以下「同意率」という）の高い項目

1位	災害が少なく、安心である	71.8%
2位	住まいの近くに学校・教育施設が整っている	65.6%
3位	街の中や住まいのまわりに緑が多い	63.9%
4位	道路・下水道が整っている	63.5%
5位	鉄道など交通網が整っている	60.5%

『そう思わない（計）』（以下「不同意率」という）の高い項目

1位	一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている	71.6%
2位	身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い	69.4%
3位	行政に住民の意思・要望が十分に生かされている	67.4%
4位	身近に良い職場があり、そこで働くことができる	64.3%
5位	仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている	63.8%

②平均点の比較

平均点は、プラス評価が8項目で、マイナス評価が13項目となっている。

順位	プラス評価項目	平均点	順位	マイナス評価項目	平均点
1位	災害が少なく、安心である	0.56	9位	住まいの近くに商店などが多く、日常生活に便利である	-0.02
2位	住まいの近くに学校・教育施設が整っている	0.42	10位	犯罪におびやかされることなく生活ができる	-0.04
3位	街の中や住まいのまわりに緑が多い	0.37	11位	住んでいる地域の空気、川などがきれいで公害の心配がない	-0.20
4位	道路・下水道が整っている	0.32		地域単位でコミュニティ活動を行うための機会や場所がある	-0.20
5位	鉄道など交通網が整っている	0.23	13位	休日・夜間・急病時などの医療体制が整っている	-0.29
6位	公園・遊び場・集会場などの施設が身近に整っている	0.11	14位	交通事故の心配がなく、安全に生活できる	-0.36
	医院・病院が身近にあり、病気になっても心配がない	0.11	15位	体の不自由な人、高齢者のための福祉施設サービスが整っている	-0.38
8位	生活必需品の価格が安定していて、生活しやすい	0.03	16位	スポーツ・レクリエーション活動のための施設や機会が豊富にある	-0.41
(注) 平均点＝「まったくそうだと思う」にプラス2、 「まあそうだと思う」にプラス1、 「あまりそう思わない」にマイナス1、 「まったくそう思わない」にマイナス2、 「わからない」を0とした。			17位	身近に良い職場があり、そこで働くことができる	-0.75
			18位	行政に住民の意思・要望が十分に生かされている	-0.79
			19位	身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い	-0.81
				仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている	-0.81
			21位	一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている	-0.84

□全体評価項目について

「今住んでいるところは全体として住みよいところだと思う」は同意率70.0%、平均点0.46点で、同意率は個別評価の「災害が少なく、安心である」以外のすべての項目を上回っている。

同意率の高い順

【全体評価項目】	同意率	不同意率	平均点
今住んでいるところは全体として住みよいところだと思う	70.0	27.1	0.46
【個別評価21項目】			
3 災害が少なく、安心である	71.8	24.8	0.56
14 住まいの近くに学校・教育施設が整っている	65.6	27.9	0.42
1 街の中や住まいのまわりに緑が多い	63.9	34.5	0.37
6 道路・下水道が整っている	63.5	33.7	0.32
8 鉄道など交通網が整っている	60.5	37.2	0.23
10 医院・病院が身近にあり、病気になっても心配がない	56.3	41.9	0.11
7 公園・遊び場・集会場などの施設が身近に整っている	54.5	42.1	0.11
9 住まいの近くに商店などが多く、日常生活に便利である	51.5	47.4	-0.02
13 生活必需品の価格が安定していて、生活しやすい	51.2	43.0	0.03
5 犯罪におびやかされることなく生活ができる	48.9	47.1	-0.04
2 住んでいる地域の空気、川などがきれいで公害の心配がない	42.2	53.4	-0.20
11 休日・夜間・急病時などの医療体制が整っている	37.1	53.7	-0.29
4 交通事故の心配がなく、安全に生活できる	36.1	60.7	-0.36
20 地域単位でコミュニティ活動を行うための機会や場所がある	34.5	46.0	-0.20
15 スポーツ・レクリエーション活動のための施設や機会が豊富にある	29.3	58.1	-0.41
12 体の不自由な人、高齢者のための福祉施設サービスが整っている	25.7	52.2	-0.38
18 身近に良い職場があり、そこで働くことができる	16.3	64.3	-0.75
17 身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い	14.7	69.4	-0.81
16 一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている	14.4	71.6	-0.84
21 行政に住民の意思・要望が十分に生かされている	12.3	67.4	-0.79
19 仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている	10.4	63.8	-0.81

(1) 街の中や住まいのまわりに緑が多い

◇同意率 63.9%（個別評価21項目中3位）／不同意率 34.5%／平均点 0.37（21項目中3位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より7.5ポイント増加し、6割台に回復している。不同意率は前回より7.7ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

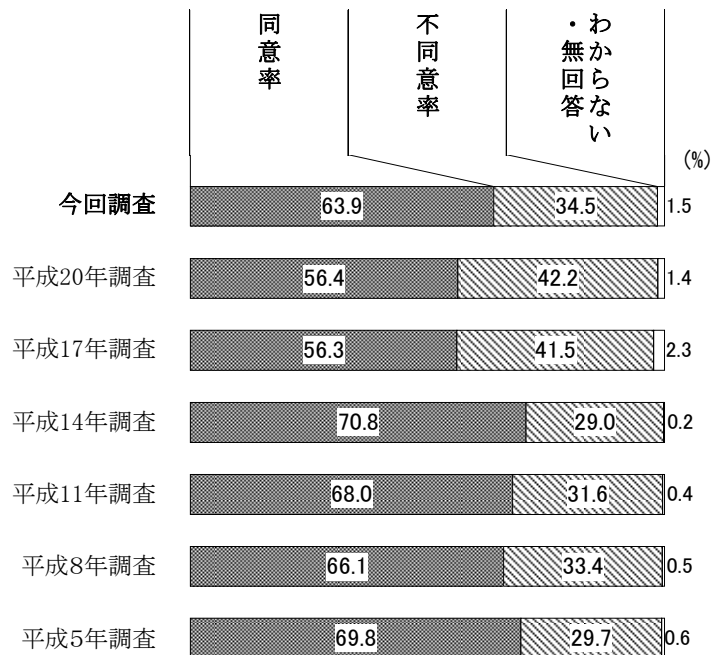
同意率はさいたま地域（74.5%）と北部地域（75.4%）で7割半ばである。不同意率は県央地域（50.3%）で唯一半数を超えている。平均点は北部地域で0.77と高く、県央地域で-0.10と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は40歳代（69.5%）で約7割、平均点でも0.51と最も高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だたく	だま とあ 思そう	いうあ 思ま わりな	なそま いう 思た わく	いわ から な	無 回 答	同意 率	不 同 意 率	平 均 点
全 体	2271	13.7	50.2	27.9	6.6	1.2	0.3	63.9	34.5	0.37
地域別										
南部地域	241	8.3	48.1	37.8	5.4	0.4	-	56.4	43.2	0.16
南西部地域	193	11.9	53.9	25.4	7.8	0.5	0.5	65.8	33.2	0.37
東部地域	347	13.5	45.0	30.5	10.1	0.3	0.6	58.5	40.6	0.21
さいたま地域	416	16.6	57.9	20.7	3.1	1.7	-	74.5	23.8	0.64
県央地域	197	5.1	42.1	38.1	12.2	2.5	-	47.2	50.3	-0.10
川越比企地域	232	13.4	51.7	26.7	6.0	0.9	1.3	65.1	32.7	0.40
西部地域	224	12.5	48.2	29.9	8.0	1.3	-	60.7	37.9	0.27
利根地域	209	13.4	52.2	27.8	4.8	1.4	0.5	65.6	32.6	0.42
北部地域	187	28.3	47.1	18.2	4.3	2.1	-	75.4	22.5	0.77
秩父地域	25	12.0	60.0	24.0	4.0	-	-	72.0	28.0	0.52
性別										
男性	1107	12.5	50.8	27.6	7.7	1.2	0.4	63.3	35.3	0.33
女性	1164	14.9	49.7	28.3	5.7	1.2	0.3	64.6	34.0	0.40
年代別										
20歳代	240	12.1	50.8	29.6	6.3	1.3	-	62.9	35.9	0.33
30歳代	357	12.3	50.4	28.9	7.8	0.6	-	62.7	36.7	0.31
40歳代	381	15.7	53.8	23.6	5.2	1.3	0.3	69.5	28.8	0.51
50歳代	381	16.0	51.4	26.5	5.5	0.5	-	67.4	32.0	0.46
60歳代	495	13.9	49.3	28.5	6.9	1.0	0.4	63.2	35.4	0.35
70歳以上	417	11.8	46.3	30.7	7.9	2.4	1.0	58.1	38.6	0.23

(2) 住んでいる地域の空気、川などがきれいで公害の心配がない

◇同意率 42.2%（個別評価21項目中11位）／不同意率 53.4%／平均点 -0.20（21項目中11位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より12.6ポイント増加し、今回初めて4割を超えた。不同意率は前回より12.6ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

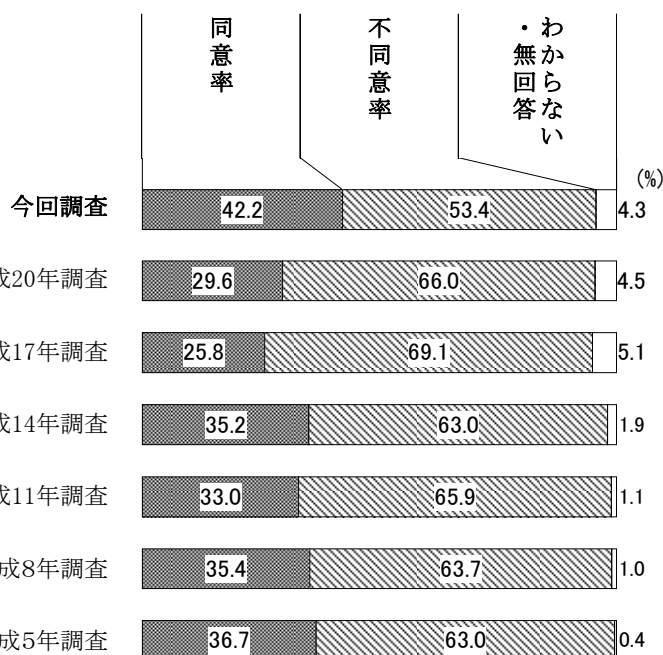
同意率は秩父地域（60.0%）で6割、さいたま地域（56.8%）で5割半ばである。不同意率は県央地域（64.9%）で6割半ば、東部地域（60.5%）で約6割となっている。平均点は秩父地域で0.28と高く、県央地域で-0.60と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は50歳代（45.9%）と70歳以上（46.5%）で4割半ばと比較的高くなっている。不同意率は30歳代（62.5%）で6割強と高くなっている。平均点は30歳代で-0.39と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だたく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう 思た わく	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	4.7	37.5	39.9	13.5	3.9	0.4

同 意 率	不 同 意 率	平 均 点
42.2	53.4	-0.20

地域別

南部地域	241	2.1	34.9	45.2	13.7	3.7	0.4
南西部地域	193	3.6	35.8	44.0	14.0	2.6	-
東部地域	347	4.0	30.8	46.7	13.8	4.0	0.6
さいたま地域	416	5.8	51.0	32.5	7.2	3.1	0.5
県央地域	197	3.0	27.4	36.0	28.9	4.6	-
川越比企地域	232	5.2	31.0	45.7	10.8	6.0	1.3
西部地域	224	3.6	34.8	39.3	17.9	4.5	-
利根地域	209	6.2	38.3	37.3	14.8	3.3	-
北部地域	187	8.6	44.4	34.8	8.0	3.7	0.5
秩父地域	25	8.0	52.0	32.0	4.0	4.0	-

37.0	58.9	-0.34
39.4	58.0	-0.29
34.8	60.5	-0.36
56.8	39.7	0.16
30.4	64.9	-0.60
36.2	56.5	-0.26
38.4	57.2	-0.33
44.5	52.1	-0.16
53.0	42.8	0.11
60.0	36.0	0.28

性別

男性	1107	4.8	38.2	39.5	14.0	3.2	0.4
女性	1164	4.6	36.9	40.4	13.1	4.6	0.4

43.0	53.5	-0.20
41.5	53.5	-0.20

年代別

20歳代	240	3.3	37.5	34.2	18.3	6.7	-
30歳代	357	3.9	30.0	47.9	14.6	3.6	-
40歳代	381	2.9	38.1	42.0	14.2	2.9	-
50歳代	381	3.9	42.0	38.6	12.6	2.9	-
60歳代	495	4.8	38.6	39.0	13.7	3.4	0.4
70歳以上	417	8.4	38.1	36.9	9.8	5.0	1.7

40.8	52.5	-0.27
33.9	62.5	-0.39
41.0	56.2	-0.27
45.9	51.2	-0.14
43.4	52.7	-0.18
46.5	46.7	-0.02

(3) 災害が少なく、安心である

◇同意率 71.8%（個別評価21項目中1位）／不同意率 24.8%／平均点 0.56（21項目中1位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より6.8ポイント増加し、7割台に回復している。不同意率は前回より6.9ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

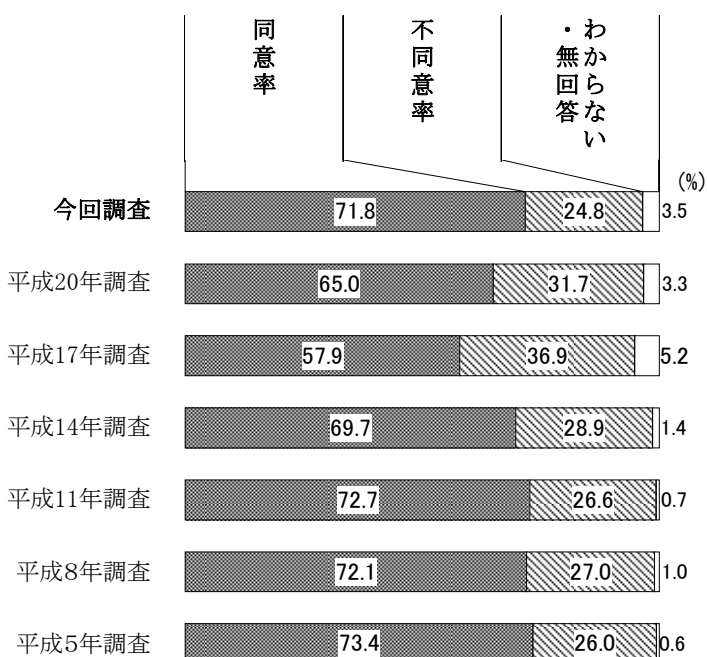
同意率はさいたま地域（79.1%）で約8割、不同意率は県央地域（31.0%）で3割強と比較的高くなっている。平均点はさいたま地域で0.73と高く、県央地域と西部地域で0.43と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（74.2%）で7割半ばと高くなっている。不同意率は30歳代から50歳代で2割半ばと比較的高くなっている。平均点は20歳代で0.64と比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた とく	だま とあ 思そ う	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう 思た わく	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	13.6	58.2	19.5	5.3	3.1	0.4

地域別

南部地域	241	14.1	56.4	17.4	7.9	3.3	0.8
南西部地域	193	13.5	53.9	22.8	7.3	1.6	1.0
東部地域	347	13.5	57.3	21.3	5.5	2.0	0.3
さいたま地域	416	14.7	64.4	14.2	3.4	3.4	-
県央地域	197	15.2	51.3	23.4	7.6	2.5	-
川越比企地域	232	13.8	53.4	22.4	3.9	4.7	1.7
西部地域	224	8.9	58.5	22.8	5.4	4.5	-
利根地域	209	14.8	60.8	16.3	4.3	3.8	-
北部地域	187	12.8	62.0	18.7	4.3	2.1	-
秩父地域	25	16.0	60.0	20.0	4.0	-	-

性別

男性	1107	13.8	59.3	18.3	4.7	3.4	0.4
女性	1164	13.4	57.0	20.5	5.8	2.7	0.4

年代別

20歳代	240	15.4	58.8	18.3	3.8	3.3	0.4
30歳代	357	12.6	58.8	20.4	5.0	3.1	-
40歳代	381	10.0	60.4	20.2	6.6	2.4	0.5
50歳代	381	11.0	62.2	19.9	4.5	2.4	-
60歳代	495	12.5	60.6	18.6	4.8	3.2	0.2
70歳以上	417	20.4	48.7	19.2	6.5	4.1	1.2

同意率	不同意率	平均点
71.8	24.8	0.56

70.5	25.3	0.52
67.4	30.1	0.44
70.8	26.8	0.52
79.1	17.6	0.73
66.5	31.0	0.43
67.2	26.3	0.52
67.4	28.2	0.43
75.6	20.6	0.66
74.8	23.0	0.60
76.0	24.0	0.64

73.1	23.0	0.59
70.4	26.3	0.52

74.2	22.1	0.64
71.4	25.4	0.54
70.4	26.8	0.47
73.2	24.4	0.55
73.1	23.4	0.57
69.1	25.7	0.58

(4) 交通事故の心配がなく、安全に生活できる

◇同意率 36.1% (個別評価21項目中13位) / 不同意率 60.7% / 平均点 -0.36 (21項目中14位)

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より10.8ポイント増加し、これまでで最も高かった平成8年と同水準となっている。不同意率は前回より10.5ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

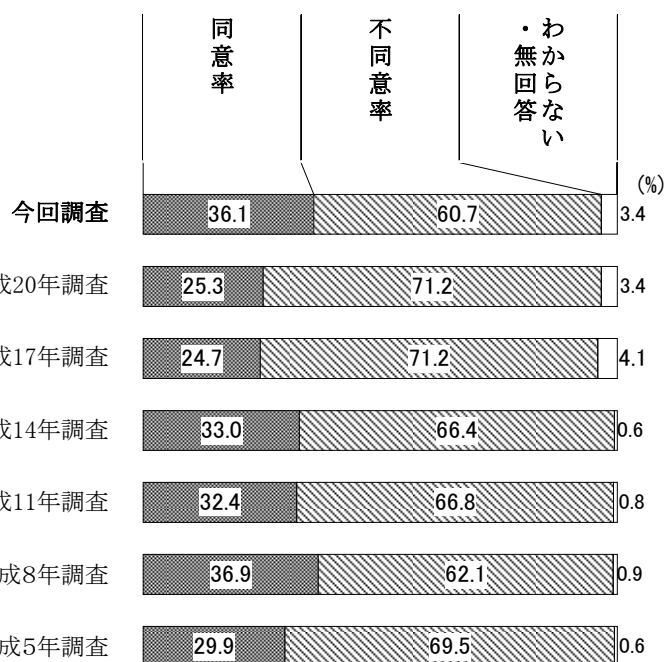
同意率は秩父地域(44.0%)で4割半ばと比較的高くなっている。不同意率は西部地域(70.9%)で約7割となっている。平均点は北部地域で-0.15と高く、西部地域で-0.60と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は70歳以上(45.1%)で4割半ば、不同意率は30歳代(70.0%)で7割と比較的高くなっている。平均点は30歳代で-0.57と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だたく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つた わく	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	4.0	32.1	45.7	15.0	3.0	0.4
地域別							
南部地域	241	2.9	32.8	46.1	15.8	2.1	0.4
南西部地域	193	4.7	28.0	48.2	18.7	0.5	-
東部地域	347	4.6	33.1	42.9	16.7	2.3	0.3
さいたま地域	416	3.6	38.5	45.9	9.1	2.4	0.5
県央地域	197	3.0	27.4	46.7	16.2	6.1	0.5
川越比企地域	232	4.3	31.5	40.5	16.8	5.6	1.3
西部地域	224	3.1	24.1	51.3	19.6	1.8	-
利根地域	209	4.3	27.8	50.2	14.8	2.9	-
北部地域	187	4.8	38.5	41.2	10.7	4.3	0.5
秩父地域	25	8.0	36.0	40.0	16.0	-	-
性別							
男性	1107	4.1	33.2	44.2	15.1	3.1	0.4
女性	1164	3.9	30.9	47.1	14.9	2.8	0.4
年代別							
20歳代	240	3.3	30.4	48.8	14.6	2.9	-
30歳代	357	2.0	25.5	53.2	16.8	2.5	-
40歳代	381	1.3	32.3	47.8	16.0	2.6	-
50歳代	381	2.1	31.8	49.6	14.2	1.8	0.5
60歳代	495	4.0	35.2	45.1	12.3	2.8	0.6
70歳以上	417	10.1	35.0	32.6	16.5	4.8	1.0

同意率	不同意率	平均点
36.1	60.7	-0.36
地域別		
35.7	61.9	-0.39
32.7	66.9	-0.48
37.7	59.6	-0.34
42.1	55.0	-0.19
30.4	62.9	-0.46
35.8	57.3	-0.34
27.2	70.9	-0.60
32.1	65.0	-0.44
43.3	51.9	-0.15
44.0	56.0	-0.20
性別		
37.3	59.3	-0.33
34.8	62.0	-0.38
年代別		
33.7	63.4	-0.41
27.5	70.0	-0.57
33.6	63.8	-0.45
33.9	63.8	-0.42
39.2	57.4	-0.27
45.1	49.1	-0.11

(5) 犯罪におびやかされることなく生活ができる

◇同意率 48.9%（個別評価21項目中10位）／不同意率 47.1%／平均点 -0.04（21項目中10位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より18.3ポイント増加し、5割強となっている。不同意率は前回より17.7ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

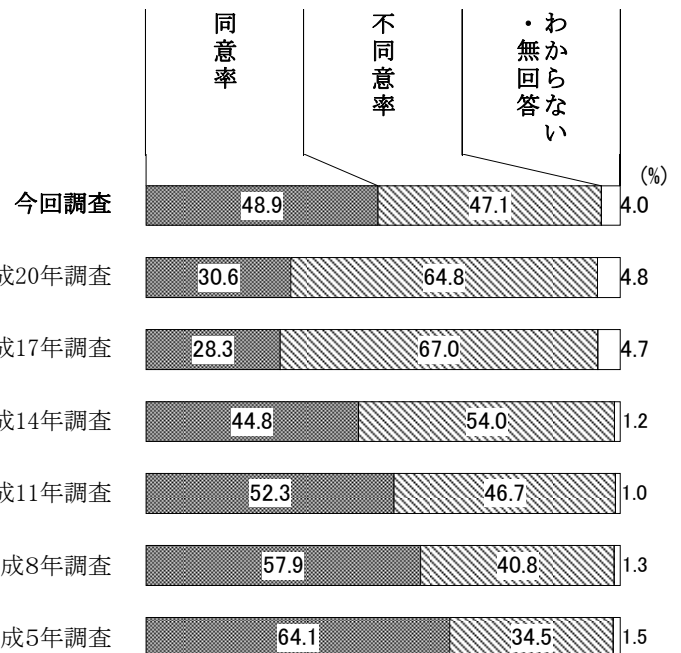
同意率は東部地域（51.6%）とさいたま地域（53.6%）で5割強、不同意率は秩父地域（56.0%）で5割半ばと、ともに比較的高くなっている。平均点はさいたま地域で0.04、北部地域で0.04と高く、県央地域で-0.22と低くなっている。

②性別

同意率は男性（51.6%）が女性（46.2%）を5.4ポイント上回っている。平均点は男性が0.04高くなっている。

③年代別

不同意率は30歳代（52.4%）と40歳代（52.8%）で5割強と比較的高くなっている。平均点は30歳代で-0.17、40歳代で-0.21と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だくとく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう 思た わく	いわ から な	無 回 答	同意 率	不同 意率	平均 点
全 体	2271	4.7	44.2	36.3	10.8	3.5	0.5	48.9	47.1	-0.04
地域別										
南部地域	241	4.1	43.2	37.3	12.9	2.1	0.4	47.3	50.2	-0.12
南西部地域	193	5.7	45.1	30.1	14.0	5.2	-	50.8	44.1	-0.02
東部地域	347	5.8	45.8	30.8	13.5	3.2	0.9	51.6	44.3	-0.01
さいたま地域	416	3.4	50.2	35.1	8.9	2.2	0.2	53.6	44.0	0.04
県央地域	197	2.0	41.1	38.1	14.7	4.1	-	43.1	52.8	-0.22
川越比企地域	232	6.9	41.4	34.9	9.1	5.6	2.2	48.3	44.0	0.02
西部地域	224	3.6	40.2	40.2	11.6	3.6	0.9	43.8	51.8	-0.16
利根地域	209	4.8	41.6	41.1	7.7	4.8	-	46.4	48.8	-0.05
北部地域	187	5.9	43.9	42.8	4.3	3.2	-	49.8	47.1	0.04
秩父地域	25	8.0	36.0	44.0	12.0	-	-	44.0	56.0	-0.16
性別										
男性	1107	5.3	46.3	35.2	8.9	3.9	0.4	51.6	44.1	0.04
女性	1164	4.0	42.2	37.3	12.6	3.2	0.7	46.2	49.9	-0.12
年代別										
20歳代	240	6.7	45.0	35.8	7.9	4.6	-	51.7	43.7	0.07
30歳代	357	3.1	41.5	39.8	12.6	3.1	-	44.6	52.4	-0.17
40歳代	381	2.4	42.3	37.3	15.5	2.6	-	44.7	52.8	-0.21
50歳代	381	3.9	47.2	38.3	7.3	2.9	0.3	51.1	45.6	0.02
60歳代	495	2.8	46.9	35.4	11.1	2.8	1.0	49.7	46.5	-0.05
70歳以上	417	9.8	42.0	31.9	9.4	5.5	1.4	51.8	41.3	0.11

(6) 道路・下水道が整っている

◇同意率 63.5%（個別評価21項目中4位）／不同意率 33.7%／平均点 0.32（21項目中4位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より6.3ポイント増加し、今回初めて6割を超えた。不同意率は前回より5.8ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

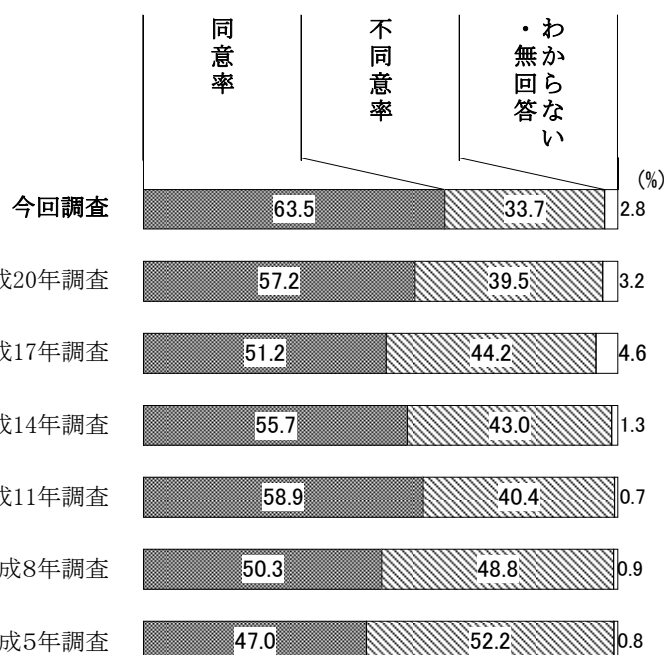
同意率は南西部地域（70.5%）で約7割、不同意率は秩父地域（56.0%）で5割半ばと、ともに比較的高くなっている。平均点は南西部地域で0.53、川越比企地域で0.50と高く、秩父地域で-0.16と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（71.2%）で7割強、不同意率は60歳代（39.0%）で約4割と比較的高くなっている。平均点は20歳代で0.58と高く、40歳代で0.18と60歳代で0.17と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううつ だたく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つ 思た わく	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	12.1	51.4	23.1	10.6	2.2	0.6
地域別							
南部地域	241	10.8	55.2	21.6	10.8	1.2	0.4
南西部地域	193	19.2	51.3	20.2	8.3	1.0	-
東部地域	347	14.4	52.2	22.2	8.1	1.7	1.4
さいたま地域	416	8.9	54.8	24.3	9.4	1.7	1.0
県央地域	197	10.2	51.8	22.3	12.2	3.6	-
川越比企地域	232	17.2	50.0	18.5	8.2	4.3	1.7
西部地域	224	10.3	47.3	27.2	13.4	1.8	-
利根地域	209	13.9	45.9	24.9	12.4	2.9	-
北部地域	187	5.9	51.9	23.5	16.0	2.7	-
秩父地域	25	8.0	36.0	44.0	12.0	-	-
性別							
男性	1107	13.2	51.6	23.5	9.4	2.0	0.4
女性	1164	11.1	51.2	22.7	11.8	2.4	0.9
年代別							
20歳代	240	15.8	55.4	18.3	5.4	5.0	-
30歳代	357	11.5	54.1	22.7	9.2	2.2	0.3
40歳代	381	7.1	52.5	26.2	11.3	2.1	0.8
50歳代	381	8.4	53.0	25.2	11.5	1.6	0.3
60歳代	495	10.9	47.9	25.1	13.9	1.2	1.0
70歳以上	417	19.9	48.4	18.9	9.4	2.4	1.0

同意率	不同意率	平均点
63.5	33.7	0.32
66.0	32.4	0.34
70.5	28.5	0.53
66.6	30.3	0.43
63.7	33.7	0.30
62.0	34.5	0.25
67.2	26.7	0.50
57.6	40.6	0.14
59.8	37.3	0.24
57.8	39.5	0.08
44.0	56.0	-0.16
64.8	32.9	0.36
62.3	34.5	0.27
71.2	23.7	0.58
65.6	31.9	0.36
59.6	37.5	0.18
61.4	36.7	0.22
58.8	39.0	0.17
68.3	28.3	0.51

(7) 公園・遊び場・集会場などの施設が身近に整っている

◇同意率 54.5%（個別評価21項目中7位）／不同意率 42.1%／平均点 0.11（21項目中6位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年よりわずかに減少している。

【属性別比較】

①地域別

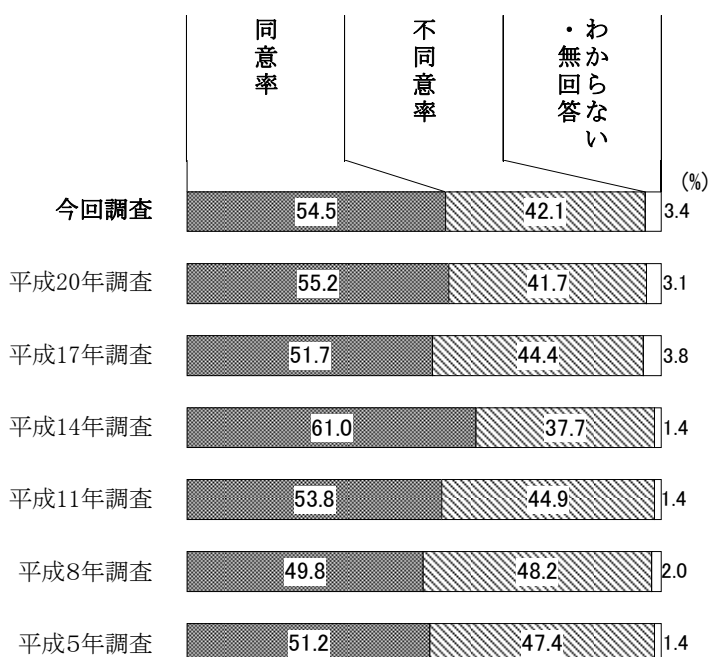
同意率は秩父地域（68.0%）で7割弱、不同意率は北部地域（58.8%）で6割弱、県央地域（55.9%）で5割半ばと比較的高くなっている。平均点は秩父地域で0.52と高く、県央地域で-0.31、北部地域で-0.33と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（59.6%）と70歳以上（59.2%）で約6割、不同意率は50歳代（47.8%）と5割弱と、比較的高くなっている。平均点は70歳以上で0.32と高く、50歳代で-0.05と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま うつ だ た と く	だ ま と あ 思 そ う う	い う あ 思 ま わ り な そ	な そ ま い う つ 思 た わ く	い わ か ら な	無 回 答
全 体	2271	11.2	43.3	29.7	12.4	2.8	0.6

同 意 率	不 同 意 率	平 均 点
54.5	42.1	0.11

地域別

南部地域	241	9.5	43.2	33.6	10.4	2.9	0.4
南西部地域	193	17.6	46.6	20.2	12.4	3.1	-
東部地域	347	13.5	43.5	28.2	12.1	2.0	0.6
さいたま地域	416	9.9	48.1	31.0	8.7	1.9	0.5
県央地域	197	7.1	29.4	37.1	18.8	6.6	1.0
川越比企地域	232	17.7	48.7	19.8	8.6	3.9	1.3
西部地域	224	8.0	45.5	29.5	14.7	2.2	-
利根地域	209	10.5	44.0	26.8	15.8	2.9	-
北部地域	187	5.9	32.1	41.7	17.1	1.6	1.6
秩父地域	25	16.0	52.0	32.0	-	-	-

52.7	44.0	0.08
64.2	32.6	0.37
57.0	40.3	0.18
58.0	39.7	0.20
36.5	55.9	-0.31
66.4	28.4	0.48
53.5	44.2	0.03
54.5	42.6	0.07
38.0	58.8	-0.33
68.0	32.0	0.52

性別

男性	1107	10.5	44.4	30.6	11.8	2.2	0.5
女性	1164	11.9	42.2	28.8	13.0	3.4	0.7

54.9	42.4	0.11
54.1	41.8	0.11

年代別

20歳代	240	11.3	48.3	30.0	7.1	2.9	0.4
30歳代	357	12.0	41.7	27.2	16.2	2.5	0.3
40歳代	381	9.2	45.9	28.9	12.9	3.1	-
50歳代	381	7.3	42.5	33.1	14.7	1.8	0.5
60歳代	495	9.9	41.8	33.1	12.3	2.2	0.6
70歳以上	417	17.5	41.7	25.2	9.8	4.3	1.4

59.6	37.1	0.27
53.7	43.4	0.06
55.1	41.8	0.10
49.8	47.8	-0.05
51.7	45.4	0.04
59.2	35.0	0.32

(8) 鉄道など交通網が整っている

◇同意率 60.5% (個別評価21項目中8位) / 不同意率 37.2% / 平均点 0.23 (21項目中5位)

【経年変化】

同意率は前回の平成20年よりもわずかに減少している。

【属性別比較】

①地域別

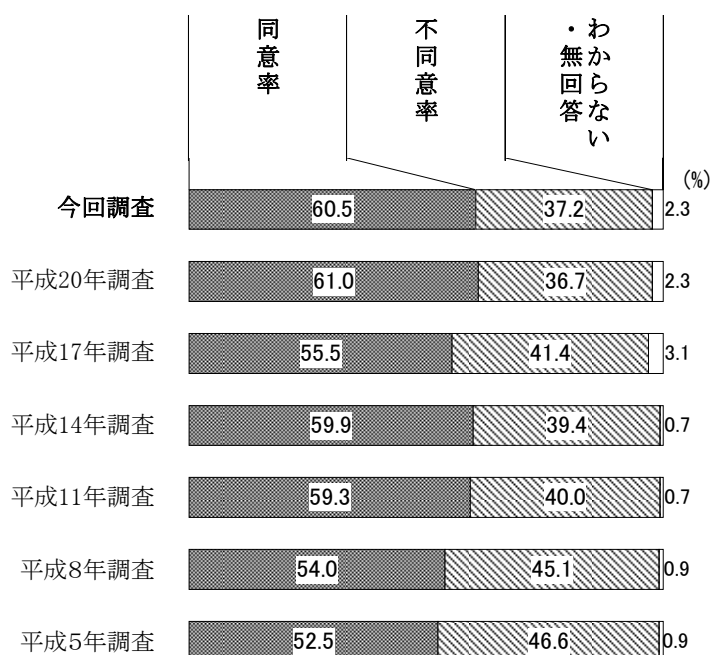
同意率は南西部地域(73.6%)と川越比企地域(71.6%)で7割強、不同意率は北部地域(65.2%)で6割半ばと高くなっている。平均点は南西部地域で0.66、川越比企地域で0.63と高く、北部地域で-0.54と低くなっている。

②性別

同意率は男性(62.2%)が女性(59.0%)を3.2ポイント上回っている。

③年代別

同意率は20歳代(66.3%)で6割半ば、不同意率は40歳代(42.0%)で4割強と、比較的高くなっている。平均点は20歳代で0.41、30歳代で0.33と高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううつ だたく	だま とあ 思そ う	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つ 思た わく	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	11.7	48.8	25.4	11.8	1.6	0.7

同 意 率	不 同 意 率	平 均 点
60.5	37.2	0.23

地域別

南部地域	241	13.7	55.2	16.2	12.9	1.2	0.8
南西部地域	193	22.3	51.3	19.2	5.7	1.0	0.5
東部地域	347	12.7	51.0	21.9	12.1	1.2	1.2
さいたま地域	416	9.1	46.4	28.8	13.9	1.0	0.7
県央地域	197	9.1	47.2	29.4	10.7	3.0	0.5
川越比企地域	232	19.4	52.2	19.4	4.7	2.6	1.7
西部地域	224	8.5	51.8	28.1	9.4	1.8	0.4
利根地域	209	7.7	55.5	25.4	10.0	1.4	-
北部地域	187	3.2	28.9	41.7	23.5	2.1	0.5
秩父地域	25	12.0	28.0	32.0	28.0	-	-

68.9	29.1	0.41
73.6	24.9	0.66
63.7	34.0	0.31
55.5	42.7	0.08
56.3	40.1	0.15
71.6	24.1	0.63
60.3	37.5	0.22
63.2	35.4	0.25
32.1	65.2	-0.54
40.0	60.0	-0.36

性別

男性	1107	12.3	49.9	25.0	11.0	1.4	0.5
女性	1164	11.1	47.9	25.8	12.5	1.8	1.0

62.2	36.0	0.27
59.0	38.3	0.20

年代別

20歳代	240	16.7	49.6	20.8	10.4	2.1	0.4
30歳代	357	12.6	51.3	24.4	9.5	1.4	0.8
40歳代	381	10.5	45.9	28.9	13.1	0.8	0.8
50歳代	381	8.9	50.9	25.2	13.6	1.3	-
60歳代	495	7.7	52.9	26.3	11.7	0.8	0.6
70歳以上	417	16.3	42.2	24.9	11.5	3.4	1.7

66.3	31.2	0.41
63.9	33.9	0.33
56.4	42.0	0.12
59.8	38.8	0.16
60.6	38.0	0.19
58.5	36.4	0.27

(9) 住まいの近くに商店などが多く、日常生活に便利である

◇同意率 51.5%（個別評価21項目中8位）／不同意率 47.4%／平均点 -0.02（21項目中9位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より6.9ポイント減少し、これまでで最も低くなっている。
不同意率は前回より6.9ポイント増加している。

【属性別比較】

①地域別

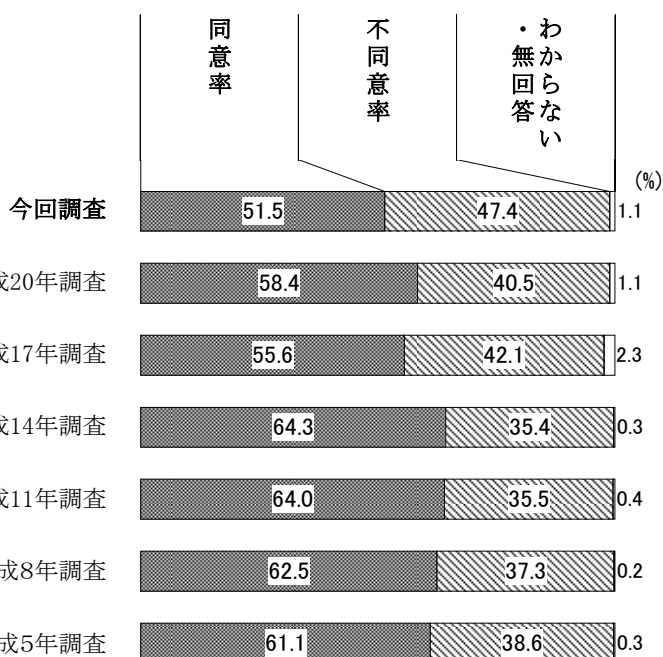
同意率は南西部地域（69.9%）で約7割、不同意率は北部地域（69.0%）で約7割、秩父地域（68.0%）で7割弱と高くなっている。平均点は南西部地域で0.57と高く、北部地域で-0.67、秩父地域で-0.56と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（58.7%）と30歳代（58.6%）で6割弱と比較的高く、平均点は20歳代で0.22、30歳代で0.20と比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思えようたたく	だまと思えよう	いうあ思えなり	なそまいう思えわく	いわからな	無回答	同意率	不同意率	平均点
全 体	2271	11.8	39.7	29.5	17.9	0.7	0.4	51.5	47.4	-0.02
地域別										
南部地域	241	11.2	44.4	26.1	17.0	0.4	0.8	55.6	43.1	0.07
南西部地域	193	23.8	46.1	23.3	6.7	-	-	69.9	30.0	0.57
東部地域	347	14.4	41.8	26.8	16.7	-	0.3	56.2	43.5	0.10
さいたま地域	416	8.7	38.9	33.9	17.3	0.7	0.5	47.6	51.2	-0.12
県央地域	197	13.2	38.1	28.9	18.8	1.0	-	51.3	47.7	-0.02
川越比企地域	232	15.5	42.2	26.7	12.9	1.3	1.3	57.7	39.6	0.21
西部地域	224	6.7	34.8	33.0	24.6	0.4	0.4	41.5	57.6	-0.34
利根地域	209	11.0	44.0	25.8	17.2	1.9	-	55.0	43.0	0.06
北部地域	187	4.3	25.1	37.4	31.6	1.6	-	29.4	69.0	-0.67
秩父地域	25	-	32.0	48.0	20.0	-	-	32.0	68.0	-0.56
性別										
男性	1107	10.1	39.8	30.7	18.2	0.7	0.5	49.9	48.9	-0.07
女性	1164	13.3	39.5	28.4	17.6	0.8	0.3	52.8	46.0	0.03
年代別										
20歳代	240	15.4	43.3	27.9	12.1	1.3	-	58.7	40.0	0.22
30歳代	357	16.0	42.6	25.5	14.6	1.1	0.3	58.6	40.1	0.20
40歳代	381	13.4	39.6	28.1	18.4	0.3	0.3	53.0	46.5	0.02
50歳代	381	7.9	37.5	35.2	18.6	0.8	-	45.4	53.8	-0.19
60歳代	495	8.1	40.2	30.7	20.4	0.2	0.4	48.3	51.1	-0.15
70歳以上	417	12.5	36.5	28.8	19.9	1.2	1.2	49.0	48.7	-0.07

(10) 医院・病院が身近にあり、病気になっても心配がない

◇同意率 56.3%（個別評価21項目中6位）／不同意率 41.9%／平均点 0.11（21項目中6位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より2.5ポイント増加し、これまでで最も低かった前回から増加に転じている。不同意率は前回より2.4ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

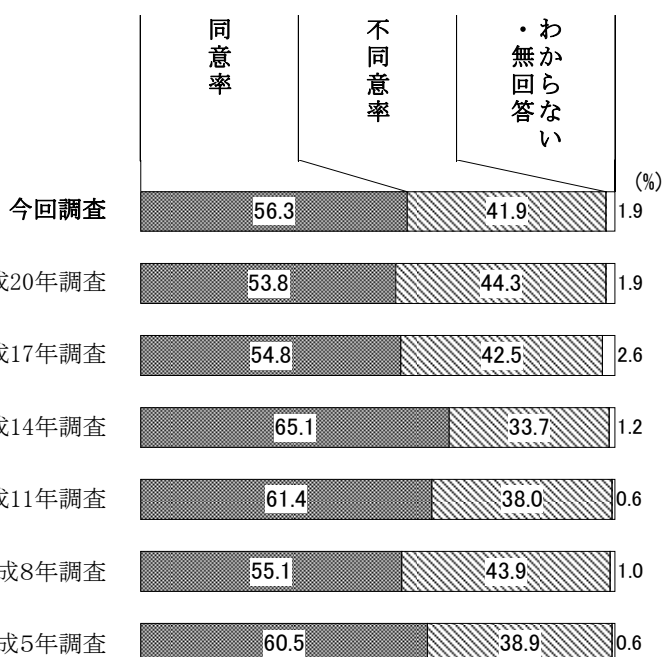
同意率は南西部地域（70.0%）で7割、不同意率は北部地域（55.6%）で5割半ばと、比較的高くなっている。平均点は南西部地域で0.48、川越比企地域で0.40と高く、北部地域で-0.29と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（68.8%）で7割弱、不同意率は50歳代（50.7%）で約5割となっている。平均点は20歳代で0.50と高く、50歳代で-0.10と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた たく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つた わく	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	9.1	47.2	29.0	12.9	1.5	0.4
地域別							
南部地域	241	8.3	47.7	30.7	11.6	1.7	-
南西部地域	193	16.6	53.4	20.7	8.8	0.5	-
東部地域	347	11.8	48.7	25.9	12.1	0.9	0.6
さいたま地域	416	6.7	43.0	35.3	13.9	1.0	-
県央地域	197	10.2	48.2	24.9	14.2	1.5	1.0
川越比企地域	232	12.9	51.3	23.7	6.9	3.4	1.7
西部地域	224	5.8	44.6	30.8	17.4	1.3	-
利根地域	209	7.7	49.8	30.6	9.1	2.9	-
北部地域	187	3.2	40.1	35.3	20.3	1.1	-
秩父地域	25	4.0	52.0	16.0	28.0	-	-
性別							
男性	1107	8.6	47.1	29.0	13.4	1.6	0.4
女性	1164	9.6	47.3	29.0	12.4	1.4	0.3
年代別							
20歳代	240	14.6	54.2	23.3	5.0	2.9	-
30歳代	357	10.9	52.9	24.1	9.8	2.0	0.3
40歳代	381	7.6	48.0	28.6	14.4	1.3	-
50歳代	381	6.3	41.7	36.5	14.2	1.3	-
60歳代	495	6.1	47.9	29.3	14.9	1.0	0.8
70歳以上	417	12.0	41.7	29.5	14.9	1.2	0.7

同意率	不同意率	平均点
56.3	41.9	0.11
56.0	42.3	0.10
70.0	29.5	0.48
60.5	38.0	0.22
49.7	49.2	-0.07
58.4	39.1	0.15
64.2	30.6	0.40
50.4	48.2	-0.09
57.5	39.7	0.16
43.3	55.6	-0.29
56.0	44.0	-0.12
55.7	42.4	0.09
56.9	41.4	0.13
68.8	28.3	0.50
63.8	33.9	0.31
55.6	43.0	0.06
48.0	50.7	-0.10
54.0	44.2	0.01
53.7	44.4	0.07

(11) 休日・夜間・急病時などの医療体制が整っている

◇同意率 37.1%（個別評価21項目中12位）／不同意率 53.7%／平均点 -0.29（21項目中13位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より4.3ポイント増加し、これまでで最も低かった前回から増加に転じている。不同意率は前回より2.0ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

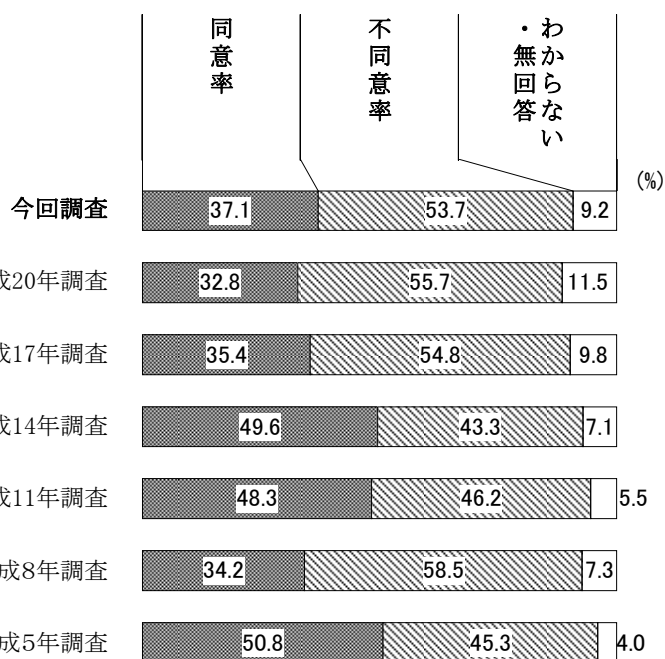
同意率は南西部地域（50.3%）で約5割、不同意率は秩父地域（76.0%）で7割半ばとなっている。平均点は南西部地域と川越比企地域で0.03と高く、秩父地域で-0.88と低くなっている。

②性別

同意率は男性（39.9%）が女性（34.4%）を5.5ポイント上回っている。平均点は男性が0.10高くなっている。

③年代別

同意率は30歳代（40.6%）で約4割と高くなっている。不同意率は50歳代（58.8%）で6割弱と高くなっている。平均点は50歳代で-0.40と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だくとく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いうつ 思た わく	いわ から な	無 回 答	同意 率	不同 意率	平均 点
全 体	2271	4.1	33.0	37.4	16.3	8.9	0.3	37.1	53.7	-0.29
地域別										
南部地域	241	4.6	27.8	39.0	17.4	11.2	-	32.4	56.4	-0.37
南西部地域	193	7.8	42.5	31.6	11.9	6.2	-	50.3	43.5	0.03
東部地域	347	5.5	36.6	35.2	14.4	7.8	0.6	42.1	49.6	-0.17
さいたま地域	416	3.1	30.0	42.1	16.8	7.9	-	33.1	58.9	-0.39
県央地域	197	3.0	31.5	39.6	15.7	9.6	0.5	34.5	55.3	-0.34
川越比企地域	232	3.9	42.7	32.3	7.8	12.1	1.3	46.6	40.1	0.03
西部地域	224	3.6	29.0	33.0	22.3	11.6	0.4	32.6	55.3	-0.42
利根地域	209	4.3	29.7	43.1	12.0	11.0	-	34.0	55.1	-0.29
北部地域	187	1.1	29.9	37.4	27.8	3.7	-	31.0	65.2	-0.61
秩父地域	25	4.0	16.0	40.0	36.0	4.0	-	20.0	76.0	-0.88
性別										
男性	1107	4.2	35.7	35.8	15.9	8.2	0.3	39.9	51.7	-0.24
女性	1164	4.0	30.4	38.9	16.7	9.6	0.3	34.4	55.6	-0.34
年代別										
20歳代	240	3.3	32.9	40.0	10.0	13.8	-	36.2	50.0	-0.20
30歳代	357	5.6	35.0	34.7	15.1	9.2	0.3	40.6	49.8	-0.19
40歳代	381	4.2	34.4	38.6	15.2	7.6	-	38.6	53.8	-0.26
50歳代	381	4.5	29.4	39.4	19.4	7.3	-	33.9	58.8	-0.40
60歳代	495	1.8	33.5	37.8	18.2	8.5	0.2	35.3	56.0	-0.37
70歳以上	417	5.5	32.6	34.8	16.8	9.1	1.2	38.1	51.6	-0.25

(12) 体の不自由な人、高齢者のための福祉施設サービスが整っている

◇同意率 25.7%（個別評価21項目中16位）／不同意率 52.2%／平均点 -0.38（21項目中15位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より7.3ポイント増加し、2割台に回復している。不同意率は前回より5.4ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

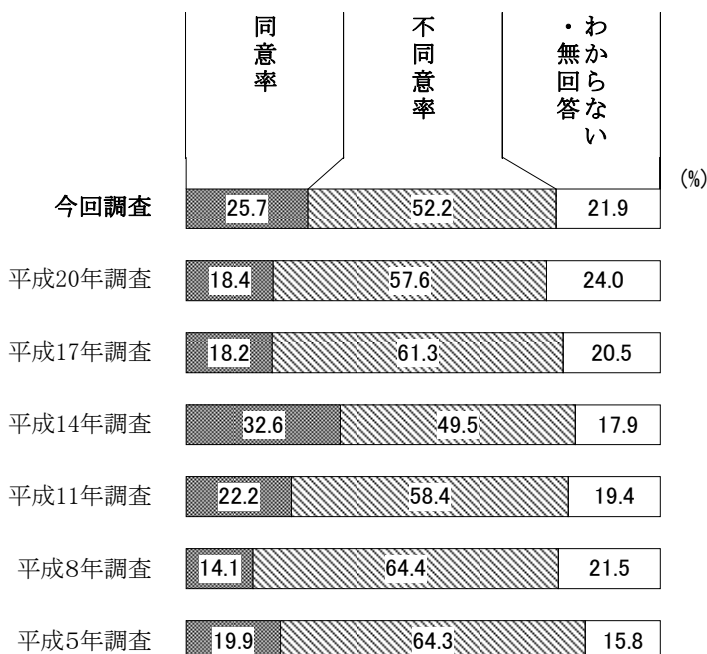
同意率は南西部地域（32.7%）が3割強、不同意率は北部地域（66.9%）と秩父地域（64.0%）で6割半ばと、比較的高くなっている。平均点は南西部地域で-0.20、川越比企地域で-0.18と高く、秩父地域で-0.72と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は70歳以上（31.9%）で3割強、不同意率は50歳代（59.0%）で約6割となっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう 思た わく	いわ から な	無 回 答	同意 率	不同 意率	平均 点
全 体	2271	2.0	23.7	39.2	13.0	21.5	0.4	25.7	52.2	-0.38
地域別										
南部地域	241	1.7	22.0	40.2	14.9	20.7	0.4	23.7	55.1	-0.45
南西部地域	193	2.1	30.6	38.3	8.3	20.7	-	32.7	46.6	-0.20
東部地域	347	2.0	27.1	36.6	12.4	21.0	0.9	29.1	49.0	-0.31
さいたま地域	416	2.6	26.7	38.2	13.0	19.5	-	29.3	51.2	-0.32
県央地域	197	1.5	22.3	40.6	12.2	22.8	0.5	23.8	52.8	-0.40
川越比企地域	232	2.2	26.7	36.2	6.5	26.7	1.7	28.9	42.7	-0.18
西部地域	224	0.9	17.4	39.7	16.5	25.0	0.4	18.3	56.2	-0.54
利根地域	209	2.4	21.1	39.7	13.4	23.4	-	23.5	53.1	-0.41
北部地域	187	2.7	15.5	47.1	19.8	15.0	-	18.2	66.9	-0.66
秩父地域	25	-	16.0	40.0	24.0	20.0	-	16.0	64.0	-0.72
性別										
男性	1107	1.9	23.5	41.0	12.8	20.6	0.2	25.4	53.8	-0.39
女性	1164	2.1	24.0	37.5	13.2	22.4	0.7	26.1	50.7	-0.36
年代別										
20歳代	240	3.3	22.1	37.5	7.5	29.6	-	25.4	45.0	-0.24
30歳代	357	0.8	19.6	37.8	10.6	30.8	0.3	20.4	48.4	-0.38
40歳代	381	1.3	23.9	42.5	11.0	20.7	0.5	25.2	53.5	-0.38
50歳代	381	1.6	21.5	43.0	16.0	17.8	-	23.1	59.0	-0.50
60歳代	495	1.6	25.5	37.4	15.2	20.2	0.2	27.1	52.6	-0.39
70歳以上	417	3.8	28.1	37.2	14.9	14.6	1.4	31.9	52.1	-0.32

(13) 生活必需品の価格が安定していて、生活しやすい

◇同意率 51.2%（個別評価21項目中8位）／不同意率 43.0%／平均点 0.03（21項目中8位）

【経年変化】

同意率はこれまでで最も低かった前回の平成20年を大きく上回り、5割台に回復している。不同意率は24.8ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

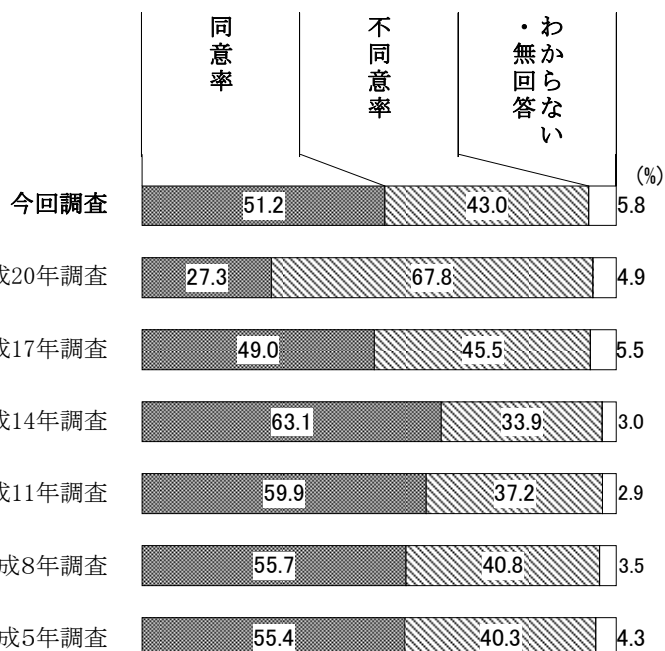
同意率は南西部地域（57.0%）で6割弱、不同意率は北部地域（59.3%）で約6割、秩父地域（56.0%）で5割半ばと、比較的高くなっている。平均点は南西部地域で0.21、川越比企地域で0.20と高く、北部地域で-0.35、秩父地域で-0.36と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（61.2%）と30歳代（60.5%）が約6割、不同意率は60歳代（52.5%）と70歳以上（51.1%）で5割強と、比較的高くなっている。平均点は20歳代で0.38と高く、60歳代で-0.20、70歳以上で-0.18と低くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた たく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つ思 たわ く	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	3.6	47.6	34.6	8.4	5.3	0.5

地域別

南部地域	241	4.1	45.6	37.8	7.5	4.1	0.8
南西部地域	193	4.7	52.3	34.7	3.1	4.7	0.5
東部地域	347	4.9	46.1	35.4	8.4	4.6	0.6
さいたま地域	416	3.1	51.9	34.4	6.5	3.8	0.2
県央地域	197	1.5	50.8	28.9	11.7	6.6	0.5
川越比企地域	232	4.7	51.7	29.3	6.0	6.5	1.7
西部地域	224	3.1	43.8	34.4	10.7	8.0	-
利根地域	209	5.3	47.4	30.1	10.0	6.7	0.5
北部地域	187	0.5	36.4	46.5	12.8	3.7	-
秩父地域	25	-	36.0	40.0	16.0	8.0	-

性別

男性	1107	3.4	47.2	34.1	9.2	5.4	0.5
女性	1164	3.8	47.9	35.1	7.6	5.2	0.5

年代別

20歳代	240	8.3	52.9	24.6	3.8	9.6	0.8
30歳代	357	5.0	55.5	29.7	3.6	5.9	0.3
40歳代	381	2.6	55.1	33.1	5.5	3.7	-
50歳代	381	2.1	49.6	35.2	9.2	3.9	-
60歳代	495	1.6	41.4	40.0	12.5	4.0	0.4
70歳以上	417	4.3	36.5	39.1	12.0	6.5	1.7

同意率	不同意率	平均点
51.2	43.0	0.03

49.7	45.3	0.01
57.0	37.8	0.21
51.0	43.8	0.04
55.0	40.9	0.11
52.3	40.6	0.02
56.4	35.3	0.20
46.9	45.1	-0.06
52.7	40.1	0.08
36.9	59.3	-0.35
36.0	56.0	-0.36

50.6	43.3	0.02
51.7	42.7	0.05

61.2	28.4	0.38
60.5	33.3	0.29
57.7	38.6	0.16
51.7	44.4	0.00
43.0	52.5	-0.20
40.8	51.1	-0.18

(14) 住まいの近くに学校・教育施設が整っている

◇同意率 65.6%（個別評価21項目中2位）／不同意率 27.9%／平均点 0.42（21項目中2位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より3.0ポイント増加し、6割半ばとなっている。不同意率は前回より3.1ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

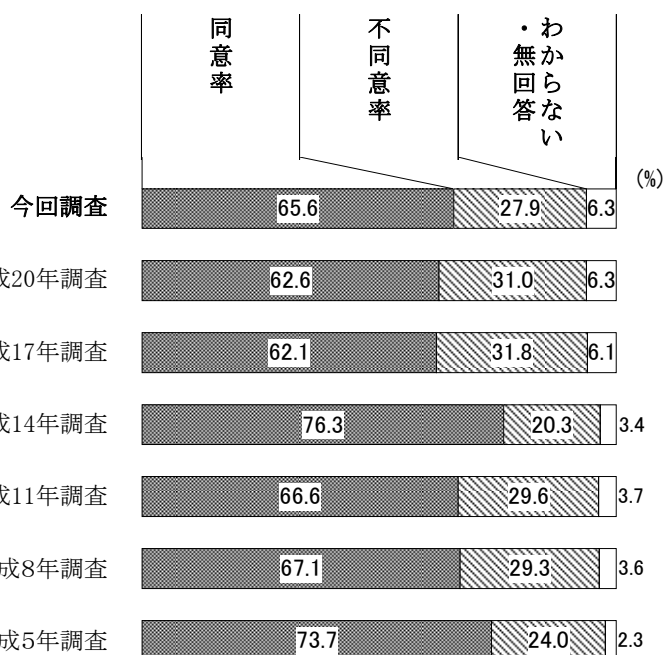
同意率は南西部地域（76.1%）で7割半ばと高く、不同意率は北部地域（39.5%）と秩父地域（40.0%）で4割前後と、比較的高くなっている。平均点は南西部地域で0.78と高く、秩父地域で0.08と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（77.1%）で8割弱と高くなっている。平均点は20歳代で0.77と比較的高く、60歳代で0.25と低い。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だたく	だま とあ 思そう	いうあ 思ま わりな	なそま いう 思た わく	いわ から な	無 回 答	同意 率	不同 意率	平均 点
全 体	2271	9.7	55.9	22.5	5.4	5.5	0.8	65.6	27.9	0.42
地域別										
南部地域	241	12.0	54.4	24.5	5.4	3.3	0.4	66.4	29.9	0.43
南西部地域	193	17.6	58.5	13.0	1.6	8.8	0.5	76.1	14.6	0.78
東部地域	347	11.2	58.8	15.9	6.9	5.5	1.7	70.0	22.8	0.52
さいたま地域	416	6.7	56.5	27.9	4.6	4.1	0.2	63.2	32.5	0.33
県央地域	197	6.1	59.9	22.3	6.1	5.6	-	66.0	28.4	0.38
川越比企地域	232	14.2	56.0	17.7	2.6	7.3	2.2	70.2	20.3	0.63
西部地域	224	4.5	50.0	31.7	7.1	6.3	0.4	54.5	38.8	0.13
利根地域	209	11.5	58.4	19.6	2.9	7.2	0.5	69.9	22.5	0.56
北部地域	187	5.9	49.2	28.3	11.2	3.7	1.6	55.1	39.5	0.10
秩父地域	25	4.0	52.0	28.0	12.0	4.0	-	56.0	40.0	0.08
性別										
男性	1107	10.1	55.6	22.1	6.8	4.6	0.7	65.7	28.9	0.40
女性	1164	9.4	56.2	22.9	4.1	6.4	0.9	65.6	27.0	0.44
年代別										
20歳代	240	18.8	58.3	15.0	2.1	5.4	0.4	77.1	17.1	0.77
30歳代	357	12.6	58.8	19.6	3.6	4.8	0.6	71.4	23.2	0.57
40歳代	381	8.1	62.5	21.3	3.7	4.5	-	70.6	25.0	0.50
50歳代	381	6.6	57.5	23.4	7.1	4.2	1.3	64.1	30.5	0.34
60歳代	495	6.9	52.3	26.7	7.3	5.9	1.0	59.2	34.0	0.25
70歳以上	417	9.8	48.9	24.9	6.7	8.2	1.4	58.7	31.6	0.31

(15) スポーツ・レクリエーション活動のための施設や機会が豊富にある

◇同意率 29.3%（個別評価21項目中15位）／不同意率 58.1%／平均点 -0.41（21項目中16位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年から2.4ポイント増加し、約3割となっている。不同意率は前回より1.6ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

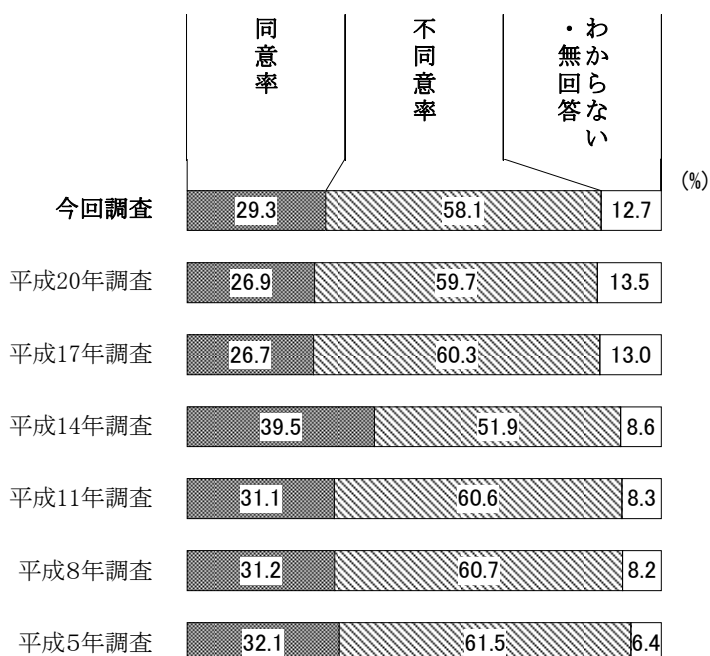
同意率は川越比企地域（34.1%）で3割半ばと比較的高く、不同意率は北部地域（67.4%）で7割弱となっている。平均点は川越比企地域で-0.18と高く、北部地域で-0.64、秩父地域で-0.60と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は70歳以上（33.1%）で3割強、不同意率は50歳代（62.7%）で6割強と比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううつ だたく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いうつ 思た わく	いわ から な	無 回 答	同 意 率	不 同 意 率	平 均 点
全 体	2271	2.5	26.8	43.0	15.1	12.3	0.4	29.3	58.1	-0.41
地域別										
南部地域	241	1.2	28.2	45.2	15.8	9.5	-	29.4	61.0	-0.46
南西部地域	193	5.2	24.9	46.1	13.0	10.9	-	30.1	59.1	-0.37
東部地域	347	3.7	29.1	40.9	15.6	9.8	0.9	32.8	56.5	-0.36
さいたま地域	416	1.9	32.0	42.5	13.9	9.6	-	33.9	56.4	-0.35
県央地域	197	0.5	25.4	40.1	17.8	15.7	0.5	25.9	57.9	-0.49
川越比企地域	232	3.9	30.2	43.5	6.0	14.7	1.7	34.1	49.5	-0.18
西部地域	224	1.3	22.3	40.2	18.3	17.9	-	23.6	58.5	-0.52
利根地域	209	2.4	23.4	44.0	15.8	14.4	-	25.8	59.8	-0.47
北部地域	187	2.7	18.7	46.5	20.9	11.2	-	21.4	67.4	-0.64
秩父地域	25	-	20.0	40.0	20.0	20.0	-	20.0	60.0	-0.60
性別										
男性	1107	2.3	26.2	43.5	17.9	10.0	0.2	28.5	61.4	-0.49
女性	1164	2.7	27.4	42.5	12.4	14.4	0.5	30.1	54.9	-0.35
年代別										
20歳代	240	2.9	22.5	41.7	14.2	18.8	-	25.4	55.9	-0.42
30歳代	357	2.8	21.3	44.0	15.4	16.2	0.3	24.1	59.4	-0.48
40歳代	381	1.6	29.9	43.3	15.2	10.0	-	31.5	58.5	-0.41
50歳代	381	1.0	28.1	47.5	15.2	7.9	0.3	29.1	62.7	-0.48
60歳代	495	2.2	28.1	41.8	17.2	10.3	0.4	30.3	59.0	-0.44
70歳以上	417	4.6	28.5	39.8	12.5	13.7	1.0	33.1	52.3	-0.27

(16) 一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている

◇同意率 14.4%（個別評価21項目中19位）／不同意率 71.6%／平均点 -0.84（21項目中21位）

【経年変化】

同意率、不同意率とも前回とほぼ同水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

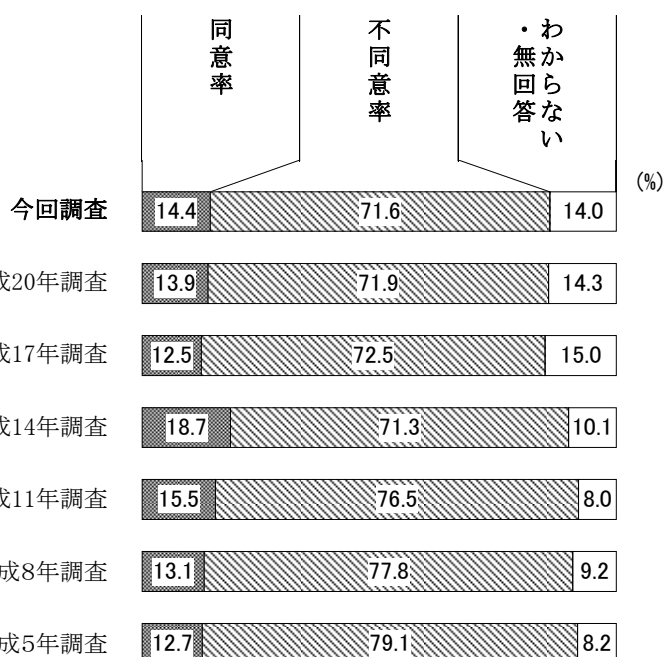
同意率は南部地域（21.6%）とさいたま地域（22.3%）で2割強、不同意率は北部地域（84.0%）で8割半ばと、比較的高くなっている。平均点は南部地域で-0.68と高く、北部地域で-1.15と低くなっている。

②性別

同意率は女性（16.2%）が男性（12.5%）を3.7ポイント上回り、不同意率は男性（74.0%）が女性（69.4%）より4.6ポイント高くなっている。平均点は女性が0.11高くなっている。

③年代別

同意率は70歳以上（19.4%）で高く、不同意率は50歳代（77.2%）で高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だたく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つ 思た わく	いわ か ら な	無 回 答	同意 率	不 同 意 率	平 均 点
全 体	2271	1.1	13.3	43.8	27.8	13.6	0.4	14.4	71.6	-0.84
地域別										
南部地域	241	2.9	18.7	38.2	27.0	13.3	-	21.6	65.2	-0.68
南西部地域	193	2.1	17.6	44.6	23.3	11.9	0.5	19.7	67.9	-0.70
東部地域	347	1.7	16.1	42.7	25.6	13.0	0.9	17.8	68.3	-0.75
さいたま地域	416	0.7	21.6	44.0	22.6	11.1	-	22.3	66.6	-0.66
県央地域	197	-	7.1	42.1	34.5	16.2	-	7.1	76.6	-1.04
川越比企地域	232	0.4	8.6	52.2	19.0	18.1	1.7	9.0	71.2	-0.82
西部地域	224	0.4	8.0	44.6	30.8	15.6	0.4	8.4	75.4	-0.98
利根地域	209	0.5	7.7	40.2	38.3	13.4	-	8.2	78.5	-1.08
北部地域	187	0.5	4.3	47.6	36.4	11.2	-	4.8	84.0	-1.15
秩父地域	25	-	8.0	36.0	40.0	16.0	-	8.0	76.0	-1.08
性別										
男性	1107	0.6	11.9	44.9	29.1	13.2	0.3	12.5	74.0	-0.90
女性	1164	1.5	14.7	42.8	26.6	13.9	0.5	16.2	69.4	-0.79
年代別										
20歳代	240	0.4	10.0	37.1	30.0	22.5	-	10.4	67.1	-0.86
30歳代	357	0.3	9.8	41.7	31.7	16.2	0.3	10.1	73.4	-0.95
40歳代	381	1.0	13.4	46.7	26.8	12.1	-	14.4	73.5	-0.85
50歳代	381	0.8	13.1	48.3	28.9	8.7	0.3	13.9	77.2	-0.92
60歳代	495	1.0	14.5	43.2	28.9	11.5	0.8	15.5	72.1	-0.85
70歳以上	417	2.4	17.0	43.4	22.1	14.4	0.7	19.4	65.5	-0.66

(17) 身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い

◇同意率 14.7%（個別評価21項目中18位）／不同意率 69.4%／平均点 -0.81（21項目中19位）

【経年変化】

同意率、不同意率とも前回とほぼ同水準となっている。

【属性別比較】

①地域別

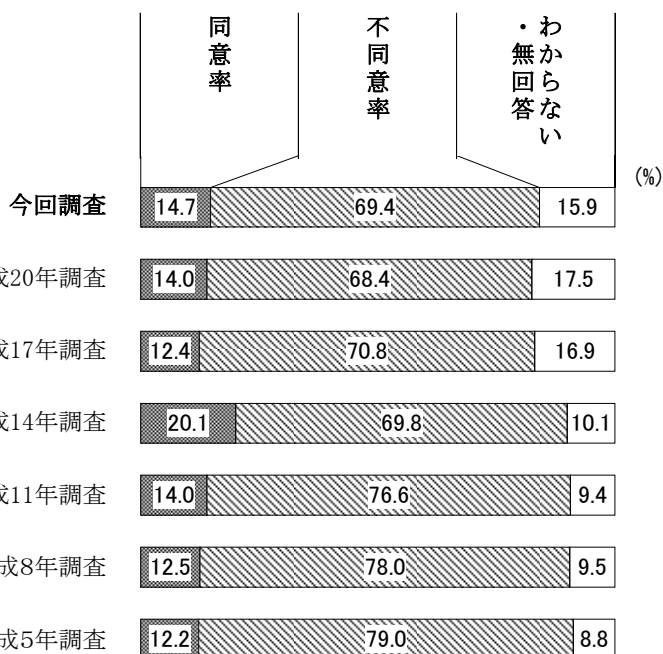
同意率は東部地域（20.1%）とさいたま地域（20.9%）で約2割、不同意率は北部地域（83.4%）で8割強と、比較的高くなっている。平均点はさいたま地域で-0.65、川越比企地域で-0.68と高く、下は北部地域で-1.15と低くなっている。

②性別

同意率は女性（17.1%）が男性（12.1%）を5.0ポイント上回り、不同意率は男性（73.5%）が女性（65.5%）よりも8.0ポイント上回っている。平均点は女性が男性を0.16上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（20.1%）で約2割、不同意率は50歳代（76.2%）で7割半ばと比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま うう つだ たと く	だま とあ 思そ う	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つ思 たわ く	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	1.2	13.5	42.4	27.0	15.5	0.4
地域別							
南部地域	241	2.1	16.6	39.4	26.1	15.4	0.4
南西部地域	193	3.1	15.0	44.0	24.4	13.5	-
東部地域	347	1.7	18.4	35.4	29.7	13.8	0.9
さいたま地域	416	1.2	19.7	44.2	21.6	13.2	-
県央地域	197	-	8.6	43.7	29.4	17.8	0.5
川越比企地域	232	0.9	11.6	47.8	15.9	22.0	1.7
西部地域	224	0.4	8.9	42.0	29.9	18.8	-
利根地域	209	-	10.0	40.7	34.9	14.4	-
北部地域	187	1.1	2.7	47.6	35.8	12.3	0.5
秩父地域	25	-	8.0	40.0	32.0	20.0	-
性別							
男性	1107	0.8	11.3	45.0	28.5	14.2	0.3
女性	1164	1.5	15.6	39.9	25.6	16.8	0.6
年代別							
20歳代	240	0.4	12.5	35.0	28.3	23.8	-
30歳代	357	0.6	9.8	38.1	32.2	19.0	0.3
40歳代	381	0.5	15.0	45.1	24.4	15.0	-
50歳代	381	0.8	10.8	46.5	29.7	12.1	0.3
60歳代	495	1.6	14.3	43.0	27.3	13.5	0.2
70歳以上	417	2.6	17.5	43.2	21.3	13.7	1.7

同意率	不同意率	平均点
14.7	69.4	-0.81
18.7	65.5	-0.71
18.1	68.4	-0.72
20.1	65.1	-0.74
20.9	65.8	-0.65
8.6	73.1	-0.94
12.5	63.7	-0.68
9.3	71.9	-0.92
10.0	75.6	-1.00
3.8	83.4	-1.15
8.0	72.0	-0.96
12.1	73.5	-0.89
17.1	65.5	-0.73
12.9	63.3	-0.78
10.4	70.3	-0.92
15.5	69.5	-0.78
11.6	76.2	-0.94
15.9	70.3	-0.80
20.1	64.5	-0.64

(18) 身近に良い職場があり、そこで働くことができる

◇同意率 16.3%（個別評価21項目中17位）／不同意率 64.3%／平均点 -0.75（21項目中17位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より 1.9ポイント増加している。不同意率は前回より 1.5ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

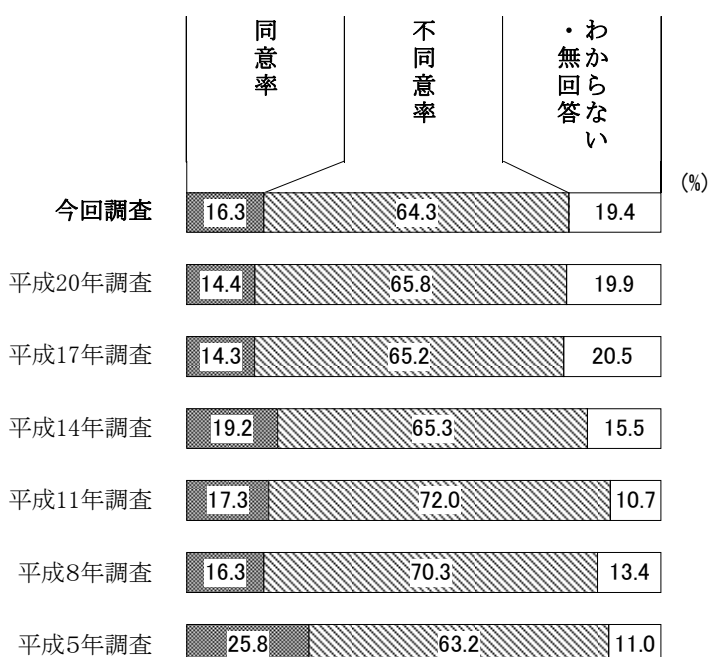
同意率はさいたま地域（22.6%）で2割強、不同意率は北部地域（75.4%）と秩父地域（76.0%）で7割半ばと、比較的高くなっている。平均点はさいたま地域で -0.57と高く、秩父地域で -1.20と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は40歳代（22.6%）で2割強、不同意率は50歳代（69.8%）で約7割と、比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま うつ だ た と く	だ ま と あ 思 そ う	い う あ 思 ま わ り な そ	な そ ま い う つ 思 た わ く	い わ か ら な	無 回 答	同 意 率	不 同 意 率	平 均 点
全 体	2271	1.5	14.8	36.9	27.4	18.3	1.1	16.3	64.3	-0.75
地域別										
南部地域	241	3.3	14.5	36.1	28.6	16.6	0.8	17.8	64.7	-0.73
南西部地域	193	1.6	14.5	46.6	19.7	17.1	0.5	16.1	66.3	-0.69
東部地域	347	2.9	16.1	37.8	23.6	17.6	2.0	19.0	61.4	-0.64
さいたま地域	416	1.0	21.6	41.3	19.5	15.6	1.0	22.6	60.8	-0.57
県央地域	197	1.0	11.7	36.5	27.4	22.8	0.5	12.7	63.9	-0.78
川越比企地域	232	1.7	13.8	32.3	23.7	26.7	1.7	15.5	56.0	-0.64
西部地域	224	0.9	10.7	33.0	37.9	16.1	1.3	11.6	70.9	-0.98
利根地域	209	1.0	13.4	33.0	31.6	20.1	1.0	14.4	64.6	-0.82
北部地域	187	-	10.2	32.6	42.8	13.9	0.5	10.2	75.4	-1.09
秩父地域	25	-	4.0	28.0	48.0	20.0	-	4.0	76.0	-1.20
性別										
男性	1107	1.5	14.3	37.7	29.5	16.3	0.7	15.8	67.2	-0.80
女性	1164	1.5	15.3	36.2	25.3	20.2	1.5	16.8	61.5	-0.69
年代別										
20歳代	240	1.3	17.1	33.3	27.9	20.0	0.4	18.4	61.2	-0.70
30歳代	357	3.1	15.7	35.3	29.1	16.5	0.3	18.8	64.4	-0.72
40歳代	381	1.3	21.3	38.3	26.5	12.3	0.3	22.6	64.8	-0.68
50歳代	381	1.3	17.6	43.3	26.5	11.0	0.3	18.9	69.8	-0.76
60歳代	495	1.2	12.1	38.6	29.3	17.6	1.2	13.3	67.9	-0.84
70歳以上	417	1.2	7.4	31.2	24.9	31.7	3.6	8.6	56.1	-0.74

(19) 仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている

◇同意率 10.4%（個別評価21項目中21位）／不同意率 63.8%／平均点 -0.81（21項目中19位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より2.9ポイント増加し、1割台に回復している。不同意率は前回より0.9ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

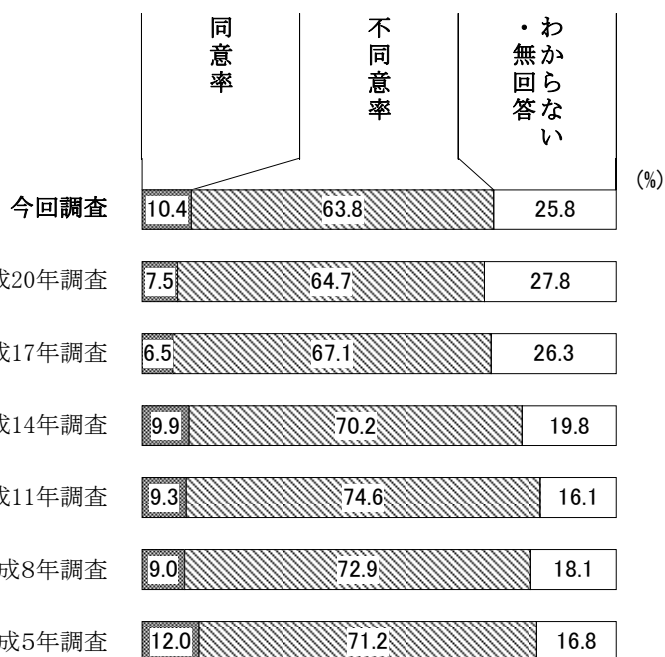
同意率はさいたま地域（17.5%）で2割弱、不同意率は北部地域（76.5%）で7割半ばと、比較的高くなっている。平均点は東部地域で-0.64、さいたま地域で-0.62と高く、北部地域と秩父地域で-1.16と低くなっている。

②性別

不同意率は男性（66.2%）が女性（61.5%）を4.7ポイント上回っている。

③年代別

同意率は40歳代（12.9%）で1割強となっている。不同意率は50歳代（72.9%）で7割強と比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だたく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つた わく	いわ から な	無 回 答	同 意 率	不 同 意 率	平 均 点
全 体	2271	0.4	10.0	36.4	27.4	25.1	0.7	10.4	63.8	-0.81
地域別										
南部地域	241	0.4	12.9	33.2	30.3	23.2	-	13.3	63.5	-0.80
南西部地域	193	1.0	9.8	42.5	23.3	23.3	-	10.8	65.8	-0.77
東部地域	347	0.6	15.6	38.0	20.7	23.6	1.4	16.2	58.7	-0.64
さいたま地域	416	-	17.5	39.4	20.2	22.6	0.2	17.5	59.6	-0.62
県央地域	197	-	5.6	35.0	29.4	29.9	-	5.6	64.4	-0.88
川越比企地域	232	0.9	6.5	35.3	21.6	34.1	1.7	7.4	56.9	-0.71
西部地域	224	0.4	4.5	34.4	35.3	24.1	1.3	4.9	69.7	-1.01
利根地域	209	-	4.8	34.9	33.5	26.3	0.5	4.8	68.4	-0.98
北部地域	187	-	2.1	35.3	41.2	20.9	0.5	2.1	76.5	-1.16
秩父地域	25	-	4.0	8.0	56.0	32.0	-	4.0	64.0	-1.16
性別										
男性	1107	0.3	9.9	37.0	29.2	23.1	0.5	10.2	66.2	-0.85
女性	1164	0.4	10.1	35.8	25.7	27.1	0.9	10.5	61.5	-0.77
年代別										
20歳代	240	0.4	10.0	33.3	23.3	32.9	-	10.4	56.6	-0.69
30歳代	357	-	10.6	36.1	25.2	27.7	0.3	10.6	61.3	-0.76
40歳代	381	-	12.9	37.3	28.1	21.5	0.3	12.9	65.4	-0.81
50歳代	381	0.3	10.0	43.0	29.9	16.8	-	10.3	72.9	-0.92
60歳代	495	0.4	8.7	38.2	30.5	21.6	0.6	9.1	68.7	-0.90
70歳以上	417	1.0	8.6	29.5	24.9	33.6	2.4	9.6	54.4	-0.71

(20) 地域単位でコミュニティ活動を行うための機会や場所がある

◇同意率 34.5%（個別評価21項目中14位）／不同意率 46.0%／平均点 -0.20（21項目中11位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より2.4ポイント増加した。不同意率は前回より0.3ポイント増加している。

【属性別比較】

①地域別

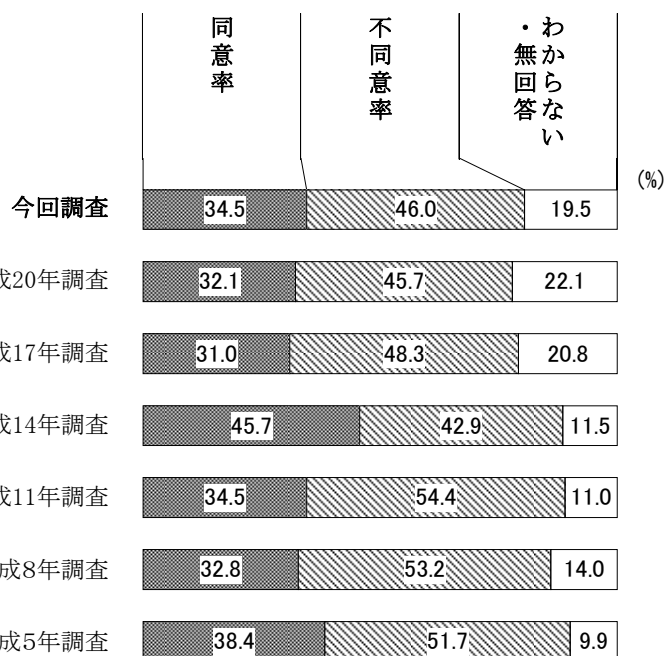
同意率は南西部地域（38.9%）とさいたま地域（38.0%）で4割弱、不同意率は北部地域（56.7%）で5割半ばと、比較的高くなっている。平均点は川越比企地域で-0.05と高く、下は北部地域で-0.42と低くなっている。

②性別

同意率は女性（37.1%）が男性（31.8%）を5.3ポイント上回り、不同意率は男性（48.1%）が女性（43.9%）より4.2ポイント高い。平均点は女性が0.16高くなっている。

③年代別

同意率は70歳以上（42.2%）で4割強、不同意率は50歳代（53.3%）が5割強と、比較的高くなっている。平均点は70歳以上で-0.04と比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううつ だたく	だま とあ 思そ う	いうあ 思ま わり なそ	なそま いうつ 思た わく	いわ から な	無 回 答
全 体	2271	2.3	32.2	34.7	11.3	19.1	0.4
地域別							
南部地域	241	4.6	31.5	35.7	14.5	13.7	-
南西部地域	193	3.1	35.8	31.1	11.4	18.7	-
東部地域	347	2.3	34.3	30.5	12.4	19.3	1.2
さいたま地域	416	1.2	36.8	35.8	8.7	17.5	-
県央地域	197	2.0	28.9	38.1	10.7	20.3	-
川越比企地域	232	3.4	31.9	29.7	6.9	26.7	1.3
西部地域	224	1.8	27.2	35.7	13.8	20.5	0.9
利根地域	209	1.9	33.0	34.4	12.0	18.7	-
北部地域	187	1.6	24.1	44.4	12.3	17.6	-
秩父地域	25	-	32.0	28.0	16.0	20.0	4.0
性別							
男性	1107	1.1	30.7	34.8	13.3	19.8	0.4
女性	1164	3.5	33.6	34.5	9.4	18.5	0.5
年代別							
20歳代	240	0.8	20.4	33.3	10.8	34.6	-
30歳代	357	1.4	28.9	32.5	10.4	26.3	0.6
40歳代	381	1.6	37.8	33.6	10.2	16.8	-
50歳代	381	1.6	30.7	42.0	11.3	14.2	0.3
60歳代	495	2.6	32.9	37.2	12.7	14.1	0.4
70歳以上	417	5.0	37.2	28.5	11.5	16.5	1.2

同意率	不同意率	平均点
34.5	46.0	-0.20
36.1	50.2	-0.24
38.9	42.5	-0.12
36.6	42.9	-0.17
38.0	44.5	-0.14
30.9	48.8	-0.26
35.3	36.6	-0.05
29.0	49.5	-0.33
34.9	46.4	-0.22
25.7	56.7	-0.42
32.0	44.0	-0.29
31.8	48.1	-0.29
37.1	43.9	-0.13
21.2	44.1	-0.33
30.3	42.9	-0.22
39.4	43.8	-0.13
32.3	53.3	-0.31
35.5	49.9	-0.25
42.2	40.0	-0.04

(21) 行政に住民の意思・要望が十分に生かされている

◇同意率 12.3%（個別評価21項目中20位）／不同意率 67.4%／平均点 -0.79（21項目中18位）

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より4.7ポイント増加し、これまでで最も低かった前回から増加に転じている。不同意率は前回より4.1ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

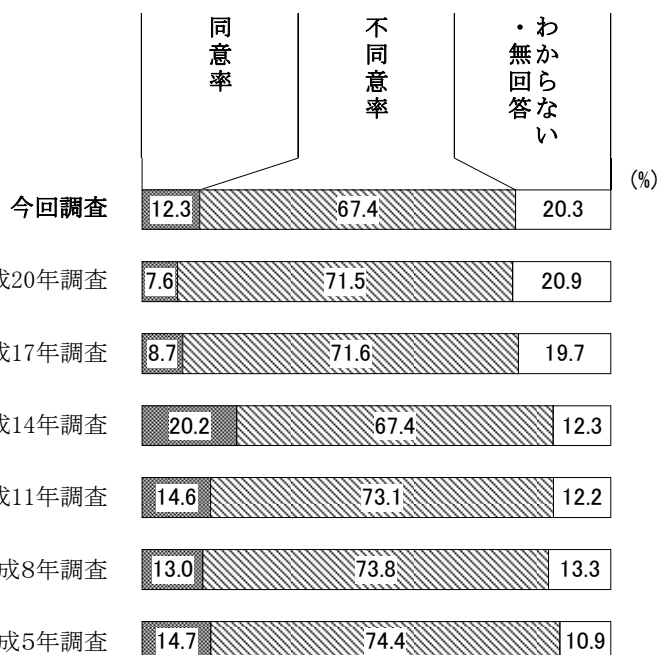
同意率は東部地域（15.3%）とさいたま地域（16.3%）で1割半ばと比較的高くなっている。不同意率は北部地域（81.3%）で8割強と比較的高くなっている。平均点は川越比企地域で-0.59と高く、秩父地域で-1.08と低くなっている。

②性別

同意率は男性（14.6%）が女性（10.2%）を4.4ポイント上回っている。

③年代別

同意率は70歳以上（19.7%）で約2割、不同意率は50歳代（77.7%）で8割弱と高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思えようだったとく	だまと思えよう	いうあ思えなり	なそまいう思えわく	いわからな	無回答	同意率	不同意率	平均点
全 体	2271	0.6	11.7	43.4	24.0	19.9	0.4	12.3	67.4	-0.79
地域別										
南部地域	241	0.8	9.1	41.9	29.5	18.7	-	9.9	71.4	-0.90
南西部地域	193	0.5	11.9	45.6	24.4	17.6	-	12.4	70.0	-0.81
東部地域	347	0.3	15.0	41.8	19.0	22.8	1.2	15.3	60.8	-0.65
さいたま地域	416	-	16.3	48.6	18.0	17.1	-	16.3	66.6	-0.68
県央地域	197	-	11.7	40.1	24.9	23.4	-	11.7	65.0	-0.78
川越比企地域	232	0.9	13.8	37.9	17.7	28.0	1.7	14.7	55.6	-0.59
西部地域	224	0.4	6.7	38.4	31.7	22.3	0.4	7.1	70.1	-0.95
利根地域	209	1.0	9.6	45.0	27.8	16.7	-	10.6	72.8	-0.89
北部地域	187	2.1	5.3	49.7	31.6	11.2	-	7.4	81.3	-1.03
秩父地域	25	-	4.0	40.0	36.0	20.0	-	4.0	76.0	-1.08
性別										
男性	1107	0.5	14.1	43.4	25.2	16.4	0.5	14.6	68.6	-0.79
女性	1164	0.7	9.5	43.5	22.9	23.1	0.3	10.2	66.4	-0.79
年代別										
20歳代	240	-	8.3	34.6	22.9	34.2	-	8.3	57.5	-0.72
30歳代	357	-	10.6	39.5	23.0	26.9	-	10.6	62.5	-0.75
40歳代	381	-	11.5	44.9	25.5	17.8	0.3	11.5	70.4	-0.84
50歳代	381	0.5	9.2	53.3	24.4	12.3	0.3	9.7	77.7	-0.92
60歳代	495	0.2	11.5	45.9	25.3	17.0	0.2	11.7	71.2	-0.85
70歳以上	417	2.4	17.3	38.6	22.5	17.7	1.4	19.7	61.1	-0.63

(22) 今住んでいるところは全体として住みよいところだと思う

◇同意率 70.0%／不同意率 27.1%／平均点 0.46

【経年変化】

同意率は前回の平成20年より1.8ポイントの増加で、7割台に回復している。不同意率は2.1ポイントの減少となっている。

【属性別比較】

①地域別

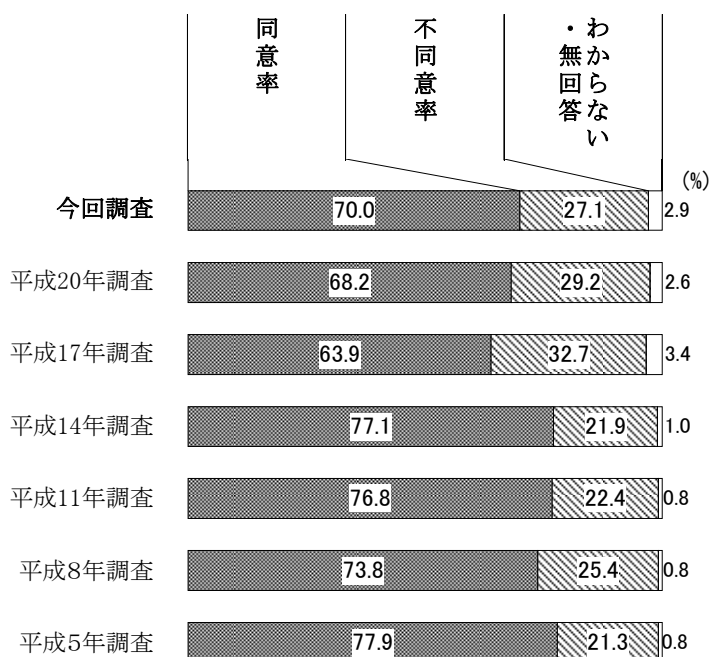
同意率は南西部地域（79.8%）で約8割、不同意率は北部地域（36.4%）と秩父地域（36.0%）で3割半ばと、比較的高くなっている。平均点は南西部地域で0.72と高く、北部地域で0.22と低くなっている。

②性別

性別で大きな差はない。

③年代別

同意率は20歳代（72.5%）と50歳代（71.1%）で7割強となっている。不同意率は60歳代（31.3%）で3割強と比較的高くなっている。



○地域別／性別／年代別

	調査数	思そま ううた だたく	だま とあ 思そ うう	いうあ 思ま わり なそ	なそま いう つ思 たわ	いわ から な	無 回 答	同意 率	不同 意率	平均 点
全 体	2271	8.0	62.0	22.4	4.7	2.7	0.2	70.0	27.1	0.46
地域別										
南部地域	241	7.5	63.9	23.2	4.1	1.2	-	71.4	27.3	0.47
南西部地域	193	12.4	67.4	16.1	2.1	2.1	-	79.8	18.2	0.72
東部地域	347	8.9	63.1	20.2	4.9	2.6	0.3	72.0	25.1	0.51
さいたま地域	416	5.5	63.7	24.3	3.4	3.1	-	69.2	27.7	0.44
県央地域	197	7.1	56.3	26.9	6.1	3.6	-	63.4	33.0	0.31
川越比企地域	232	13.8	60.3	18.5	0.9	4.7	1.7	74.1	19.4	0.69
西部地域	224	6.3	60.3	25.0	7.6	0.9	-	66.6	32.6	0.33
利根地域	209	5.3	66.0	19.1	5.3	4.3	-	71.3	24.4	0.47
北部地域	187	5.9	55.6	27.8	8.6	2.1	-	61.5	36.4	0.22
秩父地域	25	16.0	48.0	24.0	12.0	-	-	64.0	36.0	0.32
性別										
男性	1107	7.4	63.1	22.5	4.2	2.5	0.2	70.5	26.7	0.47
女性	1164	8.6	60.9	22.3	5.1	2.9	0.3	69.5	27.4	0.46
年代別										
20歳代	240	10.8	61.7	20.0	2.5	5.0	-	72.5	22.5	0.58
30歳代	357	8.7	62.2	23.0	3.9	2.2	-	70.9	26.9	0.49
40歳代	381	5.5	64.8	23.1	3.7	2.9	-	70.3	26.8	0.45
50歳代	381	3.9	67.2	20.2	6.3	2.4	-	71.1	26.5	0.42
60歳代	495	6.7	60.0	26.5	4.8	1.8	0.2	66.7	31.3	0.37
70歳以上	417	13.4	57.1	19.7	5.8	3.1	1.0	70.5	25.5	0.53

2 日常生活 (問5～問11)

○ 問5について

(1)と(2)は平成13年の「県民意識調査」における調査項目を県政世論調査で継続実施しているものです。県政世論調査では、平成14年度から毎年度実施しており、今回が10回目となります。

(1)－1は、平成21年度から実施しており、今回が3回目となります。(3)と(4)は、平成22年度から実施しており、今回が2回目となります。

* 県民意識調査

「彩の国5か年計画21」の策定に当たり、平成13年に埼玉県が実施した県民意識調査

○ 問6について

問6は平成14年度から毎年実施していますが、平成17年度調査で選択肢の見直しを行ったため、平成17年度以降の調査結果との比較を掲載しています。

問6－1は平成21年度県政世論調査における調査項目を継続実施したもので、今回が3回目となります。

○ 問7について

平成22年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が2回目となります。

○ 問8について

平成15年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が9回目となります。

○ 問9について

問9(1)と問9(1)－2は、平成18年度県政世論調査における課題調査項目を継続実施したもので、今回が6回目となります。

問9(1)－1は平成20年度から実施しており、今回が4回目となります。

○ 問10と問11について

平成21年度から実施しており、今回が3回目となります。

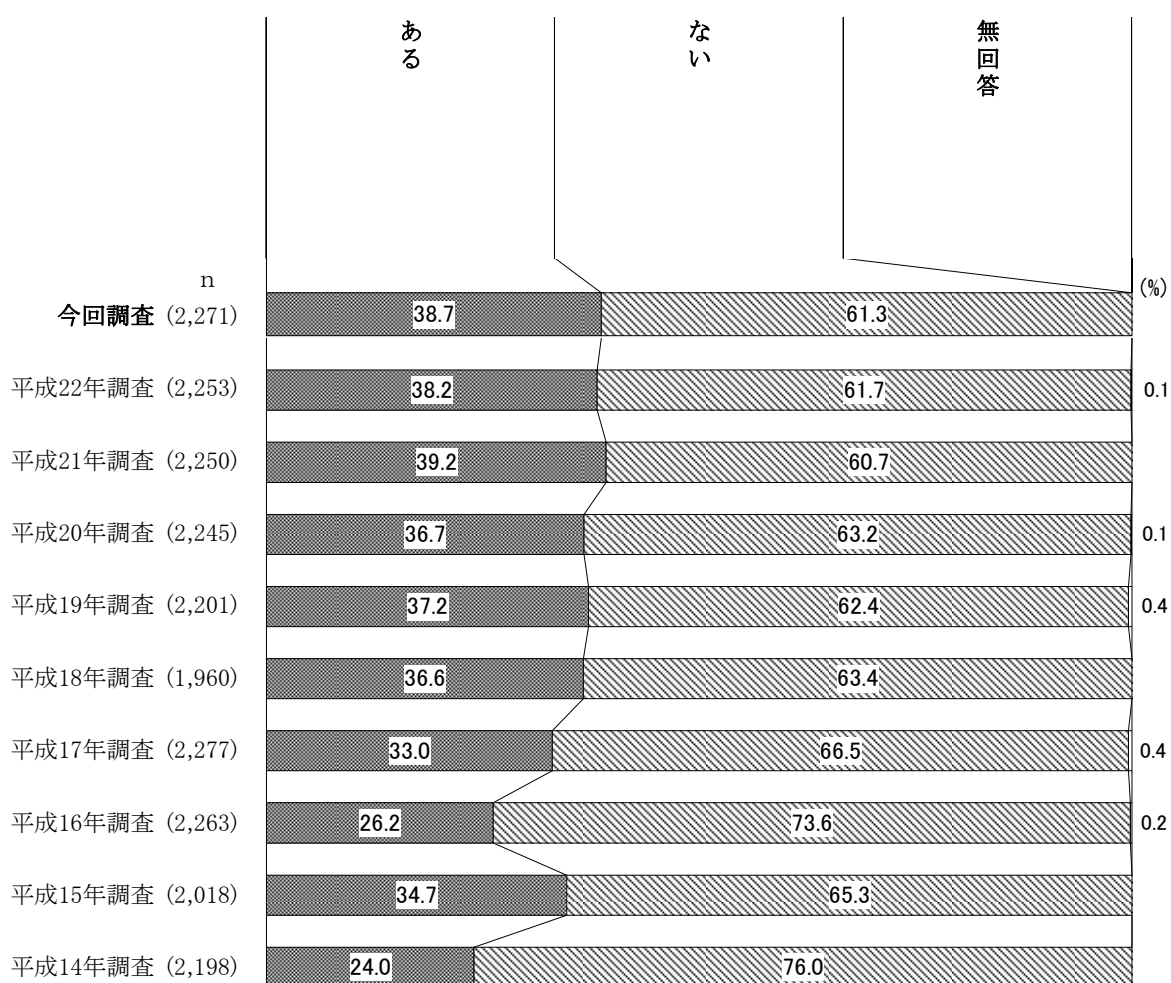
2 日常生活

(1) 地域社会活動への参加経験

◇参加経験が「ある」のは38.7%

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

(1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）やPTA活動、子ども会活動、学校応援団（読み聞かせボランティアなど）、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことがありますか。



過去1年間にボランティア活動や地域社会のための活動に参加したことが「ある」(38.7%)のは4割弱となっている。

【過去9年間との比較】

「ある」は前年よりも0.5ポイント増加し、過去2番目の割合となっている。

【属性別比較】

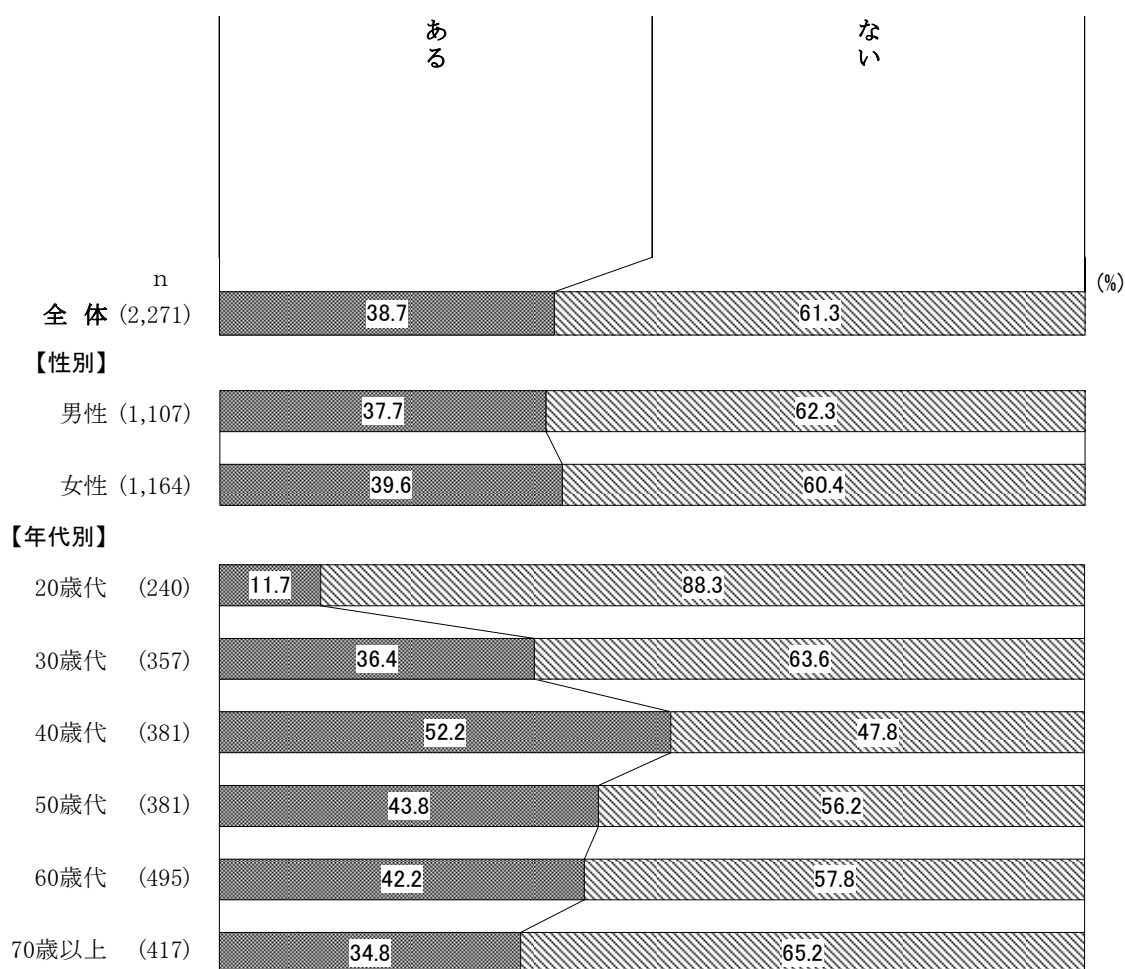
①性別

「ある」は女性（39.6％）が男性（37.7％）よりも1.9ポイント高くなっている。

②年代別

「ある」は20歳代（11.7％）で1割強と特に低く、40歳代から60歳代では4割を超えて高くなっている。

○地域社会活動への参加経験・性別／年代別



③地域別

「ある」は北部地域（43.3%）、さいたま地域（40.9%）、川越比企地域（40.5%）で4割を超え高くなっている。

④性・年代別

「ある」は男女とも20歳代では1割を少し上回る程度で低くなっている。また、30歳代から50歳代は女性の方が高く、60歳代以上では男性の方が高くなっている。

⑤職業別

「ある」は自営業・家族従業（計）（49.4%）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は独身期（9.2%）と家族形成期（24.9%）では低いが、家族成長前期（68.8%）では7割弱、家族成長後期（61.6%）では6割強と高くなっている。

○地域社会活動への参加経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

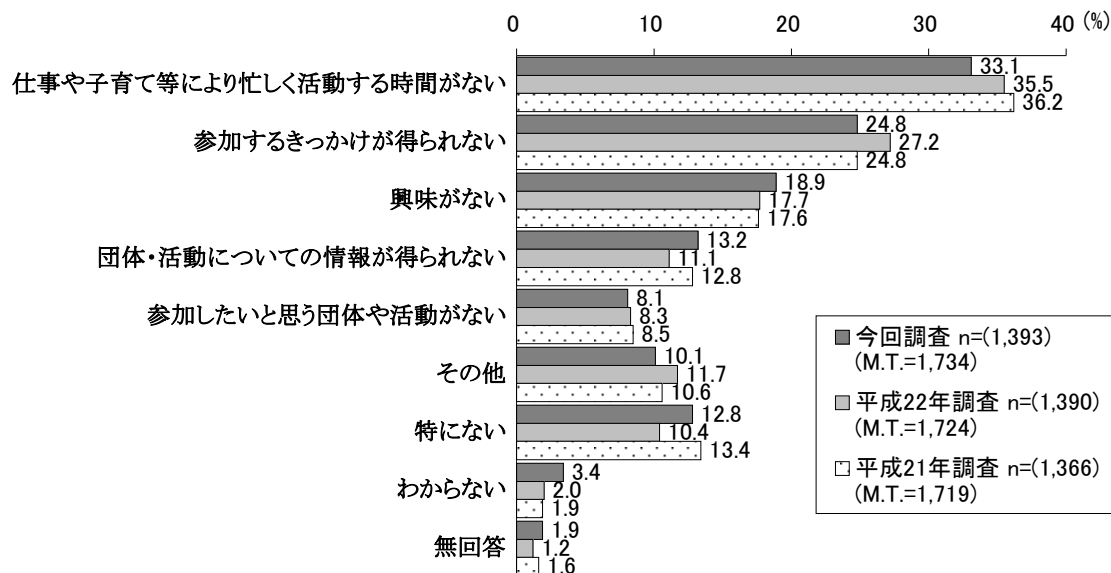
	調査数	ある	ない
全 体	2271	38.7	61.3
地域別			
南部地域	241	36.9	63.1
南西部地域	193	37.3	62.7
東部地域	347	37.5	62.5
さいたま地域	416	40.9	59.1
県央地域	197	35.5	64.5
川越比企地域	232	40.5	59.5
西部地域	224	36.2	63.8
利根地域	209	39.2	60.8
北部地域	187	43.3	56.7
秩父地域	25	36.0	64.0
性・年代別			
男性・20歳代	97	10.3	89.7
30歳代	193	26.4	73.6
40歳代	176	45.5	54.5
50歳代	191	42.9	57.1
60歳代	241	46.1	53.9
70歳以上	209	39.7	60.3
女性・20歳代	143	12.6	87.4
30歳代	164	48.2	51.8
40歳代	205	58.0	42.0
50歳代	190	44.7	55.3
60歳代	254	38.6	61.4
70歳以上	208	29.8	70.2
職業別			
自営業・家族従業（計）	239	49.4	50.6
雇用者（計）	1123	36.5	63.5
無職（計）	907	38.6	61.4
ライフステージ別			
独身期	295	9.2	90.8
家族形成期	185	24.9	75.1
家族成長前期	240	68.8	31.3
家族成長後期	198	61.6	38.4
家族成熟期	505	45.0	55.0
高齢期	575	37.0	63.0
その他	273	28.6	71.4

（１－１）地域社会活動への不参加の理由

◇「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が33.1%

（（１）で「ない」と答えた方に）

（１）－１ その理由は何ですか。次の中から２つまで選んでください。



地域社会活動への不参加の理由は、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」（33.1％）が3割強で最も高く、次いで「参加するきっかけが得られない」（24.8％）、「興味がない」（18.9％）、「団体・活動についての情報が得られない」（13.2％）、「参加したいと思う団体や活動がない」（8.1％）の順となっている。

【過去２年間との比較】

前年に比べて、「団体・活動についての情報が得られない」が2.1ポイント増加している。一方、「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」が2.4ポイント、「参加するきっかけが得られない」が2.4ポイント減少している。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」はさいたま地域（38.6%）で4割弱と最も高く、「参加するきっかけが得られない」は南西部地域（32.2%）で3割強と最も高くなっている。「興味がない」は北部地域（26.4%）で2割半ば、「団体・活動についての情報が得られない」は南西部地域（25.6%）で2割半ばと最も高くなっている。

②性別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性（35.0%）のほうが男性（31.2%）よりも3.8ポイント高くなっている。「団体・活動についての情報が得られない」は男性（14.9%）のほうが女性（11.5%）よりも3.4ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は30歳代（47.6%）が5割弱、40歳代（44.0%）が4割半ばと高く、「参加するきっかけがない」は20歳代（32.1%）が3割強と高くなっている。「興味がない」は20歳代（24.1%）で2割半ばと高くなっている。

④性・年代別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は女性30歳代（55.3%）で5割半ば、女性50歳代（48.6%）で5割弱と高く、「興味がない」は男性20歳代（27.6%）で3割弱と高くなっている。

⑤職業別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は無職（計）（14.7%）のみ1割半ばと低く、それ以外の職業では4割前後となっている。

⑥ライフステージ別

「仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない」は家族形成期（57.6%）と家族成長前期（58.7%）で6割弱と高く、「参加するきっかけが得られない」は独身期（31.3%）と家族成長後期（31.6%）で3割強と高くなっている。「興味がない」は独身期（25.7%）で2割半ばと特に高くなっている。

○地域社会活動への不参加の理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	忙しい仕事や活動する等により	参加するきっかけが得られない	興味がない	団体・活動に関する情報が得られない	参加したいと思う団体や活動がない	その他	特になし	わからない	無回答
全 体	1393	33.1	24.8	18.9	13.2	8.1	10.1	12.8	3.4	1.9
地域別										
南部地域	152	30.3	28.3	19.1	19.1	5.9	9.2	12.5	2.0	0.7
南西部地域	121	36.4	32.2	15.7	25.6	9.1	13.2	5.0	0.8	0.8
東部地域	217	36.9	29.0	18.9	12.0	7.8	9.2	12.4	1.8	0.5
さいたま地域	246	38.6	19.1	18.7	10.2	6.9	6.1	16.3	3.7	3.7
県央地域	127	27.6	26.0	16.5	11.0	8.7	15.7	11.8	6.3	0.8
川越比企地域	138	31.9	22.5	15.2	9.4	13.8	10.9	10.9	8.7	3.6
西部地域	143	27.3	21.0	19.6	9.8	7.0	12.6	18.9	0.7	2.8
利根地域	127	33.1	23.6	21.3	17.3	8.7	10.2	12.6	2.4	1.6
北部地域	106	29.2	26.4	26.4	9.4	6.6	5.7	11.3	4.7	1.9
秩父地域	16	31.3	12.5	18.8	-	6.3	18.8	12.5	12.5	-
性別										
男性	690	31.2	25.1	20.1	14.9	9.4	7.1	13.3	4.5	2.2
女性	703	35.0	24.6	17.6	11.5	6.8	12.9	12.4	2.4	1.6
年代別										
20歳代	212	38.2	32.1	24.1	15.6	7.1	2.8	11.3	1.4	0.9
30歳代	227	47.6	25.6	18.9	21.6	6.6	3.1	9.7	0.9	0.9
40歳代	182	44.0	22.0	18.7	11.0	9.3	8.2	8.8	3.3	2.2
50歳代	214	42.1	29.0	15.9	13.6	10.3	7.0	8.9	3.3	0.9
60歳代	286	25.9	24.5	17.5	13.3	8.0	11.2	16.4	4.2	1.0
70歳以上	272	10.3	17.6	18.8	5.5	7.7	23.9	18.8	6.6	4.8
性・年代別										
男性・20歳代	87	32.2	34.5	27.6	14.9	11.5	-	9.2	2.3	1.1
30歳代	142	43.0	26.1	21.1	22.5	7.0	1.4	13.4	1.4	0.7
40歳代	96	41.7	20.8	21.9	9.4	8.3	6.3	9.4	4.2	3.1
50歳代	109	35.8	27.5	18.3	17.4	13.8	8.3	7.3	3.7	1.8
60歳代	130	25.4	24.6	13.8	19.2	6.9	5.4	21.5	6.2	1.5
70歳以上	126	11.1	19.0	20.6	4.0	10.3	19.8	15.9	8.7	4.8
女性・20歳代	125	42.4	30.4	21.6	16.0	4.0	4.8	12.8	0.8	0.8
30歳代	85	55.3	24.7	15.3	20.0	5.9	5.9	3.5	-	1.2
40歳代	86	46.5	23.3	15.1	12.8	10.5	10.5	8.1	2.3	1.2
50歳代	105	48.6	30.5	13.3	9.5	6.7	5.7	10.5	2.9	-
60歳代	156	26.3	24.4	20.5	8.3	9.0	16.0	12.2	2.6	0.6
70歳以上	146	9.6	16.4	17.1	6.8	5.5	27.4	21.2	4.8	4.8
職業別										
自営業・家族従業（計）	121	39.7	15.7	16.5	10.7	7.4	7.4	15.7	7.4	1.7
雇用者（計）	713	46.3	27.1	18.1	16.1	7.6	3.9	8.4	2.4	1.1
無職（計）	557	14.7	24.1	20.3	10.1	9.0	18.5	17.8	3.9	2.9
ライフステージ別										
独身期	268	32.8	31.3	25.7	20.1	7.5	2.6	13.8	1.5	0.4
家族形成期	139	57.6	27.3	12.9	18.7	5.0	5.0	4.3	0.7	2.9
家族成長前期	75	58.7	14.7	17.3	9.3	6.7	4.0	6.7	1.3	1.3
家族成長後期	76	50.0	31.6	11.8	9.2	9.2	6.6	9.2	1.3	-
家族成熟期	278	37.1	21.6	17.6	13.3	8.6	7.9	12.9	6.1	1.8
高齢期	362	16.3	20.7	17.7	7.2	8.6	20.2	18.8	4.4	3.0
その他	195	25.1	27.7	21.0	13.8	9.7	11.8	10.3	4.1	2.1

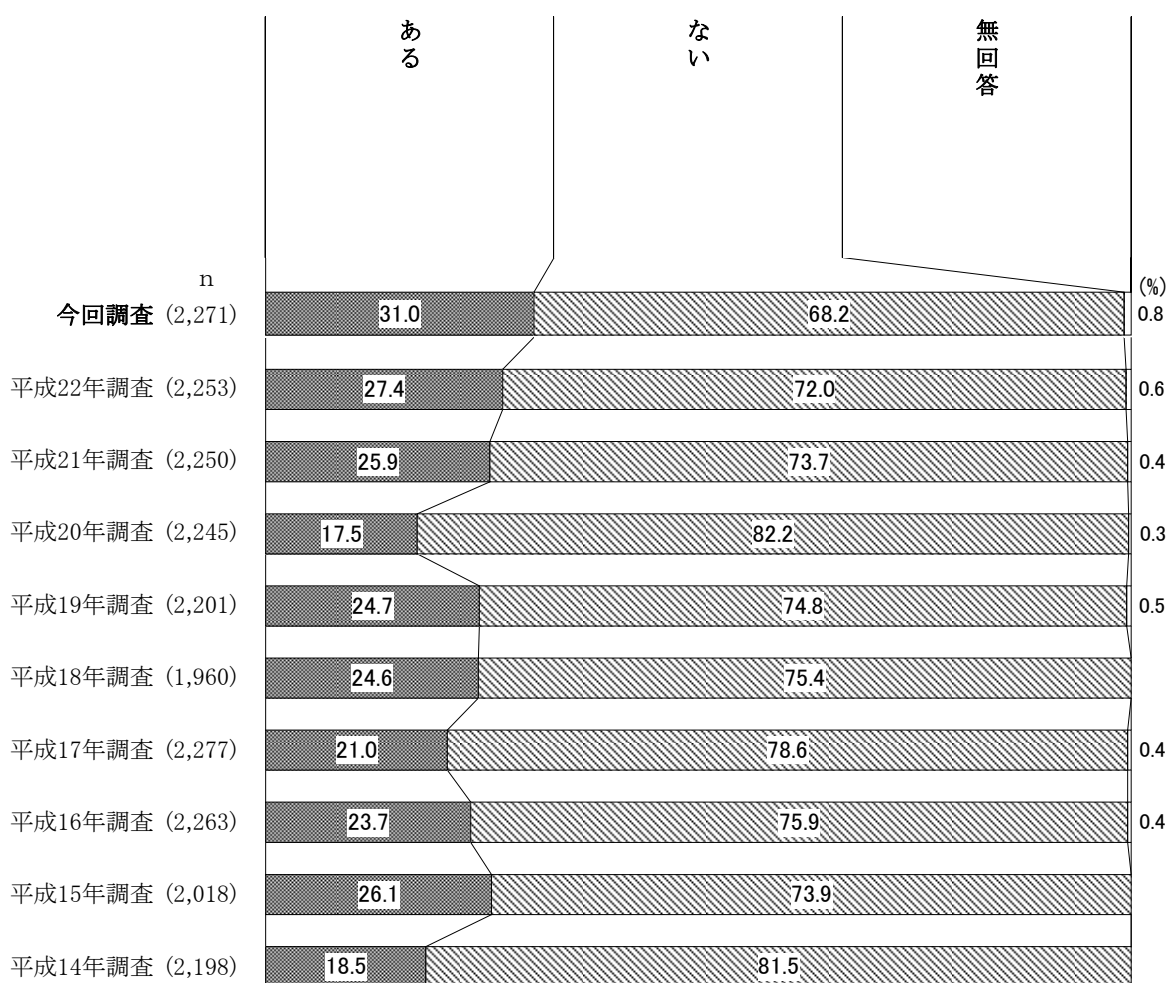
(2) 文化芸術活動の経験

◇「ある」は31.0%

(2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を行ったことがありますか。

※文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- ・音楽（クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など）
- ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- ・写真（ポートレート、風景、スナップ写真など）
- ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- ・生活文化（書道、華道、盆栽など）
- ・国民娯楽（囲碁、将棋など）
- ・舞踊（バレエ、ダンスなど）
- ・伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など）
- ・演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- ・演芸（落語、漫談、漫才など）
- ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス



※ 平成22年度までは、設問文を「現在、自主的な文化芸術活動を行っていますか」とし、選択肢を「行っている」と「行っていない」としていた。

この1年間に自主的な文化芸術活動を行ったことが「ある」(31.0%)は3割強となっている。

【過去9年間との比較】

「ある」は前年よりも3.6ポイント増加し、3割を超えて過去最高となっている。

【属性別比較】

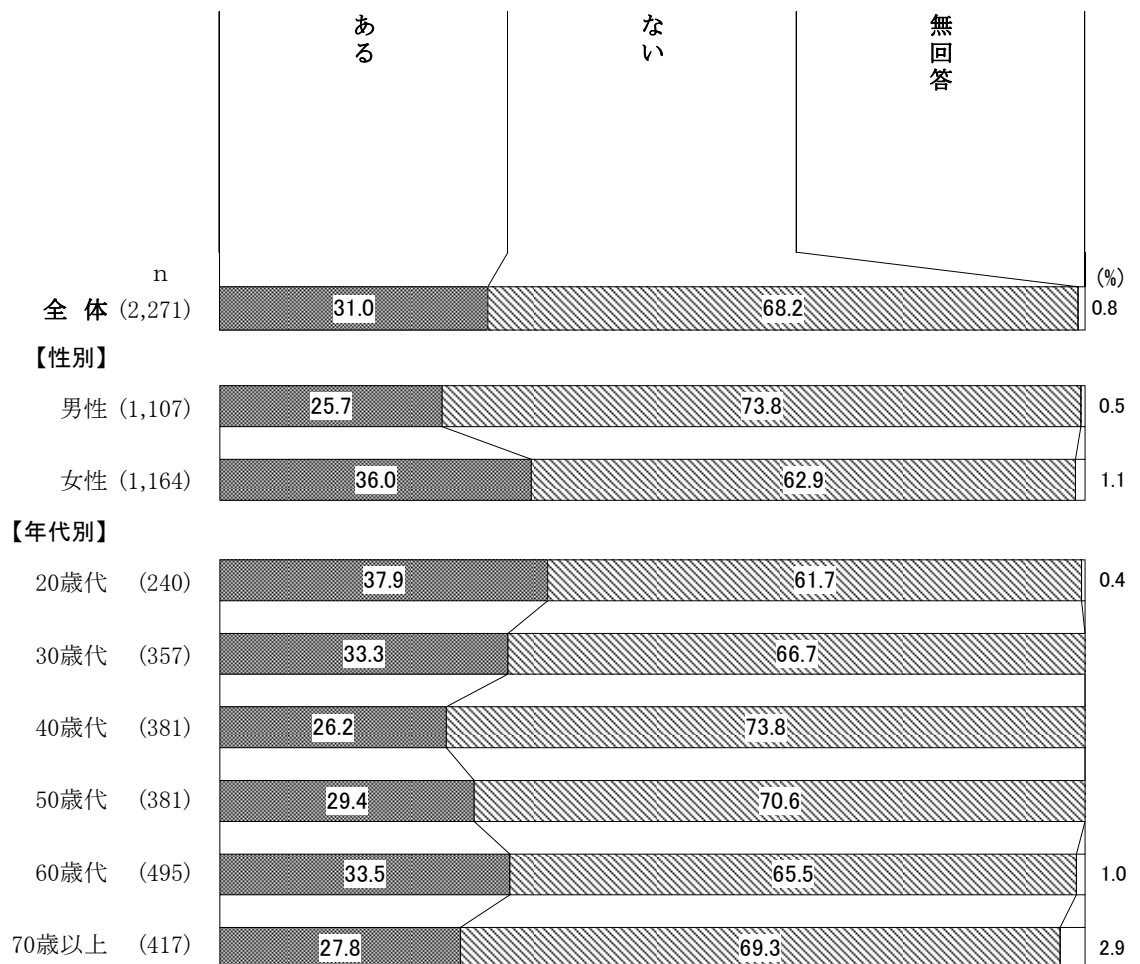
①性別

「ある」は女性（36.0%）が男性（25.7%）を10.3ポイント上回っている。

②年代別

「ある」は20歳代（37.9%）で4割弱と高く、40歳代（26.2%）で2割半ば、70歳以上（27.8%）で3割弱と低くなっている。

○文化芸術活動の経験・性別／年代別



③地域別

「ある」は県央地域（44.2%）で4割半ばと高く、北部地域（20.3%）と秩父地域（20.0%）では約2割と低くなっている。

④性・年代別

「ある」は女性ではすべての年代で3割を超えており、20歳代（39.2%）と60歳代（39.4%）では約4割と特に高くなっている。一方、男性は40歳代で2割弱と低く、最も高い20歳代（36.1%）で3割半ばとなっている。

⑤職業別

「ある」は無職（計）（32.5%）で3割強と高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は独身期（40.7%）で約4割と高くなっている。一方、家族形成期（26.5%）とその他（24.9%）で2割半ばと低くなっている。

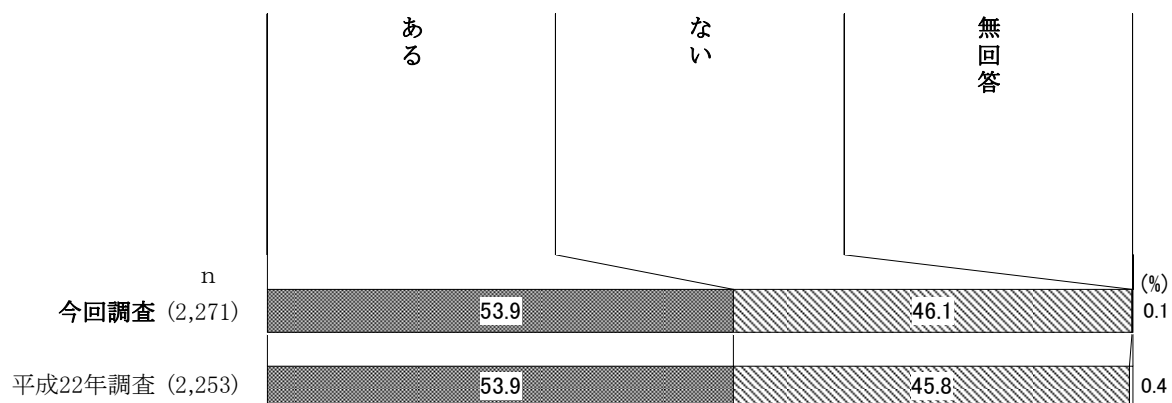
○文化芸術活動の経験・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	2271	31.0	68.2	0.8
地域別				
南部地域	241	35.3	64.7	-
南西部地域	193	39.4	60.6	-
東部地域	347	34.3	64.0	1.7
さいたま地域	416	28.8	70.7	0.5
県央地域	197	44.2	55.3	0.5
川越比企地域	232	26.7	72.0	1.3
西部地域	224	22.8	76.8	0.4
利根地域	209	29.2	70.3	0.5
北部地域	187	20.3	78.1	1.6
秩父地域	25	20.0	76.0	4.0
性・年代別				
男性・20歳代	97	36.1	63.9	-
30歳代	193	32.1	67.9	-
40歳代	176	18.2	81.8	-
50歳代	191	23.6	76.4	-
60歳代	241	27.4	72.2	0.4
70歳以上	209	21.5	76.6	1.9
女性・20歳代	143	39.2	60.1	0.7
30歳代	164	34.8	65.2	-
40歳代	205	33.2	66.8	-
50歳代	190	35.3	64.7	-
60歳代	254	39.4	59.1	1.6
70歳以上	208	34.1	62.0	3.8
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	29.3	69.9	0.8
雇用者（計）	1123	30.1	69.7	0.2
無職（計）	907	32.5	65.9	1.5
ライフステージ別				
独身期	295	40.7	59.0	0.3
家族形成期	185	26.5	73.5	-
家族成長前期	240	31.7	68.3	-
家族成長後期	198	28.3	71.2	0.5
家族成熟期	505	28.1	71.3	0.6
高齢期	575	33.6	64.5	1.9
その他	273	24.9	74.4	0.7

（３）文化芸術活動の鑑賞

◇「ある」は53.9%

（３）あなたは、この１年間に、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことがありますか。



この１年間で、文化芸術活動を鑑賞したことが「ある」（53.9%）は5割強となっている。

【前年（平成22年）調査との比較】

前年と比較して、変化はみられない。

【属性別比較】

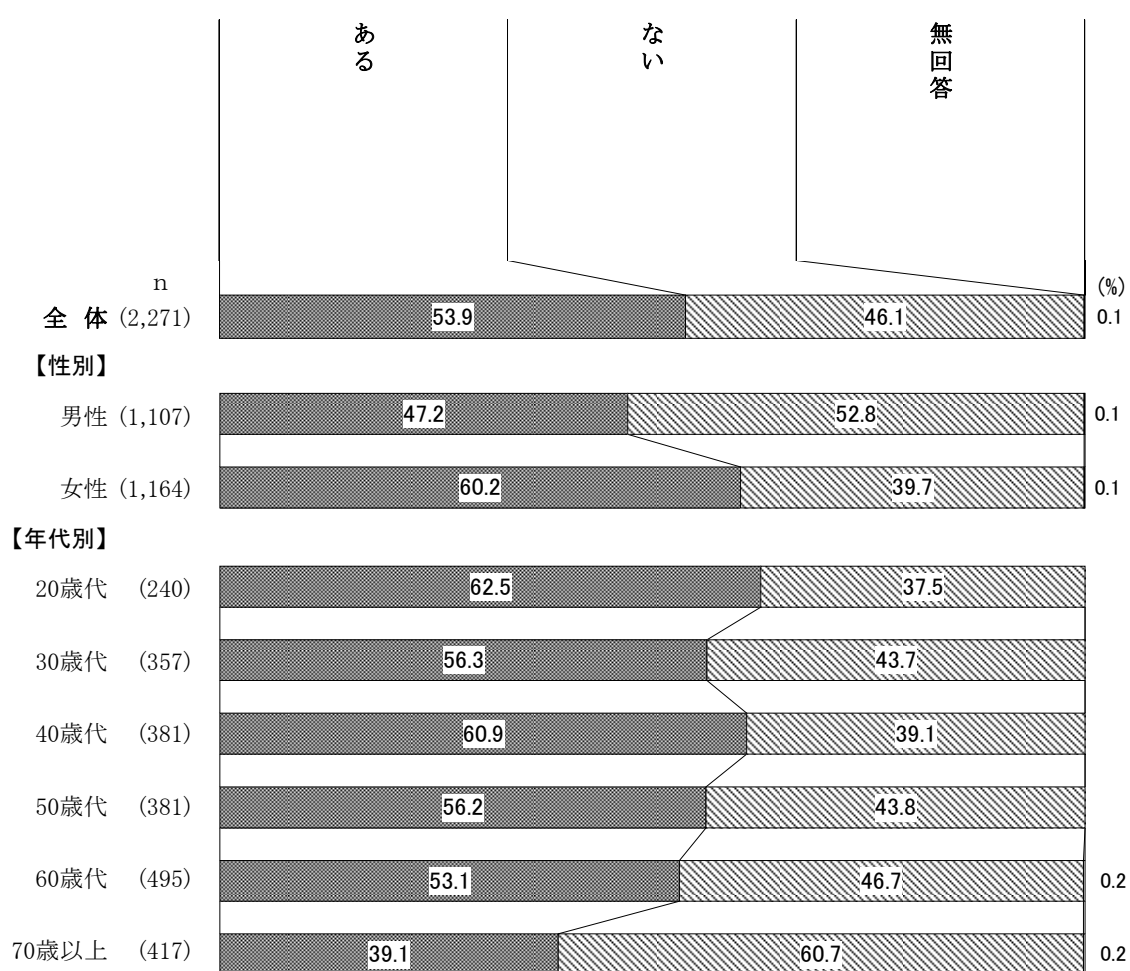
①性別

「ある」は女性（60.2%）が男性（47.2%）よりも13.0ポイント高くなっている。

②年代別

「ある」は70歳以上（39.1%）で約4割と低く、20歳代（62.5%）と40歳代（60.9%）は6割を超えて高くなっている。

○文化芸術活動の鑑賞・性別／年代別



③地域別

「ある」は南西部地域（64.8%）で高く、秩父地域（44.0%）では4割半ばと低くなっている。

④性・年代別

「ある」は男女とも70歳以上は低く、女性の20歳代から60歳代で高くなっている。

⑤職業別

「ある」は雇用者（計）（58.9%）で6割弱と高くなっている。

⑥ライフステージ別

「ある」は家族成長前期（65.0%）では6割半ば、独身期（63.4%）と家族成長後期（62.1%）では6割強と高く、高齢期（46.8%）で4割半ばと低くなっている。

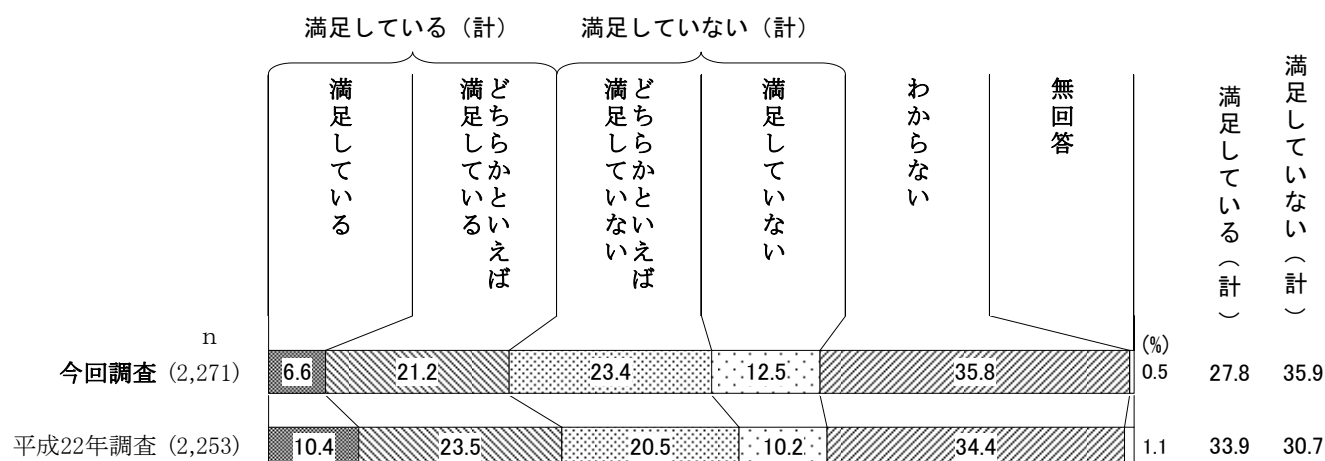
○文化芸術活動の鑑賞・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	2271	53.9	46.1	0.1
地域別				
南部地域	241	53.9	46.1	-
南西部地域	193	64.8	35.2	-
東部地域	347	54.8	45.2	-
さいたま地域	416	52.9	47.1	-
県央地域	197	54.8	45.2	-
川越比企地域	232	54.7	44.4	0.9
西部地域	224	48.2	51.8	-
利根地域	209	52.2	47.8	-
北部地域	187	50.8	49.2	-
秩父地域	25	44.0	56.0	-
性・年代別				
男性・20歳代	97	51.5	48.5	-
30歳代	193	53.4	46.6	-
40歳代	176	50.0	50.0	-
50歳代	191	51.3	48.7	-
60歳代	241	46.9	53.1	-
70歳以上	209	33.5	66.0	0.5
女性・20歳代	143	69.9	30.1	-
30歳代	164	59.8	40.2	-
40歳代	205	70.2	29.8	-
50歳代	190	61.1	38.9	-
60歳代	254	59.1	40.6	0.4
70歳以上	208	44.7	55.3	-
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	48.5	51.5	-
雇用者（計）	1123	58.9	41.1	-
無職（計）	907	48.8	50.9	0.2
ライフステージ別				
独身期	295	63.4	36.6	-
家族形成期	185	49.2	50.8	-
家族成長前期	240	65.0	35.0	-
家族成長後期	198	62.1	37.9	-
家族成熟期	505	52.9	47.1	-
高齢期	575	46.8	52.9	0.3
その他	273	47.6	52.4	-

（４）文化芸術活動の機会や環境の満足度

◇『満足している（計）』は27.8%、『満足していない（計）』は35.9%

（４）あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。



日常生活の中での文化芸術活動の機会や環境の満足度は、「どちらかといえば満足していない」（23.4%）が2割強と最も多くなっている。これに「満足していない」（12.5%）を合わせた『満足していない（計）』（35.9%）は、「満足している」（6.6%）と「どちらかといえば満足している」（21.2%）を合わせた『満足している（計）』（27.8%）を8.1ポイント上回っている。また、「わからない」（35.8%）が3割半ばとなっている。

【前年（平成22年）調査との比較】

前年に比べて、『満足していない（計）』が5.2ポイント増加している。一方、『満足している（計）』が6.1ポイント減少している。

【属性別比較】

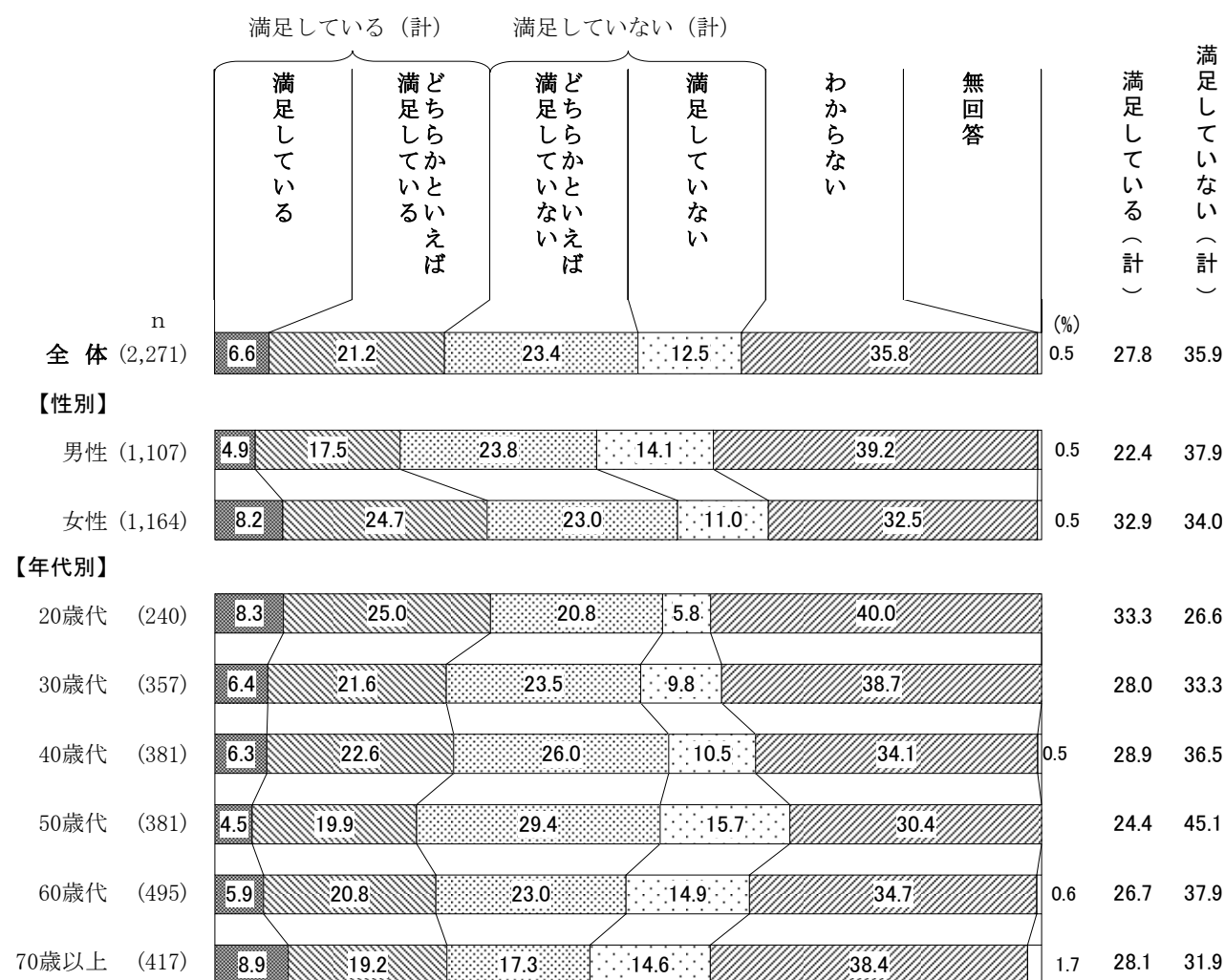
①性別

『満足している（計）』は女性（32.9％）が男性（22.4％）よりも10.5ポイント高くなっている。

②年代別

『満足している（計）』は20歳代（33.3％）で高く、『満足している（計）』が『満足していない（計）』を上回っている。20歳代を除いたすべての年代では『満足していない（計）』が『満足している（計）』を上回っており、特に50歳代では『満足していない（計）』（45.1％）が『満足している（計）』（24.4％）よりも20.7ポイント上回っている。

○文化芸術活動の機会や環境の満足度・性別／年代別



③地域別

『満足している（計）』は南西部地域（35.8%）で3割半ばと高くなっている。一方、『満足していない（計）』は利根地域（41.6%）で4割強と最も高くなっている。また、北部地域で『満足していない（計）』（39.1%）が『満足している（計）』（15.5%）よりも23.6ポイント高くなっている。

④性・年代別

『満足している（計）』は女性の20歳代（38.5%）、40歳代（35.2%）で高く、男性では50歳代（19.3%）で約2割と低くなっている。一方、『満足していない（計）』は男性の50歳代（46.6%）と60歳代（44.0%）で4割半ばと高くなっている。

⑤職業別

『満足していない（計）』は自営業・家族従業（計）（41.8%）でやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『満足している（計）』は独身期（36.7%）で3割半ばと高くなっている。一方、『満足していない（計）』は家族成長後期（39.9%）と家族成熟期（40.8%）で約4割と高くなっている。

○ 文化芸術活動の機会や環境の満足度・地域別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない	無回答	満足している（計）	満足していない（計）
全 体	2271	6.6	21.2	23.4	12.5	35.8	0.5	27.8	35.9
地域別									
南部地域	241	7.1	21.6	21.2	16.6	33.2	0.4	28.7	37.8
南西部地域	193	7.8	28.0	26.4	7.3	30.6	－	35.8	33.7
東部地域	347	6.1	23.6	23.3	11.8	34.6	0.6	29.7	35.1
さいたま地域	416	6.7	26.0	25.7	11.5	29.6	0.5	32.7	37.2
県央地域	197	11.2	17.3	20.8	11.2	39.1	0.5	28.5	32.0
川越比企地域	232	7.8	22.0	20.7	9.9	38.4	1.3	29.8	30.6
西部地域	224	5.8	15.6	21.0	14.7	42.4	0.4	21.4	35.7
利根地域	209	3.8	18.2	30.6	11.0	35.9	0.5	22.0	41.6
北部地域	187	3.2	12.3	19.8	19.3	44.9	0.5	15.5	39.1
秩父地域	25	8.0	20.0	16.0	16.0	40.0	－	28.0	32.0
性・年代別									
男性・20歳代	97	5.2	20.6	20.6	6.2	47.4	－	25.8	26.8
30歳代	193	4.7	18.7	22.3	10.4	44.0	－	23.4	32.7
40歳代	176	2.8	18.8	23.9	14.8	39.2	0.6	21.6	38.7
50歳代	191	3.1	16.2	29.8	16.8	34.0	－	19.3	46.6
60歳代	241	5.4	15.8	27.8	16.2	34.9	－	21.2	44.0
70歳以上	209	7.7	17.2	16.3	15.8	40.7	2.4	24.9	32.1
女性・20歳代	143	10.5	28.0	21.0	5.6	35.0	－	38.5	26.6
30歳代	164	8.5	25.0	25.0	9.1	32.3	－	33.5	34.1
40歳代	205	9.3	25.9	27.8	6.8	29.8	0.5	35.2	34.6
50歳代	190	5.8	23.7	28.9	14.7	26.8	－	29.5	43.6
60歳代	254	6.3	25.6	18.5	13.8	34.6	1.2	31.9	32.3
70歳以上	208	10.1	21.2	18.3	13.5	36.1	1.0	31.3	31.8
職業別									
自営業・家族従業（計）	239	7.5	12.6	23.8	18.0	37.7	0.4	20.1	41.8
雇用者（計）	1123	6.1	21.0	25.7	10.6	36.3	0.3	27.1	36.3
無職（計）	907	7.1	23.8	20.3	13.5	34.5	0.9	30.9	33.8
ライフステージ別									
独身期	295	9.2	27.5	20.0	6.8	36.6	－	36.7	26.8
家族形成期	185	2.7	18.4	25.9	11.9	41.1	－	21.1	37.8
家族成長前期	240	7.9	23.8	23.8	8.8	35.8	－	31.7	32.6
家族成長後期	198	8.1	20.7	31.8	8.1	31.3	－	28.8	39.9
家族成熟期	505	4.2	19.4	24.8	16.0	35.2	0.4	23.6	40.8
高齢期	575	8.5	20.5	18.6	13.9	37.2	1.2	29.0	32.5
その他	273	4.8	19.4	26.4	16.1	32.2	1.1	24.2	42.5

（５）スポーツをする機会

◇『週に１回以上（計）』は45.0%

問６ 埼玉県では、週に１回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去１年間に、運動やスポーツをする機会がどのくらいありましたか。ウォーキングや軽い体操、レクリエーション活動、スポーツ通勤なども含めます。



※ 平成21年調査までは「月に１～３回程度」

過去１年間のスポーツをする機会は、「ない」（30.2％）が約３割と最も高く、次いで「週に３回以上」（20.3％）、「週に１回程度」（14.4％）、「年に数回程度」（11.0％）の順となっている。また、『週に１回以上（計）』（「週に３回以上」（20.3％）、「週に２回程度」（10.3％）、「週に１回程度」（14.4％）の合計、45.0％）は４割半ばとなっている。

【過去６年間との比較】

『週に１回以上（計）』（45.0％）は前年から2.6ポイント減少したものの、前年（47.6％）に次いで２番目に高くなっている。

【属性別比較】

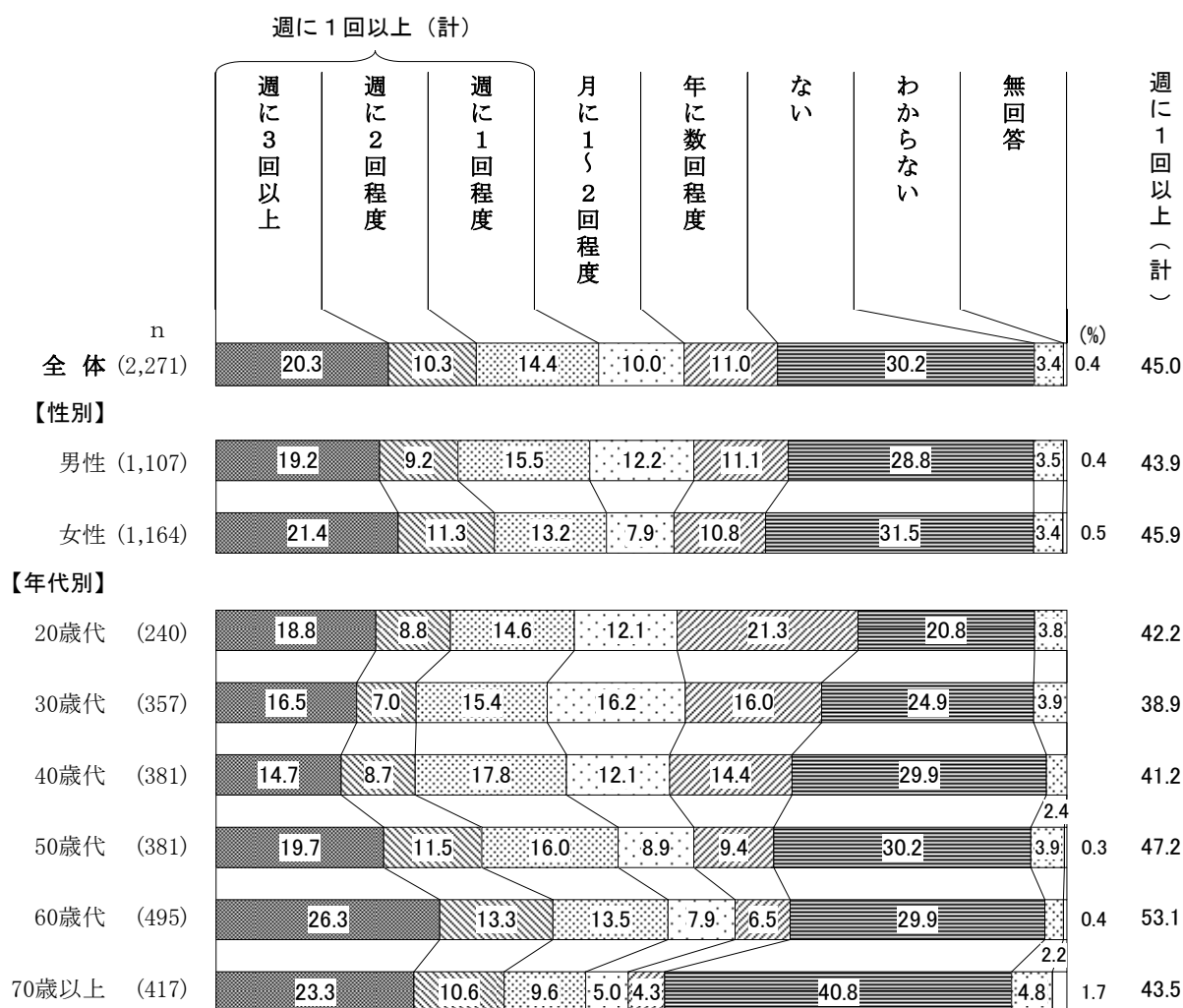
①性別

『週に1回以上（計）』は女性（45.9%）が男性（43.9%）よりも2.0ポイント高くなっている。

②年代別

『週に1回以上（計）』は60歳代（53.1%）で5割強と最も高く、30歳代（38.9%）で4割弱と低くなっている。「週に3回以上」は60歳代（26.3%）で2割半ばと高くなっている。一方、「ない」は70歳以上（40.8%）で約4割と高くなっている。

○スポーツをする機会・性別／年代別



③地域別

『週に1回以上（計）』は県央地域（55.3%）で5割半ばと高くなっている。

④性・年代別

『週に1回以上（計）』は女性60歳代（57.1%）で6割弱と最も高く、男性の60歳代（49.0%）、女性の50歳代（50.1%）で約5割と高い。一方、女性30歳代（35.4%）で3割半ばと低くなっている。「ない」は女性70歳以上（43.3%）で4割強と高くなっている。

⑤職業別

『週に1回以上（計）』は無職（計）（49.4%）で約5割と高くなっている。

⑥ライフステージ別

『週に1回以上（計）』は高齢期（50.6%）で約5割と高く、家族形成期（36.8%）で3割半ばと低くなっている。「週に3回以上」は家族成熟期（23.8%）と高齢期（26.1%）で2割を超えて高くなっている。

○スポーツをする機会・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

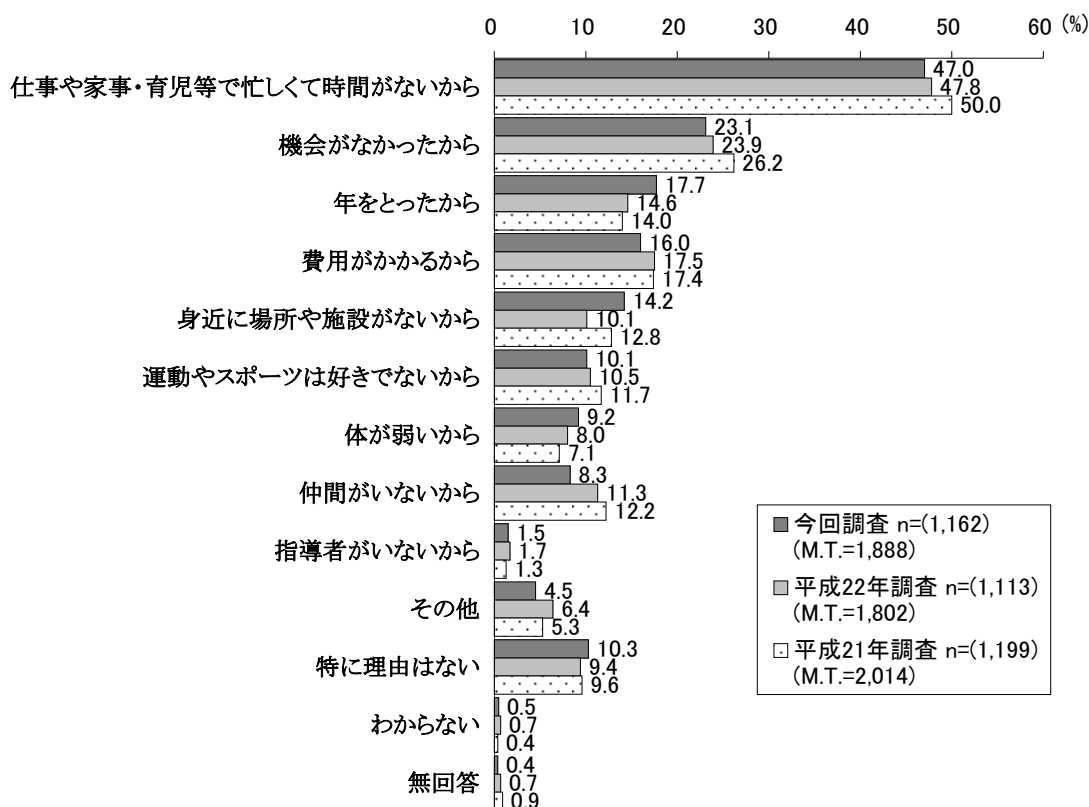
	調査数	週に3回以上	週に2回程度	週に1回程度	月に1～2回程度	年に数回程度	ない	わからない	無回答	週に1回以上（計）
全 体	2271	20.3	10.3	14.4	10.0	11.0	30.2	3.4	0.4	45.0
地域別										
南部地域	241	18.3	14.1	12.0	13.7	11.2	29.0	1.7	-	44.4
南西部地域	193	18.1	13.0	15.5	11.4	13.5	25.9	2.6	-	46.6
東部地域	347	22.5	7.5	13.5	8.4	13.8	30.3	3.7	0.3	43.5
さいたま地域	416	20.9	7.9	14.9	8.2	10.3	32.9	4.1	0.7	43.7
県央地域	197	28.4	11.2	15.7	8.1	10.2	23.9	2.0	0.5	55.3
川越比企地域	232	18.5	13.8	12.1	10.3	12.1	29.7	3.0	0.4	44.4
西部地域	224	19.6	7.1	18.3	8.9	7.6	34.4	3.1	0.9	45.0
利根地域	209	18.7	10.5	12.0	13.4	11.0	30.1	3.8	0.5	41.2
北部地域	187	16.6	10.7	15.5	10.7	9.1	32.1	4.8	0.5	42.8
秩父地域	25	20.0	12.0	16.0	4.0	-	32.0	16.0	-	48.0
性・年代別										
男性・20歳代	97	18.6	11.3	17.5	13.4	19.6	16.5	3.1	-	47.4
30歳代	193	16.1	8.3	17.6	19.2	13.5	20.2	5.2	-	42.0
40歳代	176	12.5	6.3	18.8	10.8	14.2	34.7	2.8	-	37.6
50歳代	191	15.7	9.9	18.8	13.1	12.0	26.7	3.7	-	44.4
60歳代	241	24.5	10.8	13.7	11.2	7.5	29.9	2.1	0.4	49.0
70歳以上	209	25.4	9.1	9.1	6.7	5.7	38.3	4.3	1.4	43.6
女性・20歳代	143	18.9	7.0	12.6	11.2	22.4	23.8	4.2	-	38.5
30歳代	164	17.1	5.5	12.8	12.8	18.9	30.5	2.4	-	35.4
40歳代	205	16.6	10.7	17.1	13.2	14.6	25.9	2.0	-	44.4
50歳代	190	23.7	13.2	13.2	4.7	6.8	33.7	4.2	0.5	50.1
60歳代	254	28.0	15.7	13.4	4.7	5.5	29.9	2.4	0.4	57.1
70歳以上	208	21.2	12.0	10.1	3.4	2.9	43.3	5.3	1.9	43.3
職業別										
自営業・家族従業（計）	239	23.8	6.3	11.3	10.0	12.1	32.2	2.9	1.3	41.4
雇用者（計）	1123	16.4	9.5	16.2	12.2	14.1	28.0	3.5	0.2	42.1
無職（計）	907	24.4	12.2	12.8	7.3	6.8	32.5	3.4	0.6	49.4
ライフステージ別										
独身期	295	16.9	9.8	16.6	12.5	17.3	22.0	4.7	-	43.3
家族形成期	185	21.1	4.3	11.4	16.2	18.4	24.3	4.3	-	36.8
家族成長前期	240	13.8	9.2	17.1	14.6	18.8	25.4	1.3	-	40.1
家族成長後期	198	15.7	10.1	18.7	13.1	12.1	28.3	2.0	-	44.5
家族成熟期	505	23.8	10.5	13.1	8.9	7.5	30.9	4.4	1.0	47.4
高齢期	575	26.1	12.7	11.8	6.4	5.0	34.1	3.1	0.7	50.6
その他	273	14.3	10.3	16.1	6.2	10.3	39.2	3.3	0.4	40.7

（５－１）スポーツをする機会がなかった理由

◇「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」が47.0%

（問６で「月に１～２回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に）

問６－１ 週に１回以上運動やスポーツをする機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



週に１回以上スポーツをする機会がなかった理由は、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」（47.0%）が５割弱で最も高く、次いで「機会がなかったから」（23.1%）、「年をとったから」（17.7%）、「費用がかかるから」（16.0%）、「身近に場所や施設がないから」（14.2%）、「運動やスポーツは好きでないから」（10.1%）の順となっている。

【過去２年間との比較】

「年をとったから」（3.1ポイント増）、「体が弱いから」（1.2ポイント増）などが増加傾向にある。一方、「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」、「機会がなかったから」、「運動やスポーツは好きでないから」、「仲間がいないから」は減少傾向にある。

【属性別比較】

①地域別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は南西部地域（53.1%）、さいたま地域（50.9%）、利根地域（54.4%）で高くなっている。「機会がなかったから」、「費用がかかるから」、「身近に場所や施設がないから」は南西部地域（23.5%）で最も高くなっている。「年をとったから」は西部地域（23.7%）で2割強と高くなっている。

②性別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性（51.3%）のほうが男性（42.6%）よりも8.7ポイント、「体が弱いから」は女性（11.5%）のほうが男性（6.9%）よりも4.6ポイント、「仲間がいないから」は男性（10.1%）のほうが女性（6.7%）よりも3.4ポイント高くなっている。

③年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」と「費用がかかるから」は20歳代から40歳代で高くなっている。「機会がなかったから」は20歳代（28.5%）と30歳代（28.4%）で3割弱と高くなっている。「年をとったから」は70歳以上（55.5%）で5割半ばと高くなっている。

④性・年代別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は女性30歳代（78.4%）で8割弱と高く、「機会がなかったから」は女性30歳代（33.3%）で3割強と高くなっている。「費用がかかるから」は女性30歳代（30.4%）で約3割と高く、「身近に場所や施設がないから」は男性20歳代（29.2%）で約3割と高くなっている。「体が弱いから」は女性70歳以上（35.9%）で3割半ばと高くなっている。

⑤職業別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は雇用者（計）（63.9%）で6割強と高く、無職（計）（22.0%）で2割強と低くなっている。「費用がかかるから」と「身近に場所や施設がないから」も雇用者（計）で高い。「年をとったから」は無職（計）（31.4%）で3割強と高くなっている。「体が弱いから」は無職（計）（19.4%）で約2割と高くなっている。

⑥ライフステージ別

「仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから」は家族形成期（82.6%）と家族成長前期（70.2%）で高く、高齢期（19.5%）で低くなっている。「年をとったから」は家族成長前期以降、ステージが進むほど割合が高くなっている。

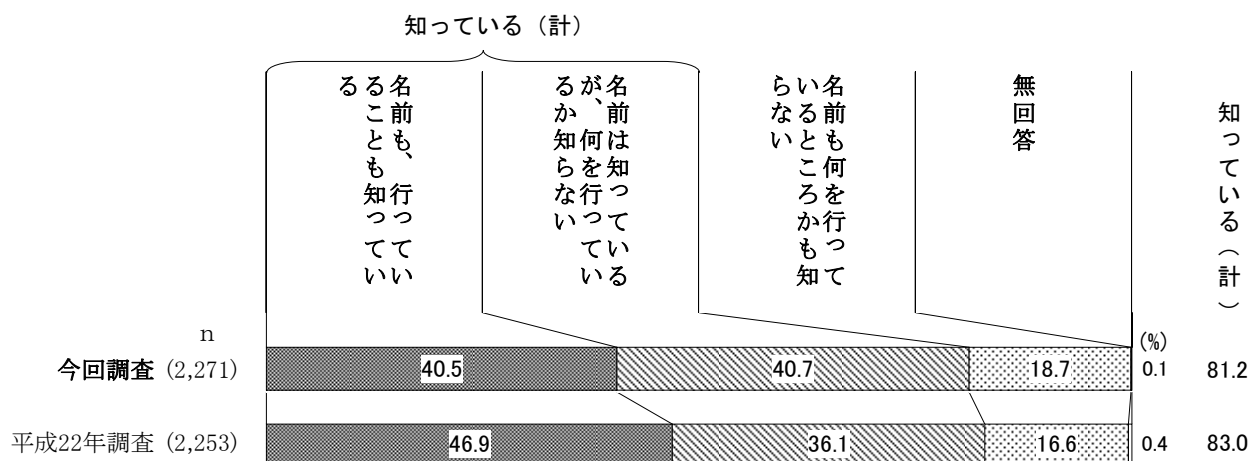
○週に1回以上スポーツをする機会がなかった理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	仕事や家事・育児等で忙しくて時間が足りないから	機会がなかったから	年をとったから	費用がかかるから	身近に場所や施設がないから	運動やスポーツは好きでないから	体が弱いから	仲間がいないから	指導者がいないから	その他	特に理由はない	わからない	無回答
全 体	1162	47.0	23.1	17.7	16.0	14.2	10.1	9.2	8.3	1.5	4.5	10.3	0.5	0.4
地域別														
南部地域	130	44.6	20.8	16.2	8.5	17.7	6.2	5.4	9.2	1.5	4.6	12.3	0.8	-
南西部地域	98	53.1	30.6	6.1	21.4	23.5	11.2	7.1	5.1	1.0	5.1	10.2	-	-
東部地域	182	46.7	18.7	17.6	16.5	14.3	10.4	11.5	9.3	2.2	4.9	9.9	1.1	0.5
さいたま地域	214	50.9	21.5	18.2	17.8	9.8	11.2	10.3	9.8	0.9	3.3	8.9	0.5	1.4
県央地域	83	37.3	24.1	19.3	13.3	16.9	9.6	3.6	10.8	1.2	6.0	15.7	2.4	-
川越比企地域	121	45.5	21.5	18.2	15.7	11.6	14.9	8.3	7.4	1.7	2.5	11.6	-	-
西部地域	114	42.1	28.1	23.7	16.7	12.3	4.4	13.2	7.9	0.9	6.1	8.8	-	-
利根地域	114	54.4	25.4	17.5	20.2	14.9	10.5	10.5	7.9	1.8	4.4	10.5	-	-
北部地域	97	44.3	25.8	20.6	12.4	10.3	12.4	8.2	4.1	2.1	5.2	7.2	-	-
秩父地域	9	33.3	-	33.3	22.2	33.3	-	22.2	22.2	-	-	11.1	-	11.1
性別														
男性	577	42.6	22.9	18.4	14.6	15.4	9.0	6.9	10.1	1.7	4.5	12.0	0.7	0.3
女性	585	51.3	23.4	17.1	17.4	13.0	11.1	11.5	6.7	1.2	4.4	8.7	0.3	0.5
年代別														
20歳代	130	65.4	28.5	-	18.5	24.6	13.1	0.8	13.8	0.8	-	11.5	-	-
30歳代	204	71.6	28.4	4.9	25.5	14.7	12.7	1.0	7.8	3.4	2.5	7.4	-	-
40歳代	215	64.2	21.9	1.9	21.4	14.4	9.8	3.3	3.7	0.5	4.7	9.3	0.5	-
50歳代	185	45.9	25.4	11.4	16.8	18.9	13.5	5.4	8.1	1.6	5.9	11.4	1.1	0.5
60歳代	219	31.5	26.0	25.1	10.5	9.6	7.3	13.2	11.0	1.8	6.8	13.7	1.4	0.9
70歳以上	209	11.0	11.0	55.5	4.8	7.7	5.7	27.8	7.7	0.5	5.3	9.1	-	1.0
性・年代別														
男性・20歳代	48	58.3	25.0	-	20.8	29.2	8.3	-	20.8	2.1	-	16.7	-	-
30歳代	102	64.7	23.5	6.9	20.6	11.8	8.8	-	11.8	2.0	2.9	10.8	-	-
40歳代	105	62.9	22.9	1.0	19.0	17.1	8.6	3.8	3.8	-	4.8	11.4	1.0	-
50歳代	99	44.4	23.2	16.2	17.2	23.2	15.2	1.0	9.1	3.0	6.1	12.1	1.0	-
60歳代	117	25.6	30.8	23.1	10.3	10.3	7.7	12.0	12.0	2.6	6.0	13.7	1.7	0.9
70歳以上	106	11.3	12.3	51.9	3.8	9.4	5.7	19.8	8.5	0.9	4.7	9.4	-	0.9
女性・20歳代	82	69.5	30.5	-	17.1	22.0	15.9	1.2	9.8	-	-	8.5	-	-
30歳代	102	78.4	33.3	2.9	30.4	17.6	16.7	2.0	3.9	4.9	2.0	3.9	-	-
40歳代	110	65.5	20.9	2.7	23.6	11.8	10.9	2.7	3.6	0.9	4.5	7.3	-	-
50歳代	86	47.7	27.9	5.8	16.3	14.0	11.6	10.5	7.0	-	5.8	10.5	1.2	1.2
60歳代	102	38.2	20.6	27.5	10.8	8.8	6.9	14.7	9.8	1.0	7.8	13.7	1.0	1.0
70歳以上	103	10.7	9.7	59.2	5.8	5.8	5.8	35.9	6.8	-	5.8	8.7	-	1.0
職業別														
自営業・家族従業（計）	130	49.2	23.1	20.0	6.9	6.9	6.9	9.2	6.9	0.8	3.1	10.0	1.5	0.8
雇用者（計）	609	63.9	24.3	7.7	19.5	17.6	10.2	2.1	8.4	2.0	4.4	9.4	0.5	-
無職（計）	423	22.0	21.5	31.4	13.7	11.6	10.9	19.4	8.7	0.9	5.0	11.8	0.2	0.9
ライフステージ別														
独身期	153	58.8	28.8	-	17.0	17.6	15.7	-	11.8	0.7	2.0	13.1	-	-
家族形成期	109	82.6	26.6	4.6	26.6	21.1	5.5	1.8	9.2	3.7	1.8	4.6	-	-
家族成長前期	141	70.2	29.1	4.3	22.0	15.6	13.5	0.7	6.4	2.8	2.1	6.4	-	-
家族成長後期	106	62.3	14.2	10.4	22.6	15.1	17.9	2.8	4.7	1.9	3.8	8.5	0.9	-
家族成熟期	239	39.3	26.4	17.6	13.8	12.1	9.6	13.4	9.6	0.8	5.4	11.7	1.7	0.4
高齢期	262	19.5	16.4	44.3	6.1	7.6	3.8	20.2	9.2	1.1	7.3	10.7	-	1.1
その他	152	36.8	22.4	17.1	17.8	18.4	10.5	10.5	5.3	0.7	5.3	13.8	0.7	0.7

（６）消費生活センターの認知度

◇『知っている（計）』が81.2%

問7 消費生活についておたずねいたします。あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。



消費生活センター（または消費生活相談窓口）の認知度は、「名前も、行っていることも知っている」が40.5%、これに「名前は知っているが、何を行っているか知らない」（40.7%）を合わせた『知っている（計）』は81.2%となっている。一方、「名前も何を行っているところかも知らない」は18.7%となっている。

【前年（平成22年）調査との比較】

『知っている（計）』の構成比に大きな変化は見られないが、「名前も、行っていることも知っている」が6.4ポイント減少し、「名前は知っているが、何を行っているか知らない」とほぼ同率となっている。

【属性別比較】

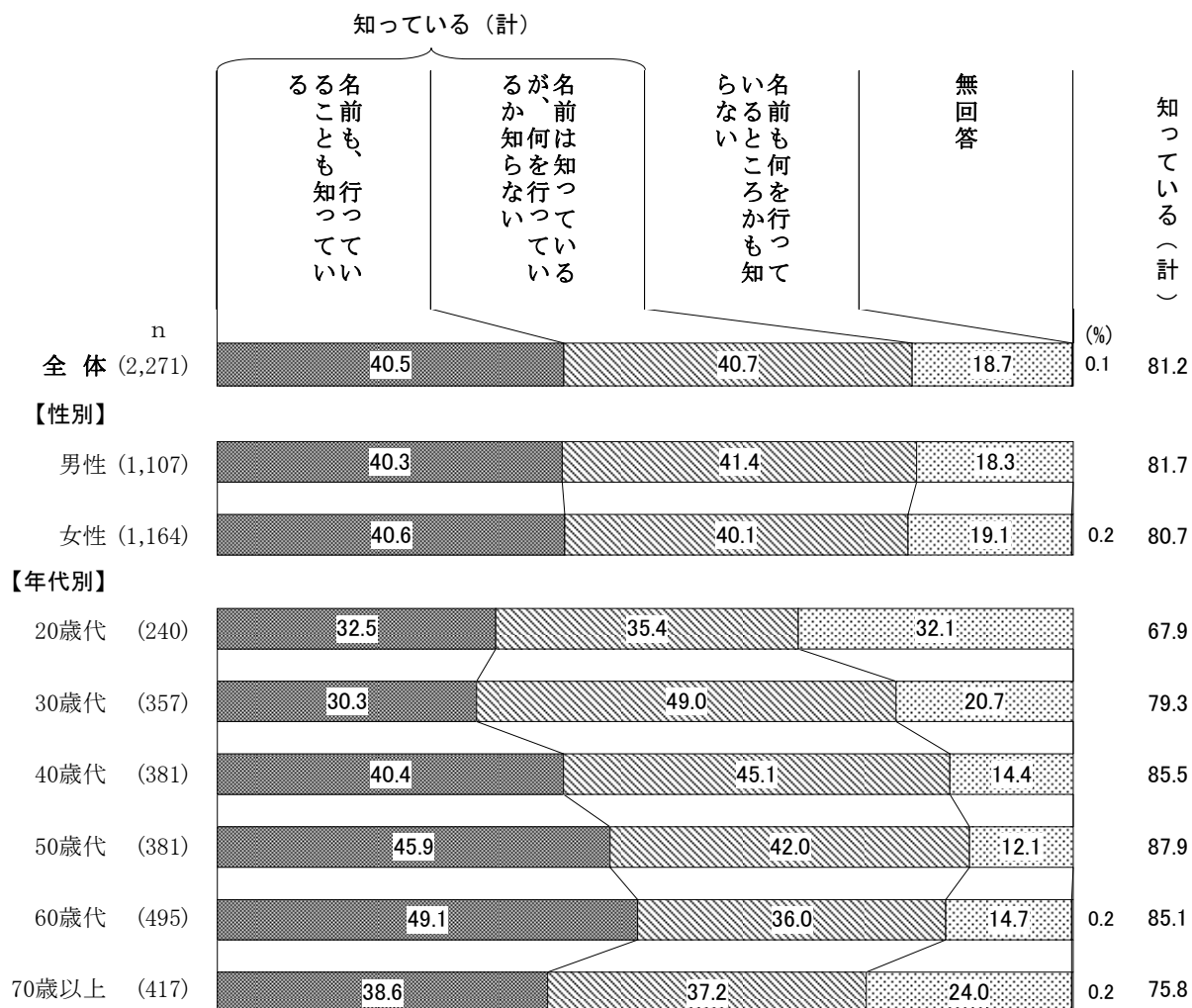
①性別

『知っている（計）』は男女で大きな差はみられない。

②年代別

『知っている（計）』は40歳代から60歳代で8割を超えて高く、20歳代（67.9%）で7割弱と最も低くなっている。

○消費生活センターの認知度・性別／年代別



③地域別

『知っている（計）』は南部地域（87.2%）で最も高く、さいたま地域（76.9%）、西部地域（79.9%）、利根地域（77.5%）で8割を下回り低くなっている。

④性・年代別

「名前も、行っていることも知っている」は男女ともに60歳代で約5割、50歳代で4割半ばと高くなっている。また、『知っている（計）』は男性50歳代（88.5%）で9割弱と高く、男女ともに20歳代で7割を下回り低くなっている。

⑤職業別

「名前も、行っていることも知っている」は自営業・家族従業（計）（42.7%）で4割強と最も高くなっている。

⑥ライフステージ別

「名前も、行っていることも知っている」は家族成長後期（44.9%）と家族成熟期（46.7%）で4割半ばと高くなっている。『知っている（計）』は家族成長後期（88.8%）で9割弱と最も高く、独身期（71.9%）で7割強と低くなっている。

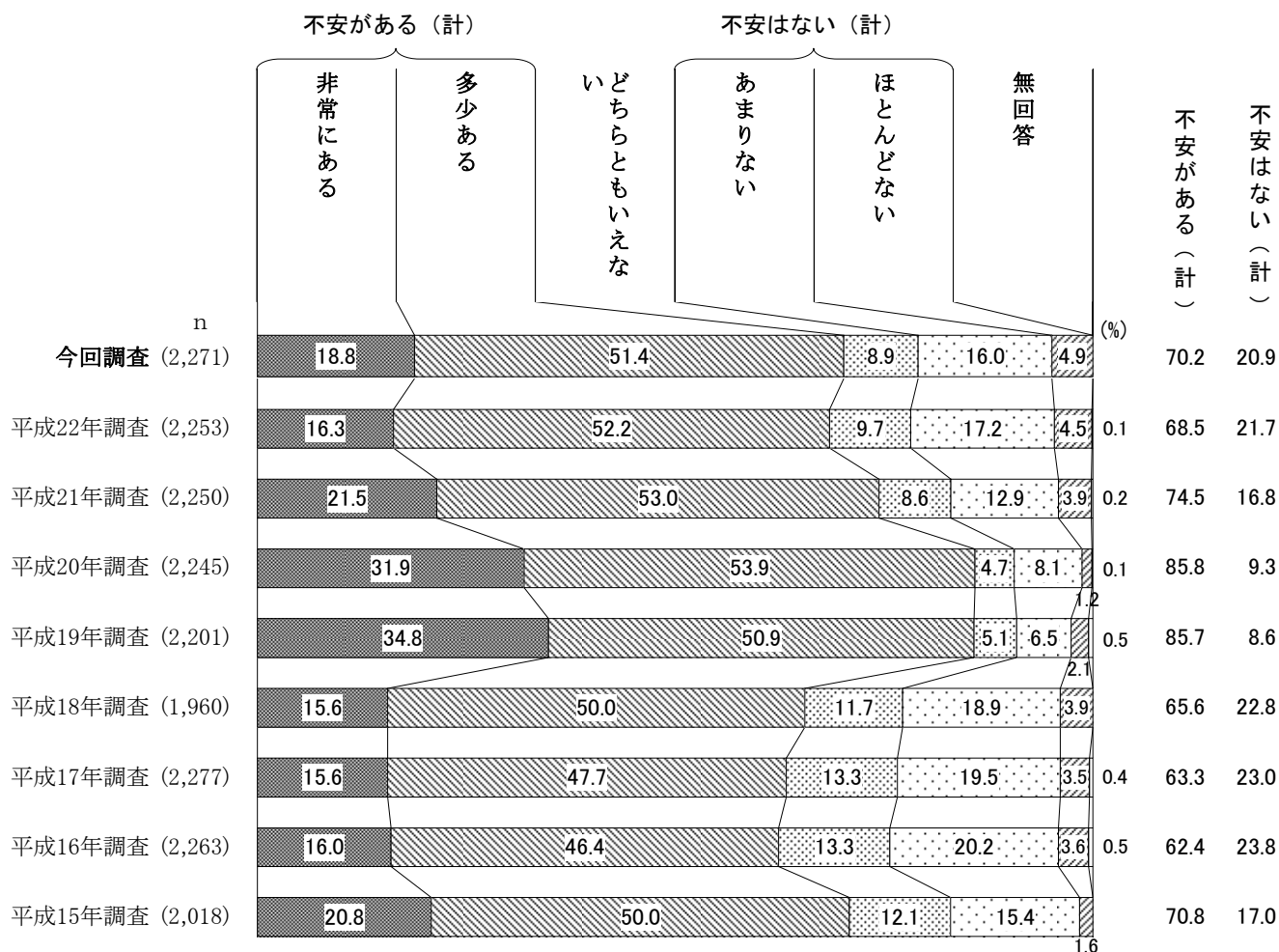
○消費生活センターの認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	名前も、 行っている ことも知 っている	名前も、 行っている ことも知 っている	名前も、 行っている ことも知 っている	無回答	知っている （計）
全 体	2271	40.5	40.7	18.7	0.1	81.2
地域別						
南部地域	241	44.0	43.2	12.9	-	87.2
南西部地域	193	43.5	39.4	17.1	-	82.9
東部地域	347	40.1	42.9	17.0	-	83.0
さいたま地域	416	35.6	41.3	22.8	0.2	76.9
県央地域	197	41.1	41.6	17.3	-	82.7
川越比企地域	232	41.8	38.8	19.4	-	80.6
西部地域	224	39.3	40.6	20.1	-	79.9
利根地域	209	41.6	35.9	22.5	-	77.5
北部地域	187	41.2	41.2	17.1	0.5	82.4
秩父地域	25	48.0	36.0	16.0	-	84.0
性・年代別						
男性・20歳代	97	32.0	34.0	34.0	-	66.0
30歳代	193	31.1	48.2	20.7	-	79.3
40歳代	176	39.2	46.0	14.8	-	85.2
50歳代	191	46.1	42.4	11.5	-	88.5
60歳代	241	49.0	34.9	16.2	-	83.9
70歳以上	209	38.3	41.1	20.6	-	79.4
女性・20歳代	143	32.9	36.4	30.8	-	69.3
30歳代	164	29.3	50.0	20.7	-	79.3
40歳代	205	41.5	44.4	14.1	-	85.9
50歳代	190	45.8	41.6	12.6	-	87.4
60歳代	254	49.2	37.0	13.4	0.4	86.2
70歳以上	208	38.9	33.2	27.4	0.5	72.1
職業別						
自営業・家族従業（計）	239	42.7	37.7	19.7	-	80.4
雇用者（計）	1123	39.6	42.4	18.0	-	82.0
無職（計）	907	40.9	39.5	19.4	0.2	80.4
ライフステージ別						
独身期	295	32.9	39.0	28.1	-	71.9
家族形成期	185	32.4	44.9	22.7	-	77.3
家族成長前期	240	33.8	50.0	16.3	-	83.8
家族成長後期	198	44.9	43.9	11.1	-	88.8
家族成熟期	505	46.7	40.2	13.1	-	86.9
高齢期	575	41.9	36.7	21.0	0.3	78.6
その他	273	42.1	38.8	19.0	-	80.9

（７）食品の安全性に対する意識

◇『不安がある（計）』が70.2%

問８ 食品の安全性についておたずねいたします。あなたは、食品の安全性に不安がありますか。



食品の安全性に関して、不安が「多少ある」（51.4%）が5割を超えており、「非常にある」（18.8%）と合わせた『不安がある（計）』（70.2%）は約7割となっている。一方、不安が「ほとんどない」（4.9%）と「あまりない」（16.0%）を合わせた『不安はない（計）』（20.9%）は約2割となっている。

【過去8年間との比較】

『不安がある（計）』の割合は、前年と比較して1.7ポイント増加している。

【属性別比較】

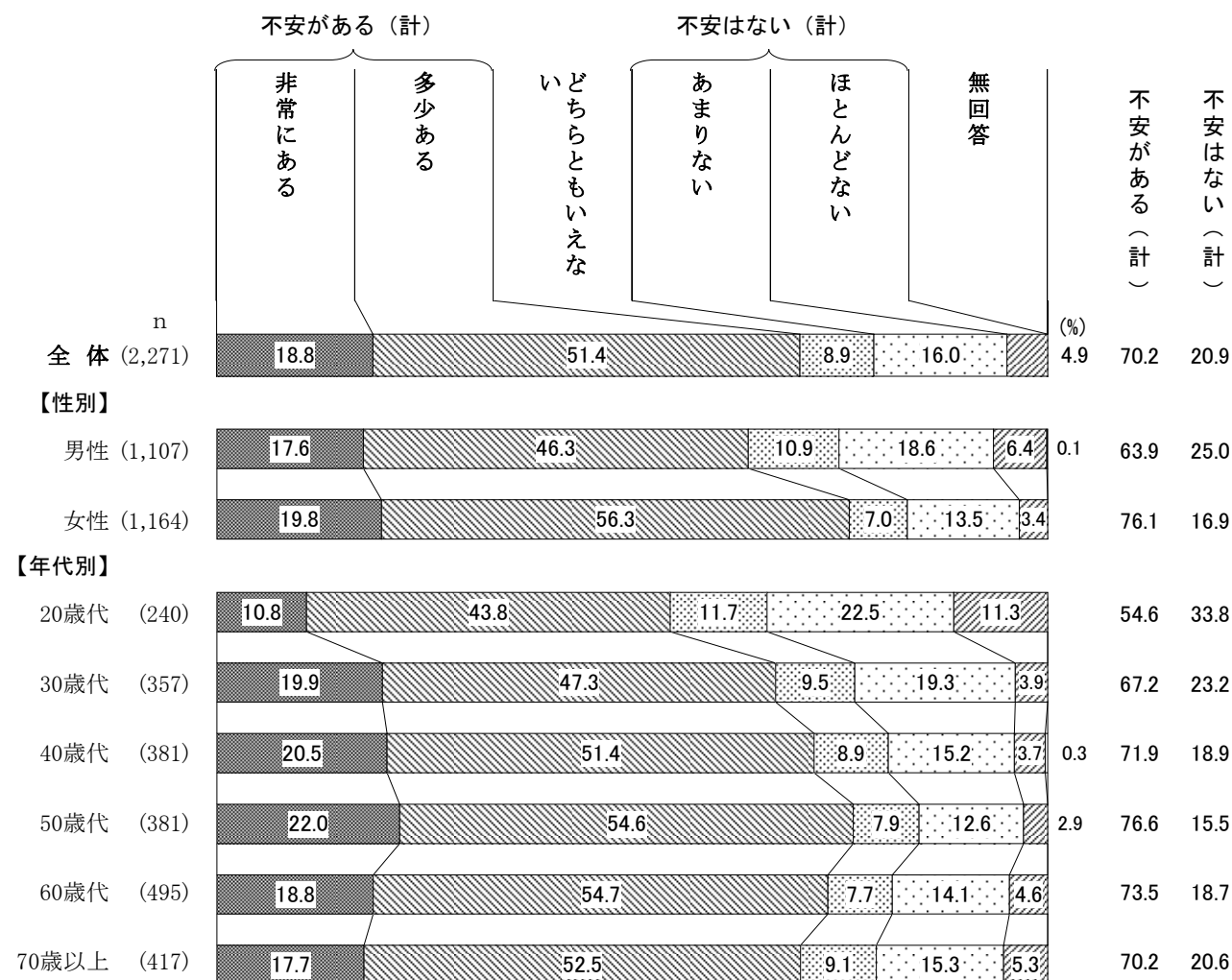
①性別

『不安がある（計）』は女性（76.1％）のほうが男性（63.9％）よりも12.2ポイント高くなっている。

②年代別

『不安がある（計）』は、50歳代までは年齢が高くなるほど割合が高くなり、それ以降は年齢が高くなるほど割合が低くなっている。

○食品の安全性に対する意識・性別／年代別



③地域別

『不安がある（計）』は北部地域（78.6%）でやや高く、県央地域（60.4%）、秩父地域（56.0%）でやや低くなっている。

④性・年代別

『不安がある（計）』は女性の50歳代から60歳代で8割を超えて高くなっている。

⑤職業別

『不安がある（計）』が無職（計）（71.6%）でやや高くなっている。

⑥ライフステージ別

『不安がある（計）』は家族成長前期（76.7%）と家族成長後期（77.3%）で高く、独身期（53.9%）で低くなっている。

○食品の安全性に対する意識・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

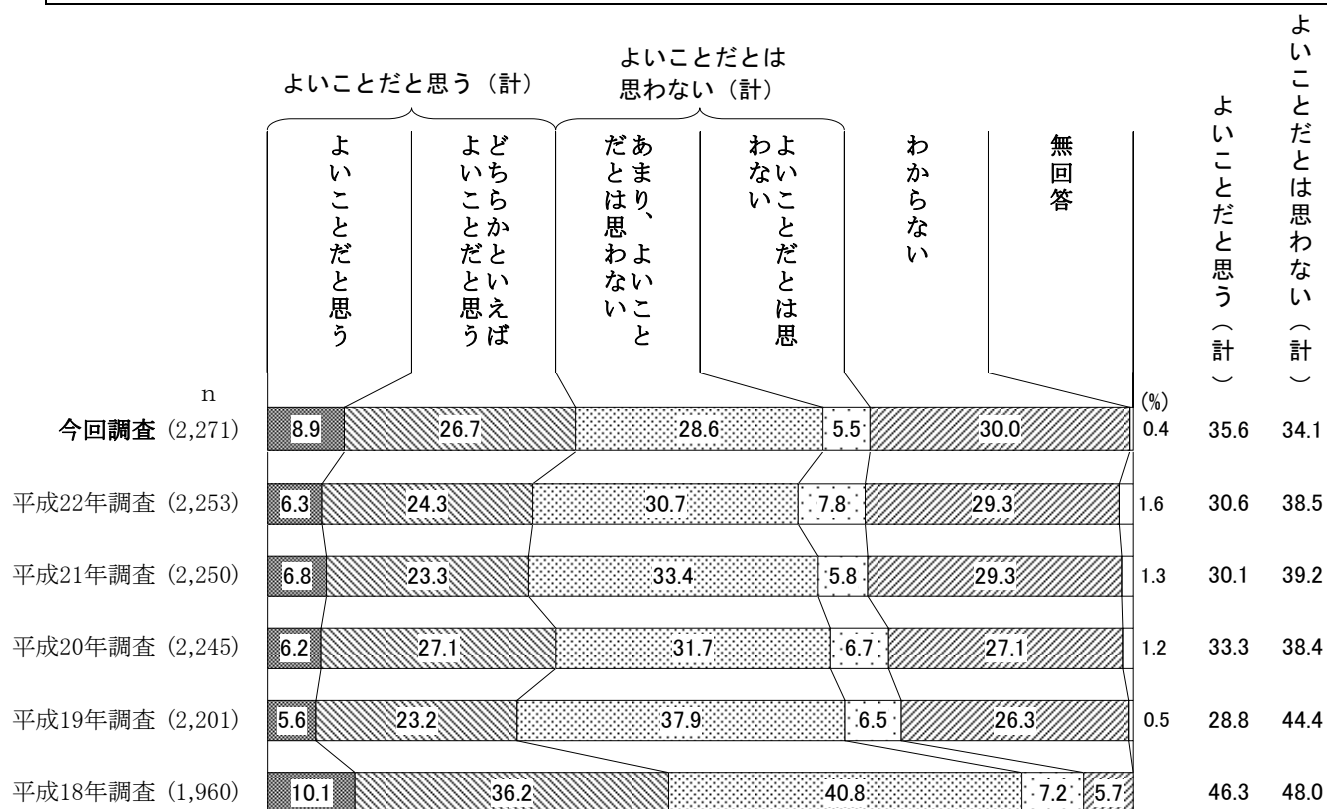
	調査数	非常に ある	多少 ある	どちら ともい えない	あまり ない	ほとん どない	無回 答	不安 がある （計）	不安 はない （計）
全 体	2271	18.8	51.4	8.9	16.0	4.9	0.0	70.2	20.9
地域別									
南部地域	241	22.0	51.0	10.0	14.9	2.1	—	73.0	17.0
南西部地域	193	23.3	49.2	5.7	17.1	4.7	—	72.5	21.8
東部地域	347	12.4	58.8	7.5	15.6	5.5	0.3	71.2	21.1
さいたま地域	416	18.3	50.5	9.6	13.7	7.9	—	68.8	21.6
県央地域	197	12.7	47.7	13.7	20.8	5.1	—	60.4	25.9
川越比企地域	232	21.1	47.0	12.1	16.4	3.4	—	68.1	19.8
西部地域	224	23.7	50.0	7.1	14.3	4.9	—	73.7	19.2
利根地域	209	17.2	50.7	8.6	20.1	3.3	—	67.9	23.4
北部地域	187	24.1	54.5	4.8	12.8	3.7	—	78.6	16.5
秩父地域	25	4.0	52.0	12.0	24.0	8.0	—	56.0	32.0
性・年代別									
男性・20歳代	97	13.4	30.9	14.4	21.6	19.6	—	44.3	41.2
30歳代	193	16.6	40.4	13.5	23.8	5.7	—	57.0	29.5
40歳代	176	19.9	47.7	9.7	18.2	4.0	0.6	67.6	22.2
50歳代	191	18.3	53.4	9.4	15.7	3.1	—	71.7	18.8
60歳代	241	17.0	49.4	8.7	18.3	6.6	—	66.4	24.9
70歳以上	209	18.7	47.8	12.0	15.8	5.7	—	66.5	21.5
女性・20歳代	143	9.1	52.4	9.8	23.1	5.6	—	61.5	28.7
30歳代	164	23.8	55.5	4.9	14.0	1.8	—	79.3	15.8
40歳代	205	21.0	54.6	8.3	12.7	3.4	—	75.6	16.1
50歳代	190	25.8	55.8	6.3	9.5	2.6	—	81.6	12.1
60歳代	254	20.5	59.8	6.7	10.2	2.8	—	80.3	13.0
70歳以上	208	16.8	57.2	6.3	14.9	4.8	—	74.0	19.7
職業別									
自営業・家族従業（計）	239	15.1	52.3	7.9	21.3	3.3	—	67.4	24.6
雇用者（計）	1123	19.1	50.7	9.0	16.8	4.3	0.1	69.8	21.1
無職（計）	907	19.3	52.3	8.8	13.6	6.1	—	71.6	19.7
ライフステージ別									
独身期	295	10.2	43.7	10.8	25.8	9.5	—	53.9	35.3
家族形成期	185	21.1	46.5	11.4	15.7	5.4	—	67.6	21.1
家族成長前期	240	25.0	51.7	7.5	13.8	2.1	—	76.7	15.9
家族成長後期	198	18.7	58.6	5.6	14.6	2.5	—	77.3	17.1
家族成熟期	505	18.2	54.3	8.7	13.5	5.3	—	72.5	18.8
高齢期	575	18.6	53.2	8.3	15.1	4.7	—	71.8	19.8
その他	273	22.3	48.7	10.3	15.0	3.3	0.4	71.0	18.3

（８）外国人増加に対する感想

◇『よいことだと思う（計）』は35.6%

問９ 県内の外国人住民についておたずねいたします。

（１）県内の外国人住民は12万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。



地域に外国人が増えていくことに関して、「あまり、よいことだとは思わない」（28.6％）が3割弱で最も高くなっている。これに「よいことだとは思わない」（5.5％）を合わせた『よいことだとは思わない（計）』（34.1％）は3割半ばとなっている。一方、「よいことだと思う」（8.9％）と「どちらかといえばよいことだと思う」（26.7％）を合わせた『よいことだと思う（計）』（35.6％）は、『よいことだとは思わない（計）』を1.5ポイント上回っている。

【過去5年間との比較】

前年よりも『よいことだと思う（計）』が5.0ポイント増加し、『よいことだとは思わない（計）』が4.4ポイント減少した。その結果、『よいことだと思う（計）』が『よいことだとは思わない（計）』を平成18年以降で初めて上回った。

【属性別比較】

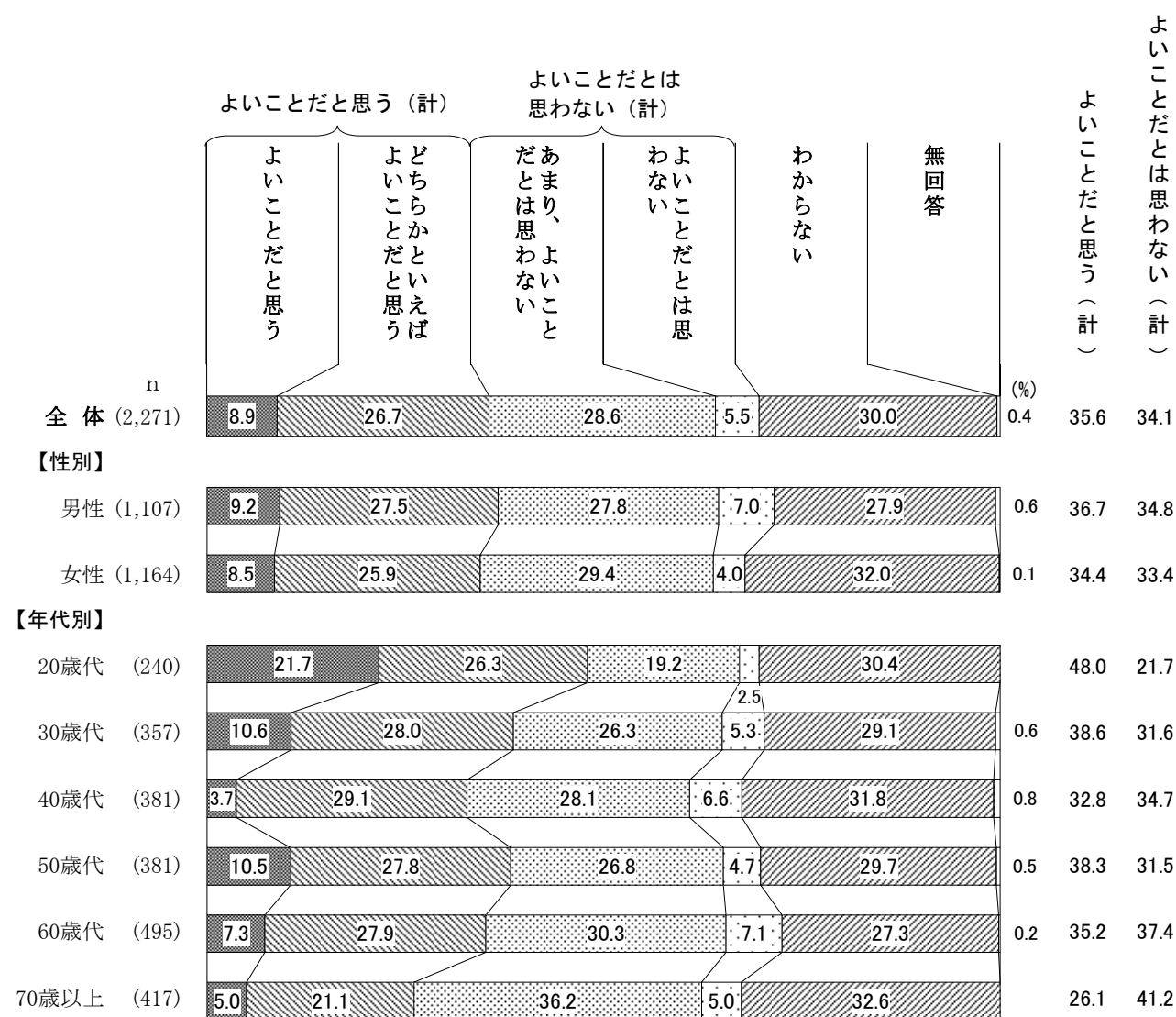
①性別

『よいことだと思う（計）』は男性（36.7%）のほうが女性（34.4%）よりも2.3ポイント高くなっている。

②年代別

『よいことだと思う（計）』は20歳代（48.0%）が5割弱と高くなっている。『よいことだとは思わない（計）』は70歳以上（41.2%）で4割強となっている。

○外国人増加に対する感想・性別／年代別



③地域別

『よいことだと思う（計）』は利根地域（45.4%）で高く、『よいことだとは思わない（計）』は東部地域（43.9%）で高くなっている。

④性・年代別

『よいことだと思う（計）』は男女とも20歳代で最も高く、男性では50歳代（39.2%）、女性では30歳代（39.7%）でも高くなっている。また、『よいことだとは思わない（計）』は男性70歳以上（42.6%）が4割を超えて高くなっている。

⑤職業別

職業による差はみられない。

⑥ライフステージ別

『よいことだと思う（計）』は独身期（44.1%）で高くなっている。『よいことだとは思わない（計）』は高齢期（41.9%）で4割を超えて高くなっている。

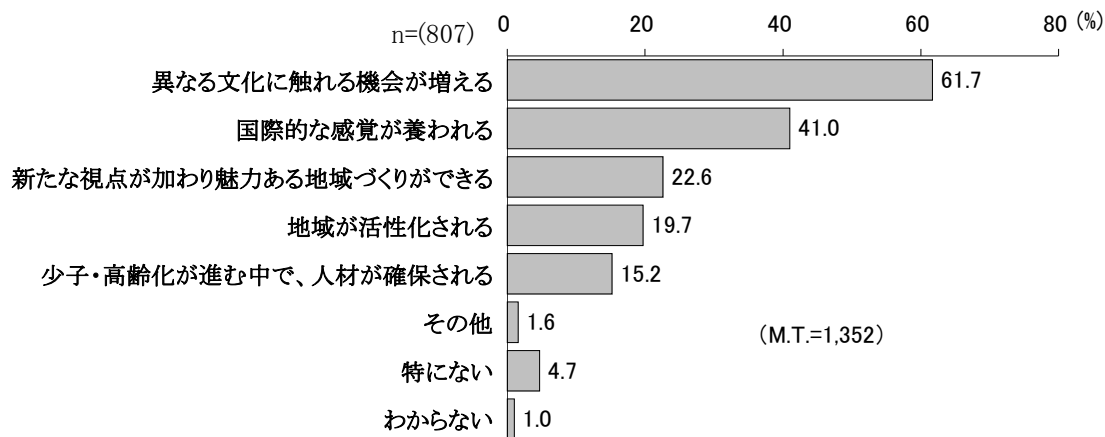
○外国人増加に対する感想・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	よいことだと思う	どちらかといえばよいことだと思う	はあまり、よいことだとは思わない	よいことだとは思わない	わからない	無回答	よいことだと思う（計）	よいことだとは思わない（計）
全 体	2271	8.9	26.7	28.6	5.5	30.0	0.4	35.6	34.1
地域別									
南部地域	241	9.1	26.6	29.9	6.6	27.4	0.4	35.7	36.5
南西部地域	193	10.4	30.6	28.5	5.7	23.8	1.0	41.0	34.2
東部地域	347	8.1	21.3	37.8	6.1	26.2	0.6	29.4	43.9
さいたま地域	416	7.7	28.6	24.5	7.0	32.2	-	36.3	31.5
県央地域	197	9.6	22.8	28.9	3.6	35.0	-	32.4	32.5
川越比企地域	232	10.8	28.4	22.4	7.3	30.2	0.9	39.2	29.7
西部地域	224	8.0	21.9	29.9	3.6	36.6	-	29.9	33.5
利根地域	209	11.0	34.4	27.3	3.3	23.4	0.5	45.4	30.6
北部地域	187	7.0	27.8	27.8	4.3	33.2	-	34.8	32.1
秩父地域	25	4.0	24.0	20.0	-	52.0	-	28.0	20.0
性・年代別									
男性・20歳代	97	24.7	25.8	17.5	2.1	29.9	-	50.5	19.6
30歳代	193	10.9	26.9	22.3	7.8	31.1	1.0	37.8	30.1
40歳代	176	4.5	27.3	30.1	9.7	26.7	1.7	31.8	39.8
50歳代	191	9.4	29.8	25.7	6.3	28.3	0.5	39.2	32.0
60歳代	241	7.5	29.9	27.4	9.1	25.7	0.4	37.4	36.5
70歳以上	209	6.2	23.9	38.3	4.3	27.3	-	30.1	42.6
女性・20歳代	143	19.6	26.6	20.3	2.8	30.8	-	46.2	23.1
30歳代	164	10.4	29.3	31.1	2.4	26.8	-	39.7	33.5
40歳代	205	2.9	30.7	26.3	3.9	36.1	-	33.6	30.2
50歳代	190	11.6	25.8	27.9	3.2	31.1	0.5	37.4	31.1
60歳代	254	7.1	26.0	33.1	5.1	28.7	-	33.1	38.2
70歳以上	208	3.8	18.3	34.1	5.8	38.0	-	22.1	39.9
職業別									
自営業・家族従業（計）	239	11.3	24.3	33.9	5.0	25.1	0.4	35.6	38.9
雇用者（計）	1123	9.0	27.0	26.5	5.9	31.3	0.4	36.0	32.4
無職（計）	907	8.0	27.0	29.9	5.1	29.7	0.3	35.0	35.0
ライフステージ別									
独身期	295	16.6	27.5	23.7	4.4	27.5	0.3	44.1	28.1
家族形成期	185	15.1	25.4	22.7	4.3	31.9	0.5	40.5	27.0
家族成長前期	240	8.8	32.1	25.4	5.4	28.3	-	40.9	30.8
家族成長後期	198	7.6	26.8	28.3	5.1	31.3	1.0	34.4	33.4
家族成熟期	505	6.7	27.9	27.1	5.7	32.3	0.2	34.6	32.8
高齢期	575	5.2	22.1	36.2	5.7	30.6	0.2	27.3	41.9
その他	273	8.8	29.3	27.8	6.6	26.7	0.7	38.1	34.4

（８－１）外国人増加をよいことだと思う理由

◇「異なる文化に触れる機会が増える」が61.7%

（（１）で「よいことだと思う」「どちらかといえばよいことだと思う」のいずれかを答えた方に）
（１）－１ その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思う理由は、「異なる文化に触れる機会が増える」（61.7％）が6割強で最も高く、次いで「国際的な感覚が養われる」（41.0％）、「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」（22.6％）、「地域が活性化される」（19.7％）、「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」（15.2％）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「異なる文化に触れる機会が増える」は県央地域（73.4%）で高くなっている。「国際的な感覚が養われる」は南西部地域（45.6%）、さいたま地域（45.7%）、県央地域（45.3%）で高く、「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は北部地域（38.5%）で高くなっている。

②性別

「異なる文化に触れる機会が増える」は女性（67.6%）のほうが男性（55.9%）よりも11.7ポイント高くなっている。「国際的な感覚が養われる」は女性（43.6%）のほうが男性（38.4%）よりも5.2ポイント高くなっている。「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は男性（19.0%）のほうが女性（11.5%）よりも7.5ポイント高くなっている。

③年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は20歳代（74.8%）で高く、「国際的な感覚が養われる」は30歳代（58.0%）で高くなっている。「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は20歳代（27.0%）で高くなっている。「少子・高齢化が進む中で、人材が確保される」は50歳代以上で高くなっている。

④性・年代別

「異なる文化に触れる機会が増える」は男性の20歳代（73.5%）、女性の20歳代（75.8%）、30歳代（78.5%）、50歳代（73.2%）で7割を超えて高くなっている。「国際的な感覚が養われる」は男女とも30歳代で6割弱と高くなっている。「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は男性の50歳代（30.7%）で約3割と高くなっている。

⑤職業別

「異なる文化に触れる機会が増える」と「国際的な感覚が養われる」は雇用者（計）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

「異なる文化に触れる機会が増える」は家族形成期（74.7%）と家族成長前期（76.5%）で7割半ばと高く、「国際的な感覚が養われる」は家族形成期（56.0%）と家族成長前期（53.1%）で5割を超えて高くなっている。「新たな視点が加わり魅力ある地域づくりができる」は家族成長後期（35.3%）で3割半ばと高くなっている。

○外国人増加をよいことだと思う理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

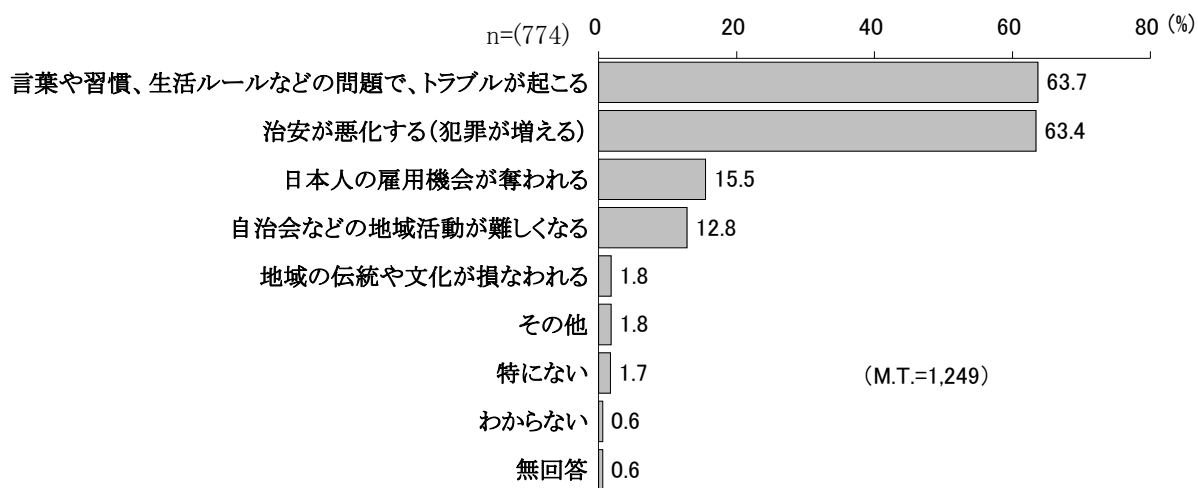
	調査数	異なる文化に触れる機会が増える	国際的な感覚が養われる	新たな視点づくりが加わり魅き	地域が活性化される	少子・高齢化が進む中で、人材が確保される	その他	特にな	わからない
全 体	807	61.7	41.0	22.6	19.7	15.2	1.6	4.7	1.0
地域別									
南部地域	86	57.0	39.5	19.8	16.3	15.1	4.7	8.1	2.3
南西部地域	79	64.6	45.6	21.5	17.7	11.4	2.5	2.5	-
東部地域	102	67.6	43.1	18.6	18.6	17.6	-	1.0	1.0
さいたま地域	151	60.9	45.7	21.2	20.5	15.2	1.3	6.0	1.3
県央地域	64	73.4	45.3	20.3	18.8	15.6	-	1.6	1.6
川越比企地域	91	61.5	34.1	24.2	22.0	17.6	1.1	7.7	-
西部地域	67	59.7	41.8	13.4	20.9	17.9	3.0	6.0	-
利根地域	95	57.9	37.9	28.4	18.9	16.8	2.1	6.3	2.1
北部地域	65	50.8	32.3	38.5	24.6	7.7	-	1.5	-
秩父地域	7	85.7	42.9	14.3	14.3	14.3	-	-	-
性別									
男性	406	55.9	38.4	22.9	21.9	19.0	2.0	4.9	1.2
女性	401	67.6	43.6	22.2	17.5	11.5	1.2	4.5	0.7
年代別									
20歳代	115	74.8	43.5	27.0	20.0	8.7	0.9	1.7	-
30歳代	138	72.5	58.0	17.4	13.8	12.3	1.4	2.9	-
40歳代	125	60.8	40.8	24.0	18.4	10.4	1.6	4.8	-
50歳代	146	63.0	39.0	25.3	22.6	17.8	1.4	4.8	-
60歳代	174	52.9	31.0	23.0	24.1	21.3	1.1	6.9	1.7
70歳以上	109	47.7	35.8	18.3	17.4	18.3	3.7	6.4	4.6
性・年代別									
男性・20歳代	49	73.5	49.0	26.5	24.5	6.1	-	2.0	-
30歳代	73	67.1	57.5	15.1	15.1	17.8	-	2.7	-
40歳代	56	53.6	37.5	19.6	25.0	12.5	3.6	5.4	-
50歳代	75	53.3	32.0	30.7	22.7	25.3	2.7	4.0	-
60歳代	90	46.7	28.9	25.6	26.7	24.4	-	8.9	1.1
70歳以上	63	47.6	30.2	19.0	17.5	20.6	6.3	4.8	6.3
女性・20歳代	66	75.8	39.4	27.3	16.7	10.6	1.5	1.5	-
30歳代	65	78.5	58.5	20.0	12.3	6.2	3.1	3.1	-
40歳代	69	66.7	43.5	27.5	13.0	8.7	-	4.3	-
50歳代	71	73.2	46.5	19.7	22.5	9.9	-	5.6	-
60歳代	84	59.5	33.3	20.2	21.4	17.9	2.4	4.8	2.4
70歳以上	46	47.8	43.5	17.4	17.4	15.2	-	8.7	2.2
職業別									
自営業・家族従業（計）	85	50.6	29.4	24.7	25.9	21.2	1.2	5.9	-
雇用者（計）	404	66.6	46.8	24.0	19.3	14.1	0.7	2.5	-
無職（計）	318	58.5	36.8	20.1	18.6	15.1	2.8	7.2	2.5
ライフステージ別									
独身期	130	67.7	45.4	23.1	21.5	13.1	0.8	3.1	-
家族形成期	75	74.7	56.0	22.7	17.3	8.0	1.3	-	-
家族成長前期	98	76.5	53.1	17.3	9.2	11.2	2.0	2.0	-
家族成長後期	68	58.8	32.4	35.3	20.6	16.2	1.5	4.4	-
家族成熟期	175	58.9	35.4	23.4	22.9	20.0	1.1	6.9	0.6
高齢期	157	50.3	38.9	20.4	20.4	19.7	2.5	3.2	3.2
その他	104	54.8	31.7	20.2	22.1	11.5	1.9	11.5	1.9

（８－２）外国人増加をよいことだと思わない理由

◇「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」63.7%と「治安が悪化する（犯罪が増える）」63.4%が突出

（（１）で「あまり、よいことだとは思わない」「よいことだとは思わない」のいずれかを答えた方に）

（１）－２ その理由は何ですか。次の中から２つまで選んでください。



外国人増加をよいことだと思わない理由は、「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」（63.7%）と「治安が悪化する（犯罪が増える）」（63.4%）がともに６割強と特に高くなっている。次いで「日本人の雇用機会が奪われる」（15.5%）、「自治会などの地域活動が難しくなる」（12.8%）、「地域の伝統や文化が損なわれる」（1.8%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は南西部地域（74.2%）、北部地域（76.7%）で比較的高く、「治安が悪化する（犯罪が増える）」は東部地域（68.4%）、県央地域（68.8%）、川越比企地域（68.1%）で比較的高くなっている。「日本人の雇用機会が奪われる」は東部地域（19.7%）と利根地域（18.8%）で比較的高く、「自治会などの地域活動が難しくなる」は南西部地域（18.2%）で高くなっている。

②性別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は女性（67.1%）のほうが男性（60.3%）よりも6.8ポイント高くなっている。一方、「治安が悪化する（犯罪が増える）」、「日本人の雇用機会が奪われる」、「自治会などの地域活動が難しくなる」はそれぞれ男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は20歳代（75.0%）と50歳代（70.8%）で高く、「治安が悪化する（犯罪が増える）」は30歳代（70.8%）で7割を超えて高くなっている。「自治会などの地域活動が難しくなる」は50歳代以上で高くなっている。

④性・年代別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は女性の20歳代（75.8%）と50歳代（76.3%）で7割半ばと高くなっている。「治安が悪化する（犯罪が増える）」は男性の20歳代から30歳代、60歳代で7割を超えて高くなっている。「日本人の雇用機会が奪われる」は男性20歳代（26.3%）で2割半ばと高く、「自治会などの地域活動が難しくなる」は男性70歳以上（28.1%）で高くなっている。

⑤職業別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は雇用者（計）（67.6%）で7割弱と最も高くなっている。

⑤ライフステージ別

「言葉や習慣、生活ルールなどの問題で、トラブルが起こる」は家族形成期（72.0%）で7割強と最も高くなっている。「治安が悪化する（犯罪が増える）」は独身期（71.1%）と家族形成期（74.0%）で7割以上と高い。「日本人の雇用機会が奪われる」は独身期（20.5%）とその他（20.2%）で2割以上と比較的高くなっている。

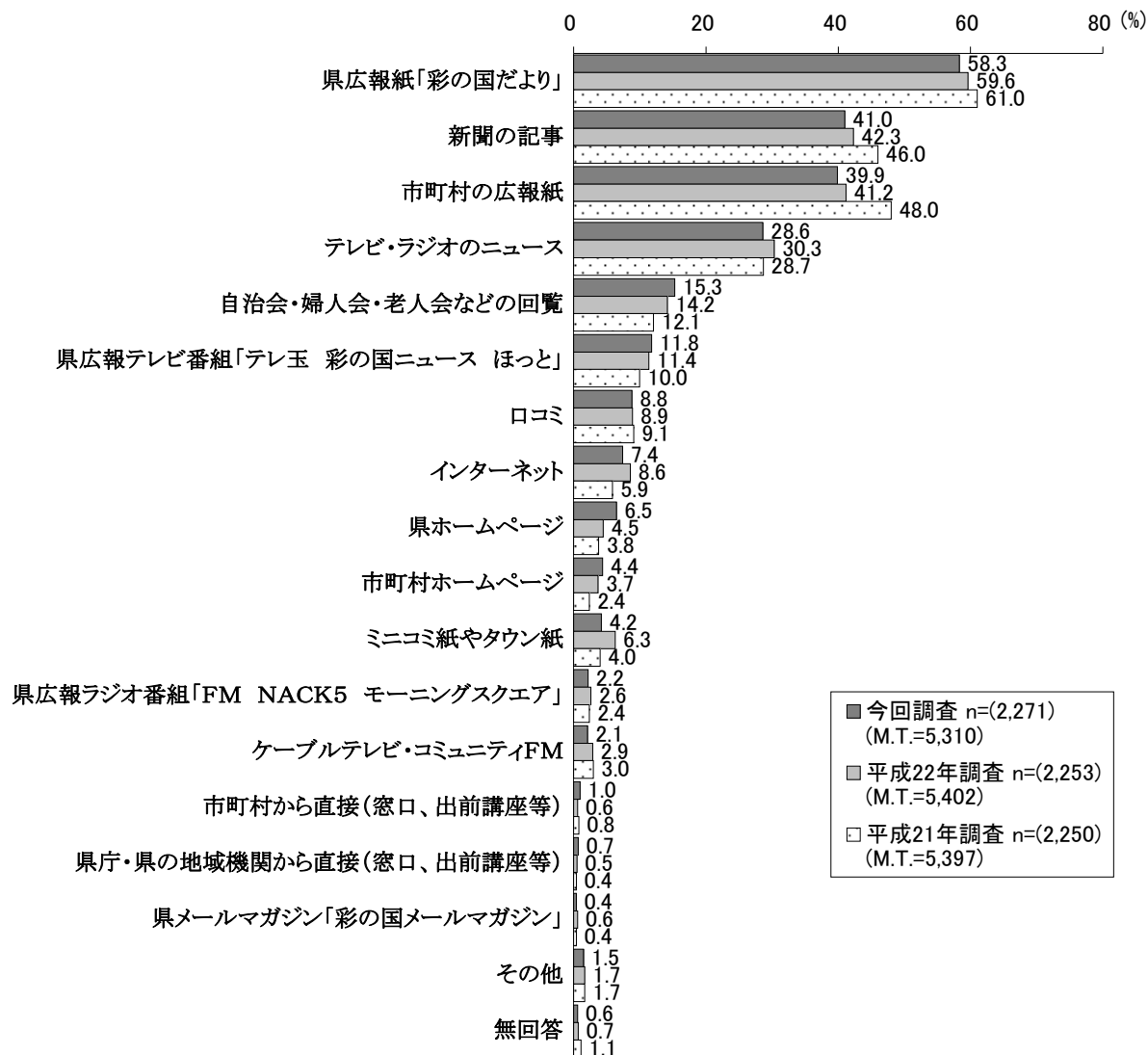
○外国人増加をよいことだと思わない理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	言葉や習慣、生活スタイルなどの問題で、トラブルが起こる	治安が悪化する（犯罪が増える）	日本人の雇用機会が奪われる	自治会などの地域活動が難しくなる	地域の伝統や文化が損なわれる	その他	特にない	わからない	無回答
全 体	774	63.7	63.4	15.5	12.8	1.8	1.8	1.7	0.6	0.6
地域別										
南部地域	88	64.8	62.5	14.8	13.6	1.1	2.3	-	-	-
南西部地域	66	74.2	47.0	13.6	18.2	1.5	3.0	3.0	-	-
東部地域	152	61.8	68.4	19.7	10.5	3.9	1.3	1.3	0.7	0.7
さいたま地域	131	58.8	62.6	16.8	13.7	1.5	1.5	3.1	1.5	0.8
県央地域	64	51.6	68.8	12.5	12.5	1.6	1.6	3.1	-	-
川越比企地域	69	60.9	68.1	15.9	13.0	1.4	-	1.4	1.4	1.4
西部地域	75	68.0	66.7	10.7	9.3	1.3	2.7	-	-	-
利根地域	64	62.5	59.4	18.8	14.1	-	4.7	3.1	1.6	1.6
北部地域	60	76.7	61.7	10.0	11.7	1.7	-	-	-	1.7
秩父地域	5	80.0	60.0	20.0	20.0	-	-	-	-	-
性別										
男性	385	60.3	65.7	17.7	14.5	2.3	2.3	1.0	0.5	0.5
女性	389	67.1	61.2	13.4	11.1	1.3	1.3	2.3	0.8	0.8
年代別										
20歳代	52	75.0	67.3	17.3	-	-	3.8	-	-	-
30歳代	113	66.4	70.8	14.2	9.7	1.8	1.8	-	-	-
40歳代	132	66.7	65.2	12.1	9.1	0.8	3.8	2.3	-	0.8
50歳代	120	70.8	60.0	15.8	14.2	2.5	-	1.7	1.7	0.8
60歳代	185	62.2	64.3	16.2	11.9	2.2	2.2	2.7	1.1	-
70歳以上	172	52.9	57.6	17.4	21.5	2.3	0.6	1.7	0.6	1.7
性・年代別										
男性・20歳代	19	73.7	73.7	26.3	-	-	5.3	-	-	-
30歳代	58	62.1	74.1	17.2	10.3	1.7	1.7	-	-	-
40歳代	70	68.6	64.3	15.7	8.6	-	4.3	1.4	-	1.4
50歳代	61	65.6	60.7	18.0	13.1	4.9	-	1.6	1.6	-
60歳代	88	63.6	70.5	17.0	12.5	2.3	3.4	1.1	1.1	-
70歳以上	89	42.7	58.4	18.0	28.1	3.4	1.1	1.1	-	1.1
女性・20歳代	33	75.8	63.6	12.1	-	-	3.0	-	-	-
30歳代	55	70.9	67.3	10.9	9.1	1.8	1.8	-	-	-
40歳代	62	64.5	66.1	8.1	9.7	1.6	3.2	3.2	-	-
50歳代	59	76.3	59.3	13.6	15.3	-	-	1.7	1.7	1.7
60歳代	97	60.8	58.8	15.5	11.3	2.1	1.0	4.1	1.0	-
70歳以上	83	63.9	56.6	16.9	14.5	1.2	-	2.4	1.2	2.4
職業別										
自営業・家族従業（計）	93	57.0	65.6	14.0	17.2	3.2	2.2	1.1	-	1.1
雇用者（計）	364	67.6	63.5	14.8	11.5	1.1	2.2	1.1	0.8	0.5
無職（計）	317	61.2	62.8	16.7	12.9	2.2	1.3	2.5	0.6	0.6
ライフステージ別										
独身期	83	68.7	71.1	20.5	1.2	1.2	2.4	-	-	-
家族形成期	50	72.0	74.0	10.0	4.0	-	4.0	2.0	-	-
家族成長前期	74	66.2	63.5	8.1	13.5	1.4	-	2.7	-	1.4
家族成長後期	66	66.7	63.6	12.1	10.6	-	3.0	-	-	-
家族成熟期	166	66.3	59.0	15.7	16.9	3.6	1.8	1.8	0.6	-
高齢期	241	54.8	63.1	16.2	16.6	1.2	1.2	2.1	0.8	0.8
その他	94	69.1	59.6	20.2	11.7	3.2	2.1	2.1	2.1	2.1

(9) 埼玉県に関する情報の入手先

◇「県広報紙「彩の国だより」」が58.3%

問10 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。



埼玉県に関する情報の入手先は、「県広報紙「彩の国だより」」(58.3%)が6割弱で最も高く、次いで「新聞の記事」(41.0%)、「市町村の広報紙」(39.9%)、「テレビ・ラジオのニュース」(28.6%)、「自治会・婦人会・老人会などの回覧」(15.3%)、「県広報テレビ番組「テレ玉 彩の国ニュース ほっと」」(11.8%)、「口コミ」(8.8%)、「インターネット」(7.4%)、「県ホームページ」(6.5%)の順となっている。

【過去2年間との比較】

「自治会・婦人会・老人会などの回覧」と「県広報テレビ番組「テレ玉 彩の国ニュース ほっと」」「県ホームページ」「市町村ホームページ」は増加傾向にある。一方、「県広報紙「彩の国だより」」、「新聞の記事」、「市町村の広報紙」は減少傾向にある。

【属性別比較】

①地域別

「県広報紙「彩の国だより」」は南部地域（66.4%）、さいたま地域（63.0%）、県央地域（61.9%）で高くなっている。「新聞の記事」は川越比企地域（45.7%）、利根地域（45.0%）、秩父地域（44.0%）で4割半ばと高く、南部地域（36.9%）と南西部地域（36.8%）で3割半ばと低くなっている。「市町村の広報紙」は川越比企地域（46.1%）、北部地域（48.7%）、秩父地域（60.0%）で高く、南部地域（35.7%）と南西部地域（34.2%）で3割半ばと低くなっている。「インターネット」と「県ホームページ」は南西部地域で1割を超えて高くなっている。

②性別

「県広報紙「彩の国だより」」は女性（61.7%）のほうが男性（54.7%）よりも7.0ポイント、「市町村の広報紙」は女性（43.1%）のほうが男性（36.5%）よりも6.6ポイント高くなっている。一方、「インターネット」で5.0ポイント、「県ホームページ」で4.3ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「県広報紙「彩の国だより」」、「新聞の記事」、「市町村の広報紙」は40歳代以上の割合が高くなっている。「口コミ」と「インターネット」は年齢が低いほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「県広報紙「彩の国だより」」は男性の20歳代（32.0%）で最も低く、男女ともに50歳代と60歳代で高くなっている。「市町村の広報紙」は男性では60歳代と70歳以上、女性では40歳以上で4割を超えて高くなっている。男女とも20歳代と30歳代で「口コミ」と「インターネット」の割合が高くなっている。

⑤職業別

「県広報紙「彩の国だより」」、「新聞の記事」、「市町村の広報紙」は雇用者（計）で低く、「インターネット」と「県ホームページ」は雇用者（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

家族成長後期から高齢期で「県広報紙「彩の国だより」」は6割以上、「新聞の記事」は4割半ばと高くなっている。一方、「口コミ」と「インターネット」は独身期から家族成長前期で高くなっている。

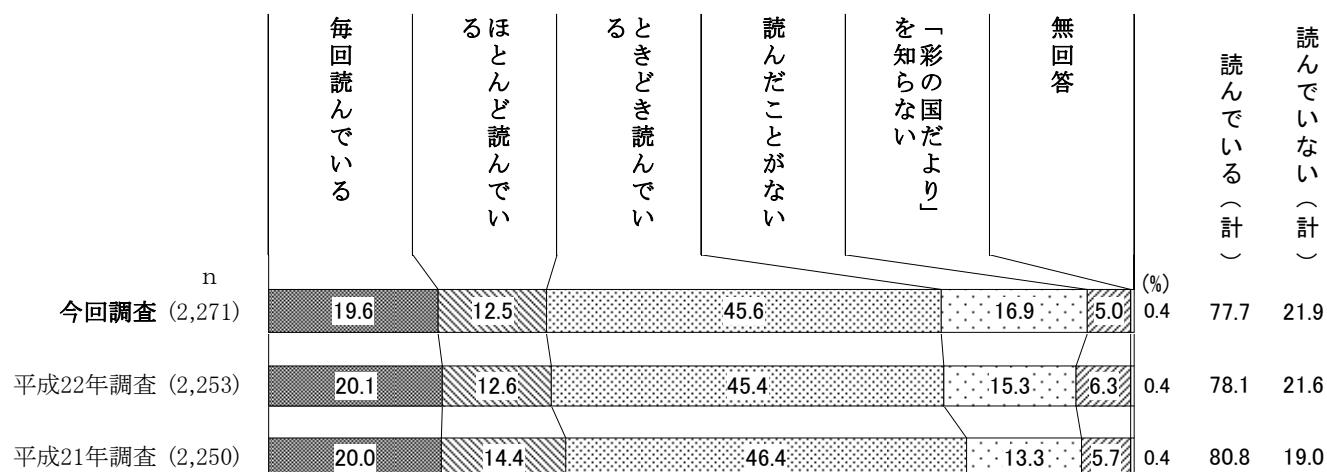
○埼玉県に関する情報の入手先・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	県広報紙「彩の国だより」	新聞の記事	市町村の広報紙	テレビ・ラジオのニュース	自治会・婦人会・老人会などの回覧	県広報テレビ番組「テレビ玉 彩の国 ニュース ほっと」	口コミ	インターネット	県ホームページ	市町村ホームページ	ミニコミ紙やタウン紙	県広報ラジオ番組「FM NACK5 モーニングスクエア」	ケーブルテレビ・コミュニティFM	市町村から直接（窓口、出前講座等）	県庁・県の地域機関から直接（窓口、出前講座等）	県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	その他	無回答
全 体	2271	58.3	41.0	39.9	28.6	15.3	11.8	8.8	7.4	6.5	4.4	4.2	2.2	2.1	1.0	0.7	0.4	1.5	0.6
地域別																			
南部地域	241	66.4	36.9	35.7	24.1	24.9	10.4	5.0	4.1	8.3	3.7	7.1	1.2	1.7	0.8	0.8	0.8	1.7	1.2
南西部地域	193	56.0	36.8	34.2	20.2	17.6	12.4	7.8	11.4	13.5	5.7	6.7	2.1	1.0	3.1	1.0	-	1.0	-
東部地域	347	56.5	38.6	37.5	33.1	18.2	15.3	8.9	8.6	5.8	5.5	5.2	1.2	2.3	0.6	0.6	-	2.0	0.9
さいたま地域	416	63.0	41.6	37.7	28.1	18.3	9.9	6.0	5.5	6.0	3.1	3.4	3.8	1.2	1.4	1.2	0.2	0.2	-
県央地域	197	61.9	41.6	44.2	29.4	10.7	12.7	11.7	9.1	4.6	4.1	4.1	3.0	1.0	1.0	1.0	0.5	1.5	0.5
川越比企地域	232	47.4	45.7	46.1	26.3	9.9	11.2	10.3	8.2	5.6	4.7	3.4	1.7	6.5	0.4	0.4	-	2.6	1.7
西部地域	224	58.0	42.0	39.7	24.6	11.6	11.6	9.4	7.1	4.9	5.4	1.8	0.9	2.2	0.4	-	1.3	0.9	0.4
利根地域	209	59.8	45.0	37.3	33.5	9.6	8.6	13.4	8.1	5.3	4.3	4.3	2.4	2.4	0.5	0.5	0.5	2.9	0.5
北部地域	187	51.9	40.6	48.7	34.8	10.2	15.0	9.1	7.5	5.9	2.7	2.7	3.2	0.5	0.5	-	-	1.1	-
秩父地域	25	52.0	44.0	60.0	44.0	24.0	12.0	12.0	-	4.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-	-
性別																			
男性	1107	54.7	42.0	36.5	29.9	14.5	12.5	8.8	10.0	8.7	4.4	3.2	2.8	2.3	1.0	1.0	0.6	1.7	0.5
女性	1164	61.7	39.9	43.1	27.3	16.1	11.3	8.8	5.0	4.4	4.3	5.2	1.6	1.9	0.9	0.3	0.1	1.2	0.6
年代別																			
20歳代	240	35.4	32.1	25.4	33.8	4.2	6.3	22.9	18.3	9.2	4.6	8.8	3.8	3.3	0.4	-	-	1.3	0.8
30歳代	357	46.8	30.8	31.7	26.6	13.4	6.2	12.6	17.1	10.1	8.4	8.1	2.8	2.2	1.4	0.3	0.3	0.8	0.3
40歳代	381	56.2	40.2	39.9	24.4	18.6	8.7	7.9	9.2	11.8	7.9	4.7	2.9	2.1	0.8	0.8	0.3	2.9	0.8
50歳代	381	69.3	44.1	42.5	29.1	15.0	11.0	6.8	5.5	8.1	2.1	4.2	1.8	2.4	1.0	0.8	0.8	1.0	0.3
60歳代	495	68.3	46.7	46.1	30.1	17.0	16.6	3.2	1.6	2.4	2.0	2.0	1.0	1.2	0.8	0.8	0.6	1.2	0.8
70歳以上	417	61.2	45.8	45.6	28.8	18.7	18.0	6.5	-	0.2	2.4	0.5	1.9	1.9	1.2	1.0	-	1.4	0.5
性・年代別																			
男性・20歳代	97	32.0	35.1	18.6	35.1	3.1	3.1	22.7	20.6	12.4	3.1	5.2	5.2	5.2	-	-	-	2.1	1.0
30歳代	193	37.3	30.1	25.9	34.2	10.9	7.3	13.5	23.3	13.0	6.7	8.3	3.1	2.6	1.6	0.5	0.5	1.0	0.5
40歳代	176	51.1	39.8	33.5	31.8	18.8	10.2	8.0	12.5	15.3	7.4	2.8	3.4	2.8	0.6	1.1	0.6	2.3	0.6
50歳代	191	66.0	42.9	37.7	28.3	18.8	13.6	7.3	8.4	11.0	3.1	2.1	1.6	2.6	0.5	0.5	1.0	0.5	0.5
60歳代	241	67.2	48.5	45.6	27.8	15.4	15.4	3.7	3.3	4.1	3.7	1.7	1.7	0.8	0.8	1.2	1.2	2.1	-
70歳以上	209	59.3	49.8	45.5	25.8	14.8	19.1	5.7	-	0.5	2.4	0.5	3.3	1.4	1.9	1.9	-	2.4	1.0
女性・20歳代	143	37.8	30.1	30.1	32.9	4.9	8.4	23.1	16.8	7.0	5.6	11.2	2.8	2.1	0.7	-	-	0.7	0.7
30歳代	164	57.9	31.7	38.4	17.7	16.5	4.9	11.6	9.8	6.7	10.4	7.9	2.4	1.8	1.2	-	-	0.6	-
40歳代	205	60.5	40.5	45.4	18.0	18.5	7.3	7.8	6.3	8.8	8.3	6.3	2.4	1.5	1.0	0.5	-	3.4	1.0
50歳代	190	72.6	45.3	47.4	30.0	11.1	8.4	6.3	2.6	5.3	1.1	6.3	2.1	2.1	1.6	1.1	0.5	1.6	-
60歳代	254	69.3	44.9	46.5	32.3	18.5	17.7	2.8	-	0.8	0.4	2.4	0.4	1.6	0.8	0.4	-	0.4	1.6
70歳以上	208	63.0	41.8	45.7	31.7	22.6	16.8	7.2	-	-	2.4	0.5	0.5	2.4	0.5	-	-	0.5	-
職業別																			
自営業・家族従業（計）	239	61.5	43.5	41.4	28.0	17.2	15.9	7.1	4.6	4.2	2.1	1.7	3.3	1.3	1.3	0.8	0.8	0.8	0.4
雇用者（計）	1123	53.9	38.6	35.7	29.4	14.8	9.1	9.3	10.5	8.9	5.1	6.0	3.1	2.4	1.0	0.7	0.4	1.7	0.9
無職（計）	907	63.0	43.1	44.8	27.8	15.5	14.2	8.5	4.4	4.1	4.1	2.8	0.8	1.9	0.9	0.6	0.2	1.2	0.2
ライフステージ別																			
独身期	295	33.6	35.9	20.0	38.6	4.4	6.1	19.7	21.7	10.5	5.1	8.5	4.1	2.7	0.7	-	-	1.0	1.0
家族形成期	185	48.1	27.6	39.5	20.5	10.3	7.6	10.8	15.7	13.0	10.8	8.6	2.7	3.8	0.5	-	-	-	-
家族成長前期	240	57.9	35.0	41.3	22.1	22.5	4.6	10.4	10.8	10.4	7.9	6.3	1.3	1.7	1.7	0.4	0.8	1.7	-
家族成長後期	198	66.7	46.5	41.9	21.7	20.2	5.1	7.1	4.5	9.6	5.6	4.0	2.5	2.5	1.0	0.5	-	1.5	1.0
家族成熟期	505	69.3	44.8	44.8	27.7	16.2	13.7	7.1	3.8	5.1	1.8	4.2	1.8	1.2	0.6	1.0	1.2	0.6	0.4
高齢期	575	64.2	45.6	47.1	29.9	18.4	18.3	3.3	-	0.3	2.3	0.5	1.4	1.6	1.2	0.9	-	1.7	0.7
その他	273	53.1	39.9	34.8	32.6	12.5	15.4	9.9	8.1	7.3	4.4	2.9	2.9	2.9	1.1	1.1	-	3.7	0.7

(10) 県広報紙「彩の国だより」の閲読状況

◇『読んでいる（計）』が77.7%

問11 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。



県広報紙「彩の国だより」の閲読状況は、「ときどき読んでいる」（45.6％）が4割半ばで最も高く、これに「毎回読んでいる」（19.6％）と「ほとんど読んでいる」（12.5％）を合わせた『読んでいる（計）』は77.7％を占めている。一方、「読んだことがない」（16.9％）と「「彩の国だより」を知らない」（5.0％）を合わせた『読んでいない（計）』は21.9％となっている。

【過去2年間との比較】

『読んでいる（計）』はわずかに減少傾向にある。

【属性別比較】

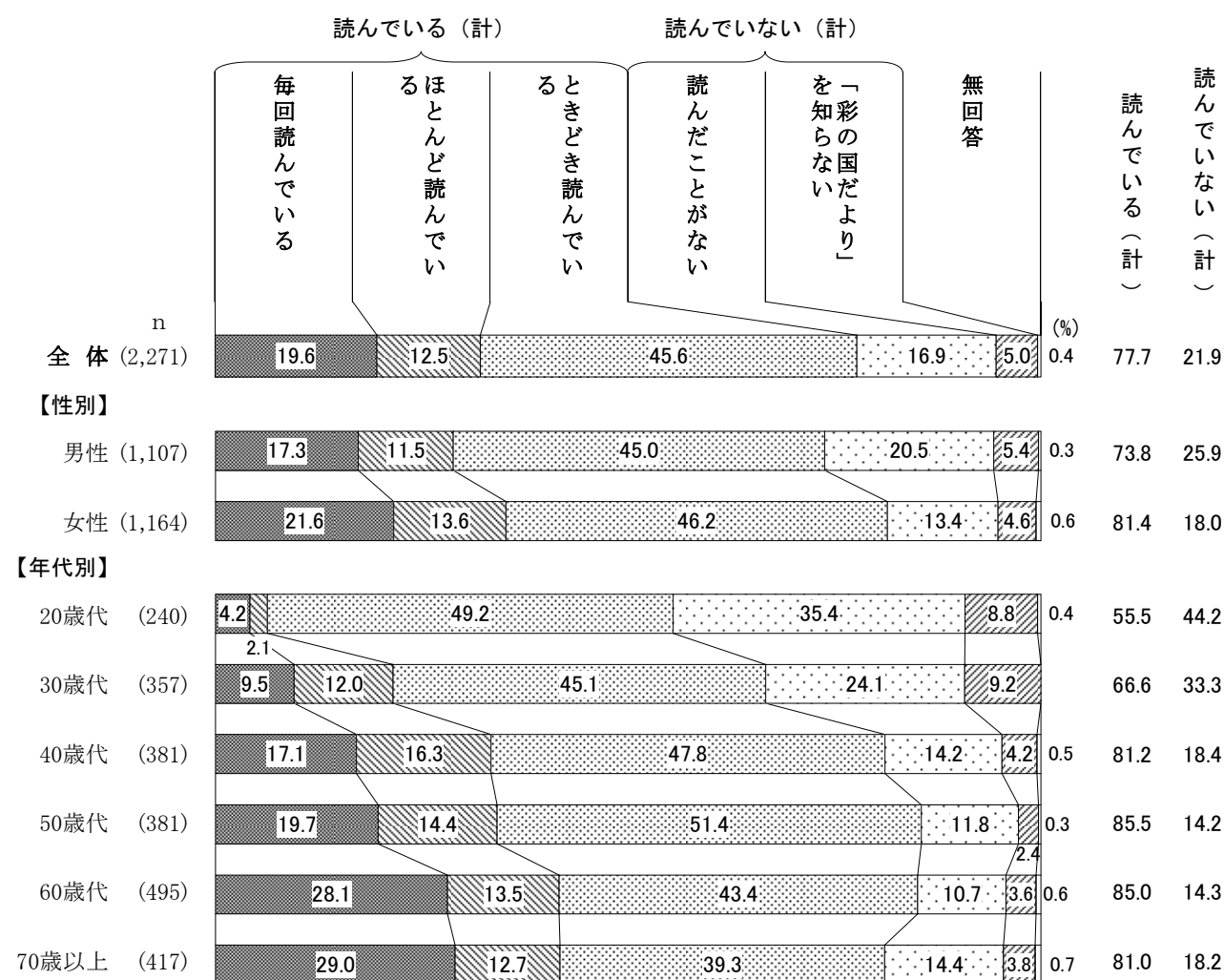
①性別

『読んでいる（計）』は女性（81.4％）のほうが男性（73.8％）よりも7.6ポイント高くなっている。

②年代別

「毎回読んでいる」は年齢が高くなるほど割合が高く、『読んでいる（計）』も40歳代以上で8割を超えている。

○県広報紙「彩の国だより」の読読状況・性別／年代別



③地域別

『読んでいる（計）』は南部地域（85.0％）で最も高く、川越比企地域（72.0％）で低くなっている。

④性・年代別

『読んでいる（計）』は男性の20歳代（49.5％）と30歳代（59.6％）、女性の20歳代（59.5％）で低くなっている。

⑤職業別

『読んでいる（計）』は無職（計）（81.0％）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

『読んでいる（計）』は、家族成長後期以降で8割を超え高くなっている。

○県広報紙「彩の国だより」の閲読状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	毎回読んでいる	ほとんど読んでいる	ときどき読んでいる	読んだことがない	「彩の国だより」を知らない	無回答
全 体	2271	19.6	12.5	45.6	16.9	5.0	0.4

読んでいる（計）	読んでいない（計）
77.7	21.9

地域別

南部地域	241	26.1	13.7	45.2	12.9	2.1	—
南西部地域	193	24.4	11.9	42.0	18.7	2.6	0.5
東部地域	347	20.5	11.2	44.1	15.6	8.1	0.6
さいたま地域	416	21.2	14.7	42.8	16.8	4.3	0.2
県央地域	197	19.8	15.2	43.7	15.7	5.6	—
川越比企地域	232	16.4	9.5	46.1	19.4	7.3	1.3
西部地域	224	13.4	7.6	55.8	18.8	4.0	0.4
利根地域	209	19.6	10.0	47.4	18.2	4.3	0.5
北部地域	187	12.8	17.6	46.5	17.6	4.8	0.5
秩父地域	25	12.0	24.0	44.0	12.0	8.0	—

85.0	15.0
78.3	21.3
75.8	23.7
78.7	21.1
78.7	21.3
72.0	26.7
76.8	22.8
77.0	22.5
76.9	22.4
80.0	20.0

性・年代別

男性・20歳代	97	1.0	—	48.5	42.3	8.2	—
30歳代	193	5.7	10.4	43.5	29.5	10.9	—
40歳代	176	15.3	10.8	49.4	17.6	6.3	0.6
50歳代	191	16.2	15.2	49.2	15.7	3.1	0.5
60歳代	241	24.9	12.9	43.2	15.4	3.3	0.4
70歳以上	209	29.7	13.4	39.2	14.8	2.9	—
女性・20歳代	143	6.3	3.5	49.7	30.8	9.1	0.7
30歳代	164	14.0	14.0	47.0	17.7	7.3	—
40歳代	205	18.5	21.0	46.3	11.2	2.4	0.5
50歳代	190	23.2	13.7	53.7	7.9	1.6	—
60歳代	254	31.1	14.2	43.7	6.3	3.9	0.8
70歳以上	208	28.4	12.0	39.4	13.9	4.8	1.4

49.5	50.5
59.6	40.4
75.5	23.9
80.6	18.8
81.0	18.7
82.3	17.7
59.5	39.9
75.0	25.0
85.8	13.6
90.6	9.5
89.0	10.2
79.8	18.7

職業別

自営業・家族従業（計）	239	24.3	11.7	41.4	19.7	2.5	0.4
雇用者（計）	1123	14.4	11.9	49.0	18.3	6.1	0.4
無職（計）	907	24.7	13.6	42.7	14.3	4.2	0.6

77.4	22.2
75.3	24.4
81.0	18.5

ライフステージ別

独身期	295	3.7	4.1	49.2	36.9	6.1	—
家族形成期	185	8.6	11.9	47.6	20.0	11.4	0.5
家族成長前期	240	18.3	12.5	45.8	16.7	6.7	—
家族成長後期	198	19.7	19.2	51.0	7.6	2.0	0.5
家族成熟期	505	23.8	14.1	47.7	10.9	3.6	—
高齢期	575	28.3	14.4	41.0	12.0	3.7	0.5
その他	273	18.7	10.6	42.1	21.2	5.5	1.8

57.0	43.0
68.1	31.4
76.6	23.4
89.9	9.6
85.6	14.5
83.7	15.7
71.4	26.7

課 題 調 査

- 3 自転車利用について
(問12～問16)
- 4 生涯学習について
(問17～問22)
- 5 買い物弱者について
(問23～問26)

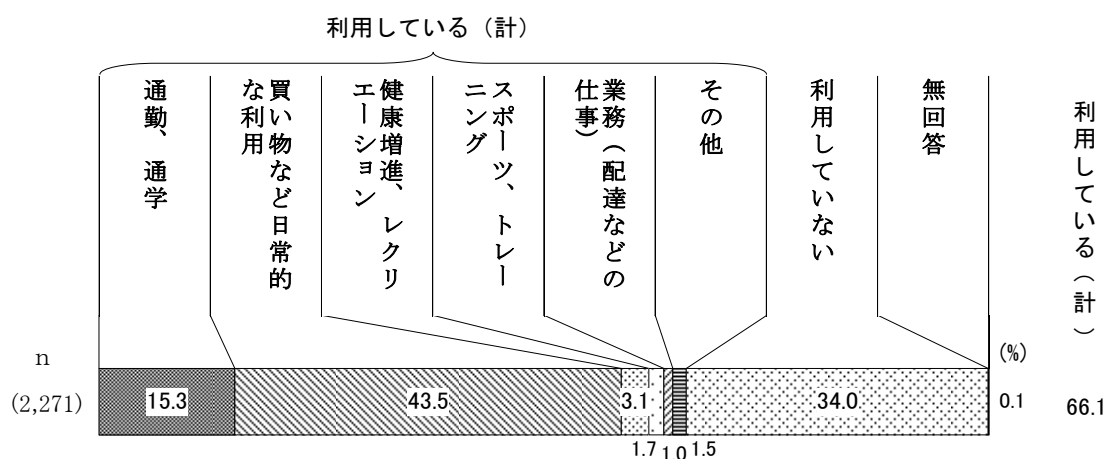
○ 県政世論調査では、毎年、県政の重要課題を特定調査テーマに設定し、課題調査を実施しています。
今年度は、上記3テーマを取り上げました。

3 自転車利用について

(1) 自転車の利用目的

◇「利用している」が66.1%、利用目的は「買い物など日常的な利用」が43.5%

問12 あなたは主にどのような目的で自転車を利用されますか。次の中から最もよく利用される目的を1つだけ選んでください



自転車の利用目的は、「買い物など日常的な利用」(43.5%)が4割強で最も高く、次いで「通勤、通学」(15.3%)、「健康増進、レクリエーション」(3.1%)の順となっており、自転車を『利用している(計)』(66.1%)は6割半ばとなっている。

【属性別比較】

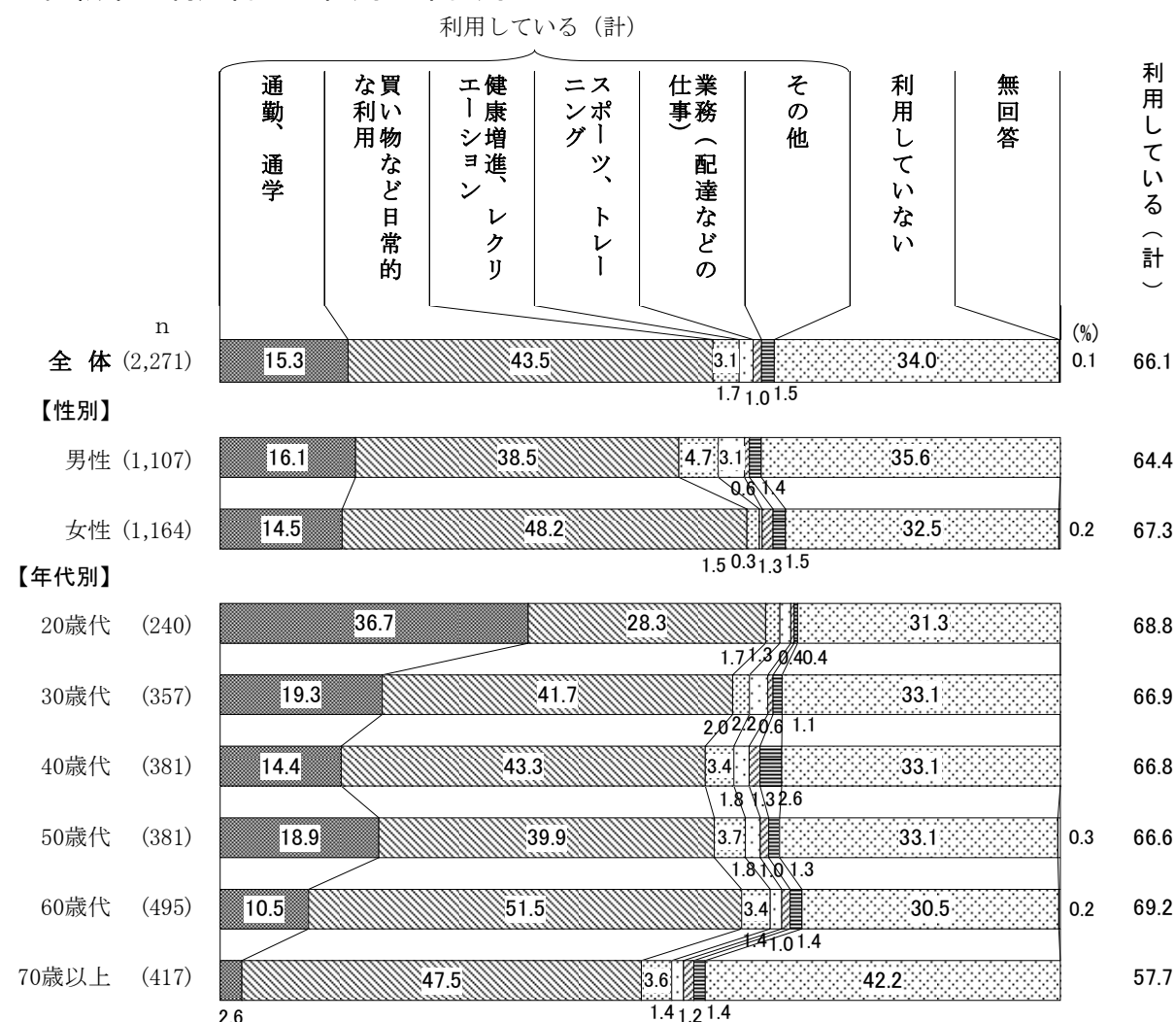
①性別

「買い物など日常的な利用」は女性（48.2%）のほうが男性（38.5%）よりも9.7ポイント高くなっている。一方、「利用していない」は男性（35.6%）のほうが女性（32.5%）よりも3.1ポイント高くなっている。

②年代別

「通勤、通学」は20歳代（36.7%）で3割半ばと最も高く、「買い物など日常的な利用」は60歳代（51.5%）で5割強、70歳以上（47.5%）で5割弱と高くなっている。一方、「利用していない」は70歳以上（42.2%）で4割強と最も高くなっている。

○自転車の利用目的・性別／年代別



③地域別

「通勤、通学」は南部地域（23.2%）で最も高く、北部地域（7.5%）と秩父地域（8.0%）で低くなっている。「買い物など日常的な利用」は秩父地域（68.0%）で最も高く、北部地域（33.2%）で最も低い。一方、「利用していない」は北部地域（50.8%）で約5割と高くなっている。

④性・年代別

「通勤、通学」は男性20歳代（43.3%）で4割強と最も高い。「買い物など日常的な利用」は女性の30歳代（54.9%）と60歳代（54.3%）で5割半ばと高くなっている。一方、「利用していない」は女性の70歳以上（46.2%）で4割半ばと最も高い。

⑤職業別

「通勤、通学」は雇用者（計）（25.0%）、「買い物など日常的な利用」は無職（計）（54.9%）でほかの職業に比べ比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「通勤、通学」は独身期（33.2%）、「買い物など日常的な利用」は家族成長前期（51.7%）と高齢期（51.3%）で高くなっている。

○自転車の利用目的・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

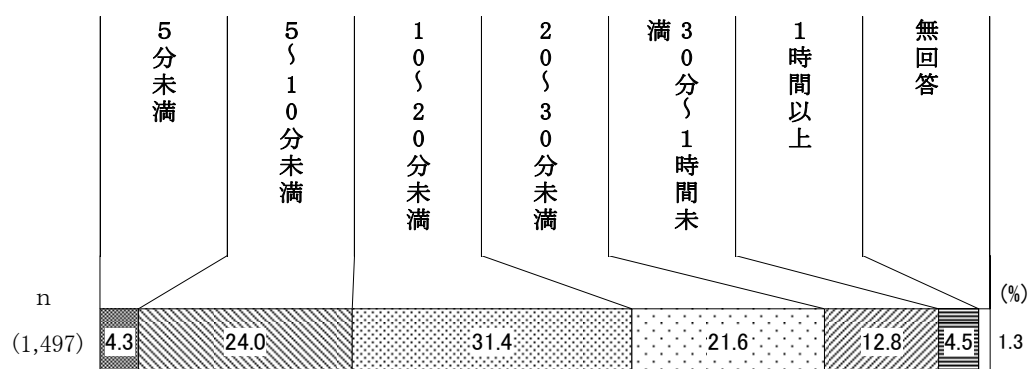
	調査数	通勤、通学	買い物など日常的	健康増進、エーション	スポーツ、トレ	仕事（配達などの	その他	利用していない	無回答	（利用している計）
全 体	2271	15.3	43.5	3.1	1.7	1.0	1.5	34.0	0.1	66.1
地域別										
南部地域	241	23.2	46.1	2.9	0.8	1.7	1.7	23.7	-	76.4
南西部地域	193	20.2	46.1	2.6	3.1	0.5	2.1	24.9	0.5	74.6
東部地域	347	13.3	41.2	3.5	1.4	0.9	0.6	39.2	-	60.9
さいたま地域	416	11.5	44.5	3.6	2.6	0.7	1.4	35.6	-	64.3
県央地域	197	20.3	45.2	4.1	2.0	1.0	1.5	25.9	-	74.1
川越比企地域	232	16.4	42.2	2.6	1.3	1.3	0.9	34.9	0.4	64.7
西部地域	224	18.3	46.0	1.8	0.4	1.3	1.8	30.4	-	69.6
利根地域	209	11.0	43.1	1.9	1.0	0.5	2.9	39.7	-	60.4
北部地域	187	7.5	33.2	4.3	2.1	1.1	1.1	50.8	-	49.3
秩父地域	25	8.0	68.0	4.0	-	-	-	20.0	-	80.0
性・年代別										
男性・20歳代	97	43.3	23.7	4.1	3.1	-	-	25.8	-	74.2
30歳代	193	23.8	30.6	1.6	3.6	-	0.5	39.9	-	60.1
40歳代	176	14.2	34.1	6.8	3.4	-	0.6	40.9	-	59.1
50歳代	191	16.8	36.1	5.8	3.1	0.5	2.1	35.6	-	64.4
60歳代	241	11.2	48.5	4.1	2.9	1.2	2.1	29.9	-	70.0
70歳以上	209	2.9	46.9	5.7	2.4	1.4	2.4	38.3	-	61.7
女性・20歳代	143	32.2	31.5	-	-	0.7	0.7	35.0	-	65.1
30歳代	164	14.0	54.9	2.4	0.6	1.2	1.8	25.0	-	74.9
40歳代	205	14.6	51.2	0.5	0.5	2.4	4.4	26.3	-	73.6
50歳代	190	21.1	43.7	1.6	0.5	1.6	0.5	30.5	0.5	69.0
60歳代	254	9.8	54.3	2.8	-	0.8	0.8	31.1	0.4	68.5
70歳以上	208	2.4	48.1	1.4	0.5	1.0	0.5	46.2	-	53.9
職業別										
自営業・家族従業（計）	239	6.3	41.0	7.5	0.4	3.3	2.5	38.5	0.4	61.0
雇用者（計）	1123	25.0	34.8	2.3	2.1	1.2	1.2	33.2	-	66.6
無職（計）	907	5.6	54.9	2.9	1.4	-	1.4	33.6	0.1	66.2
ライフステージ別										
独身期	295	33.2	29.2	1.7	1.0	0.3	0.3	34.2	-	65.7
家族形成期	185	18.9	40.5	3.2	1.6	-	-	35.7	-	64.2
家族成長前期	240	17.5	51.7	2.9	2.9	1.7	2.9	20.4	-	79.6
家族成長後期	198	16.7	44.4	3.0	1.0	1.5	3.0	30.3	-	69.6
家族成熟期	505	15.4	42.6	3.0	2.4	1.2	2.0	33.5	-	66.6
高齢期	575	5.4	51.3	3.5	1.0	1.2	1.6	35.8	0.2	64.0
その他	273	11.0	38.1	4.0	1.8	0.4	-	44.3	0.4	55.3

(1 - 1) 自転車の利用時間

◇ 「10～20分未満」が31.4%、「5～10分未満」が24.0%

(問12で「通勤、通学」～「業務（配達などの仕事）」のいずれかを答えた方に)

問12-1 あなたは問12で回答された目的のため1回あたりどれぐらいの時間自転車を利用されますか

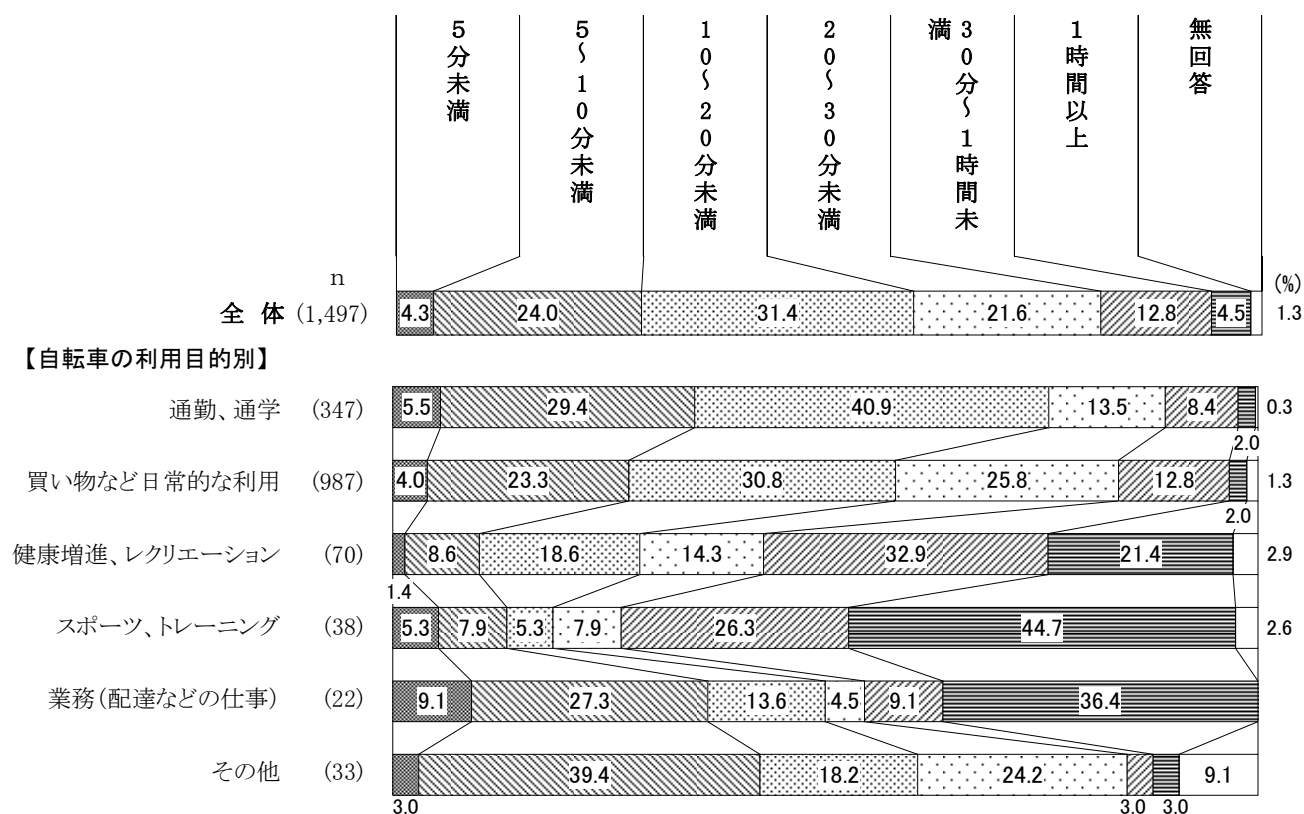


1回あたりの自転車の利用時間は、「10～20分未満」(31.4%)が3割強で最も高く、次いで「5～10分未満」(24.0%)、「20～30分未満」(21.6%)、「30分～1時間未満」(12.8%)の順となっている。

【自転車の利用目的別】

問12の自転車の利用目的別にみると、「5～10分未満」は通勤、通学、業務（配達などの仕事）、その他で高く、「10～20分未満」は通勤、通学と買い物などの日常的な利用で高くなっている。「20～30分未満」は買い物などの日常的な利用、その他で2割半ばと高い。「30分～1時間未満」は健康増進、レクリエーションとスポーツ、トレーニングで高く、「1時間以上」はスポーツ、トレーニングと業務（配達などの仕事）で高くなっている。

○自転車の利用時間・自転車の利用目的別



【属性別比較】

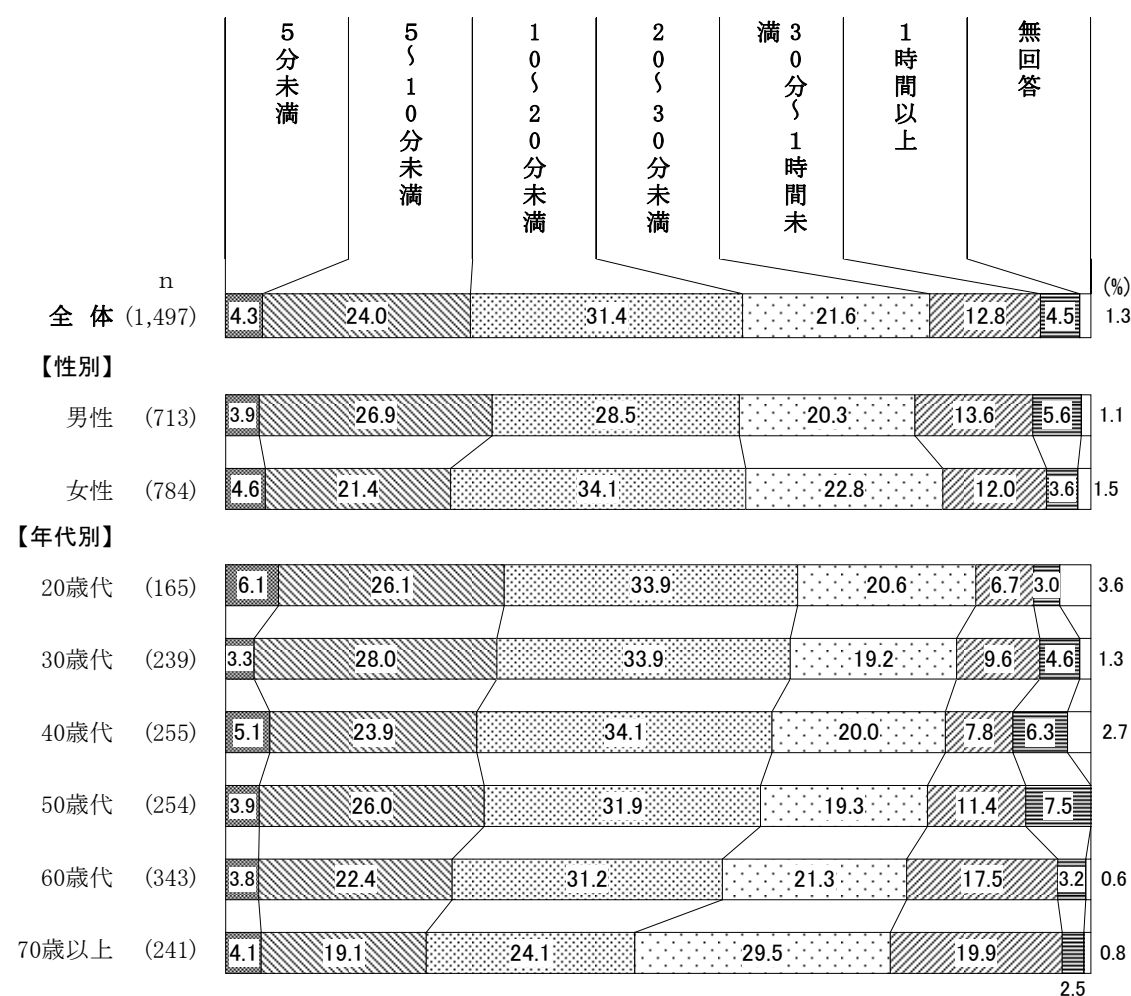
①性別

「5～10分未満」は男性（26.9%）のほうが女性（21.4%）よりも5.5ポイント高く、「10～20分未満」は女性（34.1%）のほうが男性（28.5%）よりも5.6ポイント高くなっている。

②年代別

「10～20分未満」は20歳代から40歳代で3割強と比較的高くなっている。「20～30分未満」は70歳以上（29.5%）で約3割と最も高い。「30分～1時間未満」は年齢が高くなるほど割合が高く、70歳以上（19.9%）で約2割となっている。

○自転車の利用時間・性別／年代別



③地域別

「5分未満」と「5～10分未満」は北部地域で最も高い。「10～20分未満」は南部地域（39.1%）で約4割と高くなっている。「20～30分未満」は南西部地域（26.4%）、西部地域（26.9%）、利根地域（26.2%）、秩父地域（25.0%）で2割半ばと比較的高くなっている。

④性・年代別

「10～20分未満」は女性の20歳代と50歳代で約4割と高くなっている。「20～30分未満」は男女ともに70歳以上で高くなっている。

⑤職業別

「10～20分未満」は雇用者（計）（35.2%）でほかの職業に比べ比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「20～30分未満」は高齢期（25.5%）で高く、家族形成期（16.0%）で低くなっている。

○自転車の利用時間・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

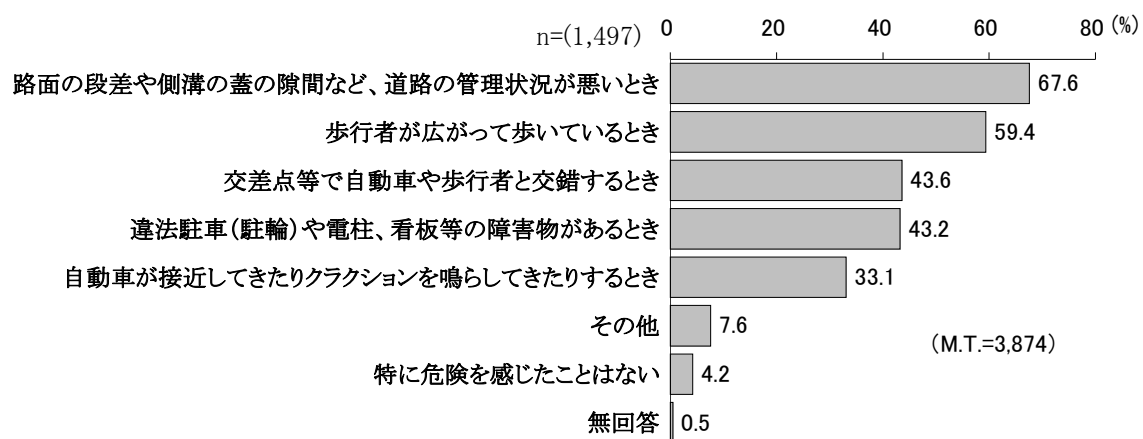
	調査数	5分未満	5～10分未満	10～20分未満	20～30分未満	30分～1時間未満	1時間以上	無回答
全 体	1497	4.3	24.0	31.4	21.6	12.8	4.5	1.3
地域別								
南部地域	184	1.6	22.3	39.1	19.0	13.6	3.3	1.1
南西部地域	144	2.1	25.7	29.9	26.4	9.7	5.6	0.7
東部地域	211	3.3	22.7	30.8	23.7	13.7	3.8	1.9
さいたま地域	268	5.2	23.9	29.9	20.1	14.2	5.2	1.5
県央地域	146	6.2	23.3	30.1	18.5	15.8	6.2	-
川越比企地域	150	2.7	25.3	37.3	18.0	10.0	6.0	0.7
西部地域	156	3.2	22.4	30.1	26.9	13.5	1.9	1.9
利根地域	126	6.3	23.8	27.0	26.2	8.7	4.8	3.2
北部地域	92	12.0	31.5	23.9	14.1	13.0	4.3	1.1
秩父地域	20	-	20.0	35.0	25.0	15.0	5.0	-
性・年代別								
男性・20歳代	72	4.2	26.4	26.4	20.8	11.1	5.6	5.6
30歳代	116	1.7	31.9	33.6	12.1	12.1	7.8	0.9
40歳代	104	5.8	22.1	35.6	15.4	10.6	8.7	1.9
50歳代	123	3.3	30.1	22.8	20.3	15.4	8.1	-
60歳代	169	3.6	29.0	30.2	22.5	11.8	3.0	-
70歳以上	129	5.4	20.9	22.5	28.7	19.4	2.3	0.8
女性・20歳代	93	7.5	25.8	39.8	20.4	3.2	1.1	2.2
30歳代	123	4.9	24.4	34.1	26.0	7.3	1.6	1.6
40歳代	151	4.6	25.2	33.1	23.2	6.0	4.6	3.3
50歳代	131	4.6	22.1	40.5	18.3	7.6	6.9	-
60歳代	174	4.0	16.1	32.2	20.1	23.0	3.4	1.1
70歳以上	112	2.7	17.0	25.9	30.4	20.5	2.7	0.9
職業別								
自営業・家族従業（計）	146	8.2	28.1	24.7	24.0	10.3	3.4	1.4
雇用者（計）	750	4.5	25.6	35.2	18.9	9.6	4.9	1.2
無職（計）	601	3.0	21.1	28.3	24.5	17.3	4.3	1.5
ライフステージ別								
独身期	194	4.1	24.7	33.5	22.2	8.8	3.1	3.6
家族形成期	119	5.0	27.7	35.3	16.0	10.9	3.4	1.7
家族成長前期	191	3.7	27.7	34.6	19.9	7.9	5.2	1.0
家族成長後期	138	5.8	27.5	29.7	20.3	6.5	9.4	0.7
家族成熟期	336	4.2	25.9	32.1	20.2	11.9	4.8	0.9
高齢期	368	4.9	19.6	26.9	25.5	19.8	2.4	0.8
その他	151	2.0	19.2	32.5	22.5	15.9	6.6	1.3

（１－２）自転車に乗っていて危険と感ずること

◇「路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき」が67.6%

（問12で「通勤、通学」～「業務（配達などの仕事）」のいずれかを答えた方に）

問12－2 あなたが自転車に乗っていて危険と感ずることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



自転車に乗っていて危険と感ずることは、「路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき」（67.6%）が7割弱で最も高く、次いで「歩行者が広がって歩いているとき」（59.4%）、「交差点等で自動車や歩行者と交錯するとき」（43.6%）、「違法駐車（駐輪）や電柱、看板等の障害物があるとき」（43.2%）、「自動車が接近してきたりクラクションを鳴らしてきたりするとき」（33.1%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき」は県央地域（76.0%）、利根地域（73.8%）で高く、さいたま地域（60.8%）と川越比企地域（60.7%）で低くなっている。「交差点等で自動車や歩行者と交錯するとき」は県央地域（51.4%）で5割を超えて高い。「自動車が接近してきたりクラクションを鳴らしてきたりするとき」は秩父地域（40.0%）で4割と高く、川越比企地域（26.0%）で2割半ばと低くなっている。

②性別

「歩行者が広がって歩いているとき」で9.5ポイント、「路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき」で8.0ポイント、「交差点等で自動車や歩行者と交錯するとき」で6.7ポイント、女性のほうが男性よりも高くなっている。

③年代別

「路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき」は30歳代（73.6%）と40歳代（71.4%）で7割を超えて高くなっている。「歩行者が広がって歩いているとき」、「交差点等で自動車や歩行者と交錯するとき」、「自動車が接近してきたりクラクションを鳴らしてきたりするとき」は20歳代の割合が最も高くなっている。「違法駐車（駐輪）や電柱、看板等の障害物があるとき」は50歳代（49.2%）で約5割と高くなっている。

④性・年代別

「路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき」は女性の30歳代（78.9%）で特に高く、男性の20歳代（55.6%）と70歳以上（57.4%）で低くなっている。「交差点等で自動車や歩行者と交錯するとき」は女性の20歳代（58.1%）で6割弱と最も高い。「違法駐車（駐輪）や電柱、看板等の障害物があるとき」は男性の40歳代（50.0%）と50歳代（49.6%）、女性の50歳代（48.9%）で高くなっている。「自動車が接近してきたりクラクションを鳴らしてきたりするとき」は女性の20歳代（44.1%）で最も高く、男性の70歳以上（24.8%）で最も低くなっている。

⑤職業別

「歩行者が広がって歩いているとき」は雇用者（計）と無職（計）で比較的高く、自営業・家族従業（計）で低くなっている。

⑥ライフステージ別

「路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき」は家族形成期（74.8%）と家族成長前期（73.3%）で7割を超えて高くなっている。「違法駐車（駐輪）や電柱、看板等の障害物があるとき」は家族成熟期（50.0%）で5割と高くなっている。

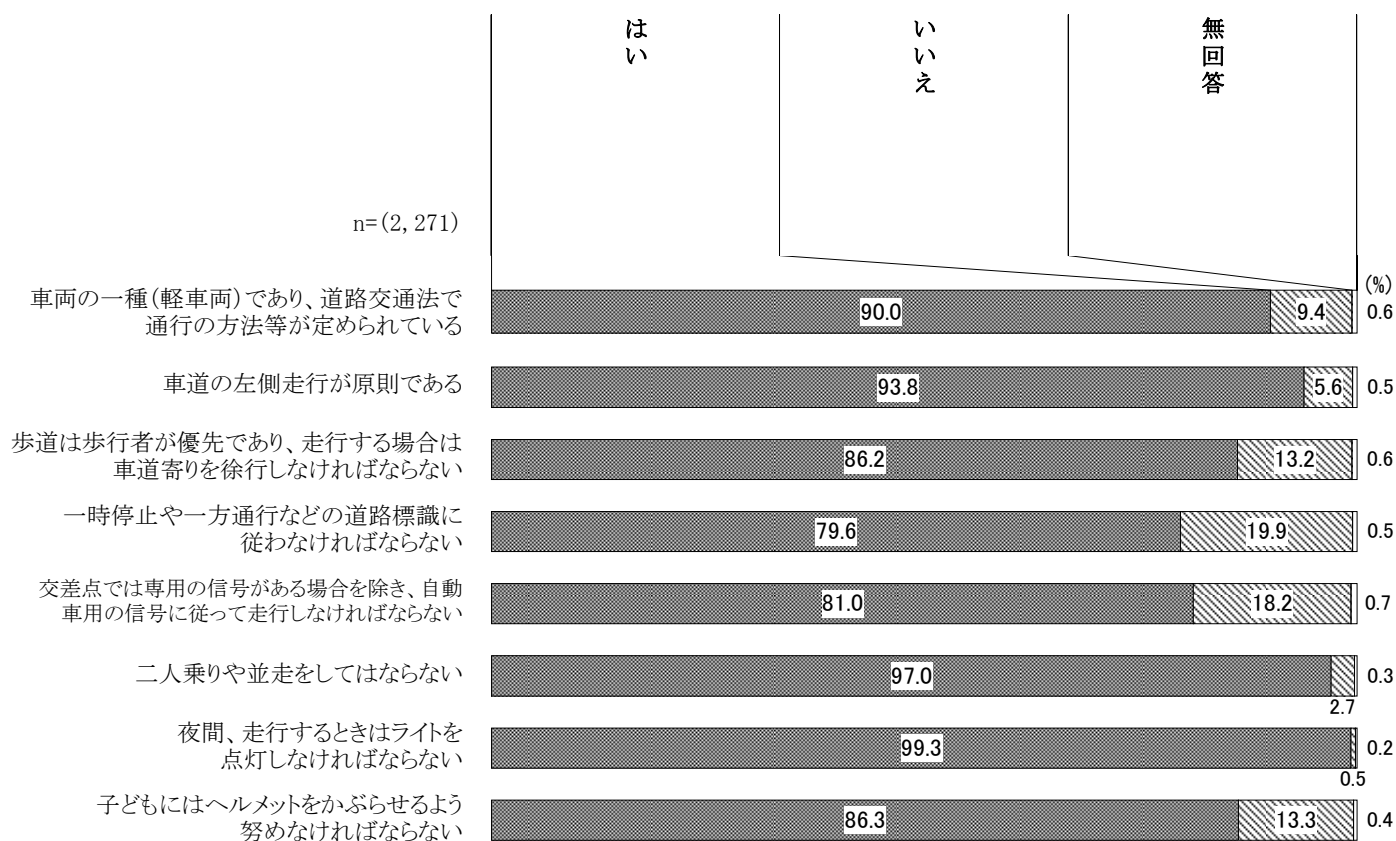
○自転車に乗っていて危険と感ずること・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	路面の段差や側溝の管蓋の隙間など、道路の状況が悪いとき	歩行者が広がって歩いているとき	交差点等で自動車や歩行者と交錯するとき	違法駐車（駐輪）や電柱、看板等の障害物があるとき	自動車が接近してきたりクラクションを鳴らしたりするとき	その他	特に危険を感じたことはない	無回答
全 体	1497	67.6	59.4	43.6	43.2	33.1	7.6	4.2	0.5
地域別									
南部地域	184	70.1	65.2	46.7	47.8	34.8	7.1	1.6	0.5
南西部地域	144	64.6	63.9	47.9	41.7	31.9	8.3	1.4	-
東部地域	211	67.3	55.9	41.2	43.1	37.0	10.0	2.4	0.5
さいたま地域	268	60.8	56.3	40.3	39.2	31.0	4.5	11.6	0.4
県央地域	146	76.0	59.6	51.4	43.8	33.6	8.9	2.7	1.4
川越比企地域	150	60.7	57.3	39.3	46.7	26.0	8.0	3.3	-
西部地域	156	70.5	57.1	41.0	43.6	38.5	6.4	3.2	1.3
利根地域	126	73.8	64.3	48.4	46.8	30.2	11.1	2.4	0.8
北部地域	92	71.7	57.6	39.1	38.0	33.7	6.5	4.3	-
秩父地域	20	70.0	60.0	40.0	35.0	40.0	5.0	5.0	-
性別									
男性	713	63.4	54.4	40.1	43.9	31.4	8.3	4.6	0.8
女性	784	71.4	63.9	46.8	42.6	34.7	7.0	3.8	0.3
年代別									
20歳代	165	64.8	64.8	48.5	38.2	40.0	4.8	1.2	-
30歳代	239	73.6	61.1	39.3	40.2	31.4	7.9	0.8	1.3
40歳代	255	71.4	54.1	46.7	45.9	35.7	9.0	3.5	0.4
50歳代	254	69.7	61.4	46.9	49.2	33.1	8.3	3.5	0.4
60歳代	343	65.9	61.5	41.4	45.2	31.5	7.9	7.3	0.6
70歳以上	241	59.8	54.4	41.1	37.8	29.9	6.6	6.6	0.4
性・年代別									
男性・20歳代	72	55.6	56.9	36.1	31.9	34.7	6.9	1.4	-
30歳代	116	68.1	64.7	36.2	42.2	30.2	8.6	1.7	1.7
40歳代	104	70.2	54.8	43.3	50.0	38.5	7.7	2.9	-
50歳代	123	66.7	52.0	45.5	49.6	28.5	8.9	4.1	0.8
60歳代	169	61.5	52.1	41.4	47.9	33.7	10.1	6.5	1.2
70歳以上	129	57.4	48.8	36.4	36.4	24.8	6.2	8.5	0.8
女性・20歳代	93	72.0	71.0	58.1	43.0	44.1	3.2	1.1	-
30歳代	123	78.9	57.7	42.3	38.2	32.5	7.3	-	0.8
40歳代	151	72.2	53.6	49.0	43.0	33.8	9.9	4.0	0.7
50歳代	131	72.5	70.2	48.1	48.9	37.4	7.6	3.1	-
60歳代	174	70.1	70.7	41.4	42.5	29.3	5.7	8.0	-
70歳以上	112	62.5	60.7	46.4	39.3	35.7	7.1	4.5	-
職業別									
自営業・家族従業（計）	146	67.8	49.3	38.4	43.2	31.5	9.6	6.2	-
雇用者（計）	750	67.3	61.5	45.1	44.8	34.5	7.5	3.1	0.8
無職（計）	601	67.9	59.2	43.1	41.3	31.8	7.3	5.2	0.3
ライフステージ別									
独身期	194	67.0	64.9	46.9	39.7	38.7	6.7	1.0	-
家族形成期	119	74.8	57.1	42.0	39.5	32.8	8.4	1.7	-
家族成長前期	191	73.3	59.7	41.4	42.4	30.4	5.8	2.1	1.6
家族成長後期	138	68.1	50.7	41.3	44.9	31.9	8.7	5.1	-
家族成熟期	336	67.6	60.7	46.1	50.0	33.6	8.6	3.3	1.2
高齢期	368	64.7	59.0	39.9	39.4	29.1	6.3	8.7	0.3
その他	151	62.3	59.6	49.0	44.4	39.7	10.6	3.3	-

（２）自転車利用の交通ルールの認知度

◇「夜間、走行するときはライトを点灯しなければならない」の認知度が99.3%

問13 自転車利用の交通ルールについておたずねいたします。あなたは、次の自転車利用の交通ルールを知っていますか。それぞれについてあてはまる方に○をしてください。



自転車利用の交通ルールで認知されているもの（「はい」）は、「夜間、走行するときはライトを点灯しなければならない」（99.3%）が最も高く、「二人乗りや並走をしてはならない」（97.0%）、「車道の左側走行が原則である」（93.8%）、「車両の一種（軽車両）であり、道路交通法で通行の方法等が定められている」（90.0%）で9割以上となっている。一方、交通ルールで認知されていないもの（「いいえ」）は「一時停止や一方通行などの道路標識に従わなければならない」が19.9%と最も高く、次いで「交差点では専用の信号がある場合を除き、自動車用の信号に従って走行しなければならない」（18.2%）、「子どもにはヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない」（13.3%）、「歩道は歩行者が優先であり、走行する場合は車道寄りを徐行しなければならない」（13.2%）の順となっている。

（１）車両の一種（軽車両）であり、道路交通法で通行の方法等が定められている

認知度（「はい」）（90.0%）が9割と高くなっている。一方、「いいえ」（9.4%）は約1割である。

【属性別比較】

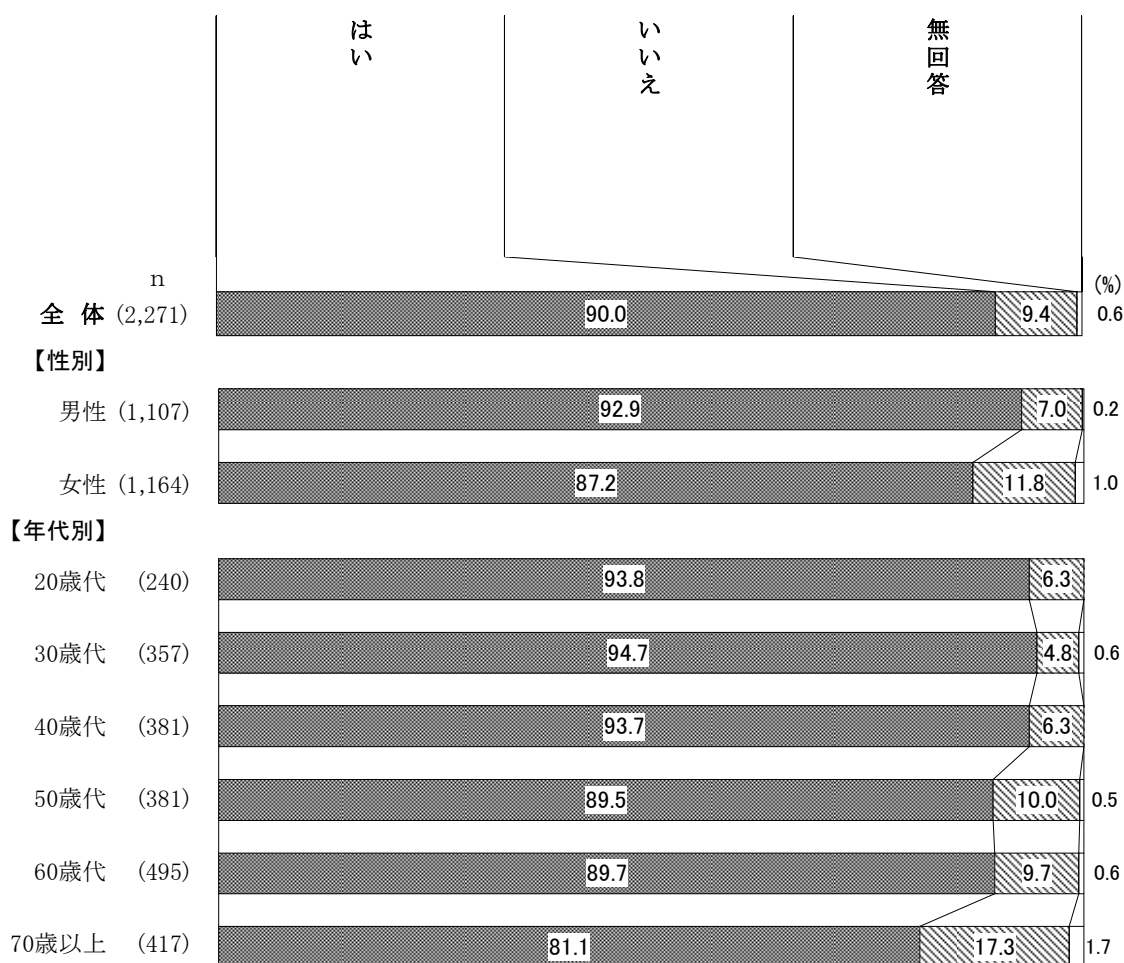
①性別

認知度は男性（92.9%）のほうが女性（87.2%）よりも5.7ポイント高くなっている。

②年代別

認知度は20歳代から40歳代で9割を超えている。70歳以上（81.1%）で8割強と低くなっている。

○性別／年代別



③地域別

認知度は川越比企地域（85.8%）、西部地域（86.6%）、秩父地域（84.0%）で8割半ばと比較的低くなっている。

④性・年代別

認知度は男性では70歳以上（85.6%）を除いて9割を超えており、女性でも20歳代から40歳代で9割を超えている。一方、女性の70歳以上（76.4%）で7割半ばと低くなっている。

⑤職業別

認知度は無職（計）（86.0%）で比較的低くなっている。

⑥ライフステージ別

認知度は独身期（94.2%）と家族形成期（94.1%）で9割半ばと高く、高齢期（83.3%）を除いたすべてのステージで9割を超えている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	90.0	9.4	0.6
地域別				
南部地域	241	90.9	8.3	0.8
南西部地域	193	92.2	7.3	0.5
東部地域	347	90.5	8.4	1.2
さいたま地域	416	91.1	8.9	—
県央地域	197	87.8	10.7	1.5
川越比企地域	232	85.8	13.8	0.4
西部地域	224	86.6	12.1	1.3
利根地域	209	92.3	7.7	—
北部地域	187	92.5	7.5	—
秩父地域	25	84.0	16.0	—
性・年代別				
男性・20歳代	97	95.9	4.1	—
30歳代	193	95.3	4.7	—
40歳代	176	96.6	3.4	—
50歳代	191	93.7	6.3	—
60歳代	241	92.5	7.5	—
70歳以上	209	85.6	13.4	1.0
女性・20歳代	143	92.3	7.7	—
30歳代	164	93.9	4.9	1.2
40歳代	205	91.2	8.8	—
50歳代	190	85.3	13.7	1.1
60歳代	254	87.0	11.8	1.2
70歳以上	208	76.4	21.2	2.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	90.0	10.0	—
雇用者（計）	1123	93.1	6.8	0.1
無職（計）	907	86.0	12.6	1.4
ライフステージ別				
独身期	295	94.2	5.8	—
家族形成期	185	94.1	5.9	—
家族成長前期	240	93.8	5.4	0.8
家族成長後期	198	90.9	9.1	—
家族成熟期	505	90.9	8.3	0.8
高齢期	575	83.3	15.3	1.4
その他	273	90.8	9.2	—

（２）車道の左側走行が原則である

認知度（「はい」）（93.8%）が9割強と高くなっている。一方、「いいえ」（5.6%）は1割未満である。

【属性別比較】

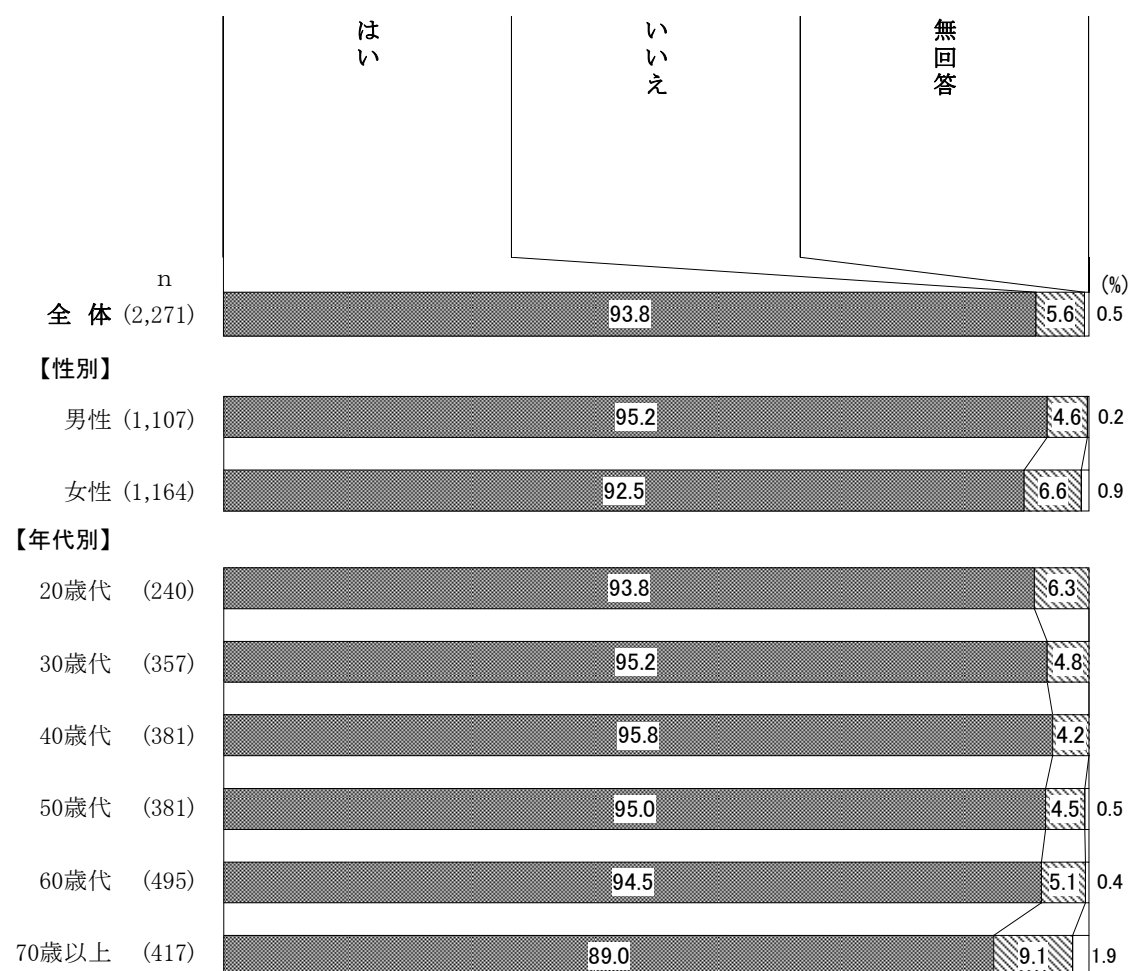
①性別

認知度は男性（95.2%）のほうが女性（92.5%）よりも2.7ポイント高くなっている。

②年代別

認知度は20歳代から60歳代で9割を超えているが、70歳以上（89.0%）で約9割と低くなっている。

○性別／年代別



③地域別

認知度は秩父地域（84.0％）で8割半ばと比較的低くなっている。

④性・年代別

認知度は女性の70歳以上（86.5％）を除いて9割を超えている。

⑤職業別

認知度は雇用者（計）（94.9％）で9割半ばと比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

認知度は家族成長後期（97.0％）で比較的高く、すべてのステージで9割を超えている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	93.8	5.6	0.5
地域別				
南部地域	241	93.8	5.8	0.4
南西部地域	193	96.9	2.6	0.5
東部地域	347	93.7	5.2	1.2
さいたま地域	416	94.5	5.3	0.2
県央地域	197	92.9	6.1	1.0
川越比企地域	232	91.4	8.6	-
西部地域	224	92.0	7.1	0.9
利根地域	209	93.3	6.7	-
北部地域	187	97.9	1.6	0.5
秩父地域	25	84.0	16.0	-
性・年代別				
男性・20歳代	97	97.9	2.1	-
30歳代	193	96.9	3.1	-
40歳代	176	96.0	4.0	-
50歳代	191	95.3	4.7	-
60歳代	241	95.4	4.6	-
70歳以上	209	91.4	7.7	1.0
女性・20歳代	143	90.9	9.1	-
30歳代	164	93.3	6.7	-
40歳代	205	95.6	4.4	-
50歳代	190	94.7	4.2	1.1
60歳代	254	93.7	5.5	0.8
70歳以上	208	86.5	10.6	2.9
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	92.9	5.9	1.3
雇用者（計）	1123	94.9	5.0	0.1
無職（計）	907	92.7	6.4	0.9
ライフステージ別				
独身期	295	93.9	6.1	-
家族形成期	185	95.7	4.3	-
家族成長前期	240	96.7	3.3	-
家族成長後期	198	97.0	3.0	-
家族成熟期	505	94.1	5.3	0.6
高齢期	575	91.8	6.6	1.6
その他	273	91.6	8.4	-

(3) 歩道は歩行者が優先であり、走行する場合は車道寄りを徐行しなければならない

認知度（「はい」）（86.2%）が8割半ばと高くなっている。一方、「いいえ」（13.2%）は1割強である。

【属性別比較】

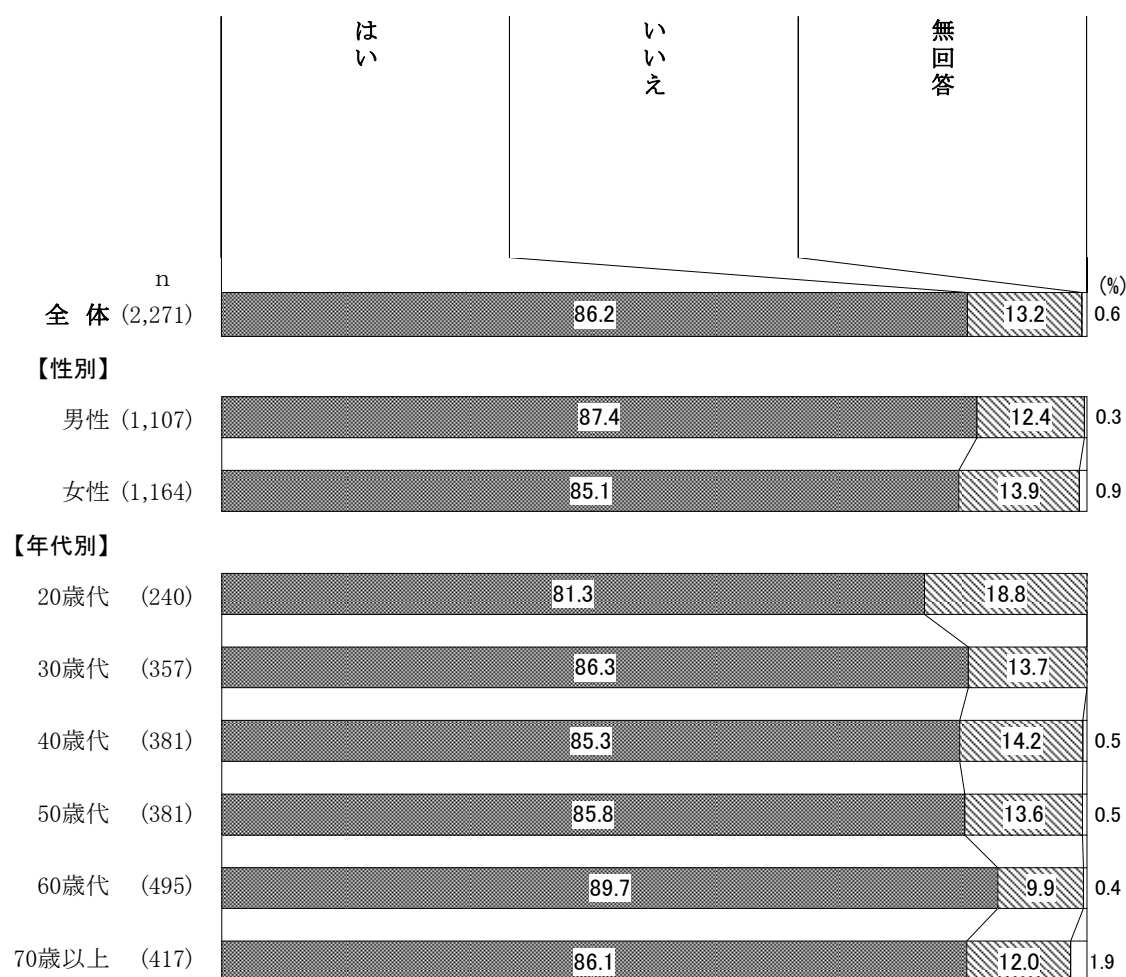
①性別

認知度は男性（87.4%）のほうが女性（85.1%）よりも2.3ポイント高くなっている。

②年代別

認知度は60歳代（89.7%）で約9割と最も高く、20歳代（81.3%）で8割強と最も低い。

○性別／年代別



③地域別

認知度は川越比企地域（83.2%）、西部地域（82.6%）、秩父地域（80.0%）で比較的低くなっている。

④性・年代別

認知度は男性の60歳代（92.1%）で9割強と最も高く、女性の20歳代（79.7%）で約8割と最も低くなっている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

認知度は家族成長前期（87.9%）と家族成熟期（88.5%）で9割弱と比較的高く、独身期（83.4%）と家族形成期（83.8%）で比較的低くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	86.2	13.2	0.6
地域別				
南部地域	241	85.5	13.3	1.2
南西部地域	193	87.0	13.0	—
東部地域	347	86.7	12.4	0.9
さいたま地域	416	88.5	11.3	0.2
県央地域	197	86.3	12.7	1.0
川越比企地域	232	83.2	16.8	—
西部地域	224	82.6	15.6	1.8
利根地域	209	86.1	13.4	0.5
北部地域	187	89.3	10.7	—
秩父地域	25	80.0	20.0	—
性・年代別				
男性・20歳代	97	83.5	16.5	—
30歳代	193	85.0	15.0	—
40歳代	176	85.2	14.8	—
50歳代	191	87.4	12.6	—
60歳代	241	92.1	7.9	—
70歳以上	209	87.6	11.0	1.4
女性・20歳代	143	79.7	20.3	—
30歳代	164	87.8	12.2	—
40歳代	205	85.4	13.7	1.0
50歳代	190	84.2	14.7	1.1
60歳代	254	87.4	11.8	0.8
70歳以上	208	84.6	13.0	2.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	85.8	13.4	0.8
雇用者（計）	1123	85.9	13.9	0.2
無職（計）	907	86.7	12.2	1.1
ライフステージ別				
独身期	295	83.4	16.6	—
家族形成期	185	83.8	16.2	—
家族成長前期	240	87.9	12.1	—
家族成長後期	198	85.4	14.6	—
家族成熟期	505	88.5	10.5	1.0
高齢期	575	86.8	11.8	1.4
その他	273	84.6	15.0	0.4

（４）一時停止や一方通行などの道路標識に従わなければならない

認知度（「はい」）（79.6%）が約８割と高くなっている。一方、「いいえ」（19.9%）は約２割である。

【属性別比較】

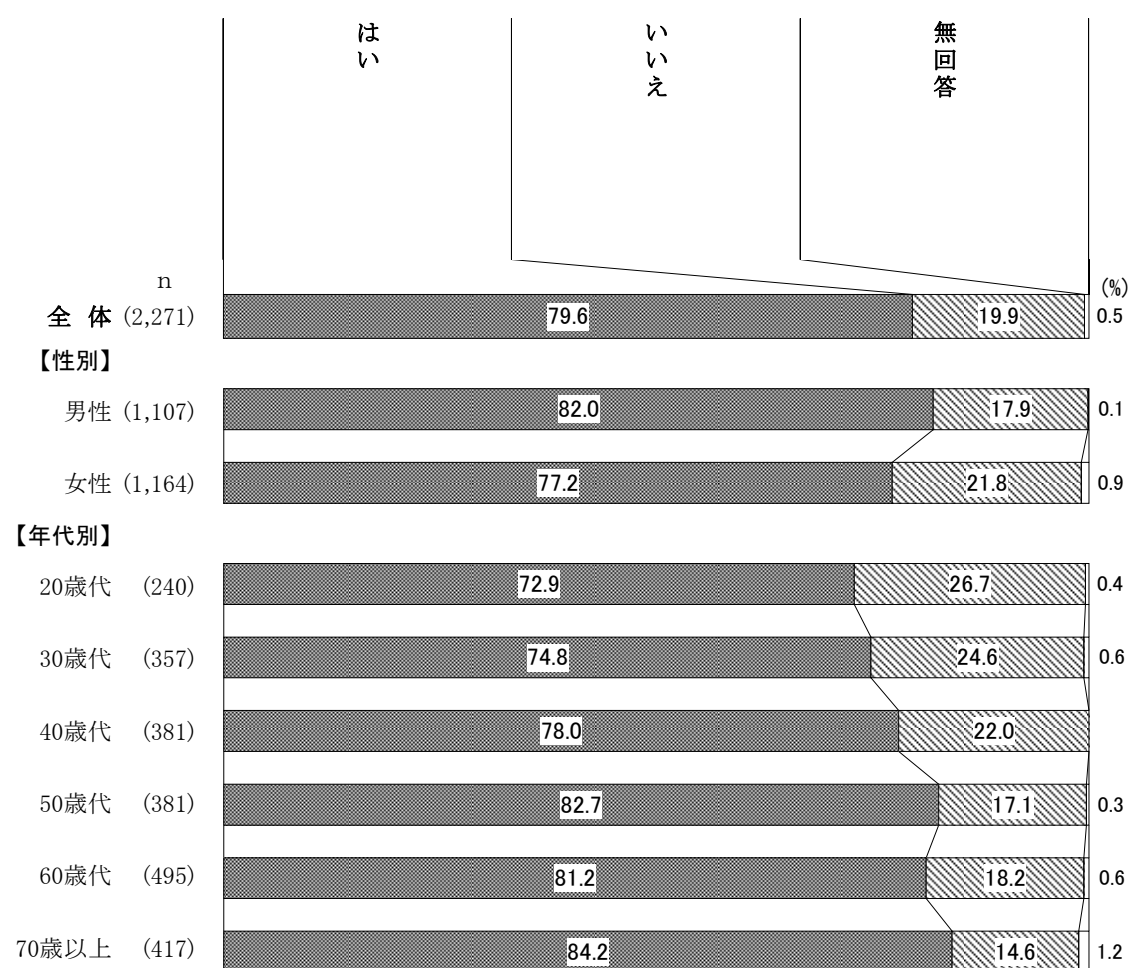
①性別

認知度は男性（82.0%）のほうが女性（77.2%）よりも4.8ポイント高くなっている。

②年代別

認知度は高年代ほど高くなる傾向がみられ、70歳以上（84.2%）で8割半ばとなっている。

○性別／年代別



③地域別

認知度は北部地域（84.5％）で8割半ばと最も高く、県央地域（75.6％）、川越比企地域（74.1％）、西部地域（74.6％）、秩父地域（76.0％）で7割半ばと低くなっている。

④性・年代別

認知度は男性では40歳代（84.1％）と50歳代（86.9％）で8割半ばと高く、女性では70歳以上（87.0％）で高く、女性の20歳代（68.5％）で7割弱と最も低くなっている。

⑤職業別

認知度は自営業・家族従業（計）（82.0％）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

認知度は高齢期（82.4％）とその他（82.4％）で8割強と比較的高く、家族成長前期（72.1％）で7割強と低くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	79.6	19.9	0.5
地域別				
南部地域	241	80.5	19.1	0.4
南西部地域	193	83.9	16.1	—
東部地域	347	81.0	17.9	1.2
さいたま地域	416	81.0	19.0	—
県央地域	197	75.6	22.8	1.5
川越比企地域	232	74.1	25.9	—
西部地域	224	74.6	24.1	1.3
利根地域	209	80.4	19.1	0.5
北部地域	187	84.5	15.5	—
秩父地域	25	76.0	24.0	—
性・年代別				
男性・20歳代	97	79.4	20.6	—
30歳代	193	77.2	22.8	—
40歳代	176	84.1	15.9	—
50歳代	191	86.9	13.1	—
60歳代	241	82.2	17.8	—
70歳以上	209	81.3	18.2	0.5
女性・20歳代	143	68.5	30.8	0.7
30歳代	164	72.0	26.8	1.2
40歳代	205	72.7	27.3	—
50歳代	190	78.4	21.1	0.5
60歳代	254	80.3	18.5	1.2
70歳以上	208	87.0	11.1	1.9
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	82.0	17.6	0.4
雇用者（計）	1123	79.6	20.3	0.1
無職（計）	907	78.8	20.1	1.1
ライフステージ別				
独身期	295	74.9	25.1	—
家族形成期	185	78.4	20.5	1.1
家族成長前期	240	72.1	27.5	0.4
家族成長後期	198	81.3	18.7	—
家族成熟期	505	80.8	19.0	0.2
高齢期	575	82.4	16.2	1.4
その他	273	82.4	17.6	—

(5) 交差点では専用の信号がある場合を除き、自動車用の信号に従って走行しなければならない

認知度（「はい」）（81.0%）が8割強と高くなっている。一方、「いいえ」（18.2%）は2割弱である。

【属性別比較】

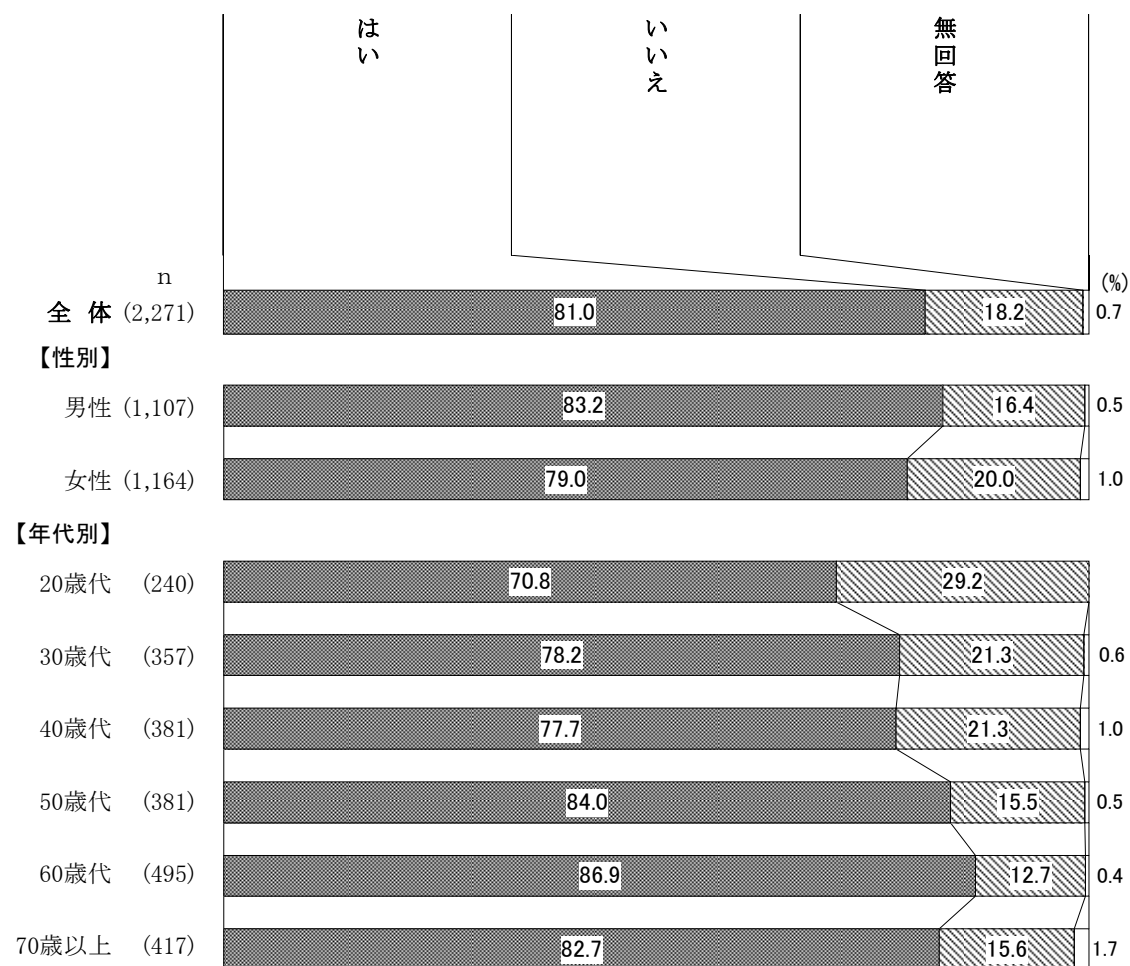
①性別

認知度は男性（83.2%）のほうが女性（79.0%）よりも4.2ポイント高くなっている。

②年代別

認知度は20歳代（70.8%）で約7割と最も低い。また、50歳代以上では8割を超えている。

○性別／年代別



③地域別

認知度は北部地域（88.8％）と秩父地域（88.0％）で9割弱と比較的高く、県央地域（72.6％）と川越比企地域（75.0％）で比較的低くなっている。

④性・年代別

認知度は男性では20歳代（70.1％）を除いて8割を超えており、女性でも50歳代以上で8割を超えている。

⑤職業別

認知度は雇用者（計）（79.6％）で比較的低くなっている。

⑥ライフステージ別

認知度は家族成熟期（85.1％）で8割半ばと最も高くなっている。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	81.0	18.2	0.7
地域別				
南部地域	241	81.3	17.0	1.7
南西部地域	193	81.9	18.1	—
東部地域	347	80.1	19.0	0.9
さいたま地域	416	81.5	18.0	0.5
県央地域	197	72.6	25.9	1.5
川越比企地域	232	75.0	24.6	0.4
西部地域	224	83.9	14.7	1.3
利根地域	209	84.2	15.3	0.5
北部地域	187	88.8	11.2	—
秩父地域	25	88.0	12.0	—
性・年代別				
男性・20歳代	97	70.1	29.9	—
30歳代	193	80.3	19.2	0.5
40歳代	176	81.3	18.2	0.6
50歳代	191	86.9	13.1	—
60歳代	241	89.2	10.8	—
70歳以上	209	83.3	15.3	1.4
女性・20歳代	143	71.3	28.7	—
30歳代	164	75.6	23.8	0.6
40歳代	205	74.6	23.9	1.5
50歳代	190	81.1	17.9	1.1
60歳代	254	84.6	14.6	0.8
70歳以上	208	82.2	15.9	1.9
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	84.5	15.1	0.4
雇用者（計）	1123	79.6	20.0	0.4
無職（計）	907	81.8	16.9	1.3
ライフステージ別				
独身期	295	73.6	26.1	0.3
家族形成期	185	77.8	21.6	0.5
家族成長前期	240	77.5	22.1	0.4
家族成長後期	198	79.8	19.7	0.5
家族成熟期	505	85.1	14.1	0.8
高齢期	575	83.1	15.7	1.2
その他	273	83.2	16.1	0.7

(6) 二人乗りや並走をしてはならない

認知度（「はい」）は97.0%と高くなっている。一方、「いいえ」（2.7%）は1割未満である。

【属性別比較】

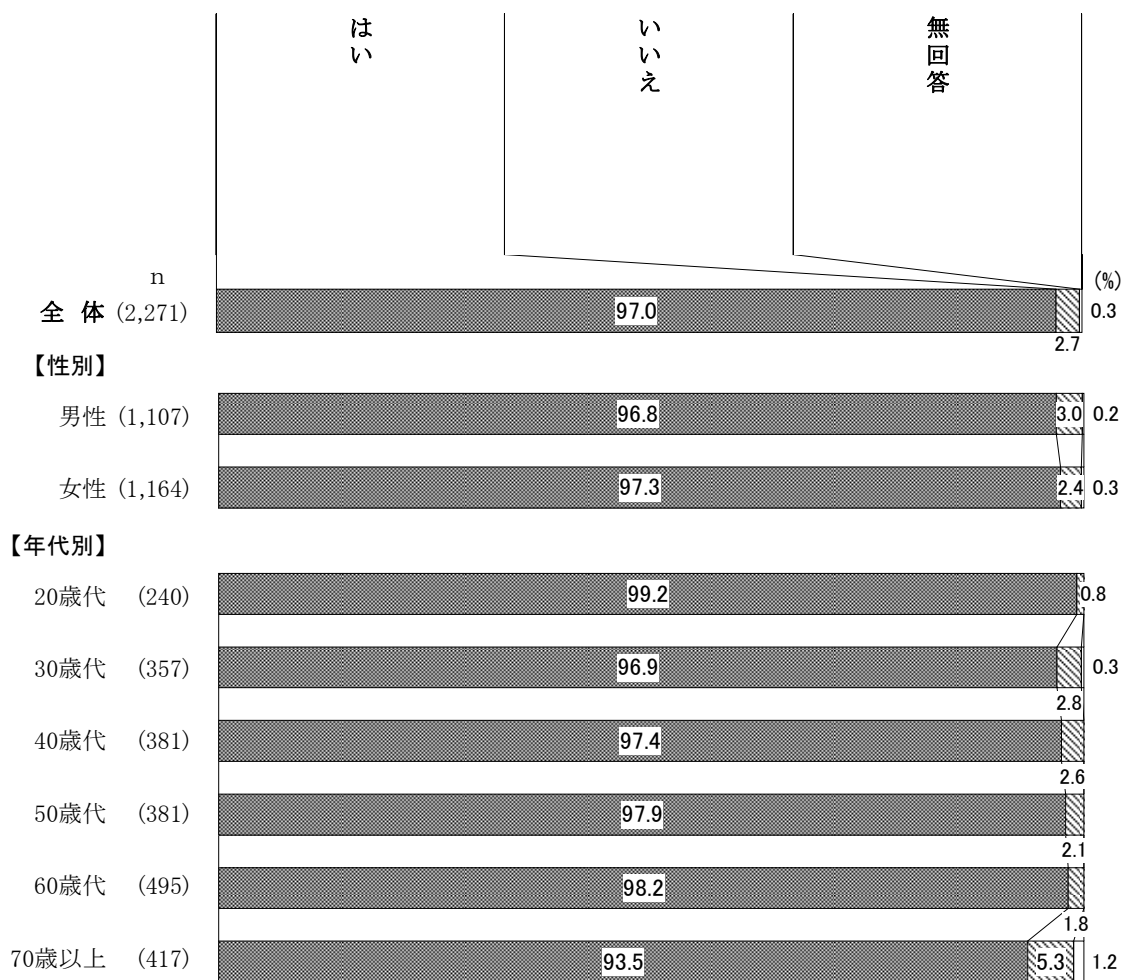
①性別

性別による違いはみられない。

②年代別

認知度はすべての年代で9割を超えている。

○性別／年代別



③地域別

認知度はすべての地域で9割を超えている。

④性・年代別

認知度は男女ともにすべての年代で9割を超えている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

ライフステージによる違いはみられない。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	97.0	2.7	0.3
地域別				
南部地域	241	98.3	1.7	－
南西部地域	193	94.8	5.2	－
東部地域	347	97.1	2.6	0.3
さいたま地域	416	97.4	2.6	－
県央地域	197	95.9	3.0	1.0
川越比企地域	232	97.8	1.7	0.4
西部地域	224	96.0	3.1	0.9
利根地域	209	98.1	1.9	－
北部地域	187	97.3	2.7	－
秩父地域	25	96.0	4.0	－
性・年代別				
男性・20歳代	97	100.0	－	－
30歳代	193	95.9	3.6	0.5
40歳代	176	97.7	2.3	－
50歳代	191	97.9	2.1	－
60歳代	241	98.3	1.7	－
70歳以上	209	92.8	6.7	0.5
女性・20歳代	143	98.6	1.4	－
30歳代	164	98.2	1.8	－
40歳代	205	97.1	2.9	－
50歳代	190	97.9	2.1	－
60歳代	254	98.0	2.0	－
70歳以上	208	94.2	3.8	1.9
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	97.9	2.1	－
雇用者（計）	1123	97.9	2.0	0.1
無職（計）	907	95.8	3.6	0.6
ライフステージ別				
独身期	295	98.6	1.4	－
家族形成期	185	97.8	1.6	0.5
家族成長前期	240	95.8	4.2	－
家族成長後期	198	98.5	1.5	－
家族成熟期	505	97.4	2.6	－
高齢期	575	95.8	3.3	0.9
その他	273	96.7	3.3	－

(7) 夜間、走行するときはライトを点灯しなければならない

認知度（「はい」）は99.3%と高くなっている。一方、「いいえ」は0.5%とごくわずかである。

【属性別比較】

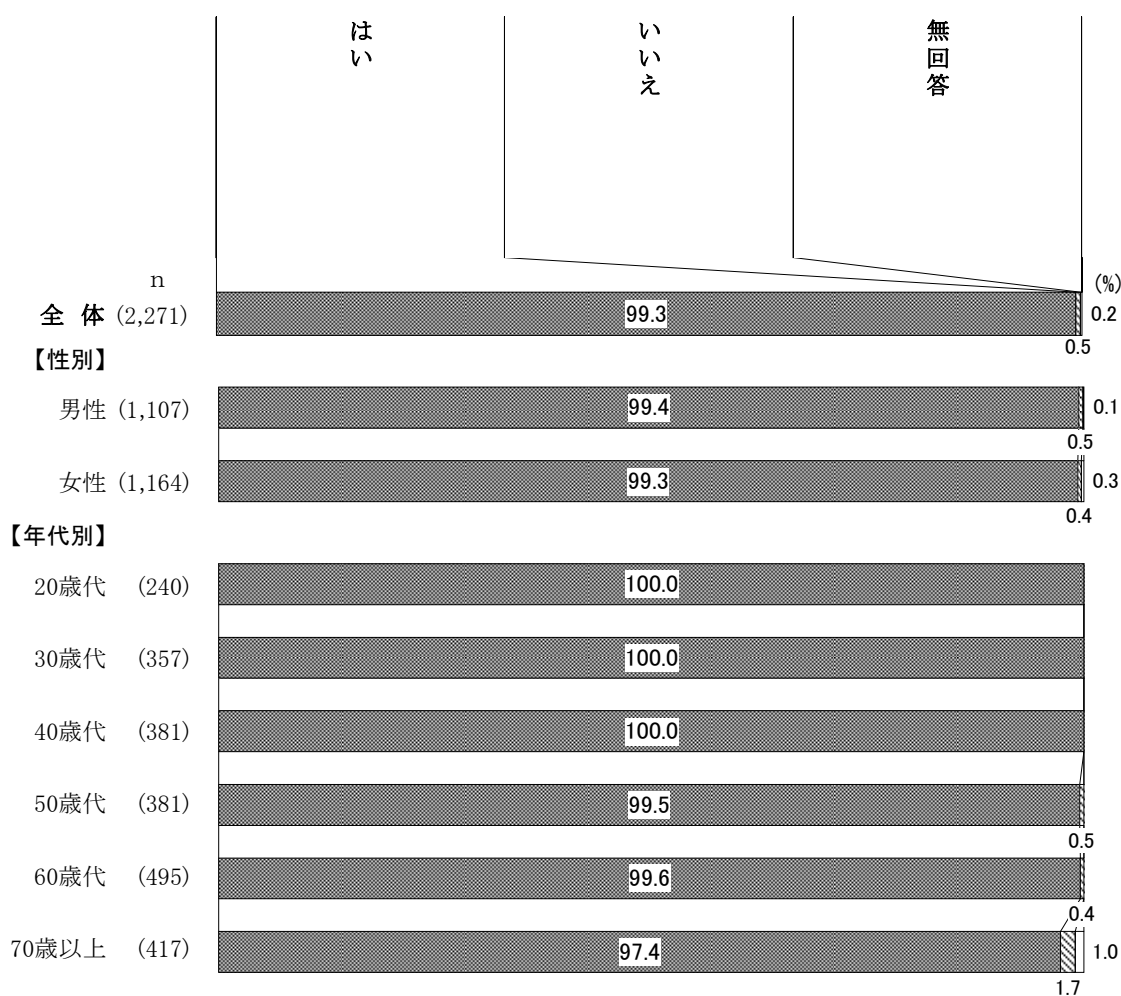
①性別

性別による違いはみられない。

②年代別

70歳以上（97.4%）で認知度が比較的低くなっている。

○性別／年代別



③地域別

地域による違いはみられない。

④性・年代別

男女ともに70歳代で認知度が比較的低くなっている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

ライフステージによる違いはみられない。

○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	99.3	0.5	0.2
地域別				
南部地域	241	100.0	-	-
南西部地域	193	99.5	0.5	-
東部地域	347	99.4	0.3	0.3
さいたま地域	416	99.0	1.0	-
県央地域	197	99.0	0.5	0.5
川越比企地域	232	98.7	1.3	-
西部地域	224	99.1	-	0.9
利根地域	209	100.0	-	-
北部地域	187	99.5	0.5	-
秩父地域	25	100.0	-	-
性・年代別				
男性・20歳代	97	100.0	-	-
30歳代	193	100.0	-	-
40歳代	176	100.0	-	-
50歳代	191	99.5	0.5	-
60歳代	241	99.6	0.4	-
70歳以上	209	97.6	1.9	0.5
女性・20歳代	143	100.0	-	-
30歳代	164	100.0	-	-
40歳代	205	100.0	-	-
50歳代	190	99.5	0.5	-
60歳代	254	99.6	0.4	-
70歳以上	208	97.1	1.4	1.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	100.0	-	-
雇用者（計）	1123	99.8	0.2	-
無職（計）	907	98.6	1.0	0.4
ライフステージ別				
独身期	295	100.0	-	-
家族形成期	185	100.0	-	-
家族成長前期	240	100.0	-	-
家族成長後期	198	100.0	-	-
家族成熟期	505	99.4	0.6	-
高齢期	575	98.6	0.7	0.7
その他	273	98.5	1.5	-

(8) 子どもにはヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない

認知度（「はい」）（86.3%）が8割半ばと高くなっている。一方、「いいえ」（13.3%）は1割強である。

【属性別比較】

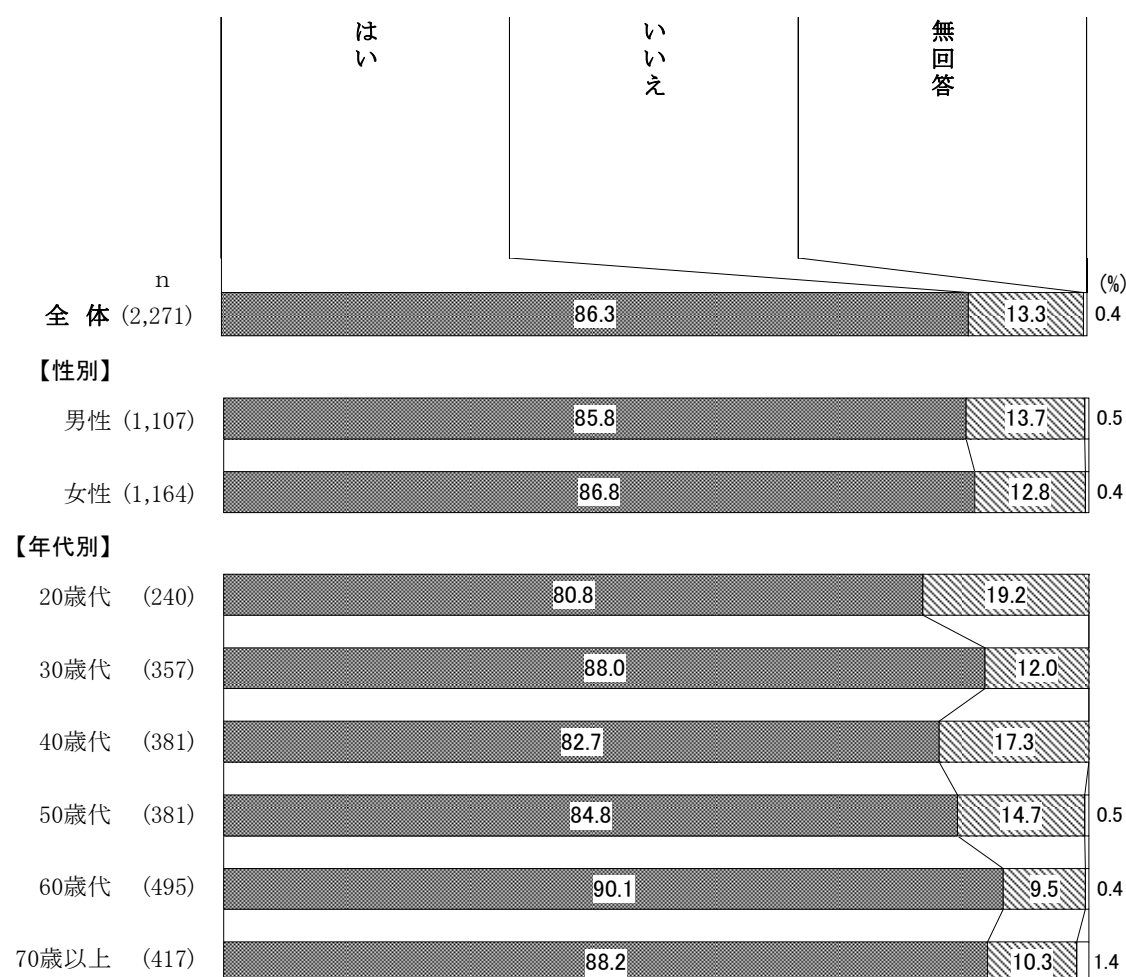
①性別

性別による違いはみられない。

②年代別

認知度は60歳代（90.1%）で約9割と最も高く、20歳代（80.8%）で約8割と最も低くなっている。

○性別／年代別



③地域別

認知度は東部地域（90.5%）、県央地域（89.8%）、秩父地域（92.0%）で9割前後と高く、川越比企地域（82.3%）、利根地域（82.3%）で8割強と低くなっている。

④性・年代別

認知度は男性では60歳代（90.5%）で約9割と最も高く、20歳代（80.4%）で最も低い。女性では30歳代（93.9%）で9割強と最も高く、20歳代（81.1%）で8割強と最も低くなっている。

⑤職業別

認知度は雇用者（計）（84.6%）で比較的低くなっている。

⑥ライフステージ別

認知度は家族形成期（90.3%）、家族成長前期（89.6%）、高齢期（89.0%）で約9割と高く、独身期（80.3%）と家族成長後期（81.8%）で比較的低くなっている。

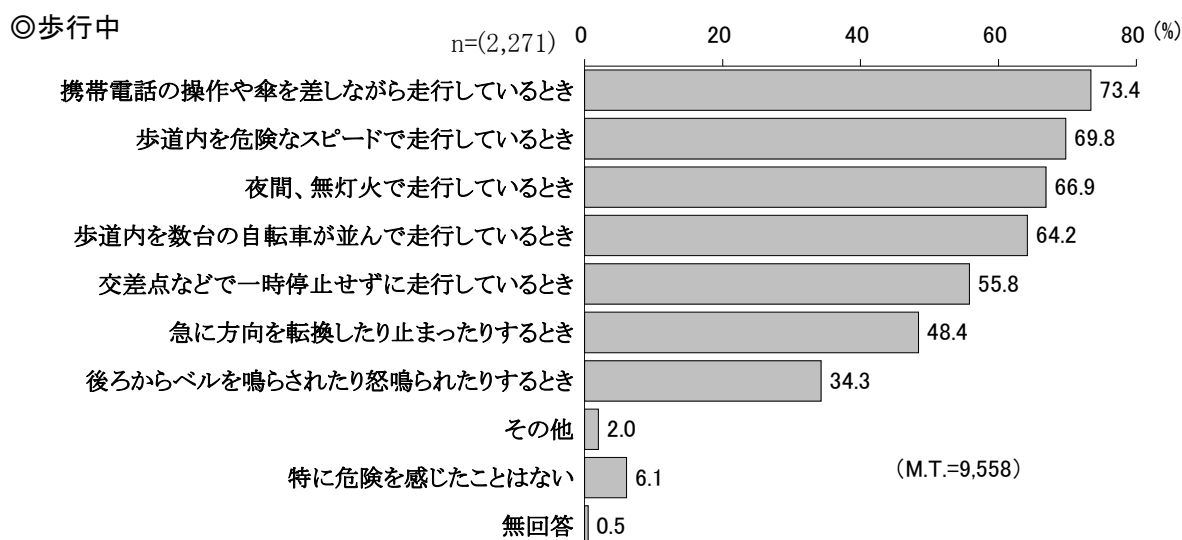
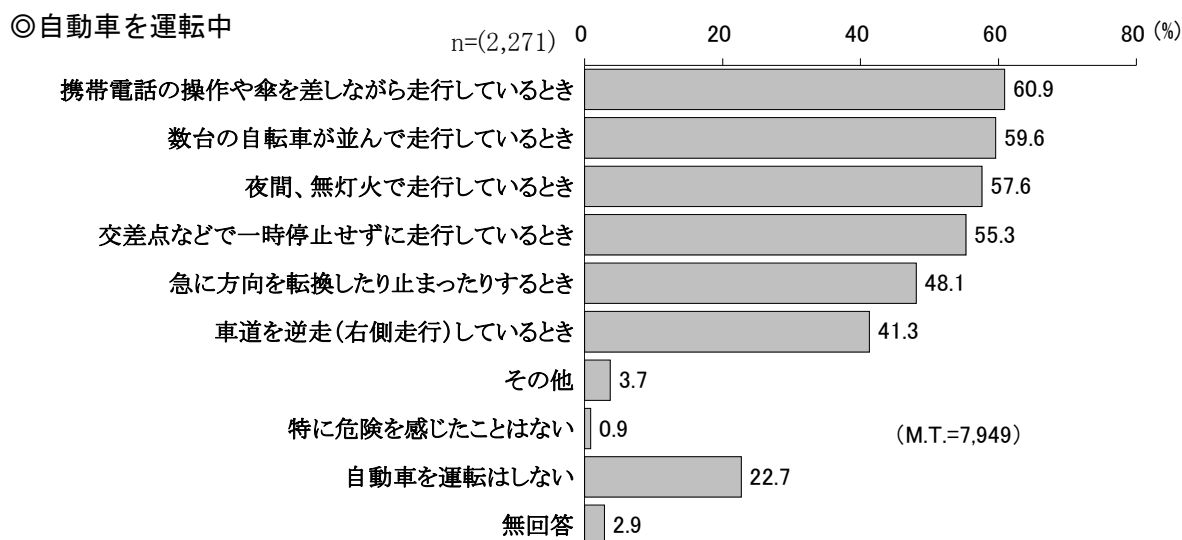
○地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	はい	いいえ	無回答
全 体	2271	86.3	13.3	0.4
地域別				
南部地域	241	86.7	13.3	—
南西部地域	193	85.5	14.5	—
東部地域	347	90.5	8.9	0.6
さいたま地域	416	85.6	14.2	0.2
県央地域	197	89.8	9.6	0.5
川越比企地域	232	82.3	16.8	0.9
西部地域	224	85.3	13.8	0.9
利根地域	209	82.3	16.7	1.0
北部地域	187	86.6	13.4	—
秩父地域	25	92.0	8.0	—
性・年代別				
男性・20歳代	97	80.4	19.6	—
30歳代	193	82.9	17.1	—
40歳代	176	83.5	16.5	—
50歳代	191	85.3	14.1	0.5
60歳代	241	90.5	9.1	0.4
70歳以上	209	88.0	10.5	1.4
女性・20歳代	143	81.1	18.9	—
30歳代	164	93.9	6.1	—
40歳代	205	82.0	18.0	—
50歳代	190	84.2	15.3	0.5
60歳代	254	89.8	9.8	0.4
70歳以上	208	88.5	10.1	1.4
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	87.0	12.6	0.4
雇用者（計）	1123	84.6	15.2	0.2
無職（計）	907	88.2	11.0	0.8
ライフステージ別				
独身期	295	80.3	19.7	—
家族形成期	185	90.3	9.7	—
家族成長前期	240	89.6	10.4	—
家族成長後期	198	81.8	18.2	—
家族成熟期	505	86.5	12.9	0.6
高齢期	575	89.0	9.7	1.2
その他	273	84.2	15.8	—

(3) 自転車に対して危険を感じていること

◇「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」が自動車を運転中・歩行中ともに高い

問14 あなたが自動車を運転中、または歩行中に自転車に対して危険を感じていることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



自転車に対して危険を感じていることは、自動車を運転中では「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」(60.9%)が約6割で最も高く、次いで「数台の自転車が並んで走行しているとき」(59.6%)、「夜間、無灯火で走行しているとき」(57.6%)、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」(55.3%)の順となっている。

また、歩行中では「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」(73.4%)が7割強で最も高く、次いで、「歩道内を危険なスピードで走行しているとき」(69.8%)、「夜間、無灯火で走行しているとき」(66.9%)、「歩道内を数台の自転車が並んで走行しているとき」(64.2%)、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」(55.8%)の順となっている。

【属性別比較】

◎自動車を運転中

①地域別

「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」、「数台の自転車が並んで走行しているとき」、「夜間、無灯火で走行しているとき」、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」は利根地域と北部地域で比較的高くなっている。一方、「自動車を運転はしない」は県央地域（30.5%）で約3割と比較的高くなっている。

②性別

「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」で20.0ポイント、「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」で19.0ポイント、「夜間、無灯火で走行しているとき」で18.2ポイント、「数台の自転車が並んで走行しているとき」で16.2ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。一方、「自動車を運転はしない」は女性（32.7%）のほうが男性（12.2%）よりも20.5ポイント高くなっている。

③年代別

「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」、「数台の自転車が並んで走行しているとき」、「夜間、無灯火で走行しているとき」、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」、「急に方向を転換したり止まったりするとき」は30歳代の割合が最も高く、おおむね年齢が高くなるほど割合が低くなっている。「車道を逆走（右側走行）しているとき」は50歳代（50.4%）で約5割と最も高い。一方、「自動車を運転はしない」は70歳以上（48.0%）で5割弱と高くなっている。

④性・年代別

男性では「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」が40歳代（80.1%）で約8割と最も高く、「数台の自転車が並んで走行しているとき」、「夜間、無灯火で走行しているとき」、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」、「車道を逆走（右側走行）しているとき」は50歳代で最も高くなっている。女性では「車道を逆走（右側走行）しているとき」を除く項目で30歳代の割合が最も高く、おおむね年齢が高くなるほど割合が低くなっている。一方、「自動車を運転はしない」は男女ともに70歳以上で最も高く、特に女性の70歳以上（67.8%）で7割弱となっている。

⑤職業別

すべての項目で無職（計）が比較的低く、「自動車を運転はしない」は無職（計）（37.9%）で4割弱と高くなっている。

⑥ライフステージ別

「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」、「数台の自転車が並んで走行しているとき」、「夜間、無灯火で走行しているとき」、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」、「急に方向を転換したり止まったりするとき」は家族形成期で最も高くなっている。一方、「自動車を運転はしない」は高齢期（41.6%）で4割強と高くなっている。

○自転車に対して危険を感じていること ◎自動車を運転中・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	携帯電話の操作や歩きながら走るとき	数人の自転車が並んで走行しているとき	夜間、無灯火で走行しているとき	止まらずに走りながら走行しているとき	交差点などで一時停止するとき	急に方向を転換するとき	車道を逆走（右側走行）しているとき	その他	特に危険を感じたことはない	自動車を運転はしない	無回答
全 体	2271	60.9	59.6	57.6	55.3	48.1	41.3	3.7	0.9	22.7	2.9	
地域別												
南部地域	241	63.9	58.9	56.8	56.0	46.1	40.2	4.6	-	27.0	1.2	
南西部地域	193	60.6	58.5	55.4	54.4	47.7	39.4	4.1	-	25.4	2.1	
東部地域	347	62.2	61.1	59.7	56.5	52.4	43.5	4.3	0.6	21.0	4.0	
さいたま地域	416	57.2	56.7	53.6	54.1	45.4	37.3	2.9	2.6	22.8	1.0	
県央地域	197	57.9	57.9	57.9	50.8	48.7	39.6	2.5	1.0	30.5	0.5	
川越比企地域	232	59.1	58.2	53.0	51.3	44.0	41.4	3.9	0.4	27.6	0.9	
西部地域	224	58.9	54.9	55.8	50.0	46.4	41.1	3.1	0.4	24.1	4.5	
利根地域	209	66.0	63.6	67.0	65.6	51.7	44.5	3.8	1.0	14.4	5.3	
北部地域	187	66.8	70.1	63.6	61.5	54.0	47.6	2.7	1.1	11.2	7.5	
秩父地域	25	44.0	60.0	52.0	44.0	32.0	40.0	12.0	-	20.0	8.0	
性別												
男性	1107	70.6	67.9	66.9	65.5	55.3	48.4	3.2	1.2	12.2	1.1	
女性	1164	51.6	51.7	48.7	45.5	41.3	34.5	4.1	0.7	32.7	4.6	
年代別												
20歳代	240	56.7	64.2	53.3	49.6	53.8	29.6	3.8	0.8	22.1	1.7	
30歳代	357	75.6	74.2	70.3	70.0	62.7	45.7	5.9	-	8.7	0.8	
40歳代	381	73.2	70.6	66.7	65.6	56.4	48.0	7.6	0.5	10.5	1.8	
50歳代	381	65.4	65.1	65.9	63.5	52.2	50.4	3.7	2.1	15.5	2.4	
60歳代	495	58.4	55.2	55.6	51.5	42.2	44.4	0.4	0.8	26.9	3.0	
70歳以上	417	38.1	34.8	35.7	33.3	28.1	25.9	1.9	1.2	48.0	6.5	
性・年代別												
男性・20歳代	97	60.8	71.1	55.7	48.5	52.6	30.9	6.2	2.1	12.4	-	
30歳代	193	74.1	72.0	68.9	72.5	63.7	48.7	5.2	-	7.8	0.5	
40歳代	176	80.1	73.3	72.2	72.7	61.9	50.6	4.5	0.6	6.3	1.1	
50歳代	191	74.3	75.9	74.9	74.9	61.3	58.6	4.2	2.1	5.2	0.5	
60歳代	241	73.9	67.2	70.1	66.0	50.2	53.5	-	0.8	11.6	0.8	
70歳以上	209	56.5	51.7	55.0	51.7	43.5	39.2	1.4	1.9	28.2	2.9	
女性・20歳代	143	53.8	59.4	51.7	50.3	54.5	28.7	2.1	-	28.7	2.8	
30歳代	164	77.4	76.8	72.0	67.1	61.6	42.1	6.7	-	9.8	1.2	
40歳代	205	67.3	68.3	62.0	59.5	51.7	45.9	10.2	0.5	14.1	2.4	
50歳代	190	56.3	54.2	56.8	52.1	43.2	42.1	3.2	2.1	25.8	4.2	
60歳代	254	43.7	43.7	41.7	37.8	34.6	35.8	0.8	0.8	41.3	5.1	
70歳以上	208	19.7	17.8	16.3	14.9	12.5	12.5	2.4	0.5	67.8	10.1	
職業別												
自営業・家族従業（計）	239	69.9	69.5	69.5	67.8	54.8	54.0	3.8	2.5	10.5	1.7	
雇用者（計）	1123	70.8	68.4	66.3	64.6	56.9	47.7	4.5	0.6	13.0	1.8	
無職（計）	907	46.2	46.2	43.7	40.6	35.5	30.0	2.6	0.9	37.9	4.5	
ライフステージ別												
独身期	295	60.0	63.1	58.0	55.3	54.6	35.3	3.1	0.7	20.3	0.7	
家族形成期	185	77.8	80.5	71.9	67.6	65.4	43.8	8.1	-	6.5	1.6	
家族成長前期	240	74.2	71.7	65.4	70.0	61.3	45.4	5.8	-	8.8	0.8	
家族成長後期	198	73.2	73.2	68.7	65.7	54.5	47.0	6.1	1.0	7.6	2.5	
家族成熟期	505	63.6	62.6	63.8	59.0	47.7	48.3	2.6	1.2	19.8	2.0	
高齢期	575	44.7	41.4	42.3	38.8	32.9	32.9	1.4	1.4	41.6	5.2	
その他	273	58.6	54.2	53.5	54.2	46.2	42.9	4.4	1.1	25.3	4.8	

【属性別比較】

◎歩行中

①地域別

「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」は南部地域（82.2％）で比較的高くなっている。「歩道内を危険なスピードで走行しているとき」と「夜間、無灯火で走行しているとき」は県央地域で比較的高くなっている。「歩道内を数台の自転車が並んで走行しているとき」は秩父地域（76.0％）で比較的高くなっている。一方、「特に危険を感じたことはない」はさいたま地域（16.6％）で1割半ばと特に高くなっている。

②性別

「急に方向を転換したり止まったりするとき」で5.5ポイント、「後ろからベルを鳴らされたり怒鳴られたりするとき」で5.2ポイント、「歩道内を危険なスピードで走行しているとき」で3.7ポイント、女性のほうが男性よりも高くなっている。

③年代別

「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」、「歩道内を危険なスピードで走行しているとき」、「歩道内を数台の自転車が並んで走行しているとき」、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」は40歳代の割合が最も高い。「夜間、無灯火で走行しているとき」は60歳代（74.5％）で7割半ばと最も高い。「急に方向を転換したり止まったりするとき」と「後ろからベルを鳴らされたり怒鳴られたりするとき」は20歳代で最も高くなっている。

④性・年代別

「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」は男性では30歳代から60歳代で7割を超えて高く、女性ではすべての年代で7割を超えている。「夜間、無灯火で走行しているとき」は男性では50歳代（71.2％）と60歳代（74.3％）で7割を超えて高く、女性では60歳代（74.8％）で7割を超えている。「急に方向を転換したり止まったりするとき」は女性の20歳代（64.3％）で6割半ばと最も高くなっている。一方、「特に危険を感じたことはない」は男性の20歳代（12.4％）と女性の70歳以上（11.1％）で1割強と比較的高くなっている。

⑤職業別

「歩道内を危険なスピードで走行しているとき」は自営業・家族従業（計）（72.0％）と雇用者（計）（72.0％）で7割強と比較的高く、無職（計）（66.5％）で低い。「夜間、無灯火で走行しているとき」、「歩道内を数台の自転車が並んで走行しているとき」、「交差点などで一時停止せずに走行しているとき」は自営業・家族従業（計）が比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき」は家族形成期（77.3％）とその他（76.9％）で比較的高くなっている。「歩道内を危険なスピードで走行しているとき」は独身期（66.1％）と高齢期（68.0％）で比較的低い。「夜間、無灯火で走行しているとき」は家族成熟期（71.1％）で7割強と最も高くなっている。

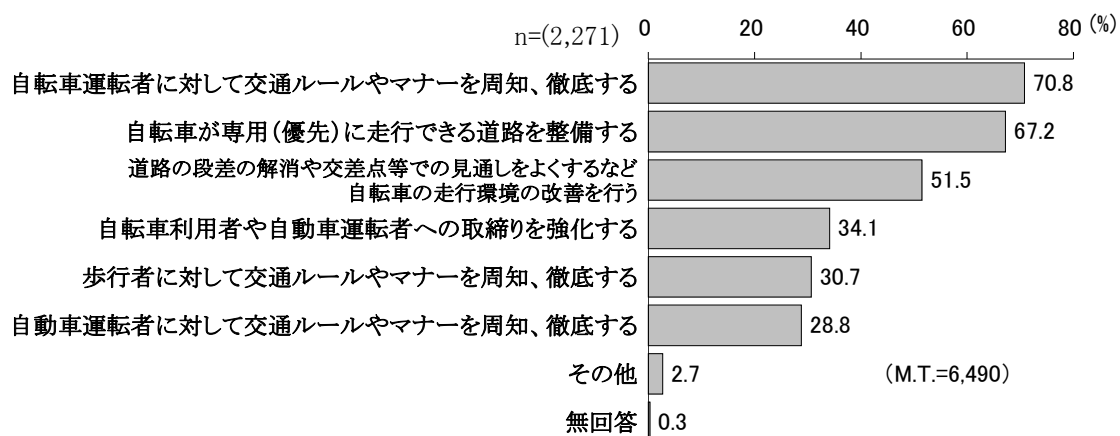
○自転車に対して危険を感じていること ◎歩行中・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	差 り と き	携 帯 電 話 の 操 作 や 傘 を さ し て い る と き	歩 道 内 を 危 険 な ス ピ ー ド で 走 行 し て い る と き	夜 間 、 無 灯 火 で 走 行 し て い る と き	が 並 ん で 走 行 し て い る 車 と き	歩 道 内 を 数 台 の 自 転 車 と き	交 差 点 な ど で 一 時 停 止 せ ず に 走 行 し て い る と き	急 に 方 向 を 転 換 し た り 止 ま つ た り を 転 換 し た り と き	後 ろ か ら ベ ル を 鳴 ら す と き	そ の 他	特 に 危 険 を 感 じ た こ と は な い	無 回 答
全 体	2271	73.4	69.8	66.9	64.2	55.8	48.4	34.3	2.0	6.1	0.5		
地域別													
南部地域	241	82.2	76.3	68.0	66.4	62.7	47.3	39.4	2.5	2.1	-		
南西部地域	193	72.0	69.9	63.7	62.2	47.7	47.2	39.4	2.1	4.7	1.0		
東部地域	347	78.1	73.8	68.0	67.4	56.5	53.3	35.4	2.9	4.3	1.4		
さいたま地域	416	62.7	57.9	59.1	55.0	49.5	41.8	28.8	1.9	16.6	0.2		
県央地域	197	77.2	77.7	74.6	71.6	61.4	57.4	36.5	2.5	1.5	0.5		
川越比企地域	232	69.8	65.9	63.8	60.8	53.4	42.2	31.5	1.7	6.5	0.4		
西部地域	224	77.2	70.5	71.4	70.1	56.3	54.5	33.5	0.9	3.1	-		
利根地域	209	72.7	74.6	71.3	63.2	63.2	48.8	37.8	1.4	2.4	-		
北部地域	187	73.8	72.2	70.1	66.8	56.1	48.7	29.4	1.1	4.8	0.5		
秩父地域	25	80.0	56.0	64.0	76.0	56.0	40.0	40.0	8.0	4.0	-		
性別													
男性	1107	72.0	67.9	67.7	62.7	56.5	45.6	31.6	1.6	6.1	0.5		
女性	1164	74.7	71.6	66.2	65.6	55.2	51.1	36.8	2.4	6.0	0.5		
年代別													
20歳代	240	70.0	63.8	62.5	64.2	50.0	56.7	37.5	1.3	6.7	-		
30歳代	357	76.5	72.3	63.9	66.1	55.2	50.4	34.2	0.8	3.4	0.3		
40歳代	381	77.2	73.8	65.1	67.2	58.3	53.8	36.0	4.2	4.5	-		
50歳代	381	72.7	69.3	68.0	63.0	56.4	49.6	32.3	2.9	4.5	1.0		
60歳代	495	72.9	71.7	74.5	64.0	57.4	43.2	33.9	0.4	6.7	0.4		
70歳以上	417	70.3	65.7	63.8	61.2	54.9	42.2	33.1	2.6	10.3	1.0		
性・年代別													
男性・20歳代	97	67.0	52.6	58.8	55.7	41.2	45.4	26.8	2.1	12.4	-		
30歳代	193	76.7	71.0	63.7	64.2	57.5	46.1	30.1	1.0	3.1	-		
40歳代	176	77.3	73.3	64.8	63.1	61.4	51.7	36.4	1.7	5.7	-		
50歳代	191	71.7	70.2	71.2	62.3	57.6	48.2	28.8	2.1	2.6	0.5		
60歳代	241	70.5	68.5	74.3	64.7	58.1	40.7	32.8	-	6.2	0.4		
70歳以上	209	67.5	65.1	67.0	62.2	55.5	43.5	32.5	3.3	9.6	1.4		
女性・20歳代	143	72.0	71.3	65.0	69.9	55.9	64.3	44.8	0.7	2.8	-		
30歳代	164	76.2	73.8	64.0	68.3	52.4	55.5	39.0	0.6	3.7	0.6		
40歳代	205	77.1	74.1	65.4	70.7	55.6	55.6	35.6	6.3	3.4	-		
50歳代	190	73.7	68.4	64.7	63.7	55.3	51.1	35.8	3.7	6.3	1.6		
60歳代	254	75.2	74.8	74.8	63.4	56.7	45.7	35.0	0.8	7.1	0.4		
70歳以上	208	73.1	66.3	60.6	60.1	54.3	40.9	33.7	1.9	11.1	0.5		
職業別													
自営業・家族従業（計）	239	72.4	72.0	73.6	68.2	66.5	49.8	32.2	1.7	6.7	-		
雇用者（計）	1123	74.8	72.0	67.9	64.6	55.8	50.7	34.9	1.9	4.6	0.3		
無職（計）	907	71.8	66.5	64.1	62.7	52.9	45.2	34.0	2.3	7.7	0.9		
ライフステージ別													
独身期	295	72.9	66.1	62.7	61.7	49.5	53.6	34.9	0.7	5.4	-		
家族形成期	185	77.3	69.7	65.9	64.9	57.3	58.4	37.3	2.2	4.3	-		
家族成長前期	240	72.5	72.1	62.5	70.0	56.3	47.5	31.7	1.7	4.6	0.4		
家族成長後期	198	73.7	73.7	65.2	60.6	53.0	47.5	32.3	3.5	3.5	-		
家族成熟期	505	74.1	70.1	71.1	65.1	57.8	47.9	34.1	2.2	5.5	0.6		
高齢期	575	70.3	68.0	68.0	61.9	54.6	42.6	32.9	1.6	9.2	1.0		
その他	273	76.9	72.2	67.4	67.0	61.9	50.9	38.5	3.3	5.5	0.4		

（４）自転車に関わる事故を抑制するために必要な取組

◇「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」が70.8%

問15 自転車に関わる事故、特に自転車と歩行者の事故が多発しています。事故を抑制するためにどのような取組が必要だと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。



自転車に関わる事故を抑制するために必要な取組は、「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」（70.8%）が約7割で最も高く、次いで「自転車が専用（優先）に走行できる道路を整備する」（67.2%）、「道路の段差の解消や交差点等での見通しをよくするなど自転車の走行環境の改善を行う」（51.5%）、「自転車利用者や自動車運転者への取締りを強化する」（34.1%）、「歩行者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」（30.7%）、「自動車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」（28.8%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は秩父地域（80.0%）で8割、南部地域（74.7%）と県央地域（75.1%）で7割半ばと高くなっている。「自転車が専用（優先）に走行できる道路を整備する」は南部地域（71.0%）で7割強と最も高く、さいたま地域（62.0%）で6割強と低くなっている。「道路の段差の解消や交差点等での見通しをよくするなど自転車の走行環境の改善を行う」と「歩行者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は秩父地域で比較的高くなっている。

②性別

「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は男性（73.4%）のほうが女性（68.2%）よりも5.2ポイント高くなっている。一方、「自転車が専用（優先）に走行できる道路を整備する」は女性（68.2%）のほうが男性（66.1%）よりも2.1ポイント高くなっている。「道路の段差解消や交差点等での見通しをよくするなど自転車の走行環境の改善を行う」は女性（56.3%）のほうが男性（46.4%）よりも9.9ポイント高くなっている。

③年代別

「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は60歳代（75.6%）、「道路の段差の解消や交差点等での見通しをよくするなど自転車の走行環境の改善を行う」は20歳代（57.1%）で最も高く、「自転車利用者や自動車運転者への取締りを強化する」、「歩行者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」、「自動車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は70歳以上が最も高くなっている。

④性・年代別

「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は男性の60歳代（78.4%）で8割弱と高くなっている。「道路の段差の解消や交差点等での見通しをよくするなど自転車の走行環境の改善を行う」は女性の20歳代（62.9%）で6割強と最も高い。「自転車利用者や自動車運転者への取締りを強化する」は男性の30歳代（39.9%）と70歳以上（39.2%）で約4割と高くなっている。「歩行者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」と「自動車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は男女ともに70歳以上で最も高い。

⑤職業別

「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は自営業・家族従業（計）（79.9%）で約8割と比較的高い。「自転車が専用（優先）に走行できる道路を整備する」は雇用者（計）と無職（計）で比較的高く、自営業・家族従業（計）で低くなっている。「歩行者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は自営業・家族従業（計）（41.0%）で4割強、「自動車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は無職（計）（32.7%）で3割強と高い。

⑥ライフステージ別

「自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は家族成長後期から高齢期、その他で7割以上と高くなっている。「自転車が専用（優先）に走行できる道路を整備する」は家族成長後期（71.2%）で7割強と比較的高い。「道路の段差の解消や交差点等での見通しをよくするなど自転車の走行環境の改善を行う」は独身期（54.2%）と高齢期（54.6%）で5割半ばと比較的高い。「歩行者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」と「自動車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する」は高齢期で比較的高くなっている。

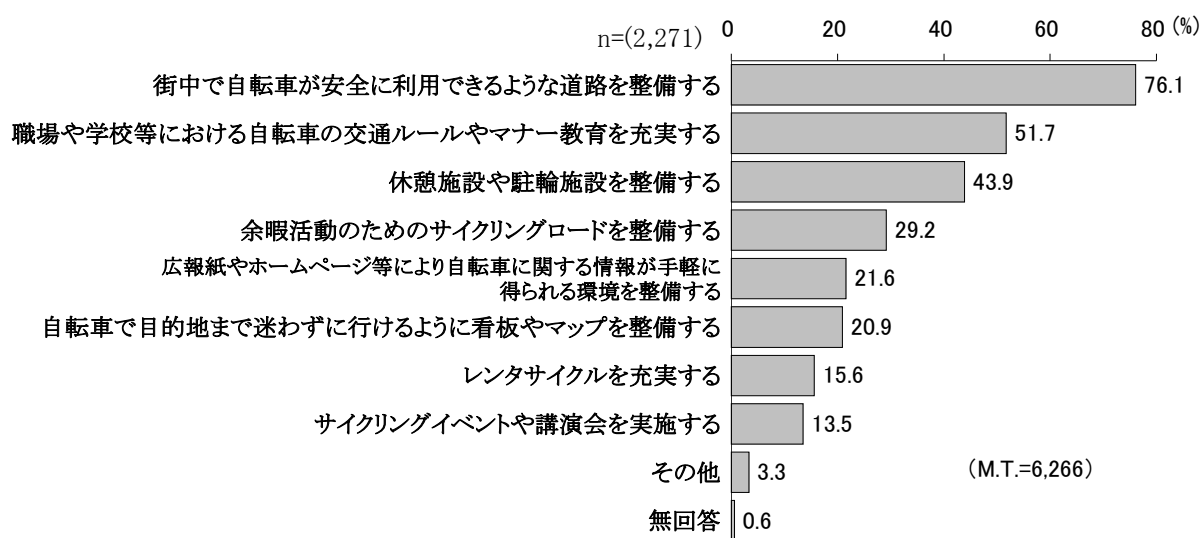
○自転車に関わる事故を抑制するために必要な取組・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	自転車利用者やマナーに対して、徹底する	自転車専用（優先）に走行できる道路を整備する	道路の通差の解消や交差点等での走行環境の改善を行う	自転車の利用や自動車運転者への取組を強化する	歩行者に対して、交通ルールやマナーを周知、徹底する	自転車利用者やマナーに対して、徹底する	その他	無回答
全 体	2271	70.8	67.2	51.5	34.1	30.7	28.8	2.7	0.3
地域別									
南部地域	241	74.7	71.0	55.2	36.1	32.0	34.0	3.7	0.4
南西部地域	193	67.9	69.9	46.6	37.8	32.1	28.0	1.6	-
東部地域	347	72.0	65.1	55.9	37.5	33.1	28.8	2.9	0.3
さいたま地域	416	70.4	62.0	45.4	30.0	27.6	26.9	4.6	-
県央地域	197	75.1	68.5	56.9	33.5	34.0	31.5	1.0	1.0
川越比企地域	232	66.4	65.9	45.7	30.2	29.7	24.6	3.4	0.4
西部地域	224	69.6	70.1	54.0	31.3	26.8	28.6	1.3	0.4
利根地域	209	71.3	69.4	57.9	36.8	33.0	30.1	2.9	0.5
北部地域	187	67.4	69.0	47.1	36.4	28.3	27.3	1.1	-
秩父地域	25	80.0	68.0	60.0	36.0	40.0	36.0	-	-
性別									
男性	1107	73.4	66.1	46.4	35.9	29.1	27.2	2.7	0.1
女性	1164	68.2	68.2	56.3	32.5	32.2	30.3	2.7	0.5
年代別									
20歳代	240	62.1	66.7	57.1	27.9	25.4	27.5	1.7	-
30歳代	357	69.7	63.9	47.1	34.7	21.6	24.1	3.4	-
40歳代	381	72.7	69.3	49.1	32.5	24.7	25.7	1.6	0.3
50歳代	381	68.5	69.6	50.4	34.4	29.1	25.5	2.4	-
60歳代	495	75.6	68.3	55.2	34.1	34.3	29.9	3.0	0.4
70歳以上	417	71.2	65.0	50.8	38.4	44.1	38.1	3.8	1.0
性・年代別									
男性・20歳代	97	61.9	64.9	48.5	25.8	20.6	22.7	2.1	-
30歳代	193	74.1	60.1	37.3	39.9	24.4	23.8	4.7	-
40歳代	176	71.6	68.8	44.9	38.6	22.7	25.6	1.7	-
50歳代	191	71.2	69.6	44.0	38.2	27.2	20.9	2.6	-
60歳代	241	78.4	67.6	50.2	29.9	31.5	27.8	2.1	-
70歳以上	209	76.1	65.1	53.1	39.2	41.6	38.8	2.9	0.5
女性・20歳代	143	62.2	67.8	62.9	29.4	28.7	30.8	1.4	-
30歳代	164	64.6	68.3	58.5	28.7	18.3	24.4	1.8	-
40歳代	205	73.7	69.8	52.7	27.3	26.3	25.9	1.5	0.5
50歳代	190	65.8	69.5	56.8	30.5	31.1	30.0	2.1	-
60歳代	254	72.8	68.9	59.8	38.2	37.0	31.9	3.9	0.8
70歳以上	208	66.3	64.9	48.6	37.5	46.6	37.5	4.8	1.4
職業別									
自営業・家族従業（計）	239	79.9	60.3	46.4	34.3	41.0	27.2	2.5	-
雇用者（計）	1123	69.5	68.2	50.8	33.4	26.7	26.0	2.5	0.1
無職（計）	907	69.9	67.9	53.7	35.0	33.0	32.7	3.1	0.7
ライフステージ別									
独身期	295	67.1	66.8	54.2	31.9	26.1	30.5	2.0	-
家族形成期	185	69.7	64.3	44.9	35.1	22.2	20.5	3.8	-
家族成長前期	240	68.8	66.7	47.9	27.9	20.4	23.8	2.1	-
家族成長後期	198	70.2	71.2	52.5	32.8	20.2	23.2	1.0	0.5
家族成熟期	505	74.1	68.3	51.3	31.1	33.7	27.7	3.6	0.2
高齢期	575	71.5	65.4	54.6	38.6	40.0	34.8	3.0	0.9
その他	273	70.0	68.9	49.1	38.5	33.0	30.4	2.6	-

（５）今後、自転車利用を促進するために必要な取組

◇「街中で自転車が安全に利用できるような道路を整備する」が76.1%

問16 今後自転車利用を促進するため、どのような取組を進める必要があると考えますか。
あてはまるものをすべて選んでください。



今後、自転車利用を促進するために必要な取組は、「街中で自転車が安全に利用できるような道路を整備する」（76.1%）が7割半ばで最も高く、次いで「職場や学校等における自転車の交通ルールやマナー教育を充実する」（51.7%）、「休憩施設や駐輪施設を整備する」（43.9%）、「余暇活動のためのサイクリングロードを整備する」（29.2%）、「広報紙やホームページ等により自転車に関する情報が手軽に得られる環境を整備する」（21.6%）、「自転車で目的地まで迷わずに行けるように看板やマップを整備する」（20.9%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「街中で自転車が安全に利用できるような道路を整備する」は南部地域（81.7%）、利根地域（80.4%）、秩父地域（84.0%）で8割を超えて高くなっている。「職場や学校等における自転車の交通ルールやマナー教育を充実する」、「余暇活動のためのサイクリングロードを整備する」、「広報紙やホームページ等により自転車に関する情報が手軽に得られる環境を整備する」は秩父地域で比較的高くなっている。「休憩施設や駐輪施設を整備する」は南部地域（51.0%）と利根地域（51.7%）で5割を超えて高い。

②性別

「休憩施設や駐輪施設を整備する」は女性（45.4%）のほうが男性（42.4%）よりも3.0ポイント、高くなっている。一方、「余暇活動のためのサイクリングロードを整備する」は男性（31.8%）のほうが女性（26.8%）よりも5.0ポイント高くなっている。

③年代別

「職場や学校等における自転車の交通ルールやマナー教育を充実する」と「広報紙やホームページ等により自転車に関する情報が手軽に得られる環境を整備する」は50歳代以上の割合が高くなっている。「休憩施設や駐輪施設を整備する」は30歳代から50歳代で5割弱と比較的高くなっている。「自転車で目的地まで迷わずに行けるように看板やマップを整備する」は70歳以上（31.4%）で3割強と比較的高い。

④性・年代別

「街中で自転車が安全に利用できるような道路を整備する」は男性の40歳代（79.0%）、女性の20歳代から40歳代で約8割と比較的高くなっている。「職場や学校等における自転車の交通ルールやマナー教育を充実する」は男女ともに50歳代以上で5割を超えており、男性の70歳以上（60.3%）で約6割と最も高い。「休憩施設や駐輪施設を整備する」は女性の30歳代から50歳代で5割前後と比較的高くなっている。「余暇活動のためのサイクリングロードを整備する」は男性の50歳代（34.0%）と60歳代（34.9%）で3割半ばと比較的高い。「自転車で目的地まで迷わずに行けるように看板やマップを整備する」は男女ともに60歳代以上で高く、特に女性の70歳以上（33.2%）で3割強となっている。

⑤職業別

「街中で自転車が安全に利用できるような道路を整備する」は雇用者（計）（78.5%）で8割弱と比較的高くなっている。「職場や学校等における自転車の交通ルールやマナー教育を充実する」は自営業・家族従業（計）（64.9%）で6割半ばと高く、雇用者（計）（47.1%）で5割弱と低くなっている。

⑥ライフステージ別

「職場や学校等における自転車の交通ルールやマナー教育を充実する」は家族成熟期、高齢期、その他で5割を超えて高くなっている。「広報紙やホームページ等により自転車に関する情報が手軽に得られる環境を整備する」と「自転車で目的地まで迷わずに行けるように看板やマップを整備する」は高齢期で高くなっている。

○今後、自転車利用を促進するために必要な取組・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

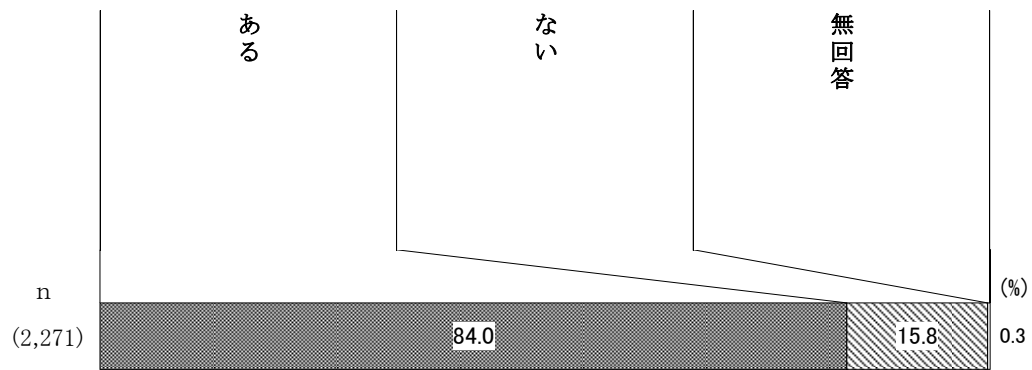
	調査数	街中で自 転車が安 全に利用 できよう な道路を 整備する	職場や学 校等にお ける自転 車を充実 する	休憩施設 や駐輪施 設を整備 する	余暇活動 のための サイクリ ングロード を整備す る	に得られ る環境を 整備する	広報紙や ホームページ 等により 自転車に 関する情 報が手軽 に得られ る	整備する 自転車用 の目的の 看板やマ ップを	レンタサ イクルを 充実する	サイクリ ングイベ ントや講 演を実施 する	その他	無回答
全 体	2271	76.1	51.7	43.9	29.2	21.6	20.9	15.6	13.5	3.3	0.6	
地域別												
南部地域	241	81.7	52.3	51.0	22.4	26.6	19.5	12.4	12.4	1.7	0.8	
南西部地域	193	74.1	48.2	49.2	27.5	18.1	15.5	18.1	11.9	2.6	-	
東部地域	347	72.6	53.6	46.1	31.1	24.2	22.8	17.9	16.7	3.2	1.2	
さいたま地域	416	71.6	51.9	39.2	33.7	22.4	22.1	15.6	15.1	4.1	0.2	
県央地域	197	78.2	53.3	46.2	31.0	20.8	25.4	17.8	14.7	2.0	1.5	
川越比企地域	232	74.6	49.1	39.2	23.7	17.7	18.5	15.1	10.8	4.7	0.4	
西部地域	224	78.6	48.2	40.6	28.6	18.8	17.9	15.6	10.7	4.0	0.4	
利根地域	209	80.4	52.6	51.7	31.1	20.6	23.0	20.6	12.4	4.8	1.0	
北部地域	187	78.6	53.5	34.8	29.4	20.3	21.4	7.5	13.4	1.1	-	
秩父地域	25	84.0	64.0	44.0	36.0	40.0	20.0	4.0	16.0	4.0	-	
性別												
男性	1107	75.9	52.6	42.4	31.8	20.6	20.9	16.2	14.4	2.9	0.3	
女性	1164	76.4	50.9	45.4	26.8	22.6	20.9	15.1	12.7	3.6	0.9	
年代別												
20歳代	240	77.5	41.7	41.7	30.4	15.4	16.7	19.6	12.1	1.3	-	
30歳代	357	77.6	48.5	47.9	28.9	17.6	16.8	16.0	13.7	3.6	0.3	
40歳代	381	79.3	45.1	47.0	25.2	19.9	14.7	15.7	11.5	2.1	0.5	
50歳代	381	75.3	53.8	47.2	31.0	21.8	17.3	17.3	13.6	2.4	0.3	
60歳代	495	76.6	58.0	43.6	32.3	24.8	24.4	14.7	13.5	2.6	1.2	
70歳以上	417	71.5	56.8	36.5	27.3	26.1	31.4	12.5	15.8	6.7	1.0	
性・年代別												
男性・20歳代	97	73.2	35.1	42.3	27.8	13.4	15.5	20.6	10.3	2.1	-	
30歳代	193	75.1	48.7	46.1	31.1	19.2	17.1	16.6	16.1	5.2	-	
40歳代	176	79.0	48.3	45.5	29.5	18.8	17.0	19.3	14.2	2.3	-	
50歳代	191	75.4	54.5	45.0	34.0	22.0	19.9	19.4	14.7	2.1	-	
60歳代	241	77.6	57.7	43.2	34.9	22.0	22.0	13.7	12.0	0.8	0.8	
70歳以上	209	73.7	60.3	33.0	30.6	23.9	29.7	11.0	17.2	4.8	0.5	
女性・20歳代	143	80.4	46.2	41.3	32.2	16.8	17.5	18.9	13.3	0.7	-	
30歳代	164	80.5	48.2	50.0	26.2	15.9	16.5	15.2	11.0	1.8	0.6	
40歳代	205	79.5	42.4	48.3	21.5	21.0	12.7	12.7	9.3	2.0	1.0	
50歳代	190	75.3	53.2	49.5	27.9	21.6	14.7	15.3	12.6	2.6	0.5	
60歳代	254	75.6	58.3	44.1	29.9	27.6	26.8	15.7	15.0	4.3	1.6	
70歳以上	208	69.2	53.4	39.9	24.0	28.4	33.2	13.9	14.4	8.7	1.4	
職業別												
自営業・家族従業（計）	239	71.1	64.9	39.7	26.8	24.3	22.6	13.4	18.8	1.7	1.3	
雇用者（計）	1123	78.5	47.1	47.1	31.0	20.2	18.1	17.1	12.8	2.8	0.4	
無職（計）	907	74.6	53.9	41.1	27.8	22.7	23.9	14.4	13.0	4.3	0.8	
ライフステージ別												
独身期	295	77.3	43.7	47.1	33.6	17.6	19.0	20.0	15.6	2.0	-	
家族形成期	185	77.8	49.7	47.0	27.0	16.8	13.0	17.8	11.4	4.3	-	
家族成長前期	240	77.9	48.8	45.4	27.9	15.8	16.3	12.9	10.8	1.7	0.4	
家族成長後期	198	77.8	46.0	45.5	25.8	21.2	16.7	14.1	11.6	1.5	0.5	
家族成熟期	505	75.6	54.9	42.2	29.5	23.0	19.0	15.2	13.9	2.4	0.8	
高齢期	575	72.9	56.5	40.0	28.9	26.3	28.9	12.7	15.3	5.2	1.2	
その他	273	78.8	52.4	47.6	30.0	22.3	22.0	19.8	12.1	4.0	0.4	

4 生涯学習について

(1)「生涯学習」という言葉の認知度

◇聞いたことが「ある」が84.0%

問17 あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。



「生涯学習」という言葉の認知度は、聞いたことが「ある」(84.0%)が8割半ば、「ない」が15.8%となっている。

【属性別比較】

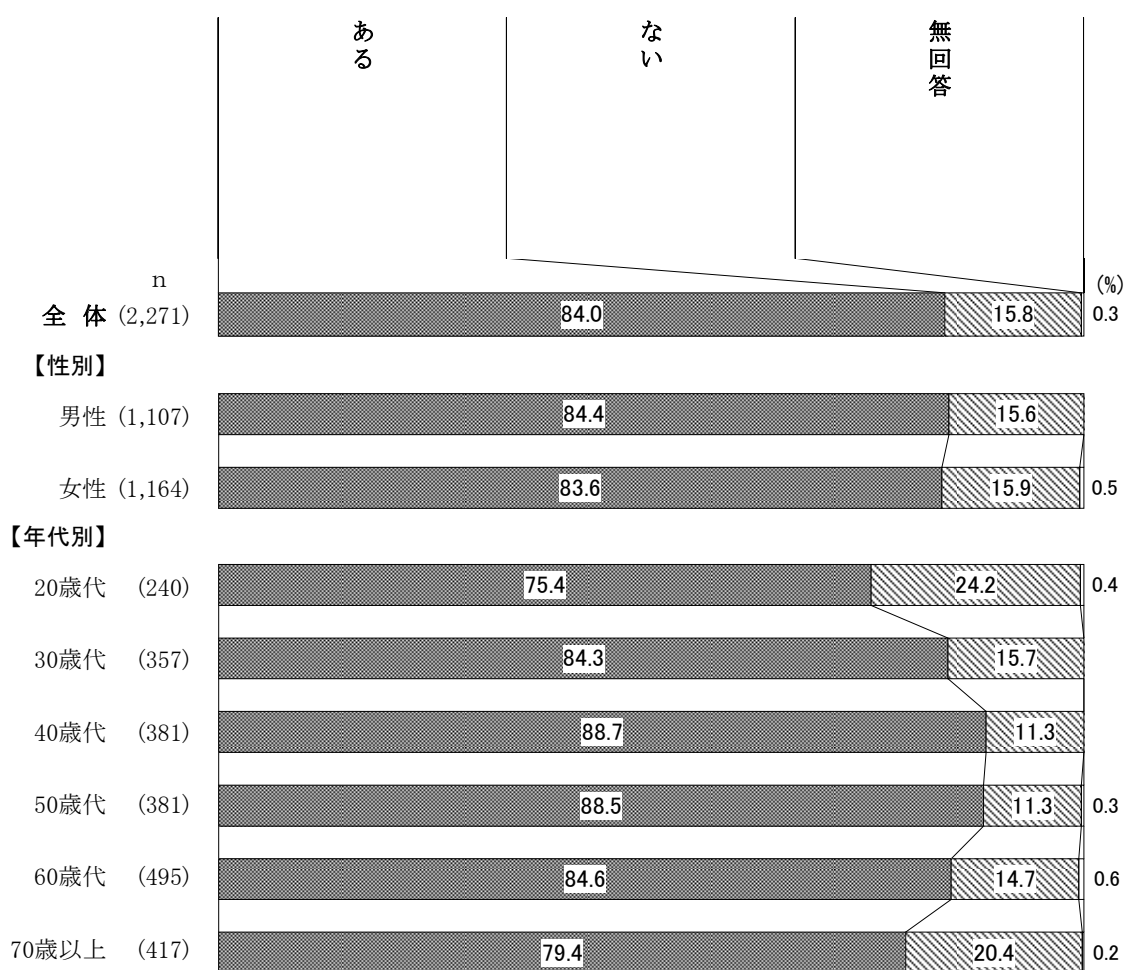
①性別

性別による違いはみられない。

②年代別

「ある」は40歳代（88.7%）と50歳代（88.5%）で9割弱と高い。一方、「ない」は20歳代（24.2%）で2割半ば、70歳以上（20.4%）で約2割と高くなっている。

○「生涯学習」という言葉の認知度・性別／年代別



③地域別

「ある」はさいたま地域（76.9%）を除いた地域で8割を超えている。一方、「ない」はさいたま市（23.1%）で2割強と高くなっている。

④性・年代別

「ある」は男性の50歳代（92.1%）で9割強と最も高く、男性の20歳代（72.2%）で7割強と最も低くなっている。

⑤職業別

職業別で大きな差はみられない。

⑥ライフステージ別

「ある」は家族成長後期（90.9%）で高く、独身期（79.7%）で低くなっている。

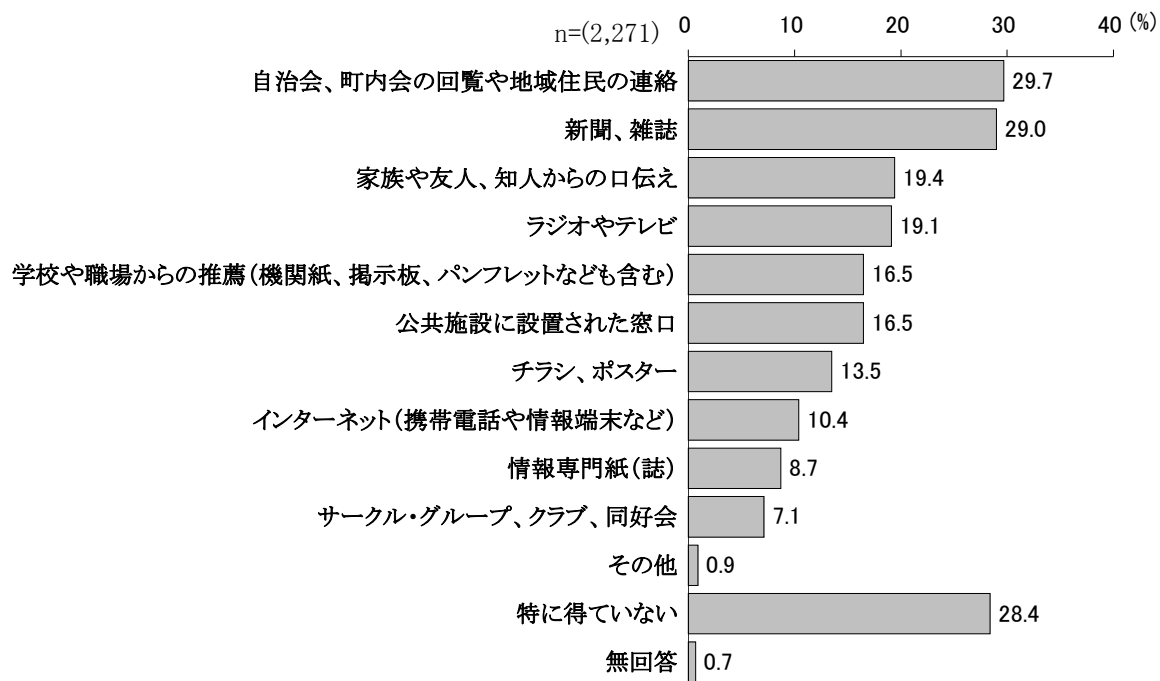
○「生涯学習」という言葉の認知度・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ある	ない	無回答
全 体	2271	84.0	15.8	0.3
地域別				
南部地域	241	86.7	12.9	0.4
南西部地域	193	87.0	11.9	1.0
東部地域	347	87.0	12.7	0.3
さいたま地域	416	76.9	23.1	—
県央地域	197	83.8	16.2	—
川越比企地域	232	81.5	17.7	0.9
西部地域	224	87.1	12.9	—
利根地域	209	88.0	12.0	—
北部地域	187	82.4	17.6	—
秩父地域	25	84.0	16.0	—
性・年代別				
男性・20歳代	97	72.2	27.8	—
30歳代	193	81.9	18.1	—
40歳代	176	88.6	11.4	—
50歳代	191	92.1	7.9	—
60歳代	241	84.2	15.8	—
70歳以上	209	81.8	18.2	—
女性・20歳代	143	77.6	21.7	0.7
30歳代	164	87.2	12.8	—
40歳代	205	88.8	11.2	—
50歳代	190	84.7	14.7	0.5
60歳代	254	85.0	13.8	1.2
70歳以上	208	76.9	22.6	0.5
職業別				
自営業・家族従業（計）	239	84.9	14.6	0.4
雇用者（計）	1123	84.7	15.0	0.3
無職（計）	907	82.9	16.9	0.2
ライフステージ別				
独身期	295	79.7	20.0	0.3
家族形成期	185	85.9	14.1	—
家族成長前期	240	85.0	15.0	—
家族成長後期	198	90.9	9.1	—
家族成熟期	505	85.3	14.3	0.4
高齢期	575	81.4	18.1	0.5
その他	273	84.2	15.8	—

（２）生涯学習に関する情報の入手先

◇「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」が29.7%、「新聞、雑誌」が29.0%

問18 あなたは、「生涯学習」に関する情報をどのように得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



生涯学習に関する情報の入手先は、「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」(29.7%)と「新聞、雑誌」(29.0%)が約3割で高く、次いで「家族や友人、知人からの口伝え」(19.4%)、「ラジオやテレビ」(19.1%)、「学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレットなども含む)」(16.5%)、「公共施設に設置された窓口」(16.5%)、「チラシ、ポスター」(13.5%)、「インターネット(携帯電話や情報端末など)」(10.4%)の順となっている。一方、「特に得ていない」(28.4%)は3割弱となっている。

【属性別比較】

①地域別

「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」(44.0%)と「家族や友人、知人からの口伝え」(32.0%)は秩父地域で最も高く、後者は、南西部地域(15.0%)、さいたま地域(16.1%)、東部地域(16.7%)で低くなっている。「新聞、雑誌」は南部地域(34.4%)で3割半ばと高い。「学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレットなども含む)」は北部地域(26.2%)で2割半ばと高くなっている。

②性別

「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」で8.4ポイント、「家族や友人、知人からの口伝え」で5.7ポイント、女性のほうが男性よりも高くなっている。逆に「新聞、雑誌」で6.8ポイント、「インターネット(携帯電話や情報端末など)」で6.3ポイント、「ラジオやテレビ」で3.8ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」、「新聞、雑誌」、「家族や友人、知人からの口伝え」、「ラジオやテレビ」、「公共施設に設置された窓口」は50歳代以上の割合が高くなっている。「学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレットなども含む)」は40歳代(24.7%)で2割半ば、「インターネット(携帯電話や情報端末など)」は30歳代(19.0%)で約2割と最も高くなっている。「特に得ていない」は20歳代(45.4%)で4割半ば、30歳代(34.5%)で3割半ばと高くなっている。

④性・年代別

「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」は男女ともにおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなり、特に女性の60歳代以上では4割を超えている。「新聞、雑誌」は男性の50歳代(40.8%)と60歳代(40.2%)で約4割と高い。「家族や友人、知人からの口伝え」は女性の70歳以上(28.8%)で3割弱、60歳代(26.8%)で2割半ばと高い。「学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレットなども含む)」は女性の40歳代(30.2%)で約3割と高く、「インターネット(携帯電話や情報端末など)」は男性の30歳代(25.9%)で2割半ばと高くなっている。

⑤職業別

「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」は無職(計)(35.0%)で高くなっている。「家族や友人、知人からの口伝え」は雇用者(計)(16.2%)で比較的低く、「学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレットなども含む)」は雇用者(計)(19.9%)で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡」はライフステージが進むにつれ割合が高くなっている。「新聞、雑誌」と「家族や友人、知人からの口伝え」は家族成熟期から高齢期で高くなっている。「学校や職場からの推薦(機関紙、掲示板、パンフレットなども含む)」は家族成長前期(29.6%)で約3割と高く、「インターネット(携帯電話や情報端末など)」は家族形成期(21.6%)で2割強と高くなっている。

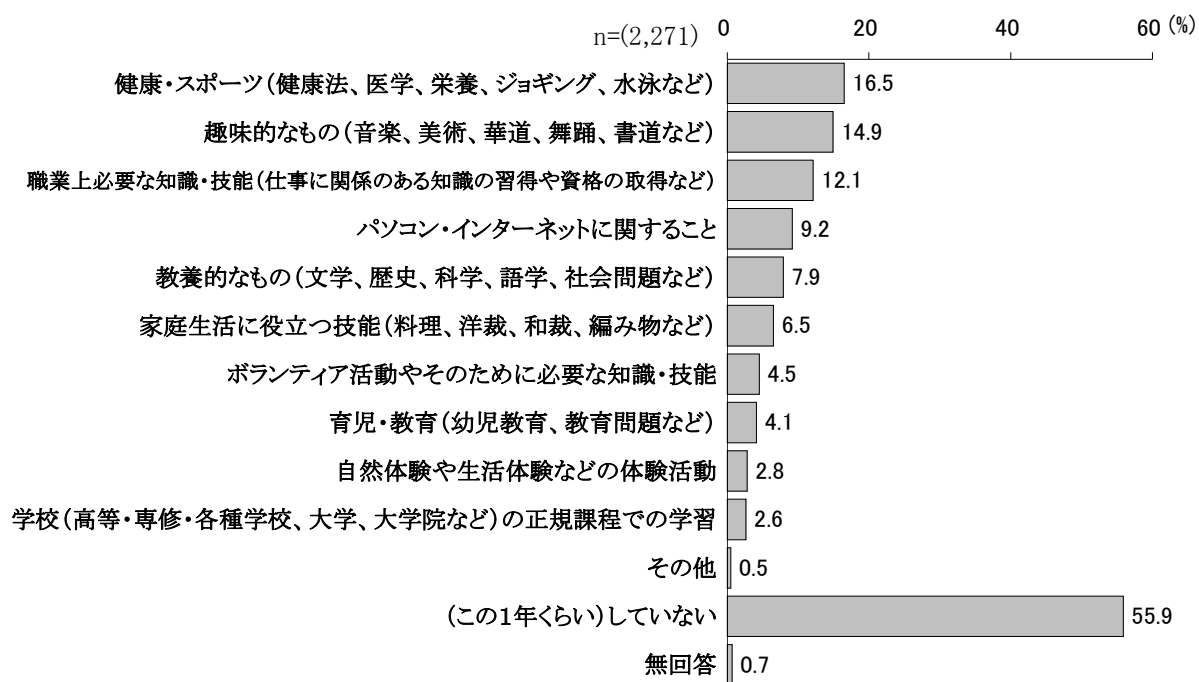
○生涯学習に関する情報の入手先・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	自治会、 連絡、町内会の回覧や地域住民の	新聞、雑誌	家族や友人、知人からの口伝え	ラジオやテレビ	学校や職場からの推薦（機関紙、掲 示板、パンフレットなども含む）	公共施設に設置された窓口	チラシ、ポスター	インターネット（携帯電話や情報端 末など）	情報専門紙（誌）	会 サークル・グループ、クラブ、同好	その他	特に得ていない	無回答
全 体	2271	29.7	29.0	19.4	19.1	16.5	16.5	13.5	10.4	8.7	7.1	0.9	28.4	0.7
地域別														
南部地域	241	29.9	34.4	22.8	24.5	23.2	16.6	13.7	14.9	9.5	7.5	1.2	19.1	0.8
南西部地域	193	26.4	27.5	15.0	17.6	20.2	16.6	15.0	15.0	7.8	4.1	1.0	21.8	1.6
東部地域	347	33.4	32.0	16.7	24.2	13.0	16.4	11.5	11.5	8.9	6.6	-	26.2	-
さいたま地域	416	27.6	26.7	16.1	15.1	15.6	14.9	13.7	7.2	7.5	6.5	0.5	38.7	0.5
県央地域	197	31.0	28.9	21.3	15.7	13.7	20.8	12.7	10.2	11.7	10.2	2.5	26.9	0.5
川越比企地域	232	26.7	31.0	22.4	21.6	15.1	15.1	13.4	9.9	8.2	7.8	0.4	31.5	1.3
西部地域	224	28.6	22.3	20.1	15.2	14.3	14.7	10.7	6.7	7.6	7.1	0.4	29.0	-
利根地域	209	26.3	33.5	17.2	20.1	11.0	15.8	14.4	10.0	9.1	6.2	2.9	29.7	0.5
北部地域	187	35.8	23.5	26.2	17.6	26.2	19.3	17.1	10.7	9.1	8.6	-	23.5	1.6
秩父地域	25	44.0	32.0	32.0	12.0	16.0	24.0	20.0	8.0	8.0	12.0	-	32.0	-
性別														
男性	1107	25.4	32.5	16.5	21.0	14.5	14.0	12.3	13.6	8.2	4.4	0.4	29.2	0.6
女性	1164	33.8	25.7	22.2	17.2	18.5	18.9	14.6	7.3	9.1	9.7	1.4	27.7	0.7
年代別														
20歳代	240	5.4	15.0	17.1	14.6	18.8	5.8	10.8	14.6	5.8	2.9	-	45.4	0.8
30歳代	357	19.9	16.2	15.1	16.5	16.5	9.2	11.8	19.0	7.0	3.4	1.4	34.5	-
40歳代	381	25.2	26.5	13.4	16.5	24.7	16.8	14.4	13.9	9.7	3.1	2.1	29.4	0.8
50歳代	381	32.5	38.1	18.6	19.2	17.8	19.4	15.0	12.9	10.0	7.3	0.5	22.0	0.5
60歳代	495	42.2	38.6	24.6	22.6	13.9	22.8	14.5	5.5	9.7	9.1	0.8	20.6	1.2
70歳以上	417	38.6	30.7	24.5	21.8	9.6	18.5	12.9	1.0	8.4	13.9	0.2	27.6	0.5
性・年代別														
男性・20歳代	97	3.1	10.3	16.5	14.4	14.4	5.2	9.3	15.5	8.2	3.1	-	48.5	1.0
30歳代	193	15.5	19.7	14.0	20.7	14.0	6.2	9.3	25.9	5.7	1.6	1.0	36.3	-
40歳代	176	15.9	31.8	11.4	18.8	18.2	9.7	11.4	17.0	9.7	2.3	-	34.7	1.1
50歳代	191	28.3	40.8	12.6	22.5	16.2	19.4	13.1	15.2	8.4	3.7	0.5	18.8	-
60歳代	241	39.0	40.2	22.4	22.0	13.3	18.7	15.8	10.0	9.1	5.8	0.4	21.6	0.8
70歳以上	209	34.4	38.8	20.1	23.9	11.5	18.7	12.4	1.4	8.1	8.6	-	27.3	1.0
女性・20歳代	143	7.0	18.2	17.5	14.7	21.7	6.3	11.9	14.0	4.2	2.8	-	43.4	0.7
30歳代	164	25.0	12.2	16.5	11.6	19.5	12.8	14.6	11.0	8.5	5.5	1.8	32.3	-
40歳代	205	33.2	22.0	15.1	14.6	30.2	22.9	17.1	11.2	9.8	3.9	3.9	24.9	0.5
50歳代	190	36.8	35.3	24.7	15.8	19.5	19.5	16.8	10.5	11.6	11.1	0.5	25.3	1.1
60歳代	254	45.3	37.0	26.8	23.2	14.6	26.8	13.4	1.2	10.2	12.2	1.2	19.7	1.6
70歳以上	208	42.8	22.6	28.8	19.7	7.7	18.3	13.5	0.5	8.7	19.2	0.5	27.9	-
職業別														
自営業・家族従業（計）	239	29.3	29.3	20.5	18.8	15.9	15.9	11.3	10.0	7.1	8.4	0.8	28.9	0.8
雇用者（計）	1123	25.6	28.8	16.2	18.3	19.9	14.9	13.2	15.2	8.9	3.9	0.9	29.1	0.5
無職（計）	907	35.0	29.3	23.2	20.2	12.6	18.7	14.4	4.5	8.8	10.8	0.9	27.2	0.8
ライフステージ別														
独身期	295	6.8	19.0	14.6	17.3	16.6	7.1	11.9	19.3	6.4	2.4	-	39.7	0.3
家族形成期	185	20.0	18.4	17.3	14.1	13.0	11.4	12.4	21.6	7.0	2.7	1.6	37.8	0.5
家族成長前期	240	28.8	17.9	14.6	12.1	29.6	15.4	13.8	12.9	8.3	5.4	0.8	28.3	0.4
家族成長後期	198	31.3	28.8	10.6	17.2	26.8	19.7	15.7	10.1	9.1	3.0	2.5	25.3	-
家族成熟期	505	36.6	36.2	23.0	18.2	15.2	18.0	13.7	8.3	9.7	7.9	0.8	23.8	0.6
高齢期	575	40.9	32.9	25.0	22.1	11.7	22.3	12.9	1.2	9.4	13.4	0.3	24.3	1.0
その他	273	24.2	35.5	18.3	27.1	12.5	13.9	15.0	14.3	8.8	5.1	1.5	29.3	1.1

(3) 生涯学習の経験内容

◇「(この1年くらい)していない」が55.9%、経験内容は「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)」が16.5%、「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など)」が14.9%

問19 あなたは、この1年くらいの間に、「生涯学習」をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。



生涯学習の経験内容は、「健康・スポーツ(健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など)」(16.5%)と「趣味的なもの(音楽、美術、華道、舞踊、書道など)」(14.9%)が1割半ばで高く、次いで、「職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など)」(12.1%)、「パソコン・インターネットに関すること」(9.2%)の順となっている。一方、「(この1年くらい)していない」(55.9%)が5割半ばを占めている。

【属性別比較】

①地域別

「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」（19.3%）と「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」（20.9%）は北部地域で最も高い。「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」は南部地域（15.8%）、利根地域（15.3%）、北部地域（15.0%）で比較的高くなっている。「（この1年くらい）していない」は西部地域、秩父地域で比較的高くなっている。

②性別

「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」で7.4ポイント、「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」で7.4ポイント、女性のほうが男性よりも高くなっている。逆に「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」で9.2ポイント、「パソコン・インターネットに関すること」で6.6ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」は50歳代以上の割合が高くなっている。「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」は年齢が低いほど割合が高くなっている。「（この1年くらい）していない」は70歳以上で6割強と高く、20歳代で4割半ばと低くなっている。

④性・年代別

「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」は女性の60歳代（22.4%）で2割強、男性の70歳以上（20.6%）と女性の50歳代（20.5%）で約2割と高くなっている。「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」は女性の20歳代（23.1%）、50歳代（22.6%）、70歳以上（22.6%）で2割強と高い。「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」は男女ともにおおむね年齢が低いほど割合が高くなり、男性では20歳代（26.8%）で2割半ばと特に高くなっている。「（この1年くらい）していない」は男性では40歳代と70歳以上で約6割と高く、女性では70歳以上で6割強と高くなっている。

⑤職業別

「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」、「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」、「家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）」は無職（計）で高く、「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」は雇用者（計）で比較的高くなっている。「（この1年くらい）していない」は自営業・家族従業（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）」（20.3%）と「趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）」（17.4%）は高齢期で高くなっている。「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」は家族形成期（22.7%）と独身期（20.3%）で2割を超えて高い。「育児・教育（幼児教育、教育問題など）」は家族形成期（17.3%）と家族成長前期（10.0%）で1割台と高くなっている。「学校（高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習」は独身期（12.5%）で1割強と高くなっている。「（この1年くらい）していない」は高齢期で6割、その他で約6割と高くなっている。

○生涯学習の経験内容・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

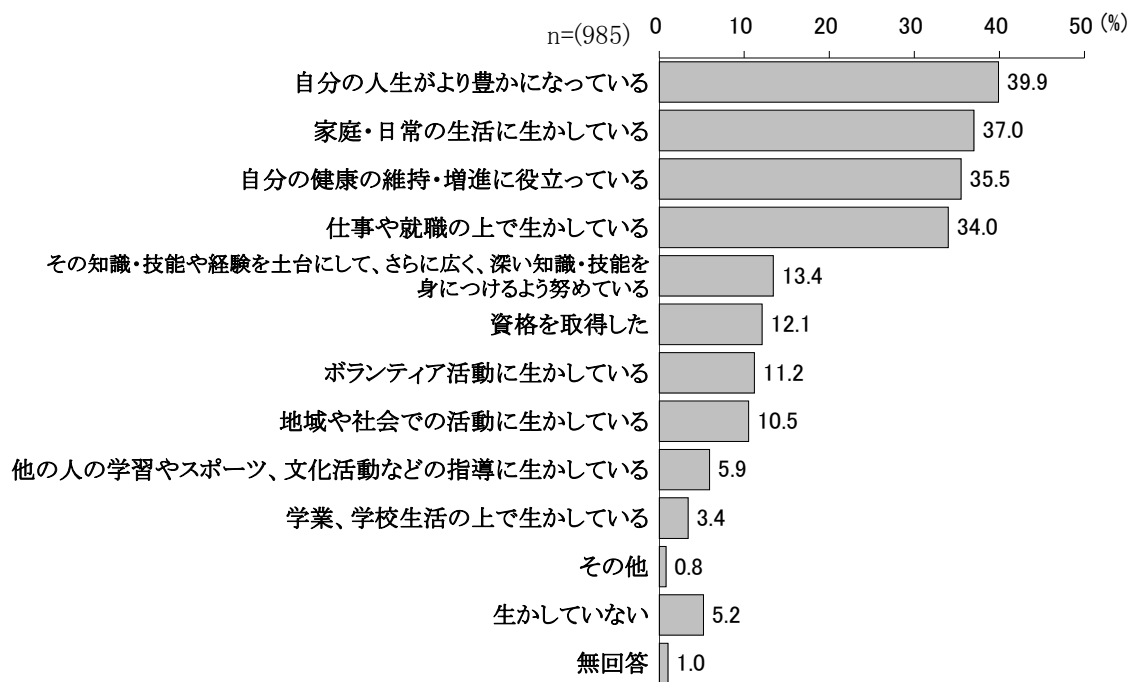
	調査数	健康・スポーツ（健康法、栄養、ジョギング、水泳など）	趣味・読書などの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）	職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）	パソコン・インターネットに関すること	学教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）	家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）	知識・技能	ボランティア活動やそのために必要なこと	育児・教育（幼児教育、教育問題など）	自然体験や生活体験などの体験活動	学校（高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習	その他	（この1年くらい）していない	無回答
全体	2271	16.5	14.9	12.1	9.2	7.9	6.5	4.5	4.1	2.8	2.6	0.5	55.9	0.7	
地域別															
南部地域	241	18.3	19.5	15.8	10.4	8.7	6.6	1.2	4.1	2.1	3.7	0.8	49.4	0.4	
南西部地域	193	17.6	15.0	12.4	11.4	9.3	6.2	6.2	4.7	3.6	3.6	1.0	52.3	-	
東部地域	347	13.3	15.0	12.7	9.8	9.2	7.5	3.2	2.9	2.6	1.4	-	57.1	0.9	
さいたま地域	416	16.1	13.2	10.1	8.2	7.5	6.3	5.0	3.8	2.2	2.2	0.2	59.1	0.5	
県央地域	197	17.3	17.3	9.1	8.1	8.6	10.2	7.1	5.1	3.0	2.5	-	53.3	0.5	
川越比企地域	232	17.2	13.4	9.9	8.6	6.9	6.0	5.6	7.3	3.0	2.6	1.3	53.4	0.9	
西部地域	224	17.9	10.7	11.2	8.0	6.7	4.0	4.0	2.7	4.0	1.3	0.9	61.2	-	
利根地域	209	13.9	11.5	15.3	11.5	5.7	6.7	3.8	3.3	2.4	4.3	-	59.8	1.0	
北部地域	187	19.3	20.9	15.0	7.5	8.6	4.3	5.9	3.7	3.2	3.7	0.5	52.9	2.7	
秩父地域	25	16.0	12.0	4.0	8.0	8.0	12.0	-	4.0	4.0	-	-	64.0	-	
性別															
男性	1107	16.3	11.1	16.8	12.6	8.5	2.7	4.5	2.8	2.5	2.1	0.6	56.1	0.5	
女性	1164	16.7	18.5	7.6	6.0	7.4	10.1	4.5	5.3	3.1	3.2	0.3	55.8	0.9	
年代別															
20歳代	240	13.3	18.3	20.0	9.2	10.8	7.9	3.8	5.8	3.3	15.8	-	44.2	-	
30歳代	357	13.7	10.4	18.5	12.6	5.0	7.0	1.4	10.1	2.2	2.0	0.3	55.2	0.3	
40歳代	381	14.2	8.7	16.3	10.8	5.8	6.6	4.5	4.5	2.4	1.3	0.3	57.5	0.5	
50歳代	381	17.3	18.1	13.9	11.0	8.9	5.5	3.7	3.1	3.4	1.0	0.3	56.4	0.8	
60歳代	495	20.0	16.8	6.7	7.3	8.9	7.1	6.1	1.6	2.6	0.6	0.4	56.2	1.4	
70歳以上	417	17.7	17.3	3.1	5.5	8.6	5.5	6.5	1.4	3.1	0.7	1.4	61.2	0.7	
性・年代別															
男性・20歳代	97	14.4	11.3	26.8	12.4	9.3	1.0	4.1	1.0	1.0	13.4	-	46.4	-	
30歳代	193	14.0	7.8	23.8	19.2	5.2	5.2	1.0	6.7	1.6	1.0	0.5	52.8	-	
40歳代	176	15.3	6.8	21.6	13.6	5.7	1.1	1.7	2.3	1.1	0.6	-	59.1	0.6	
50歳代	191	14.1	13.6	19.4	12.6	10.5	2.1	3.1	2.6	4.2	1.6	-	57.6	-	
60歳代	241	17.4	14.1	12.4	11.2	11.6	3.3	7.5	1.7	2.9	0.4	0.4	56.4	1.2	
70歳以上	209	20.6	12.0	4.3	7.2	8.1	2.4	8.1	1.9	3.3	1.4	2.4	59.3	0.5	
女性・20歳代	143	12.6	23.1	15.4	7.0	11.9	12.6	3.5	9.1	4.9	17.5	-	42.7	-	
30歳代	164	13.4	13.4	12.2	4.9	4.9	9.1	1.8	14.0	3.0	3.0	-	57.9	0.6	
40歳代	205	13.2	10.2	11.7	8.3	5.9	11.2	6.8	6.3	3.4	2.0	0.5	56.1	0.5	
50歳代	190	20.5	22.6	8.4	9.5	7.4	8.9	4.2	3.7	2.6	0.5	0.5	55.3	1.6	
60歳代	254	22.4	19.3	1.2	3.5	6.3	10.6	4.7	1.6	2.4	0.8	0.4	55.9	1.6	
70歳以上	208	14.9	22.6	1.9	3.8	9.1	8.7	4.8	1.0	2.9	-	0.5	63.0	1.0	
職業別															
自営業・家族従業員（計）	239	15.1	14.6	12.6	11.3	7.5	5.0	5.4	2.9	2.9	0.8	-	59.8	0.4	
雇用者（計）	1123	15.0	13.1	18.9	11.1	7.5	4.6	2.8	4.5	2.5	1.9	0.4	54.4	0.5	
無職（計）	907	18.7	17.1	3.5	6.2	8.6	9.2	6.3	3.9	3.2	4.0	0.7	56.8	1.0	
ライフステージ別															
独身期	295	12.5	15.9	20.3	11.9	10.2	6.1	3.4	1.4	2.0	12.5	-	48.1	-	
家族形成期	185	14.1	10.8	22.7	12.4	4.9	9.2	1.6	17.3	1.6	1.6	0.5	49.7	-	
家族成長前期	240	16.3	10.8	11.7	7.1	5.4	7.1	3.3	10.0	3.8	1.7	-	56.7	0.4	
家族成長後期	198	16.7	13.1	18.2	8.6	9.6	9.1	7.1	6.1	4.0	1.5	1.0	54.0	-	
家族成熟期	505	17.2	15.4	11.1	9.7	8.1	4.8	5.1	1.8	2.4	1.4	0.8	56.6	1.4	
高齢期	575	20.3	17.4	3.3	5.2	6.8	6.3	6.1	1.7	3.1	0.3	0.7	60.0	0.9	
その他	273	12.8	15.0	12.5	13.9	10.6	6.6	2.2	0.7	2.9	1.5	-	59.3	1.1	

（４）生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方

◇「自分の人生がより豊かになっている」が39.9%

（問19で「職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）」～「その他」のいずれかを答えた方に）

問20 あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。



生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方は、「自分の人生がより豊かになっている」（39.9%）が約4割で最も高く、次いで「家庭・日常の生活に生かしている」（37.0%）、「自分の健康の維持・増進に役立っている」（35.5%）、「仕事や就職の上で生かしている」（34.0%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「家庭・日常の生活に生かしている」は川越比企地域（44.3%）で4割半ば、「自分の健康の維持・増進に役立っている」は県央地域（41.8%）で4割強、「仕事や就職の上で生かしている」は利根地域（42.7%）と北部地域（41.0%）で4割強と高くなっている。「自分の人生がより豊かになっている」は川越比企地域（33.0%）と北部地域（33.7%）で3割強と低くなっている。

②性別

「自分の人生がより豊かになっている」で14.2ポイント、「自分の健康の維持・増進に役立っている」で10.6ポイント、「家庭・日常の生活に生かしている」で9.7ポイント、女性のほうが男性よりも高くなっている。逆に「仕事や就職の上で生かしている」で21.3ポイント、「その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている」で5.1ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「自分の人生がより豊かになっている」、「自分の健康の維持・増進に役立っている」、「ボランティア活動に生かしている」は60歳代以上で高くなっている。「仕事や就職の上で生かしている」は20歳代から40歳代で高くなっている。

④性・年代別

「自分の人生がより豊かになっている」は女性の50歳代以上で5割を超えて高くなっている。「家庭・日常の生活に生かしている」は女性の50歳代（48.8%）と40歳代（48.3%）で5割弱と高い。「仕事や就職の上で生かしている」は男性の20歳代から50歳代で5割を超えて高く、特に30歳代（64.8%）で6割半ばとなっている。

⑤職業別

「自分の人生がより豊かになっている」、「家庭・日常の生活に生かしている」、「自分の健康の維持・増進に役立っている」は無職（計）で高く、「仕事や就職の上で生かしている」と「資格を取得した」は雇用者（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「自分の人生がより豊かになっている」、「自分の健康の維持・増進に役立っている」、「ボランティア活動に生かしている」、「地域や社会での活動に生かしている」は高齢期で高くなっている。一方、「家庭・日常の生活に生かしている」は家族形成期（54.8%）、「仕事や就職の上で生かしている」は家族形成期（52.7%）と独身期（50.3%）で5割を超えて高くなっている。

○生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験の生かし方・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

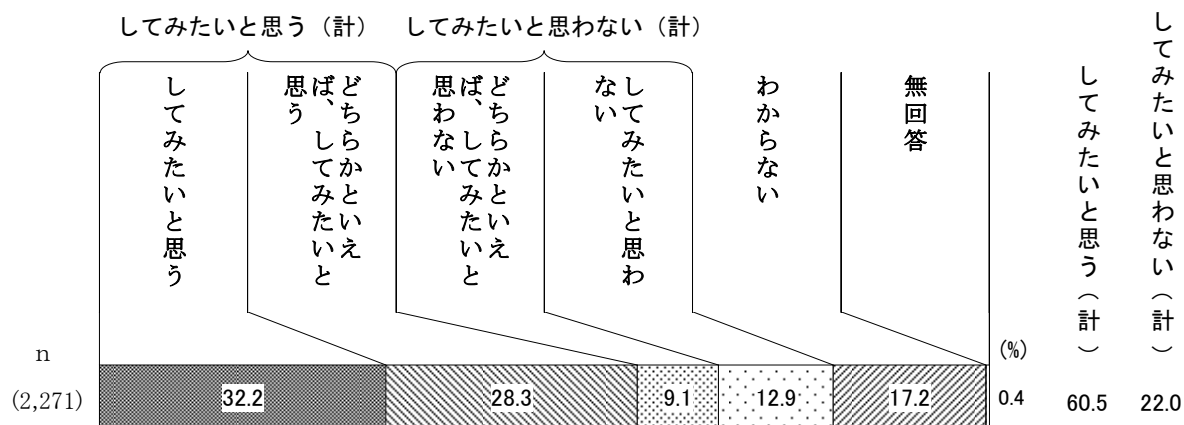
	調査数	自分の人生がより豊かになっている	家庭・日常の生活に生かしている	自分の健康の維持・増進に役立っている	仕事や就職の上で生かしている	その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている	資格を取得した	ボランティア活動に生かしている	地域や社会での活動に生かしている	他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている	学業、学校生活の上で生かしている	その他	生かしていない	無回答
全 体	985	39.9	37.0	35.5	34.0	13.4	12.1	11.2	10.5	5.9	3.4	0.8	5.2	1.0
地域別														
南部地域	121	43.0	35.5	33.1	34.7	9.9	9.1	5.8	7.4	4.1	4.1	0.8	4.1	0.8
南西部地域	92	41.3	34.8	30.4	37.0	15.2	15.2	10.9	10.9	6.5	4.3	-	5.4	2.2
東部地域	146	41.8	41.1	35.6	38.4	16.4	11.6	7.5	9.6	5.5	2.1	1.4	2.7	1.4
さいたま地域	168	41.1	36.3	38.7	28.0	11.9	8.3	12.5	12.5	7.1	6.0	-	7.1	0.6
県央地域	91	42.9	31.9	41.8	25.3	15.4	15.4	19.8	13.2	13.2	2.2	2.2	2.2	1.1
川越比企地域	106	33.0	44.3	31.1	34.0	15.1	17.0	11.3	10.4	3.8	1.9	0.9	4.7	1.9
西部地域	87	42.5	32.2	37.9	31.0	9.2	6.9	8.0	9.2	4.6	1.1	-	5.7	1.1
利根地域	82	35.4	43.9	31.7	42.7	12.2	15.9	8.5	7.3	4.9	2.4	1.2	8.5	-
北部地域	83	33.7	28.9	37.3	41.0	14.5	14.5	19.3	13.3	3.6	3.6	1.2	6.0	-
秩父地域	9	55.6	44.4	44.4	11.1	22.2	-	11.1	11.1	-	11.1	-	11.1	-
性別														
男性	481	32.6	32.0	30.1	44.9	16.0	13.1	10.4	11.6	6.4	3.5	1.0	6.0	0.6
女性	504	46.8	41.7	40.7	23.6	10.9	11.1	11.9	9.3	5.4	3.2	0.6	4.4	1.4
年代別														
20歳代	134	31.3	29.9	18.7	44.0	14.2	18.7	3.7	3.0	4.5	17.2	-	6.7	-
30歳代	159	32.7	41.5	24.5	52.8	16.4	17.0	1.9	3.1	2.5	1.3	-	2.5	1.3
40歳代	160	30.6	40.0	23.1	46.3	8.1	13.1	11.9	9.4	6.3	1.3	1.3	6.3	0.6
50歳代	163	41.1	41.1	35.6	38.0	16.6	9.8	8.0	11.0	4.9	3.1	0.6	2.5	1.2
60歳代	210	50.0	38.1	50.0	21.4	14.8	8.6	17.6	13.8	8.1	-	1.4	4.3	1.4
70歳以上	159	49.1	29.6	54.1	6.9	10.1	7.5	20.8	20.1	8.2	0.6	1.3	9.4	1.3
性・年代別														
男性・20歳代	52	19.2	17.3	17.3	59.6	17.3	19.2	3.8	1.9	1.9	19.2	-	5.8	-
30歳代	91	29.7	39.6	22.0	64.8	19.8	17.6	1.1	3.3	3.3	1.1	-	2.2	1.1
40歳代	71	21.1	29.6	16.9	56.3	5.6	15.5	9.9	7.0	5.6	1.4	1.4	8.5	1.4
50歳代	81	28.4	33.3	24.7	54.3	21.0	12.3	3.7	14.8	7.4	4.9	1.2	1.2	-
60歳代	102	42.2	36.3	40.2	34.3	18.6	10.8	18.6	14.7	7.8	-	2.0	5.9	-
70歳以上	84	46.4	28.6	51.2	8.3	11.9	6.0	21.4	23.8	10.7	1.2	1.2	13.1	1.2
女性・20歳代	82	39.0	37.8	19.5	34.1	12.2	18.3	3.7	3.7	6.1	15.9	-	7.3	-
30歳代	68	36.8	44.1	27.9	36.8	11.8	16.2	2.9	2.9	1.5	1.5	-	2.9	1.5
40歳代	89	38.2	48.3	28.1	38.2	10.1	11.2	13.5	11.2	6.7	1.1	1.1	4.5	-
50歳代	82	53.7	48.8	46.3	22.0	12.2	7.3	12.2	7.3	2.4	1.2	-	3.7	2.4
60歳代	108	57.4	39.8	59.3	9.3	11.1	6.5	16.7	13.0	8.3	-	0.9	2.8	2.8
70歳以上	75	52.0	30.7	57.3	5.3	8.0	9.3	20.0	16.0	5.3	-	1.3	5.3	1.3
職業別														
自営業・家族従業（計）	95	43.2	34.7	34.7	40.0	21.1	9.5	14.7	14.7	6.3	-	1.1	3.2	1.1
雇用者（計）	506	32.4	34.2	28.1	52.0	15.4	14.8	5.5	7.1	4.9	1.8	0.6	4.7	0.8
無職（計）	383	48.8	41.0	45.7	8.9	8.6	9.1	17.8	13.8	7.0	6.0	1.0	6.3	1.3
ライフステージ別														
独身期	153	30.1	24.2	20.9	50.3	18.3	22.2	3.3	2.0	3.9	13.7	-	4.6	-
家族形成期	93	32.3	54.8	21.5	52.7	10.8	16.1	3.2	4.3	4.3	-	-	3.2	1.1
家族成長前期	103	31.1	38.8	26.2	37.9	8.7	9.7	5.8	8.7	3.9	3.9	1.0	5.8	1.9
家族成長後期	91	35.2	35.2	25.3	42.9	13.2	9.9	11.0	8.8	6.6	2.2	1.1	2.2	1.1
家族成熟期	212	45.8	38.7	40.6	31.1	14.2	11.3	14.6	10.8	6.6	1.4	1.9	4.2	-
高齢期	225	48.0	32.4	56.4	10.7	11.1	5.8	20.4	18.7	8.4	-	0.4	6.7	2.2
その他	108	44.4	45.4	32.4	38.0	16.7	13.0	8.3	13.0	4.6	2.8	0.9	8.3	0.9

（５）今後の生涯学習に対する意向

◇『してみたいと思う（計）』が60.5%

（現在、「生涯学習」をしている方も含めて、全員の方に）

問21 あなたは、今後、「生涯学習」をしてみたいと思いますか。



今後の生涯学習に対する意向は、「してみたいと思う」（32.2%）が3割強で最も高く、これに「どちらかといえば、してみたいと思う」（28.3%）を合わせると、『してみたいと思う（計）』は60.5%となっている。一方、「してみたいと思わない」（12.9%）と「どちらかといえば、してみたいと思わない」（9.1%）を合わせた『してみたいと思わない（計）』は22.0%となっている。

【属性別比較】

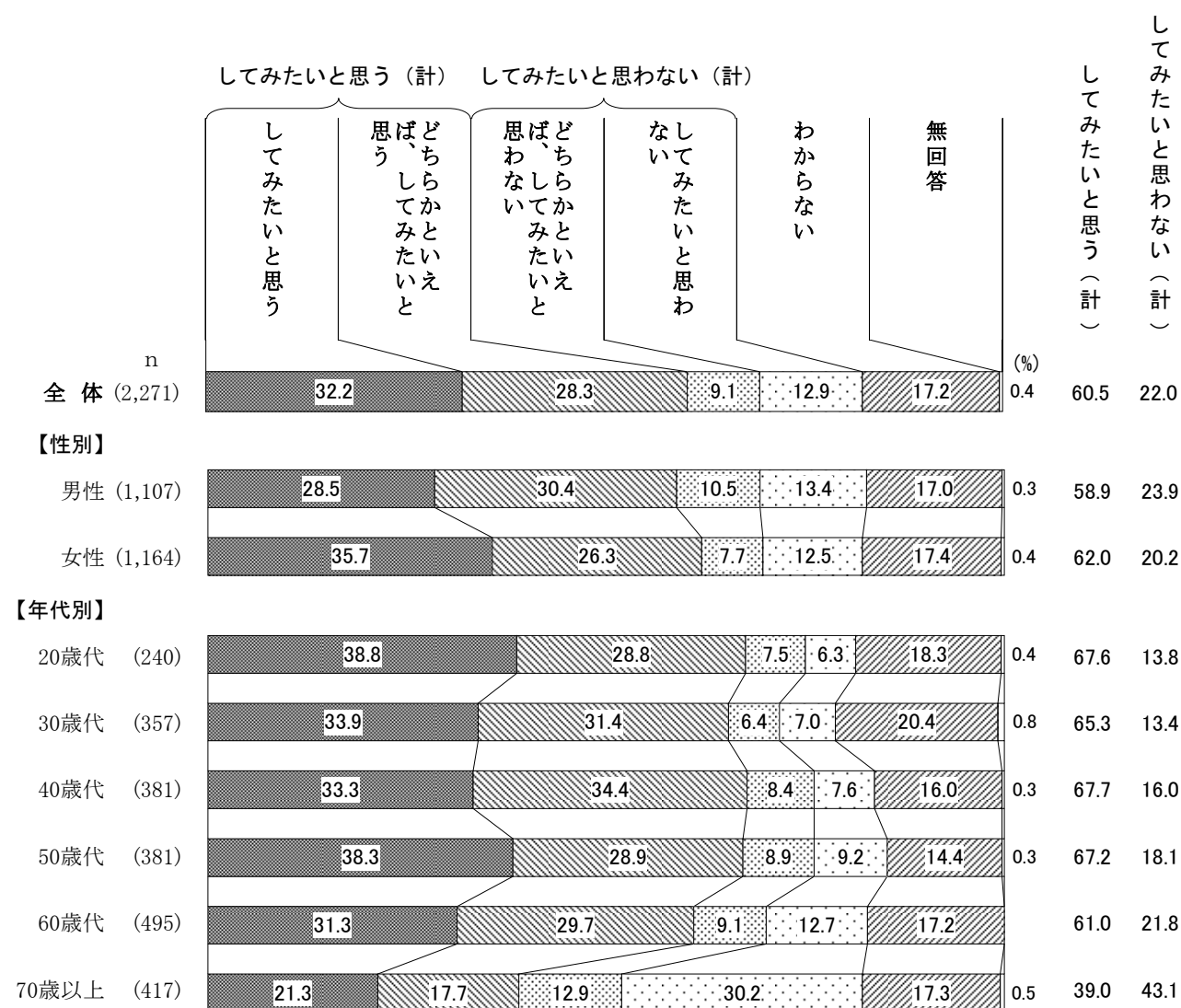
①性別

『してみたいと思う（計）』は女性（62.0％）のほうが男性（58.9％）よりも3.1ポイント高くなっている。

②年代別

『してみたいと思う（計）』は70歳以上（39.0％）を除いて6割を超えている。一方、『してみたいと思わない（計）』は70歳以上（43.1％）で4割強となっている。

○今後の生涯学習に対する意向・性別／年代別



③地域別

『してみたいと思う（計）』は南西部地域（73.1%）で最も高く、秩父地域（40.0%）で低い。

④性・年代別

『してみたいと思う（計）』は男性20歳代と女性40歳代で7割を超えて高く、男女とも70歳以上で低くなっている。

⑤職業別

『してみたいと思う（計）』は雇用者（計）（66.7%）で高くなっている。

⑥ライフステージ別

『してみたいと思う（計）』は家族成長後期（73.7%）と家族形成期（70.8%）で7割を超えて高い。

○今後の生涯学習に対する意向・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

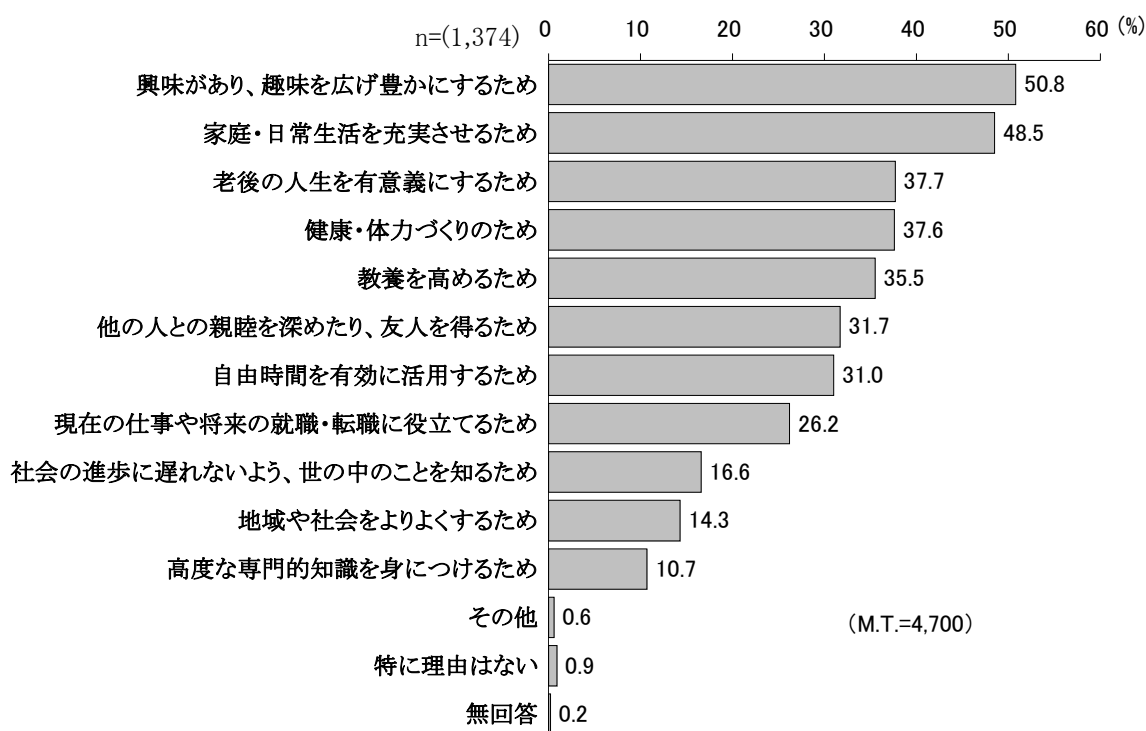
	調査数	してみたいと思う	てどち みたら かと思 うえ ば、し	てどち みたら かと思 わえ ば、し	してみ たいと 思わ ない	わ か ら ない	無 回 答	（計） してみ たいと 思う	（計） してみ たいと 思わ ない
全 体	2271	32.2	28.3	9.1	12.9	17.2	0.4	60.5	22.0
地域別									
南部地域	241	40.7	29.9	5.0	7.9	16.2	0.4	70.6	12.9
南西部地域	193	38.9	34.2	10.4	10.4	6.2	—	73.1	20.8
東部地域	347	31.1	29.7	11.5	11.0	16.4	0.3	60.8	22.5
さいたま地域	416	32.7	24.0	9.4	14.2	19.5	0.2	56.7	23.6
県央地域	197	33.5	27.4	5.6	15.7	17.8	—	60.9	21.3
川越比企地域	232	32.8	27.2	9.1	10.8	19.0	1.3	60.0	19.9
西部地域	224	25.9	33.9	5.8	17.4	17.0	—	59.8	23.2
利根地域	209	28.2	27.8	10.5	16.3	16.3	1.0	56.0	26.8
北部地域	187	25.7	25.7	13.9	12.8	21.9	—	51.4	26.7
秩父地域	25	28.0	12.0	8.0	16.0	36.0	—	40.0	24.0
性・年代別									
男性・20歳代	97	40.2	30.9	5.2	7.2	16.5	—	71.1	12.4
30歳代	193	29.5	33.2	6.2	8.3	22.3	0.5	62.7	14.5
40歳代	176	24.4	34.7	10.8	9.7	19.9	0.6	59.1	20.5
50歳代	191	30.9	35.1	11.0	10.5	12.6	—	66.0	21.5
60歳代	241	32.0	30.3	9.1	12.4	16.2	—	62.3	21.5
70歳以上	209	19.1	20.1	17.7	27.8	14.8	0.5	39.2	45.5
女性・20歳代	143	37.8	27.3	9.1	5.6	19.6	0.7	65.1	14.7
30歳代	164	39.0	29.3	6.7	5.5	18.3	1.2	68.3	12.2
40歳代	205	41.0	34.1	6.3	5.9	12.7	—	75.1	12.2
50歳代	190	45.8	22.6	6.8	7.9	16.3	0.5	68.4	14.7
60歳代	254	30.7	29.1	9.1	13.0	18.1	—	59.8	22.1
70歳以上	208	23.6	15.4	8.2	32.7	19.7	0.5	39.0	40.9
職業別									
自営業・家族従業（計）	239	37.2	22.6	10.9	13.4	15.5	0.4	59.8	24.3
雇用者（計）	1123	34.3	32.4	7.7	8.0	17.3	0.4	66.7	15.7
無職（計）	907	28.2	24.8	10.4	18.9	17.4	0.3	53.0	29.3
ライフステージ別									
独身期	295	31.9	33.2	6.8	7.8	20.3	—	65.1	14.6
家族形成期	185	43.2	27.6	9.2	3.2	15.1	1.6	70.8	12.4
家族成長前期	240	36.3	28.3	7.1	7.5	20.4	0.4	64.6	14.6
家族成長後期	198	41.9	31.8	9.1	7.1	10.1	—	73.7	16.2
家族成熟期	505	33.9	28.7	10.3	11.3	15.8	—	62.6	21.6
高齢期	575	24.9	22.4	10.8	24.3	17.2	0.3	47.3	35.1
その他	273	26.7	32.6	7.3	12.8	19.8	0.7	59.3	20.1

（５－１）生涯学習を行いたい理由

◇「興味があり、趣味を広げ豊かにするため」が50.8%、「家庭・日常生活を充実させるため」が48.5%

（問21で「してみたいと思う」、「どちらかといえば、してみたいと思う」のいずれかを答えた方に）

問21－１ あなたが、「生涯学習」をしてみたいと思う理由はどのようなことでしょうか。あてはまるものをすべて選んでください。



生涯学習を行いたい理由は、「興味があり、趣味を広げ豊かにするため」（50.8%）と「家庭・日常生活を充実させるため」（48.5%）が高く、次いで「老後の人生を有意義にするため」（37.7%）、「健康・体力づくりのため」（37.6%）、「教養を高めるため」（35.5%）、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」（31.7%）、「自由時間を有効に活用するため」（31.0%）、「現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため」（26.2%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「興味があり、趣味を広げ豊かにするため」はさいたま地域（57.6％）で6割弱と高くなっている。
「家庭・日常生活を充実させるため」は利根地域（54.7％）で5割半ばと最も高くなっている。「健康・体力づくりのため」は県央地域（41.7％）、「教養を高めるため」は利根地域（41.0％）で4割強と高くなっている。

②性別

「家庭・日常生活を充実させるため」で12.9ポイント、「興味があり、趣味を広げ豊かにするため」で10.3ポイント、女性のほうが男性よりも高くなっている。逆に「現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため」で9.1ポイント、「地域や社会をよりよくするため」で7.7ポイント、男性のほうが女性よりも高くなっている。

③年代別

「興味があり、趣味を広げ豊かにするため」は20歳代（56.8％）で5割半ば、「家庭・日常生活を充実させるため」は30歳代（53.2％）で5割強と高くなっている。「老後の人生を有意義にするため」、「健康・体力づくりのため」は40歳代以上で割合が高くなっている。「教養を高めるため」、「現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため」、「高度な専門的知識を身につけるため」は年齢が低いほど割合が高くなっている。

④性・年代別

「興味があり、趣味を広げ豊かにするため」は女性の20歳代（63.4％）と70歳以上（61.7％）で6割を超えて高くなっている。「老後の人生を有意義にするため」は男女ともにおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなり、男性20歳代で1割未満と特に低くなっている。「健康・体力づくりのため」は女性ではおおむね年齢が高くなるほど割合が高くなり、50歳代以上で5割を超えて高くなっている。

⑤職業別

「興味があり、趣味を広げ豊かにするため」、「家庭・日常生活を充実させるため」、「老後の人生を有意義にするため」、「健康・体力づくりのため」、「自由時間を有効に活用するため」は無職（計）で比較的高くなっている。「教養を高めるため」と「現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため」は雇用者（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「老後の人生を有意義にするため」、「健康・体力づくりのため」、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」、「社会の進歩に遅れないよう、世の中のことを知るため」は高齢期で比較的高くなっている。「教養を高めるため」と「現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため」は独身期から家族成長後期で比較的高くなっている。

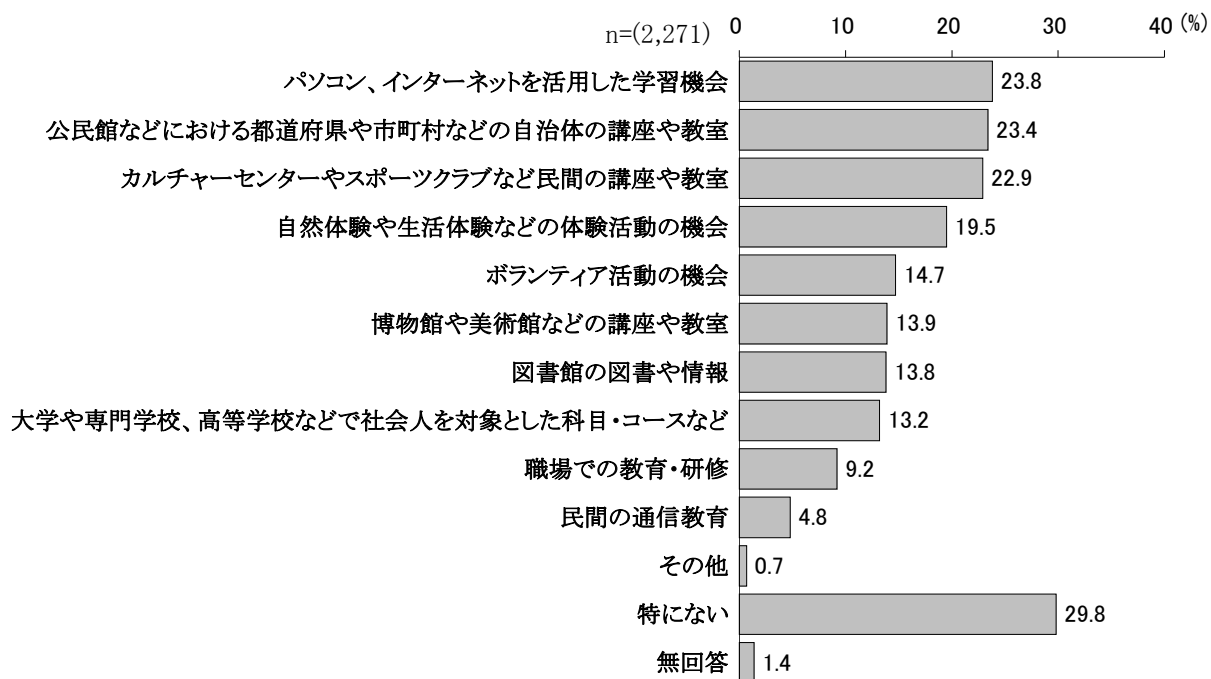
○生涯学習を行いたい理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別／
ライフステージ別

	調査数	に興味があるため、 趣味を広げ豊か	家庭・日常生活を充実させるため	老後の人生を有意義にするため	健康・体力づくりのため	教養を高めるため	他の人との親睦を深めたり、友人を得るため	自由時間を有効に活用するため	現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため	社会の進歩に遅れないよう、世の中のことを知るため	地域や社会をよりよくするため	高度な専門的知識を身につけるため	その他	特に理由はない	無回答
全 体	1374	50.8	48.5	37.7	37.6	35.5	31.7	31.0	26.2	16.6	14.3	10.7	0.6	0.9	0.2
地域別															
南部地域	170	54.7	45.9	33.5	34.7	34.7	29.4	33.5	27.6	20.6	11.2	9.4	-	0.6	0.6
南西部地域	141	55.3	53.9	33.3	35.5	36.2	25.5	24.8	31.9	14.2	12.8	13.5	-	2.1	0.7
東部地域	211	46.4	47.4	37.4	36.5	32.7	31.3	25.6	29.4	13.7	15.6	11.4	0.5	-	-
さいたま地域	236	57.6	47.9	38.6	38.6	33.5	35.2	26.7	22.0	16.5	14.8	10.2	0.4	0.8	0.4
県央地域	120	49.2	49.2	41.7	41.7	39.2	33.3	45.8	26.7	15.8	14.2	11.7	0.8	0.8	-
川越比企地域	139	48.9	48.9	36.7	36.0	35.3	38.1	28.8	28.8	20.1	18.0	13.7	1.4	0.7	-
西部地域	134	50.0	44.8	37.3	38.8	35.1	26.9	30.6	23.9	16.4	11.9	7.5	0.7	-	-
利根地域	117	47.0	54.7	41.9	38.5	41.0	31.6	37.6	23.9	16.2	14.5	12.0	0.9	0.9	-
北部地域	96	43.8	44.8	40.6	40.6	37.5	32.3	33.3	20.8	17.7	16.7	6.3	-	3.1	-
秩父地域	10	20.0	50.0	50.0	30.0	30.0	40.0	50.0	20.0	-	10.0	10.0	10.0	-	-
性別															
男性	652	45.4	41.7	36.0	34.2	36.0	29.1	31.0	31.0	18.7	18.4	13.3	0.6	0.9	0.2
女性	722	55.7	54.6	39.2	40.6	35.0	34.1	31.0	21.9	14.7	10.7	8.3	0.6	0.8	0.3
年代別															
20歳代	162	56.8	45.1	8.0	27.8	46.9	17.9	27.8	53.7	13.0	11.7	19.1	0.6	1.2	-
30歳代	233	51.5	53.2	15.5	25.8	43.3	24.0	27.0	46.8	14.2	13.7	15.5	0.4	0.9	-
40歳代	258	50.4	47.7	24.0	29.8	35.7	24.4	22.5	34.9	10.1	8.1	10.9	0.4	0.8	-
50歳代	256	46.9	49.6	48.4	39.1	34.4	32.4	30.9	18.4	14.5	14.8	8.2	0.4	0.8	0.4
60歳代	302	51.0	48.7	61.3	49.7	29.1	42.4	43.7	7.6	21.9	17.9	5.3	1.3	0.7	0.7
70歳以上	163	50.3	44.2	60.1	51.5	26.4	47.2	30.1	2.5	27.6	20.2	9.2	-	1.2	-
性・年代別															
男性・20歳代	69	47.8	33.3	4.3	31.9	40.6	17.4	18.8	55.1	14.5	15.9	23.2	-	2.9	-
30歳代	121	46.3	43.0	15.7	24.8	46.3	24.8	24.0	55.4	19.0	14.9	20.7	0.8	0.8	-
40歳代	104	46.2	42.3	24.0	31.7	33.7	22.1	27.9	45.2	12.5	10.6	13.5	-	1.0	-
50歳代	126	38.9	42.1	43.7	27.0	33.3	23.8	31.0	23.0	14.3	17.5	10.3	-	0.8	0.8
60歳代	150	52.0	42.0	59.3	41.3	36.0	40.0	44.7	12.7	22.7	24.7	7.3	2.0	-	-
70歳以上	82	39.0	45.1	53.7	51.2	24.4	42.7	30.5	2.4	29.3	25.6	9.8	-	1.2	-
女性・20歳代	93	63.4	53.8	10.8	24.7	51.6	18.3	34.4	52.7	11.8	8.6	16.1	1.1	-	-
30歳代	112	57.1	64.3	15.2	26.8	40.2	23.2	30.4	37.5	8.9	12.5	9.8	-	0.9	-
40歳代	154	53.2	51.3	24.0	28.6	37.0	26.0	18.8	27.9	8.4	6.5	9.1	0.6	0.6	-
50歳代	130	54.6	56.9	53.1	50.8	35.4	40.8	30.8	13.8	14.6	12.3	6.2	0.8	0.8	-
60歳代	152	50.0	55.3	63.2	57.9	22.4	44.7	42.8	2.6	21.1	11.2	3.3	0.7	1.3	1.3
70歳以上	81	61.7	43.2	66.7	51.9	28.4	51.9	29.6	2.5	25.9	14.8	8.6	-	1.2	-
職業別															
自営業・家族従業（計）	143	46.9	47.6	39.9	38.5	36.4	37.1	27.3	21.0	17.5	19.6	11.2	1.4	1.4	-
雇用者（計）	749	50.6	46.5	34.8	34.0	38.2	27.1	29.6	35.0	15.0	14.0	12.7	0.4	0.5	0.1
無職（計）	481	52.2	51.8	41.6	42.8	31.0	37.4	34.1	13.9	18.9	13.3	7.3	0.6	1.2	0.4
ライフステージ別															
独身期	192	54.7	40.6	8.3	25.0	47.4	19.8	26.6	57.8	14.1	11.5	18.2	0.5	1.6	-
家族形成期	131	51.9	59.5	16.0	23.7	42.0	22.9	25.2	45.8	13.0	13.0	16.8	0.8	0.8	-
家族成長前期	155	51.0	51.0	23.2	36.1	40.0	24.5	29.7	34.8	12.3	11.0	10.3	0.6	-	-
家族成長後期	146	47.3	50.7	35.6	34.2	32.9	30.8	26.7	23.3	13.7	12.3	8.9	-	0.7	0.7
家族成熟期	316	51.6	48.7	53.2	43.0	32.3	37.3	38.0	14.6	16.1	18.0	8.9	1.3	0.9	-
高齢期	272	46.7	46.7	60.7	56.3	25.7	44.1	33.1	2.9	24.6	15.8	5.5	0.4	0.4	0.7
その他	162	53.7	46.9	37.0	25.9	37.0	29.0	29.0	29.0	16.7	14.2	11.1	-	1.9	-

（６）生涯学習の機会として増えてほしいもの

◇「パソコン、インターネットを活用した学習機会」が23.8%、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」が23.4%

問22 あなたは、どのような「生涯学習」の機会が増えればよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。



生涯学習の機会として増えてほしいものは、「パソコン、インターネットを活用した学習機会」（23.8%）、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」（23.4%）がともに高い。次いで、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」（22.9%）「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」（19.5%）、「ボランティア活動の機会」（14.7%）の順となっている。一方、「特にない」（29.8%）は約3割となっている。

【属性別比較】

①地域別

「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」（30.6%）と「パソコン、インターネットを活用した学習機会」（29.5%）は南西部地域で比較的高くなっている。「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」は南部地域（29.5%）で約3割と高くなっている。「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」は北部地域（23.5%）、利根地域（23.0%）、南部地域（21.2%）で2割強と高くなっている。一方、「特にない」は秩父地域で4割半ばである。

②性別

「パソコン、インターネットを活用した学習機会」は男性（27.8%）のほうが女性（20.0%）よりも7.8ポイント、「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」は男性（22.0%）のほうが女性（17.1%）よりも4.9ポイント高くなっている。逆に「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」で9.2ポイント、「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」で8.1ポイント、女性のほうが男性よりも高くなっている。

③年代別

「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」は60歳代（29.9%）でやや高くなっている。「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」は30歳代（30.5%）で約3割と高くなっている。「パソコン、インターネットを活用した学習機会」は70歳以上と60歳代で低くなっている。

④性・年代別

「パソコン、インターネットを活用した学習機会」は男性の20歳代から50歳代で3割を超えて高くなっている。「公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室」は女性の60歳代（32.7%）と50歳代（30.0%）で3割台と高くなっている。「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」は女性の30歳代（40.9%）で約4割と高くなっている。「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」は男性の50歳代（28.3%）でやや高くなっている。「職場での教育・研修」は男性の20歳代（23.7%）と30歳代（23.3%）で2割強と高くなっている。

⑤職業別

「パソコン、インターネットを活用した学習機会」、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」、「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」、「大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど」、「職場での教育・研修」は雇用者（計）で高くなっている。「特にない」は無職（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「パソコン、インターネットを活用した学習機会」は独身期から家族成長前期で3割を超えている。「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室」と「自然体験や生活体験などの体験活動の機会」は家族形成期で比較的高くなっている。「職場での教育・研修」は独身期（22.7%）と家族形成期（22.7%）で2割強と高くなっている。一方、「特にない」は高齢期で4割半ばと高くなっている。

○生涯学習の機会として増えてほしいもの・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

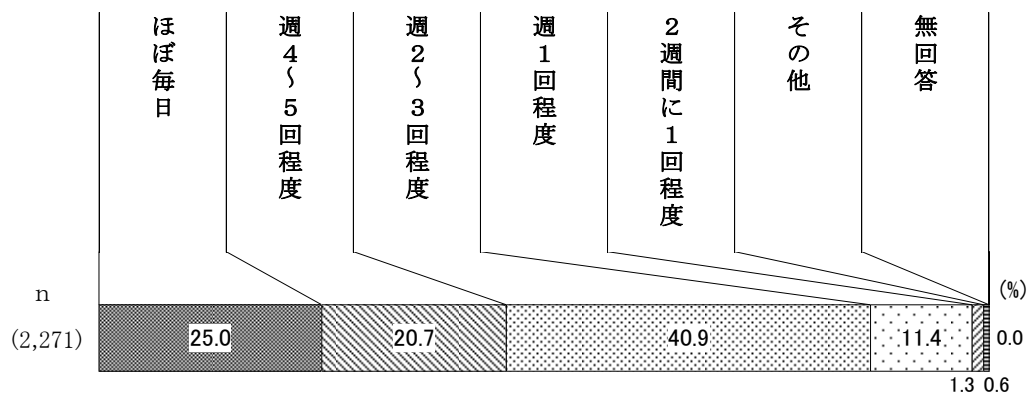
	調査数	パソコン、インターネットを活用した学習機会	公民館などにおける自治体の講座や教室	カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室	自然体験や生活体験などの体験活動の機会	ボランティア活動の機会	博物館や美術館などの講座や教室	図書館の図書や情報	大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど	職場での教育・研修	民間の通信教育	その他	特にない	無回答
全 体	2271	23.8	23.4	22.9	19.5	14.7	13.9	13.8	13.2	9.2	4.8	0.7	29.8	1.4
地域別														
南部地域	241	27.4	29.5	25.3	21.2	13.3	17.8	14.5	12.0	10.4	5.0	1.7	21.6	1.2
南西部地域	193	29.5	27.5	30.6	16.6	15.5	15.5	15.0	21.8	12.4	3.6	0.5	20.7	1.0
東部地域	347	26.8	26.5	22.8	19.0	15.3	13.3	16.4	13.5	11.0	4.0	0.6	25.6	2.0
さいたま地域	416	19.5	23.6	21.2	18.3	13.7	14.4	12.5	13.2	8.9	4.3	0.5	35.6	0.5
県央地域	197	19.8	21.3	24.4	19.3	14.7	12.7	12.7	13.2	4.6	6.1	1.5	34.5	1.0
川越比企地域	232	22.8	21.6	22.4	20.3	18.5	15.5	13.8	18.5	9.5	6.9	1.3	28.9	0.9
西部地域	224	24.6	20.1	19.6	17.4	14.3	9.8	14.3	10.3	8.0	5.4	0.4	29.9	1.8
利根地域	209	28.7	19.1	23.0	23.0	16.3	11.5	14.4	8.1	10.5	5.3	0.5	31.6	2.4
北部地域	187	19.3	19.8	20.3	23.5	12.3	12.8	8.6	9.1	6.4	4.3	-	36.4	1.6
秩父地域	25	4.0	12.0	12.0	8.0	4.0	20.0	20.0	4.0	12.0	-	-	44.0	4.0
性別														
男性	1107	27.8	19.2	18.2	22.0	15.8	12.6	13.4	13.4	10.7	4.2	0.8	30.5	0.6
女性	1164	20.0	27.3	27.4	17.1	13.7	15.0	14.2	13.1	7.9	5.4	0.7	29.0	2.1
年代別														
20歳代	240	33.8	12.9	25.8	19.6	15.4	15.0	18.3	20.0	21.7	9.2	1.3	18.8	1.3
30歳代	357	31.7	20.2	30.5	24.1	12.0	10.9	14.6	15.7	21.6	7.6	0.3	19.9	-
40歳代	381	27.6	21.8	27.0	18.9	14.7	16.0	15.5	17.3	10.5	6.3	0.8	25.2	1.3
50歳代	381	30.2	24.4	26.2	23.4	18.1	19.9	17.8	17.3	5.8	4.2	0.3	22.3	1.3
60歳代	495	17.4	29.9	20.0	20.8	17.8	14.9	11.3	9.3	2.2	2.2	0.6	33.1	1.6
70歳以上	417	9.8	24.9	11.3	11.0	9.8	7.0	8.2	4.3	1.9	2.4	1.4	51.6	2.4
性・年代別														
男性・20歳代	97	37.1	10.3	20.6	14.4	14.4	9.3	16.5	17.5	23.7	7.2	1.0	22.7	-
30歳代	193	33.7	13.0	21.8	23.8	10.9	8.8	12.4	15.0	23.3	7.3	-	25.4	-
40歳代	176	30.1	16.5	19.9	22.2	14.8	12.5	13.6	11.4	13.1	4.5	0.6	29.5	0.6
50歳代	191	36.1	18.8	22.5	28.3	19.4	18.8	19.4	20.9	5.8	3.1	-	19.9	0.5
60歳代	241	23.7	27.0	17.8	25.7	20.7	17.0	12.0	12.4	3.3	2.1	0.8	31.5	0.4
70歳以上	209	13.4	23.0	8.6	13.9	12.9	7.2	8.6	5.7	3.8	3.3	2.4	48.3	1.9
女性・20歳代	143	31.5	14.7	29.4	23.1	16.1	18.9	19.6	21.7	20.3	10.5	1.4	16.1	2.1
30歳代	164	29.3	28.7	40.9	24.4	13.4	13.4	17.1	16.5	19.5	7.9	0.6	13.4	-
40歳代	205	25.4	26.3	33.2	16.1	14.6	19.0	17.1	22.4	8.3	7.8	1.0	21.5	2.0
50歳代	190	24.2	30.0	30.0	18.4	16.8	21.1	16.3	13.7	5.8	5.3	0.5	24.7	2.1
60歳代	254	11.4	32.7	22.0	16.1	15.0	13.0	10.6	6.3	1.2	2.4	0.4	34.6	2.8
70歳以上	208	6.3	26.9	13.9	8.2	6.7	6.7	7.7	2.9	-	1.4	0.5	54.8	2.9
職業別														
自営業・家族従業（計）	239	23.0	20.9	22.2	16.3	15.9	13.4	13.8	12.1	5.4	4.6	-	32.6	0.4
雇用者（計）	1123	29.7	21.5	26.3	23.8	16.4	15.1	14.3	16.3	14.7	5.5	0.6	22.7	0.8
無職（計）	907	16.8	26.4	19.0	15.1	12.3	12.3	13.1	9.6	3.5	4.1	1.1	37.7	2.3
ライフステージ別														
独身期	295	33.2	13.2	25.4	18.6	14.2	16.6	17.6	17.6	22.7	6.8	1.4	21.7	1.0
家族形成期	185	30.3	24.3	33.0	28.6	14.1	10.3	17.8	19.5	22.7	7.6	-	16.8	0.5
家族成長前期	240	32.5	20.8	29.2	26.3	13.3	11.7	13.8	15.8	12.5	10.8	-	20.4	0.4
家族成長後期	198	26.8	25.3	26.3	21.7	19.2	17.2	15.7	18.7	10.6	5.1	-	19.7	-
家族成熟期	505	25.1	26.5	23.4	20.4	16.2	15.6	11.3	12.7	4.6	4.0	0.6	28.1	1.6
高齢期	575	11.0	27.3	14.4	14.3	12.2	9.0	10.3	5.4	1.6	2.1	1.0	46.1	2.3
その他	273	24.2	20.5	22.3	16.1	16.1	19.8	17.6	15.4	6.6	2.9	1.5	31.5	1.8

5 買い物弱者について

(1) 普段の買い物の回数

◇「週2～3回程度」が40.9%

問23 あなたのご家庭では普段、買い物に出かける回数は週に何回ですか。次の中から1つだけ選んでください。



普段の買い物の回数は、「週2～3回程度」(40.9%)が約4割で最も高く、次いで「ほぼ毎日」(25.0%)が2割半ば、「週4～5回程度」(20.7%)が約2割となっている。

【属性別比較】

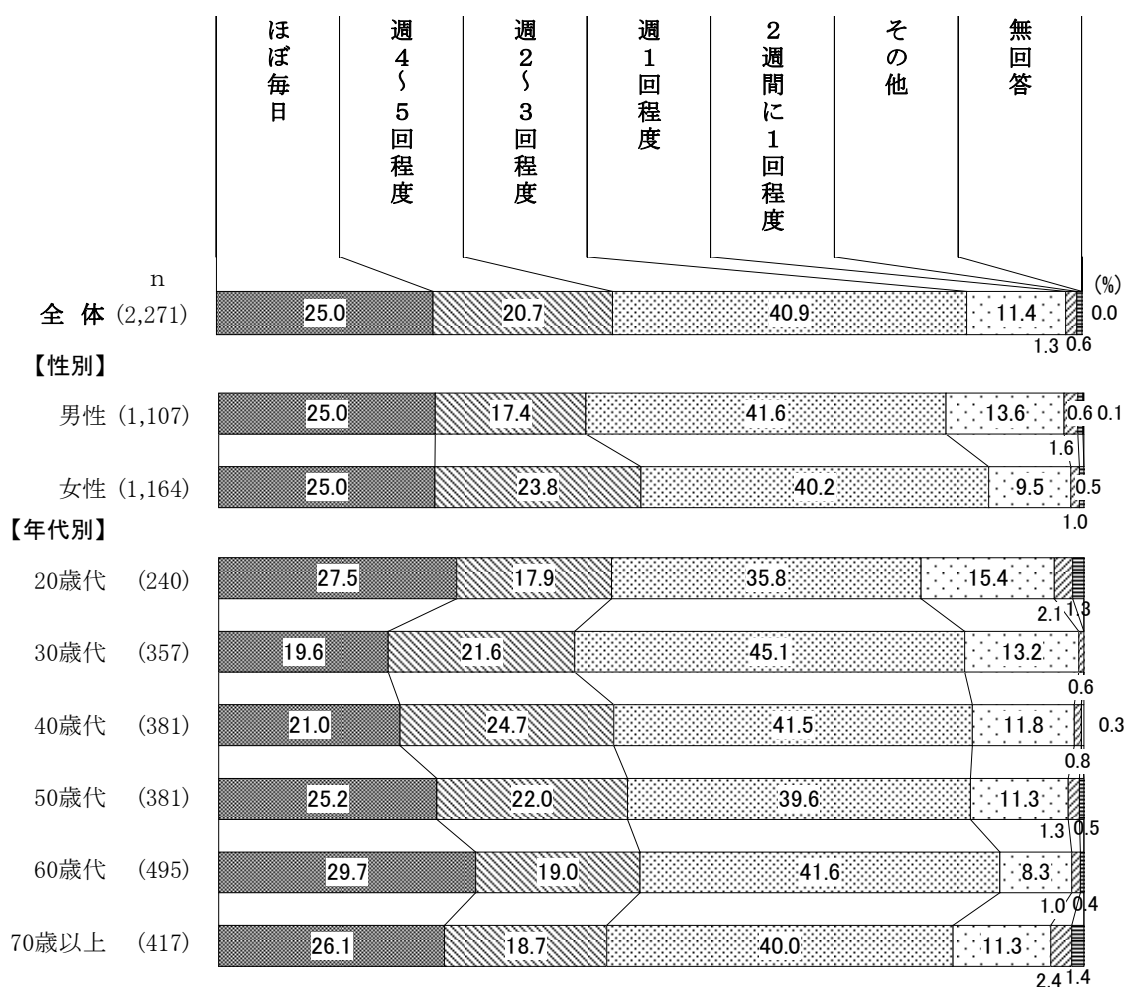
①性別

「週4～5回程度」は女性（23.8%）のほうが男性（17.4%）よりも6.4ポイント高く、「週1回程度」は男性（13.6%）のほうが女性（9.5%）よりも4.1ポイント高くなっている。

②年代別

「ほぼ毎日」は60歳代（29.7%）で最も高く、30歳代（19.6%）と40歳代（21.0%）で低くなっている。

○普段の買い物の回数・性別／年代別



③地域別

「ほぼ毎日」は川越比企地域（31.5%）で最も高く、さいたま地域（19.5%）と北部地域（18.2%）で低くなっている。

④性・年代別

「ほぼ毎日」は女性60歳代（31.5%）で最も高い。「週4～5回程度」は女性では20歳代を除いた年代で2割を超えている。「週2～3回程度」は男性では20歳代を除いた年代で4割を超えている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

「ほぼ毎日」は独身期（30.2%）、家族成長後期（29.8%）で高くなっている。「週2～3回程度」は家族形成期（51.9%）で5割を超えている。

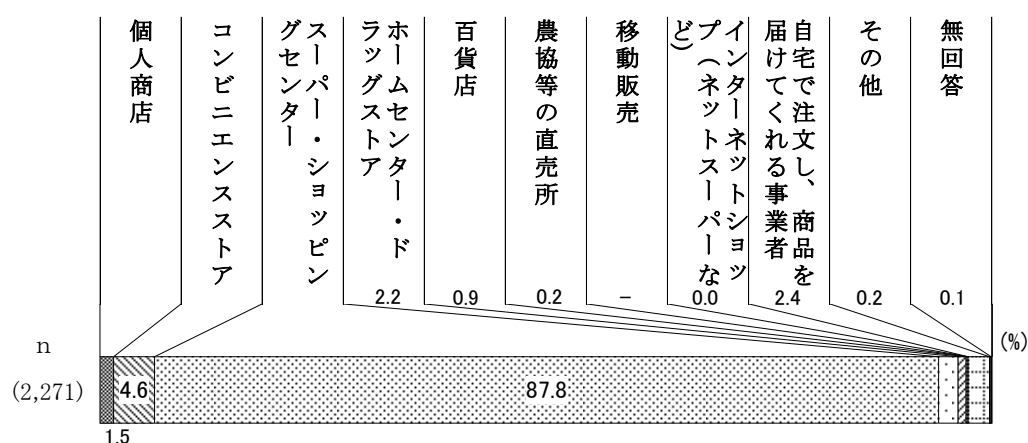
○普段の買い物の回数・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	ほぼ毎日	週4～5回程度	週2～3回程度	週1回程度	2週間に1回程度	その他	無回答
全 体	2271	25.0	20.7	40.9	11.4	1.3	0.6	0.0
地域別								
南部地域	241	22.4	26.1	41.9	7.9	1.2	0.4	-
南西部地域	193	26.9	18.7	42.0	11.9	0.5	-	-
東部地域	347	28.2	21.6	37.8	10.1	2.0	-	0.3
さいたま地域	416	19.5	18.0	47.6	12.5	1.7	0.7	-
県央地域	197	29.4	20.8	40.6	8.1	0.5	0.5	-
川越比企地域	232	31.5	22.4	31.0	11.6	1.3	2.2	-
西部地域	224	23.2	19.2	43.8	12.1	1.8	-	-
利根地域	209	28.7	23.4	31.6	13.4	1.4	1.4	-
北部地域	187	18.2	17.6	47.1	16.6	0.5	-	-
秩父地域	25	24.0	12.0	56.0	8.0	-	-	-
性・年代別								
男性・20歳代	97	27.8	18.6	34.0	17.5	-	2.1	-
30歳代	193	19.7	16.6	46.1	16.6	1.0	-	-
40歳代	176	22.7	18.8	40.3	15.9	1.7	-	0.6
50歳代	191	24.6	18.3	40.3	15.7	1.0	-	-
60歳代	241	27.8	16.6	44.4	9.1	2.1	-	-
70歳以上	209	27.8	16.7	40.2	10.0	2.9	2.4	-
女性・20歳代	143	27.3	17.5	37.1	14.0	3.5	0.7	-
30歳代	164	19.5	27.4	43.9	9.1	-	-	-
40歳代	205	19.5	29.8	42.4	8.3	-	-	-
50歳代	190	25.8	25.8	38.9	6.8	1.6	1.1	-
60歳代	254	31.5	21.3	39.0	7.5	-	0.8	-
70歳以上	208	24.5	20.7	39.9	12.5	1.9	0.5	-
職業別								
自営業・家族従業（計）	239	26.4	18.4	41.4	10.9	2.1	0.8	-
雇用者（計）	1123	24.1	21.4	40.2	13.2	0.8	0.2	0.1
無職（計）	907	25.6	20.5	41.7	9.5	1.8	1.0	-
ライフステージ別								
独身期	295	30.2	19.0	32.5	15.6	1.7	1.0	-
家族形成期	185	15.7	17.3	51.9	13.5	1.6	-	-
家族成長前期	240	17.1	26.3	45.4	11.3	-	-	-
家族成長後期	198	29.8	18.7	39.9	11.6	-	-	-
家族成熟期	505	26.1	21.6	38.2	11.5	1.8	0.8	-
高齢期	575	27.0	18.8	43.3	8.5	1.6	0.9	-
その他	273	23.1	23.8	39.2	11.7	1.5	0.4	0.4

（２）日常生活品の買い物で最も利用する店

◇「スーパー・ショッピングセンター」が87.8%

問24 食料品等の日常生活品の買い物で、最も利用する店はどこですか。次の中から1つだけ選んでください。



日常生活品の買い物で最も利用する店は、「スーパー・ショッピングセンター」（87.8%）が9割弱と最も高く、「コンビニエンスストア」が4.6%となっている。

【属性別比較】

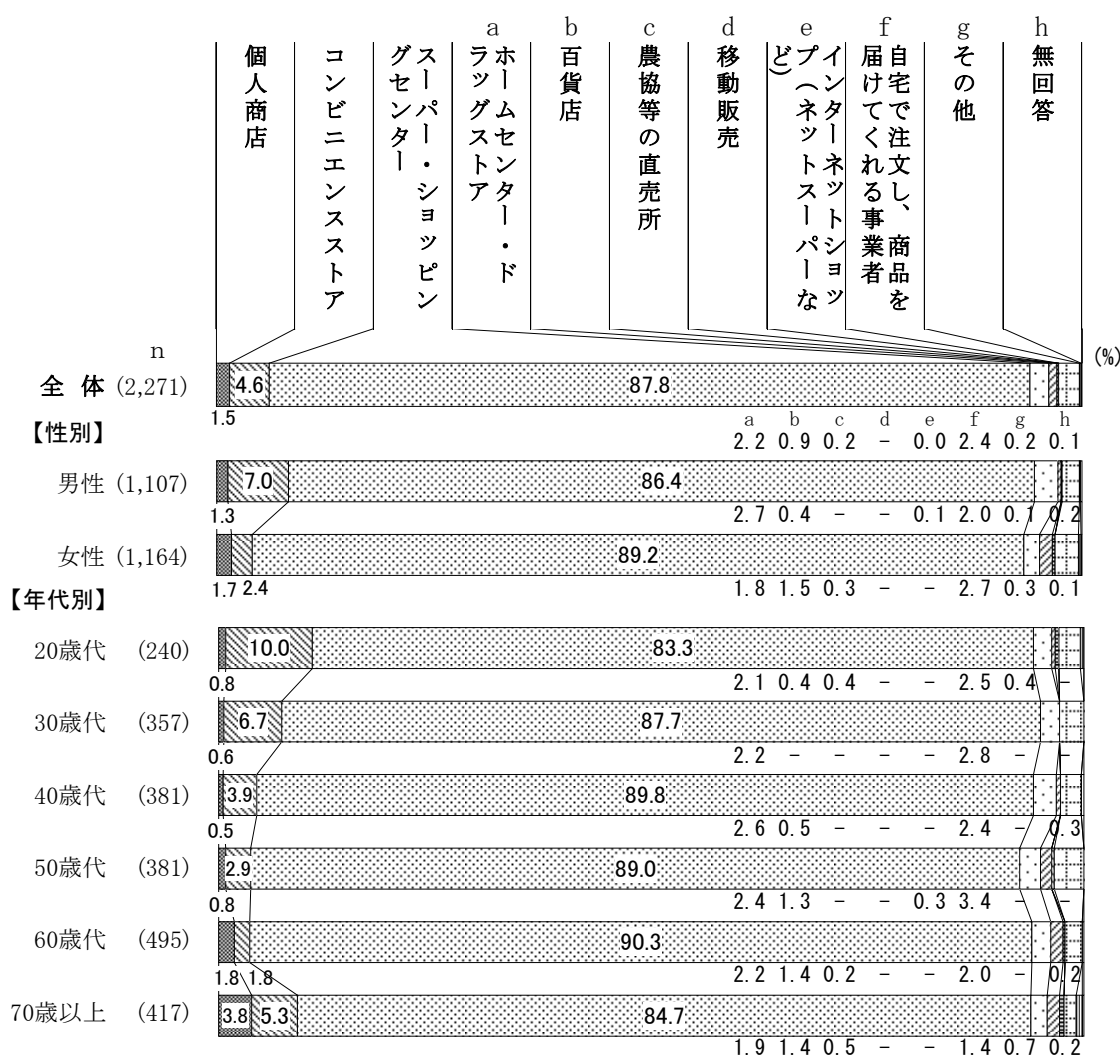
①性別

「スーパー・ショッピングセンター」は女性（89.2%）のほうが男性（86.4%）よりも2.8ポイント高く、「コンビニエンスストア」は男性（7.0%）のほうが女性（2.4%）よりも4.6ポイント高くなっている。

②年代別

「スーパー・ショッピングセンター」はすべての年代で8割を超えており、特に60歳代（90.3%）で約9割となっている。「コンビニエンスストア」は20歳代（10.0%）で1割とやや高くなっている。

○日常生活品の買い物で最も利用する店・性別／年代別



③地域別

「スーパー・ショッピングセンター」はすべての地域で8割を超えており、南西部地域（90.2%）、北部地域（92.5%）、秩父地域（92.0%）では9割を超えている。

④性・年代別

「スーパー・ショッピングセンター」は女性では30歳代から60歳代で9割を超えている。「コンビニエンスストア」は男性では20歳代（16.5%）と30歳代（11.4%）で高くなっている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

「スーパー・ショッピングセンター」は家族形成期から家族成長後期で9割を超えている。「コンビニエンスストア」は独身期（13.6%）で高くなっている。

○日常生活品の買い物で最も利用する店・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

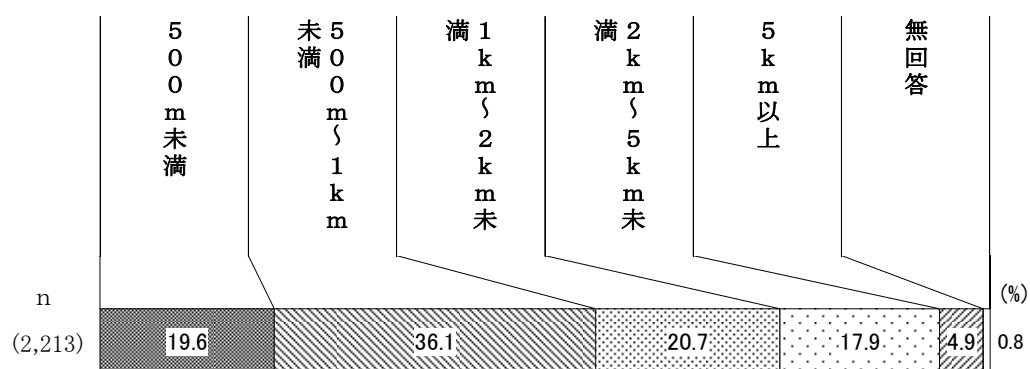
	調査数	個人商店	コンビニエンスストア	スーパー・ショッピングセンター	ドラッグストア・ホームセンター	百貨店	農協等の直売所	移動販売	インターネット・ショップ（ネットスーパーなど）	事業者を自宅に招き、商品注文し、商品を届けてくれる	その他	無回答
全 体	2271	1.5	4.6	87.8	2.2	0.9	0.2	-	0.0	2.4	0.2	0.1
地域別												
南部地域	241	2.5	5.0	89.2	0.8	0.8	-	-	-	1.2	0.4	-
南西部地域	193	1.0	3.1	90.2	2.1	1.0	-	-	0.5	2.1	-	-
東部地域	347	2.3	5.2	85.6	2.3	1.2	0.3	-	-	2.9	-	0.3
さいたま地域	416	0.7	4.8	85.8	2.2	2.2	0.5	-	-	3.6	0.2	-
県央地域	197	2.0	6.1	88.3	2.0	0.5	-	-	-	1.0	-	-
川越比企地域	232	0.9	6.5	85.3	2.2	0.4	0.4	-	-	3.4	-	0.9
西部地域	224	1.3	3.6	88.8	3.6	0.4	-	-	-	1.8	0.4	-
利根地域	209	1.4	5.7	88.0	1.9	0.5	-	-	-	1.9	0.5	-
北部地域	187	1.1	0.5	92.5	3.7	-	-	-	-	2.1	-	-
秩父地域	25	4.0	4.0	92.0	-	-	-	-	-	-	-	-
性・年代別												
男性・20歳代	97	-	16.5	77.3	2.1	1.0	-	-	-	3.1	-	-
30歳代	193	0.5	11.4	83.4	1.6	-	-	-	-	3.1	-	-
40歳代	176	-	6.8	87.5	3.4	-	-	-	-	1.7	-	0.6
50歳代	191	1.6	4.7	88.0	3.1	1.0	-	-	0.5	1.0	-	-
60歳代	241	1.7	2.5	90.0	3.7	-	-	-	-	2.1	-	-
70歳以上	209	2.9	5.7	86.6	1.9	0.5	-	-	-	1.4	0.5	0.5
女性・20歳代	143	1.4	5.6	87.4	2.1	-	0.7	-	-	2.1	0.7	-
30歳代	164	0.6	1.2	92.7	3.0	-	-	-	-	2.4	-	-
40歳代	205	1.0	1.5	91.7	2.0	1.0	-	-	-	2.9	-	-
50歳代	190	-	1.1	90.0	1.6	1.6	-	-	-	5.8	-	-
60歳代	254	2.0	1.2	90.6	0.8	2.8	0.4	-	-	2.0	-	0.4
70歳以上	208	4.8	4.8	82.7	1.9	2.4	1.0	-	-	1.4	1.0	-
職業別												
自営業・家族従業（計）	239	3.3	5.0	86.6	1.7	2.1	0.4	-	-	0.4	0.4	-
雇用者（計）	1123	0.5	5.5	87.6	2.5	0.4	0.1	-	0.1	3.0	0.1	0.1
無職（計）	907	2.2	3.4	88.3	2.1	1.2	0.2	-	-	2.1	0.2	0.2
ライフステージ別												
独身期	295	0.3	13.6	81.0	2.0	0.3	0.3	-	-	2.0	0.3	-
家族形成期	185	-	3.8	91.4	1.6	-	-	-	-	3.2	-	-
家族成長前期	240	1.7	2.1	90.4	2.5	0.4	-	-	-	2.9	-	-
家族成長後期	198	1.5	2.0	90.4	2.0	0.5	-	-	0.5	3.0	-	-
家族成熟期	505	1.0	2.6	88.3	3.0	1.2	-	-	-	3.8	0.2	-
高齢期	575	3.1	2.6	88.3	1.7	1.6	0.5	-	-	1.4	0.3	0.3
その他	273	1.1	7.7	86.4	2.6	1.1	-	-	-	0.7	-	0.4

（２－１）最も利用する店までの距離

◇「500m～1 km未満」が36.1%

（問24で「個人商店」～「移動販売」、「その他」のいずれかを答えた方に）

問24－１ 自宅から問24で回答された最も利用する店までの距離はどのくらいですか。次の中から１つだけ選んでください。



最も利用する店までの距離は、「500m～1 km未満」（36.1%）が3割半ばで最も高く、次いで「1 km～2 km未満」（20.7%）と「500m未満」（19.6%）が約2割、「2 km～5 km未満」（17.9%）が2割弱となっている。

【属性別比較】

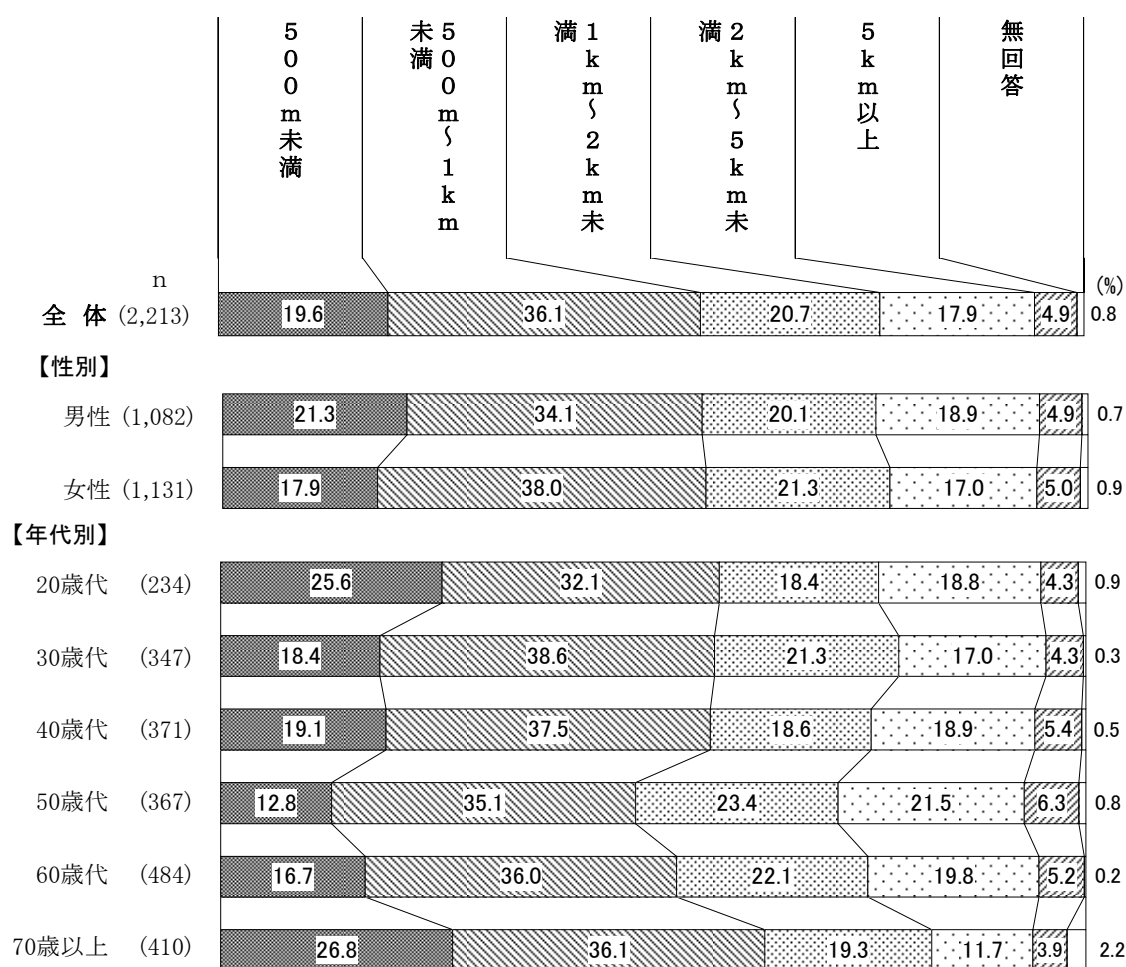
①性別

「500m未満」は男性（21.3%）のほうが女性（17.9%）よりも3.4ポイント高く、「500m～1km未満」は女性（38.0%）のほうが男性（34.1%）よりも3.9ポイント高くなっている。

②年代別

「500m未満」は20歳代（25.6%）と70歳以上（26.8%）で2割半ばと高く、50歳代（12.8%）で1割強と低い。「1km～2km未満」と「2km～5km未満」は50歳代と60歳代で比較的高くなっている。

○最も利用する店までの距離・性別／年代別



③地域別

「500m未満」は県央地域（27.7%）で最も高く、秩父地域（4.0%）、西部地域（9.1%）、北部地域（10.4%）で低くなっている。「1km～2km未満」は秩父地域（48.0%）と西部地域（34.1%）で高く、「2km～5km未満」と「5km以上」は北部地域で高くなっている。

④性・年代別

「500m未満」は男性の20歳代（37.2%）で4割弱と高い。「1km～2km未満」は男性の60歳代（24.6%）と女性の50歳代（25.7%）で2割半ばと比較的高く、「2km～5km未満」は男性の50歳代（26.1%）で2割半ばと比較的高くなっている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

「500m～1km未満」はすべてのステージで3割を超えており、特に家族形成期（43.0%）で4割強と高くなっている。

○最も利用する店までの距離・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

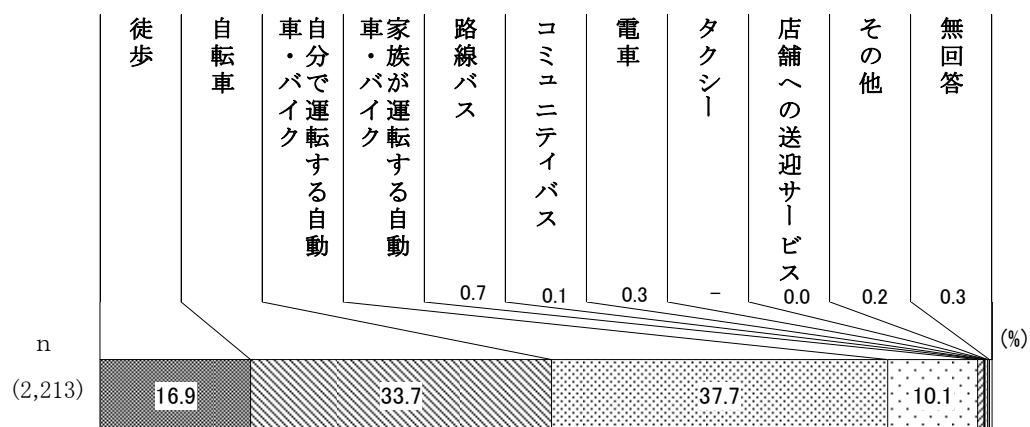
	調査数	500m未満	500m～1km未満	1km～2km未満	2km～5km未満	5km以上	無回答
全 体	2213	19.6	36.1	20.7	17.9	4.9	0.8
地域別							
南部地域	238	26.5	36.1	18.1	15.5	2.9	0.8
南西部地域	188	26.1	46.8	16.0	11.2	-	-
東部地域	336	22.6	39.0	14.9	14.9	7.4	1.2
さいたま地域	401	15.7	34.4	25.7	19.7	4.2	0.2
県央地域	195	27.7	28.2	21.0	19.0	3.6	0.5
川越比企地域	222	26.6	44.1	16.2	10.8	1.8	0.5
西部地域	220	9.1	35.5	34.1	16.8	2.3	2.3
利根地域	205	14.1	39.0	20.0	22.4	3.4	1.0
北部地域	183	10.4	19.7	14.8	34.4	19.7	1.1
秩父地域	25	4.0	36.0	48.0	8.0	4.0	-
性・年代別							
男性・20歳代	94	37.2	27.7	13.8	17.0	4.3	-
30歳代	187	19.8	42.2	19.8	13.9	3.7	0.5
40歳代	172	22.7	35.5	18.6	17.4	5.8	-
50歳代	188	13.8	33.0	21.3	26.1	4.8	1.1
60歳代	236	16.1	30.1	24.6	23.3	5.9	-
70歳以上	205	27.3	34.1	18.0	13.7	4.4	2.4
女性・20歳代	140	17.9	35.0	21.4	20.0	4.3	1.4
30歳代	160	16.9	34.4	23.1	20.6	5.0	-
40歳代	199	16.1	39.2	18.6	20.1	5.0	1.0
50歳代	179	11.7	37.4	25.7	16.8	7.8	0.6
60歳代	248	17.3	41.5	19.8	16.5	4.4	0.4
70歳以上	205	26.3	38.0	20.5	9.8	3.4	2.0
職業別							
自営業・家族従業（計）	238	20.2	32.4	22.3	17.6	6.7	0.8
雇用者（計）	1087	18.9	35.1	20.5	20.7	4.2	0.6
無職（計）	886	20.2	38.4	20.5	14.6	5.3	1.0
ライフステージ別							
独身期	289	22.1	31.8	21.5	19.7	4.2	0.7
家族形成期	179	19.6	43.0	18.4	13.4	5.6	-
家族成長前期	233	21.9	35.6	19.7	16.7	5.2	0.9
家族成長後期	191	19.4	35.1	20.9	19.9	4.7	-
家族成熟期	486	15.0	36.2	22.4	20.4	5.1	0.8
高齢期	565	21.6	38.2	19.5	14.5	5.0	1.2
その他	270	18.9	32.6	21.5	21.1	4.8	1.1

（２－２）最も利用する店までの主な移動手段

◇「自分で運転する自動車・バイク」が37.7%、「自転車」が33.7%

（問24で「個人商店」～「移動販売」、「その他」のいずれかを答えた方に）

問24－２ 問24で回答された最も利用する店までの主な移動手段は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。



最も利用する店までの主な移動手段は、「自分で運転する自動車・バイク」（37.7%）が4割弱、「自転車」（33.7%）が3割強と高く、「徒歩」（16.9%）が1割半ば、「家族が運転する自動車・バイク」（10.1%）が約1割となっている。

【属性別比較】

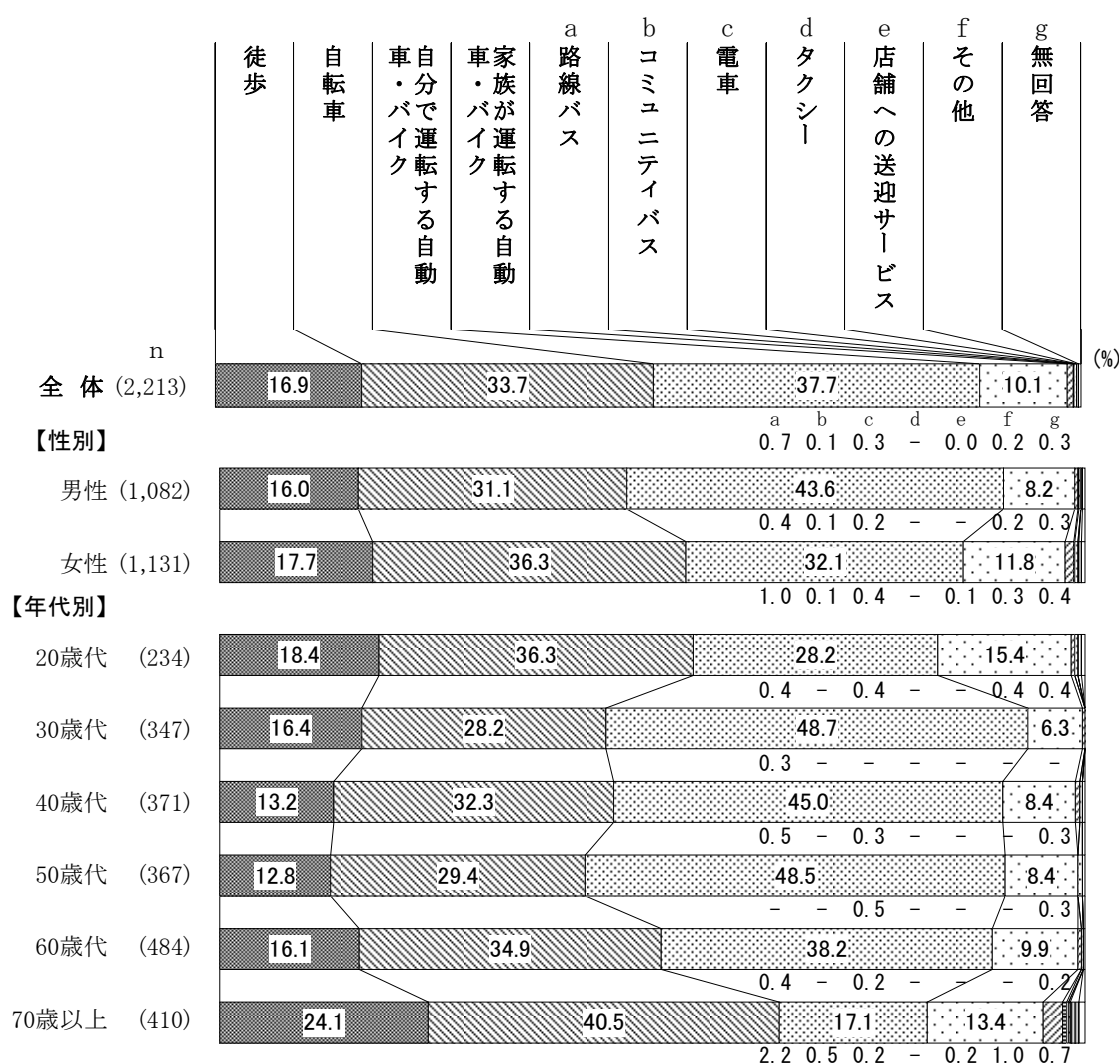
①性別

「自転車」は女性（36.3%）のほうが男性（31.1%）よりも5.2ポイント、「自分で運転する自動車・バイク」は男性（43.6%）のほうが女性（32.1%）よりも11.5ポイント高くなっている。

②年代別

「自分で運転する自動車・バイク」は30歳代から50歳代で4割を超えて高く、70歳以上（17.1%）で2割弱と低くなっている。一方、「徒歩」と「自転車」は70歳以上で最も高くなっている。

○最も利用する店までの主な移動手段・性別／年代別



③地域別

「徒歩」は南西部地域（23.9％）で最も高く、西部地域、北部地域、秩父地域で低い。「自転車」は秩父地域（52.0％）、「自分で運転する自動車・バイク」は北部地域（61.7％）で最も高くなっている。

④性・年代別

「徒歩」は女性の70歳以上（28.3％）で3割弱と高い。「自分で運転する自動車・バイク」は男性では50歳代（56.4％）と60歳代（51.7％）、女性では30歳代（50.0％）で5割台と高い。

⑤職業別

「自転車」は無職（計）（40.1％）でほかの職業に比べ比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「自分で運転する自動車・バイク」は高齢期（25.5％）で低くなっている。

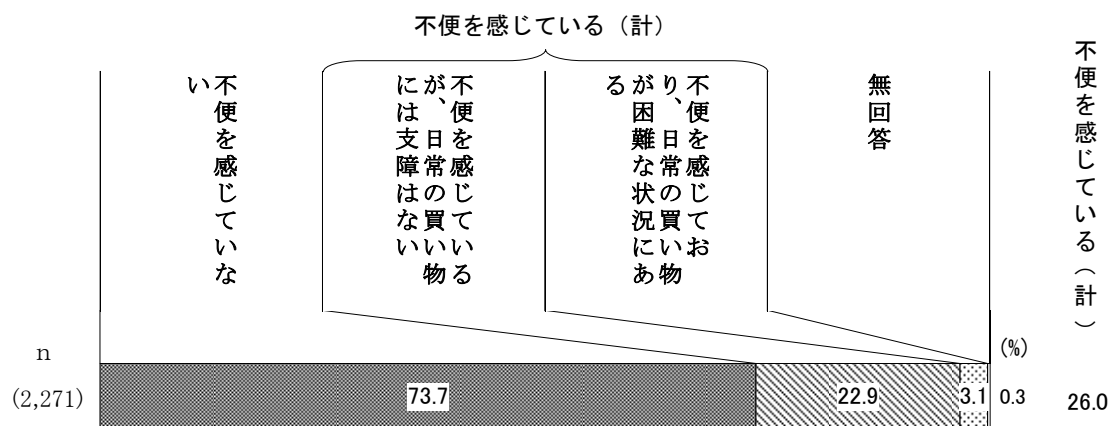
○最も利用する店までの主な移動手段・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

	調査数	徒歩	自転車	車・自分で バイクで運 転する自動	車・家族 が運転する 自動	路線バス	コミュニ ティバス	電車	タクシ ー	店舗への送 迎サービス	その他	無回答
全 体	2213	16.9	33.7	37.7	10.1	0.7	0.1	0.3	-	0.0	0.2	0.3
地域別												
南部地域	238	18.5	45.0	27.7	8.4	-	-	-	-	-	-	0.4
南西部地域	188	23.9	36.2	28.2	11.2	-	-	-	-	-	0.5	-
東部地域	336	20.5	29.5	38.1	10.4	0.3	0.3	-	-	-	0.3	0.6
さいたま地域	401	13.7	28.7	47.6	8.2	0.2	0.2	0.2	-	-	0.2	0.7
県央地域	195	22.6	36.4	31.3	9.2	-	-	-	-	-	0.5	-
川越比企地域	222	22.5	39.6	26.1	10.8	0.9	-	-	-	-	-	-
西部地域	220	7.7	41.8	31.4	15.5	3.6	-	-	-	-	-	-
利根地域	205	16.6	29.3	42.9	7.8	1.0	-	1.5	-	0.5	0.5	-
北部地域	183	7.1	18.0	61.7	10.9	0.5	-	1.1	-	-	-	0.5
秩父地域	25	8.0	52.0	32.0	8.0	-	-	-	-	-	-	-
性・年代別												
男性・20歳代	94	20.2	41.5	27.7	9.6	-	-	-	-	-	-	1.1
30歳代	187	18.7	27.8	47.6	5.3	0.5	-	-	-	-	-	-
40歳代	172	17.4	29.1	44.2	8.7	-	-	0.6	-	-	-	-
50歳代	188	13.3	22.3	56.4	8.0	-	-	-	-	-	-	-
60歳代	236	9.7	30.1	51.7	8.1	-	-	0.4	-	-	-	-
70歳以上	205	20.0	40.0	25.9	10.2	1.5	0.5	-	-	-	1.0	1.0
女性・20歳代	140	17.1	32.9	28.6	19.3	0.7	-	0.7	-	-	0.7	-
30歳代	160	13.8	28.8	50.0	7.5	-	-	-	-	-	-	-
40歳代	199	9.5	35.2	45.7	8.0	1.0	-	-	-	-	-	0.5
50歳代	179	12.3	36.9	40.2	8.9	-	-	1.1	-	-	-	0.6
60歳代	248	22.2	39.5	25.4	11.7	0.8	-	-	-	-	-	0.4
70歳以上	205	28.3	41.0	8.3	16.6	2.9	0.5	0.5	-	0.5	1.0	0.5
職業別												
自営業・家族従業（計）	238	15.5	23.9	51.3	8.4	-	-	-	-	-	0.8	-
雇用者（計）	1087	15.5	30.7	44.2	8.3	0.7	-	0.3	-	-	0.1	0.3
無職（計）	886	18.7	40.1	26.3	12.8	0.8	0.2	0.3	-	0.1	0.2	0.5
ライフステージ別												
独身期	289	16.6	36.7	30.8	14.9	0.3	-	0.3	-	-	0.3	-
家族形成期	179	20.7	22.9	48.0	7.8	-	-	-	-	-	-	0.6
家族成長前期	233	10.3	34.8	50.2	4.3	0.4	-	-	-	-	-	-
家族成長後期	191	12.6	34.0	47.6	5.8	-	-	-	-	-	-	-
家族成熟期	486	13.0	31.5	43.8	9.7	0.8	-	0.6	-	-	-	0.6
高齢期	565	19.8	39.8	25.5	12.0	1.1	0.4	0.2	-	0.2	0.7	0.4
その他	270	24.1	27.8	35.2	11.1	1.1	-	0.4	-	-	-	0.4

（３）日常生活品の買い物の不便状況

◇『不便を感じている（計）』が26.0%、そのうち「日常の買い物が困難な状況にある」は3.1%

問25 食料品等の日常生活品等の買い物に不便を感じていますか。



日常生活品の買い物の不便状況は、「不便を感じているが、日常の買い物には支障はない」（22.9%）が2割強となっており、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」（3.1%）を合わせた『不便を感じている（計）』は26.0%である。一方、「不便を感じていない」（73.7%）が7割強を占めている。

【属性別比較】

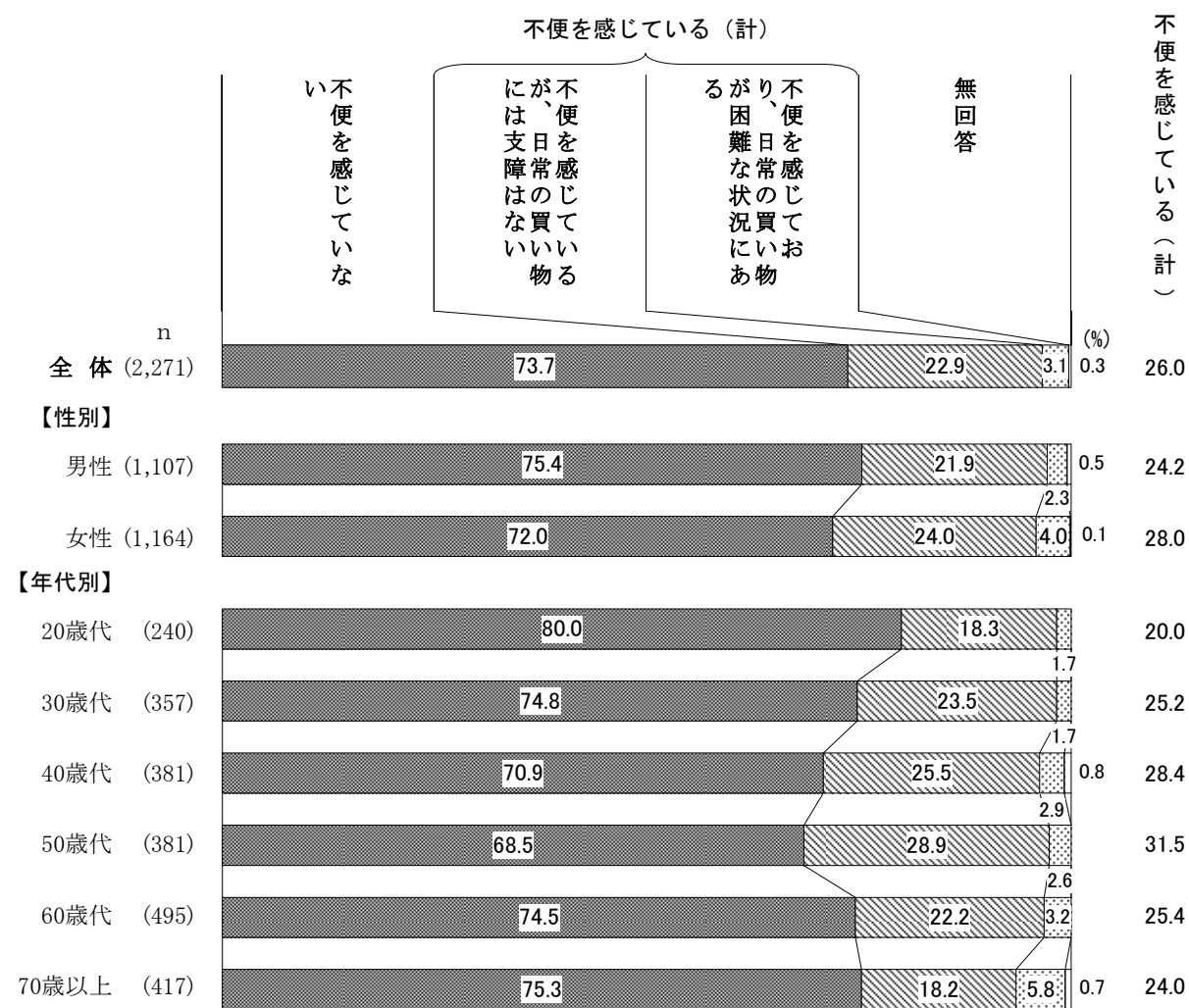
①性別

『不便を感じている（計）』は女性（28.0％）のほうが男性（24.2％）よりも3.8ポイント高くなっている。

②年代別

『不便を感じている（計）』は50歳代（31.5％）で3割強、40歳代（28.4％）で3割弱と高い。「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」はおおむね年齢が高くなるほど割合が高く、60歳代で3.2％、70歳以上で5.8％となっている。

○日常生活品の買い物の不便状況・性別／年代別



③地域別

『不便を感じている（計）』は秩父地域（52.0%）、北部地域（38.5%）で高い。

④性・年代別

『不便を感じている（計）』は男女とも50歳代で最も高く、20歳代で低い。「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」は女性の70歳以上で8.2%となっている。

⑤職業別

職業による違いはみられない。

⑥ライフステージ別

『不便を感じている（計）』は家族成熟期（30.1%）、その他（31.2%）で高くなっている。

○日常生活品の買い物の不便状況・地域別／性・年代別／職業別／ライフステージ別

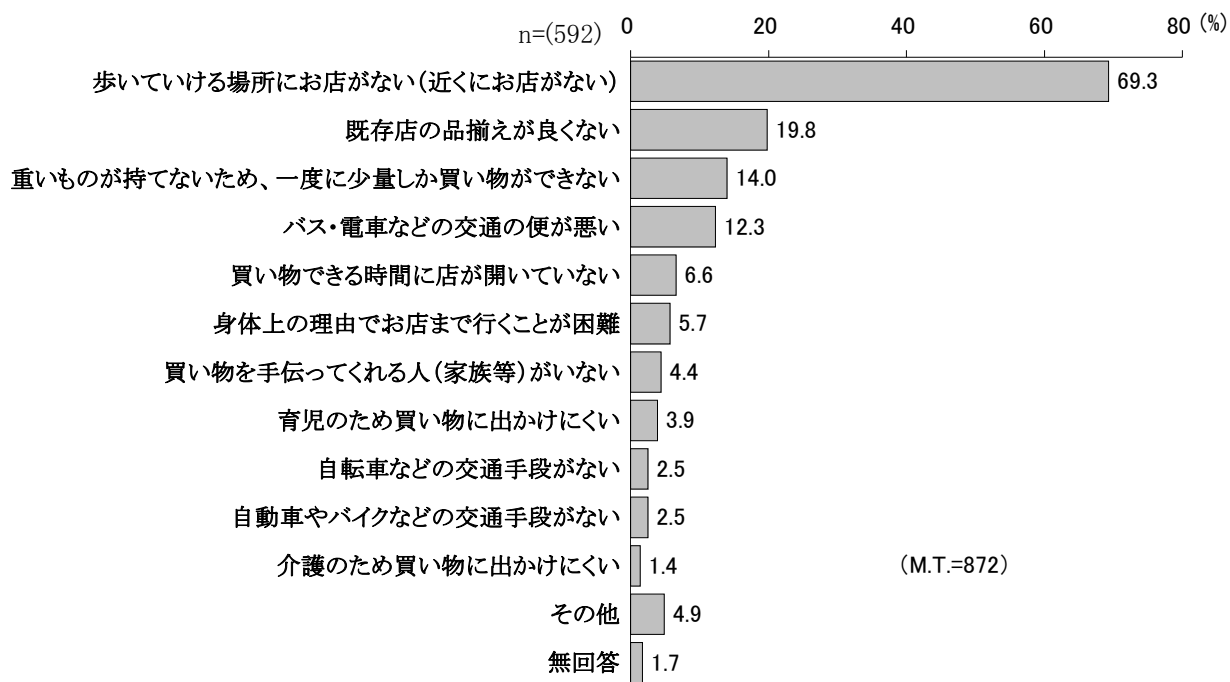
	調査数	不便を感じていない	はが、不便を感ずるは、日常の買い物が困難な状況にある	日常の買い物が困難な状況にある	無回答	不便を感じている（計）
全 体	2271	73.7	22.9	3.1	0.3	26.0
地域別						
南部地域	241	76.8	19.9	2.9	0.4	22.8
南西部地域	193	78.8	20.2	1.0	—	21.2
東部地域	347	77.5	18.2	4.0	0.3	22.2
さいたま地域	416	74.8	21.9	3.4	—	25.3
県央地域	197	76.6	20.8	2.5	—	23.3
川越比企地域	232	75.4	22.0	2.2	0.4	24.2
西部地域	224	67.4	25.9	6.3	0.4	32.2
利根地域	209	73.2	23.9	2.4	0.5	26.3
北部地域	187	61.0	35.8	2.7	0.5	38.5
秩父地域	25	48.0	52.0	—	—	52.0
性・年代別						
男性・20歳代	97	84.5	14.4	1.0	—	15.4
30歳代	193	76.2	22.8	1.0	—	23.8
40歳代	176	71.0	24.4	3.4	1.1	27.8
50歳代	191	68.1	29.3	2.6	—	31.9
60歳代	241	78.8	19.5	1.7	—	21.2
70歳以上	209	77.0	18.2	3.3	1.4	21.5
女性・20歳代	143	76.9	21.0	2.1	—	23.1
30歳代	164	73.2	24.4	2.4	—	26.8
40歳代	205	70.7	26.3	2.4	0.5	28.7
50歳代	190	68.9	28.4	2.6	—	31.0
60歳代	254	70.5	24.8	4.7	—	29.5
70歳以上	208	73.6	18.3	8.2	—	26.5
職業別						
自営業・家族従業（計）	239	74.5	23.0	2.1	0.4	25.1
雇用者（計）	1123	73.0	24.6	2.1	0.3	26.7
無職（計）	907	74.3	20.8	4.6	0.2	25.4
ライフステージ別						
独身期	295	80.7	17.6	1.7	—	19.3
家族形成期	185	74.6	23.2	2.2	—	25.4
家族成長前期	240	73.3	24.2	2.1	0.4	26.3
家族成長後期	198	75.8	22.7	1.5	—	24.2
家族成熟期	505	69.7	26.7	3.4	0.2	30.1
高齢期	575	75.3	20.2	4.2	0.3	24.4
その他	273	68.1	26.4	4.8	0.7	31.2

（３－１）買い物に不便を感じている理由

◇「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」が69.3%

（問25で「不便を感じているが、日常の買い物には支障はない」、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」のいずれかを答えた方に）

問25－１ 不便を感じている理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。



買い物に不便を感じている理由は、「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」（69.3%）が約7割で最も高く、次いで「既存店の品揃えが良くない」（19.8%）、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」（14.0%）、「バス・電車などの交通の便が悪い」（12.3%）の順となっている。

【属性別比較】

①地域別

「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」は秩父地域で8割を超えて高くなっている。
「既存店の品揃えが良くない」は県央地域（30.4%）で約3割と高くなっている。

②性別

「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」は女性（17.5%）のほうが男性（9.7%）よりも7.8ポイント高くなっている。

③年代別

「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」は30歳代と70歳以上を除いた年代で7割を超えている。「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」、「身体上の理由でお店まで行くことが困難」、「買い物を手伝ってくれる人（家族等）がいない」は70歳代で最も高くなっている。「買い物できる時間に店が開いていない」は20歳代（20.8%）で約2割と高くなっている。

④性・年代別

「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」は男性の20歳代、40歳代、60歳代で8割を超えている。「既存店の品揃えが良くない」は女性では20歳代と70歳以上を除いた年代で2割を超えている。「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」は女性の70歳以上（34.5%）で3割半ば、「バス・電車などの交通の便が悪い」は女性の20歳代（24.2%）で2割半ば、「育児のため買い物に出かけにくい」は女性の30歳代（25.0%）で2割半ばと高くなっている。

⑤職業別

「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」は自営業・家族従業（計）と雇用者（計）で高く、無職（計）で低くなっている。「既存店の品揃えが良くない」は雇用者（計）で高く、「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」は無職（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」は独身期、家族成長前期、家族成熟期で7割を超えて高くなっている。「育児のため買い物に出かけにくい」は家族形成期（36.2%）で3割半ばと高くなっている。

高齢期では、「歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）」（65.0%）と「重いものが持てないため、一度に少量しか買い物ができない」（19.3%）が高くなっている。

○買い物に不便を感じている理由・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

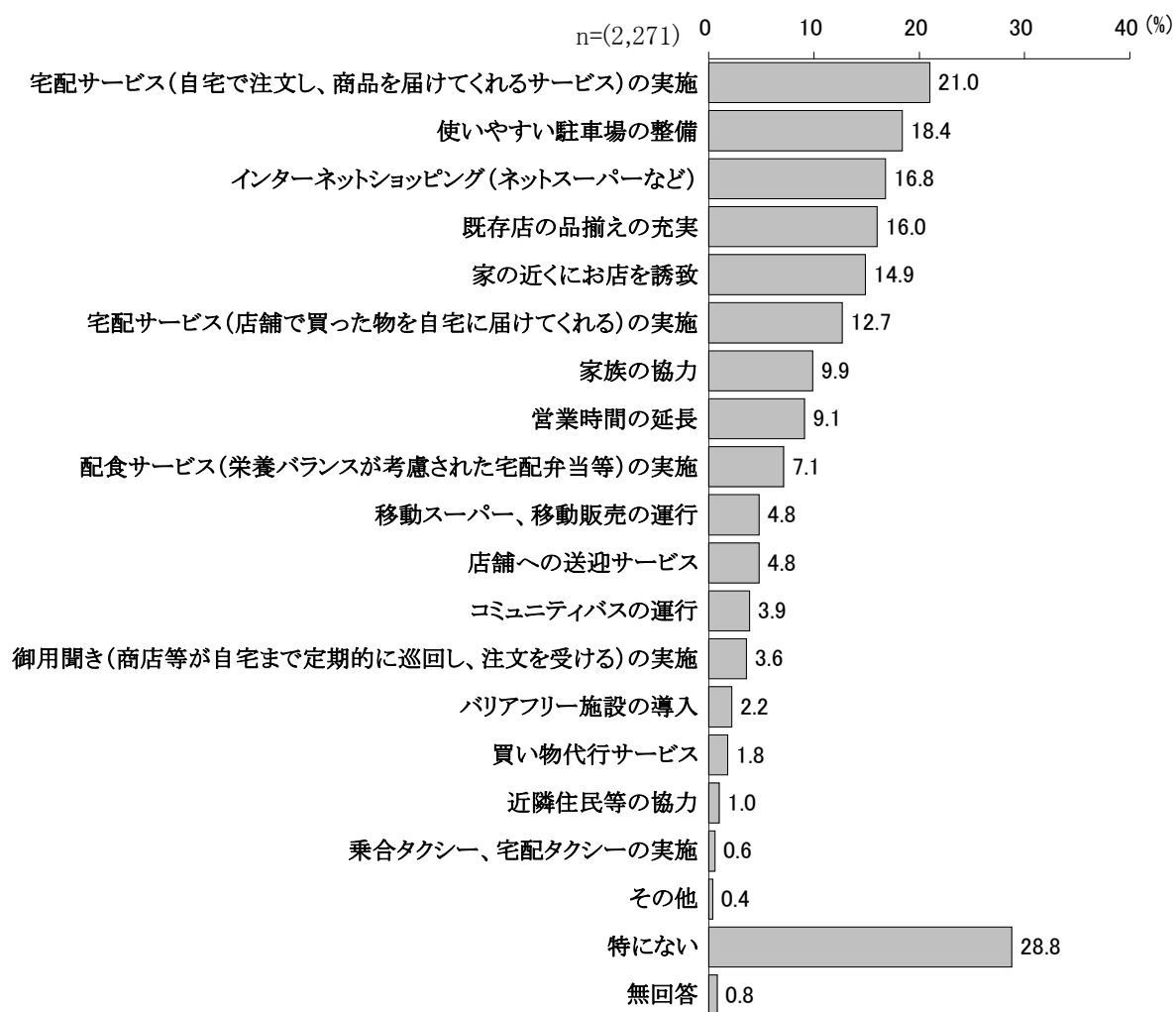
	調査数	歩いていける場所にお店がない（近くにお店がない）	既存店の品揃えが良くない	に少量しか買えないため、一度に重いものが買えない	バス・電車などの交通の便が悪い	買い物できる時間に店が開いていない	身体上の理由でお店まで行くことが困難	買い物を手伝ってくれる人（家族等）がいない	育児のため買い物に出かけにくい	自転車などの交通手段がない	自動車やバイクなどの交通手段がない	介護のため買い物に出かけにくい	その他	無回答
全 体	592	69.3	19.8	14.0	12.3	6.6	5.7	4.4	3.9	2.5	2.5	1.4	4.9	1.7
地域別														
南部地域	55	61.8	14.5	16.4	16.4	10.9	-	1.8	5.5	1.8	1.8	3.6	5.5	3.6
南西部地域	41	56.1	24.4	24.4	2.4	17.1	4.9	7.3	2.4	2.4	4.9	-	4.9	7.3
東部地域	77	64.9	14.3	16.9	13.0	7.8	11.7	7.8	3.9	5.2	2.6	-	5.2	1.3
さいたま地域	105	73.3	21.0	12.4	16.2	3.8	4.8	1.9	1.0	2.9	2.9	1.9	6.7	1.0
県央地域	46	60.9	30.4	6.5	8.7	2.2	8.7	8.7	4.3	-	-	2.2	4.3	-
川越比企地域	56	66.1	19.6	17.9	7.1	1.8	5.4	7.1	7.1	3.6	1.8	1.8	5.4	5.4
西部地域	72	72.2	20.8	15.3	6.9	8.3	8.3	4.2	4.2	-	2.8	-	5.6	-
利根地域	55	76.4	16.4	10.9	18.2	5.5	3.6	3.6	3.6	1.8	3.6	-	1.8	-
北部地域	72	77.8	22.2	5.6	18.1	6.9	2.8	-	2.8	4.2	2.8	1.4	4.2	-
秩父地域	13	84.6	7.7	30.8	-	-	7.7	7.7	15.4	-	-	7.7	-	-
性別														
男性	267	75.7	19.9	9.7	12.0	6.7	4.5	2.6	1.9	1.5	1.1	0.4	3.7	2.2
女性	325	64.0	19.7	17.5	12.6	6.5	6.8	5.8	5.5	3.4	3.7	2.2	5.8	1.2
年代別														
20歳代	48	70.8	14.6	12.5	16.7	20.8	2.1	2.1	10.4	-	2.1	-	2.1	-
30歳代	90	64.4	18.9	11.1	10.0	10.0	-	1.1	15.6	-	3.3	-	5.6	2.2
40歳代	108	74.1	20.4	9.3	13.9	5.6	1.9	3.7	3.7	5.6	2.8	0.9	12.0	-
50歳代	120	72.5	25.8	11.7	11.7	8.3	2.5	3.3	-	2.5	2.5	0.8	0.8	0.8
60歳代	126	70.6	21.4	12.7	15.1	0.8	6.3	1.6	-	1.6	-	3.2	5.6	3.2
70歳以上	100	62.0	13.0	27.0	8.0	3.0	20.0	14.0	-	4.0	5.0	2.0	2.0	3.0
性・年代別														
男性・20歳代	15	80.0	13.3	-	-	6.7	-	-	6.7	-	-	-	6.7	-
30歳代	46	67.4	17.4	8.7	4.3	10.9	-	2.2	6.5	-	2.2	-	2.2	4.3
40歳代	49	81.6	16.3	8.2	18.4	8.2	2.0	-	2.0	4.1	2.0	-	8.2	-
50歳代	61	77.0	26.2	11.5	18.0	9.8	1.6	-	-	1.6	-	-	-	1.6
60歳代	51	86.3	17.6	5.9	15.7	2.0	3.9	2.0	-	-	-	-	7.8	2.0
70歳以上	45	62.2	22.2	17.8	4.4	2.2	17.8	11.1	-	2.2	2.2	2.2	-	4.4
女性・20歳代	33	66.7	15.2	18.2	24.2	27.3	3.0	3.0	12.1	-	3.0	-	-	-
30歳代	44	61.4	20.5	13.6	15.9	9.1	-	-	25.0	-	4.5	-	9.1	-
40歳代	59	67.8	23.7	10.2	10.2	3.4	1.7	6.8	5.1	6.8	3.4	1.7	15.3	-
50歳代	59	67.8	25.4	11.9	5.1	6.8	3.4	6.8	-	3.4	5.1	1.7	1.7	-
60歳代	75	60.0	24.0	17.3	14.7	-	8.0	1.3	-	2.7	-	5.3	4.0	4.0
70歳以上	55	61.8	5.5	34.5	10.9	3.6	21.8	16.4	-	5.5	7.3	1.8	3.6	1.8
職業別														
自営業・家族従業（計）	60	76.7	15.0	15.0	16.7	5.0	5.0	1.7	1.7	1.7	-	1.7	3.3	-
雇用者（計）	300	71.7	23.0	10.3	12.0	10.0	1.3	2.7	4.0	2.0	1.7	0.3	5.3	1.0
無職（計）	231	64.5	16.9	18.2	11.7	2.6	11.7	7.4	4.3	3.5	4.3	2.6	4.8	3.0
ライフステージ別														
独身期	57	77.2	8.8	3.5	14.0	17.5	-	-	-	-	1.8	-	3.5	1.8
家族形成期	47	55.3	19.1	23.4	8.5	6.4	2.1	6.4	36.2	2.1	6.4	-	4.3	-
家族成長前期	63	73.0	22.2	6.3	15.9	14.3	-	-	9.5	-	1.6	-	6.3	1.6
家族成長後期	48	66.7	25.0	2.1	8.3	6.3	2.1	2.1	-	-	-	2.1	8.3	2.1
家族成熟期	152	73.7	27.0	13.8	11.8	6.6	6.6	6.6	-	3.9	3.3	0.7	1.3	-
高齢期	140	65.0	14.3	19.3	12.1	0.7	11.4	5.0	-	0.7	2.1	3.6	3.6	4.3
その他	85	69.4	18.8	20.0	14.1	3.5	7.1	5.9	-	8.2	2.4	1.2	11.8	1.2

（４）今後、買い物に利用したいサービス

◇「宅配サービス（自宅で注文し、商品を届けてくれるサービス）の実施」が21.0%

（全員の方に）

問26 今後、買い物をするときに利用したいサービスは何ですか。利用したいサービスを3つまで選んでください。



今後、買い物に利用したいサービスは、「宅配サービス（自宅で注文し、商品を届けてくれるサービス）の実施」（21.0%）が2割強で最も高く、次いで「使いやすい駐車場の整備」（18.4%）、「インターネットショッピング（ネットスーパーなど）」（16.8%）、「既存店の品揃えの充実」（16.0%）、「家の近くにお店を誘致」（14.9%）、「宅配サービス（店舗で買った物を自宅に届けてくれる）の実施」（12.7%）、「家族の協力」（9.9%）、「営業時間の延長」（9.1%）の順となっている。一方、「特にない」（28.8%）は3割弱となっている。

【属性別比較】

①地域別

「宅配サービス（自宅で注文し、商品を届けてくれるサービス）の実施」は秩父地域（32.0％）で3割強と高い。「使いやすい駐車場の整備」は南部地域、南西部地域、秩父地域で比較的高くなっている。「インターネットショッピング（ネットスーパーなど）」は東部地域（21.3％）で2割強、「家の近くにお店を誘致」は秩父地域（32.0％）で3割強と高くなっている。

②性別

「使いやすい駐車場の整備」は男性（21.9％）のほうが女性（15.1％）よりも6.8ポイント、「インターネットショッピング（ネットスーパーなど）」は男性（19.2％）のほうが女性（14.4％）よりも4.8ポイント高くなっている。一方、「家族の協力」は女性（12.3％）のほうが男性（7.3％）よりも5.0ポイント高くなっている。

③年代別

「宅配サービス（自宅で注文し、商品を届けてくれるサービス）の実施」は20歳代と40歳代を除いた年代で2割を超えている。「使いやすい駐車場の整備」、「インターネットショッピング（ネットスーパーなど）」、「営業時間の延長」は20歳代から40歳で高く、「宅配サービス（店舗で買った物を自宅に届けてくれる）の実施」と「家族の協力」は60歳代以上で高くなっている。

④性・年代別

「宅配サービス（自宅で注文し、商品を届けてくれるサービス）の実施」は女性の50歳代（30.0％）で3割と高くなっている。「インターネットショッピング（ネットスーパーなど）」は男女ともに20歳代と30歳代で高く、特に男性の20歳代（42.3％）で4割強となっている。「宅配サービス（店舗で買った物を自宅に届けてくれる）の実施」は男女ともに70歳以上で高い。「家族の協力」は女性の70歳以上（20.7％）で約2割と高くなっている。

⑤職業別

「使いやすい駐車場の整備」は自営業・家族従業（計）と雇用者（計）で高く、無職（計）で低い。「インターネットショッピング（ネットスーパーなど）」、「既存店の品揃えの充実」、「営業時間の延長」は雇用者（計）で高く、「宅配サービス（店舗で買った物を自宅に届けてくれる）の実施」と「家族の協力」は無職（計）で比較的高くなっている。

⑥ライフステージ別

「宅配サービス（自宅で注文し、商品を届けてくれるサービス）の実施」は家族成熟期（26.1％）で2割半ばと高くなっている。「使いやすい駐車場の整備」は家族形成期と家族成長前期で高く、「インターネットショッピング（ネットスーパーなど）」は独身期と家族形成期で高くなっている。「家族の協力」は、高齢期で高くなっている。

○今後、買い物に利用したいサービス・地域別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

	調査数	宅配サービス（自宅）の実施	使いやすい駐車場の整備	インターネットショッピング（ネットスーパーなど）	既存店の品揃えの充実	家の近くにお店を誘致	宅配サービス（店舗で買った物を自宅に届けてくれる）の実施	家族の協力	営業時間の延長	配食サービス（栄養バランスが考慮された宅配弁当等）の実施	移動スーパー、移動販売の運行	店舗への送迎サービス	コミュニティバスの運行	御用聞き（商店等が自宅まで定期的に巡回し、注文を受ける）の実施	バリアフリー施設の導入	買い物代行サービス	近隣住民等の協力	乗合タクシー、宅配タクシーの実施	その他	特にない	無回答
全 体	2271	21.0	18.4	16.8	16.0	14.9	12.7	9.9	9.1	7.1	4.8	4.8	3.9	3.6	2.2	1.8	1.0	0.6	0.4	28.8	0.8
地域別																					
南部地域	241	17.4	22.0	18.7	20.3	11.6	12.9	9.1	7.1	6.6	4.6	3.3	6.2	2.5	1.7	0.8	2.1	1.2	1.7	25.7	-
南西部地域	193	21.8	24.4	19.7	14.5	7.8	10.9	7.8	9.8	4.7	3.1	4.1	2.6	2.1	3.6	2.1	0.5	2.6	-	32.1	-
東部地域	347	21.3	19.3	21.3	17.3	13.5	14.1	12.1	7.8	10.7	6.1	5.8	3.7	2.6	3.7	3.2	0.9	0.3	0.3	27.1	1.2
さいたま地域	416	18.5	17.8	13.5	12.5	13.9	8.9	7.9	11.8	6.3	4.6	3.4	1.9	3.4	1.2	0.7	1.0	-	0.2	38.5	0.2
県央地域	197	15.2	18.8	16.2	18.8	16.2	13.7	8.1	9.6	4.6	5.1	4.1	4.6	2.0	1.5	1.5	0.5	0.5	0.5	31.0	0.5
川越比企地域	232	26.3	15.5	19.4	16.4	17.2	15.9	12.9	6.9	9.5	4.7	4.3	3.4	8.6	1.7	3.4	1.7	0.4	-	21.1	0.4
西部地域	224	24.1	19.6	13.8	17.9	19.2	16.1	10.7	8.0	6.3	4.5	8.5	2.7	5.8	2.7	0.9	-	0.4	0.4	22.8	0.9
利根地域	209	23.0	17.2	15.8	14.8	17.2	12.9	6.7	11.0	8.1	3.3	6.7	5.3	3.8	2.4	1.9	0.5	-	-	24.9	1.9
北部地域	187	22.5	9.6	12.8	13.4	17.1	9.1	12.3	7.5	4.8	6.4	4.8	7.0	1.1	1.6	1.6	1.6	-	-	32.1	2.7
秩父地域	25	32.0	24.0	12.0	12.0	32.0	24.0	20.0	16.0	12.0	8.0	-	-	8.0	-	4.0	-	4.0	-	12.0	-
性別																					
男性	1107	20.7	21.9	19.2	16.1	15.1	11.6	7.3	10.9	6.8	4.7	4.3	3.6	4.0	1.7	1.7	1.2	0.6	0.2	28.0	0.9
女性	1164	21.4	15.1	14.4	15.9	14.8	13.7	12.3	7.3	7.5	4.9	5.3	4.1	3.3	2.7	1.9	0.8	0.5	0.5	29.6	0.7
年代別																					
20歳代	240	17.9	20.0	33.8	16.7	11.7	8.3	7.1	20.0	5.4	2.1	3.8	4.6	2.1	2.1	2.5	0.4	0.4	-	22.9	-
30歳代	357	21.8	27.7	27.7	16.2	11.5	10.1	4.8	14.8	2.0	5.6	2.8	2.5	2.0	2.0	1.1	0.3	-	0.3	25.2	0.3
40歳代	381	15.2	19.7	22.6	19.2	15.7	10.2	8.4	11.3	7.3	4.5	3.4	4.2	2.4	2.4	1.0	0.3	0.3	1.0	30.2	1.0
50歳代	381	25.5	19.2	18.6	21.3	18.1	12.3	8.7	9.2	6.8	6.6	4.5	4.2	4.5	2.4	1.3	1.0	-	-	24.7	-
60歳代	495	23.0	15.8	7.9	14.9	15.6	13.7	10.7	3.8	9.3	5.5	5.7	4.8	3.6	2.0	2.6	0.6	1.4	0.2	33.9	0.8
70歳以上	417	21.1	10.8	1.2	8.9	15.3	18.7	17.3	1.9	10.1	3.6	7.9	2.9	6.2	2.4	2.2	2.9	1.0	0.5	31.7	2.2
性・年代別																					
男性・20歳代	97	16.5	23.7	42.3	12.4	5.2	4.1	4.1	19.6	4.1	3.1	4.1	5.2	4.1	1.0	3.1	-	1.0	-	22.7	-
30歳代	193	21.2	28.5	32.1	14.0	12.4	9.8	3.1	18.1	1.6	5.2	4.7	2.6	2.6	1.6	1.6	0.5	-	0.5	24.9	0.5
40歳代	176	14.8	19.9	23.9	18.2	17.0	10.2	4.5	13.6	6.3	6.3	2.8	6.3	4.0	2.3	1.1	0.6	-	-	31.3	1.1
50歳代	191	20.9	24.6	20.4	25.1	18.3	9.9	5.2	13.1	5.2	5.2	3.7	2.6	4.7	2.1	1.6	1.6	-	-	23.6	-
60歳代	241	26.1	21.2	10.4	15.8	17.0	11.6	10.0	5.8	10.4	4.6	4.1	3.3	4.1	1.2	2.1	0.8	1.7	-	31.1	0.4
70歳以上	209	20.6	14.8	1.9	10.0	15.3	19.1	13.9	1.9	10.5	3.3	6.2	2.9	4.3	1.9	1.4	2.9	1.0	0.5	31.1	2.9
女性・20歳代	143	18.9	17.5	28.0	19.6	16.1	11.2	9.1	20.3	6.3	1.4	3.5	4.2	0.7	2.8	2.1	0.7	-	-	23.1	-
30歳代	164	22.6	26.8	22.6	18.9	10.4	10.4	6.7	11.0	2.4	6.1	0.6	2.4	1.2	2.4	0.6	-	-	-	25.6	-
40歳代	205	15.6	19.5	21.5	20.0	14.6	10.2	11.7	9.3	8.3	2.9	3.9	2.4	1.0	2.4	1.0	-	0.5	2.0	29.3	1.0
50歳代	190	30.0	13.7	16.8	17.4	17.9	14.7	12.1	5.3	8.4	7.9	5.3	5.8	4.2	2.6	1.1	0.5	-	-	25.8	-
60歳代	254	20.1	10.6	5.5	14.2	14.2	15.7	11.4	2.0	8.3	6.3	7.1	6.3	3.1	2.8	3.1	0.4	1.2	0.4	36.6	1.2
70歳以上	208	21.6	6.7	0.5	7.7	15.4	18.3	20.7	1.9	9.6	3.8	9.6	2.9	8.2	2.9	2.9	2.9	1.0	0.5	32.2	1.4
職業別																					
自営業・家族従業（計）	239	18.8	21.3	13.4	13.4	14.6	9.6	8.8	5.4	5.4	3.3	2.5	3.8	4.6	1.7	1.7	1.7	0.4	-	35.1	1.3
雇用者（計）	1123	20.8	21.3	21.6	18.0	14.2	11.2	7.8	13.5	6.7	5.2	4.1	4.5	2.8	2.3	1.3	0.4	0.3	0.3	25.6	0.4
無職（計）	907	21.9	14.0	11.7	14.2	15.8	15.2	12.7	4.5	8.2	4.7	6.4	3.2	4.4	2.2	2.4	1.4	1.0	0.6	31.0	1.2
ライフステージ別																					
独身期	295	19.3	20.7	32.9	14.6	11.9	9.2	5.4	19.0	5.1	3.1	3.7	4.7	2.4	2.7	1.4	0.3	0.3	0.3	23.1	-
家族形成期	185	22.7	30.3	29.7	17.8	11.9	9.2	5.4	15.1	3.2	4.9	4.3	3.2	1.1	1.6	2.7	0.5	-	-	21.1	-
家族成長前期	240	16.7	26.3	21.3	20.4	13.3	8.3	7.9	14.6	2.9	5.0	1.3	2.9	2.1	2.5	0.8	0.4	0.4	0.8	28.3	1.3
家族成長後期	198	19.2	20.2	25.3	21.2	14.6	13.1	10.6	12.6	6.6	4.0	4.5	2.0	3.0	1.5	1.5	0.5	-	-	23.7	-
家族成熟期	505	26.1	18.0	13.7	17.8	18.6	13.5	11.1	6.5	8.9	5.7	5.7	4.0	4.2	2.4	2.4	0.8	0.6	0.4	27.1	0.6
高齢期	575	19.5	12.0	3.3	11.0	15.0	15.1	14.8	2.6	9.2	4.5	6.3	3.8	4.2	2.4	1.9	1.4	1.0	0.3	35.8	1.4
その他	273	20.9	13.9	14.7	15.8	15.0	15.8	6.2	5.1	8.4	5.9	5.1	5.5	6.2	1.5	1.5	2.2	0.7	0.4	32.6	1.5

6 県政への要望 (問27)

- 「県政への要望」は、昭和43年度の第1回県政世論調査から、おおむね継続して実施してきました。

平成16年度調査において、社会状況等の変化を踏まえ、平成7年度から平成15年度まで継続していた選択肢を一部見直しました。

分析において、平成15年度以前の調査結果と比較する場合は、見直し前の対応する選択肢についての結果を使用しています。

6 県政への要望

◇「高齢者の福祉を充実する」が26.0%、「医療サービス体制を整備する」が24.3%で上位

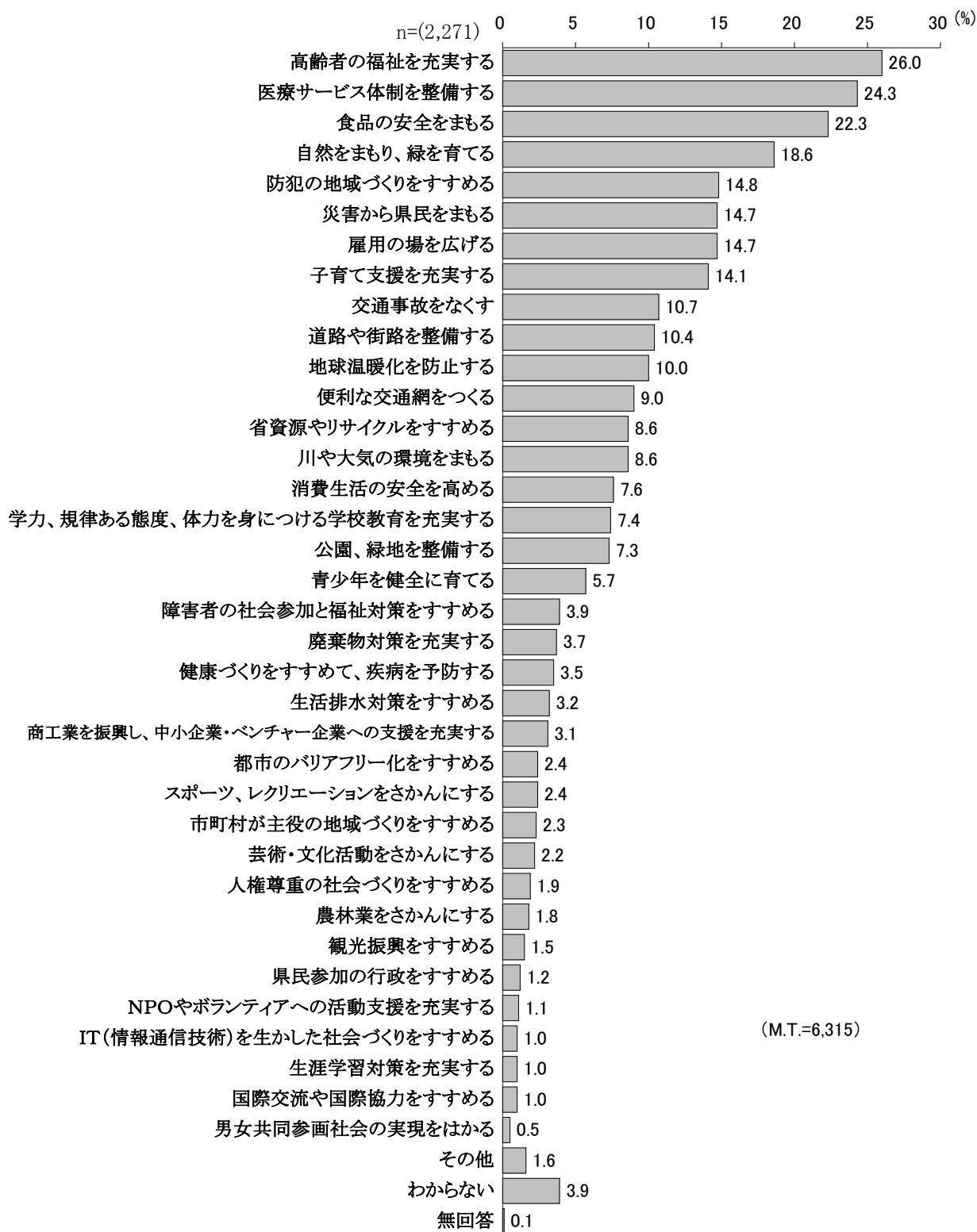
問27 埼玉県行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

	今 回	前 回	(増減差)
1位 高齢者の福祉を充実する	26.0%	28.5% (1位)	△ 2.5
2位 医療サービス体制を整備する	24.3	23.9 (2位)	0.4
3位 食品の安全をまもる	22.3	12.9 (8位)	9.4
4位 自然をまもり、緑を育てる	18.6	21.3 (3位)	△ 2.7
5位 防犯の地域づくりをすすめる	14.8	18.1 (4位)	△ 3.3
6位 災害から県民をまもる	14.7	9.1 (13位)	5.6
雇用を広げる		15.8 (5位)	△ 1.1
8位 子育て支援を充実する	14.1	15.8 (5位)	△ 1.7
9位 交通事故をなくす	10.7	10.9 (9位)	△ 0.2
10位 道路や街路を整備する	10.4	9.5 (11位)	0.9

【前回（平成22年）調査との比較】

今回の上位10項目と前回を比較すると、1位と2位の「高齢者の福祉を充実する」「医療サービス体制を整備する」には順位の変化がない。3位の「食品の安全をまもる」と6位の「災害から県民をまもる」が順位を大きく上げている。

前回との増減をみると、「食品の安全をまもる」(9.4ポイント増)、「災害から県民をまもる」(5.6ポイント増)が増加している。一方、「防犯の地域づくりをすすめる」(3.3ポイント減)、「自然をまもり、緑を育てる」(2.7ポイント減)、「高齢者の福祉を充実する」(2.5ポイント減)などは減少している。



【上位10項目の属性別比較】

□第1位／高齢者の福祉を充実する

地域別では川越比企地域（30.2%）で約3割と高く、秩父地域（12.0%）で1割強と低い。性別では女性（28.0%）で3割弱と高くなっている。市郡規模別では郡部（町村）（34.8%）で3割半ばと高くなっている。年代別では高年代ほど割合が高くなっており、70歳以上（45.6%）では4割半ばと高くなっている。性・年代別でも同様に、男女とも高年代ほど割合が高くなる傾向がみられる。職業別では無職（計）（32.3%）で3割強となっている。ライフステージ別では高齢期（40.5%）で約4割と高くなっている。

□第2位／医療サービス体制を整備する

地域別では南部地域（29.0%）と県央地域（28.4%）で高くなっている一方で、利根地域（20.1%）と北部地域（20.3%）では約2割と低くなっている。年代別では20歳代（14.6%）で1割半ばと低くなっている。性・年代別では男性の60歳代（32.0%）で3割強と比較的高くなっている。

□第3位／食品の安全をまもる

地域別では南西部地域（28.5%）と秩父地域（28.0%）で3割弱と高くなっている。性別では女性（25.3%）で2割半ばと高くなっている。性・年代別では女性60歳代（28.7%）で比較的高くなっている。

□第4位／自然をまもり、緑を育てる

地域別では南西部地域（23.3%）、川越比企地域（20.7%）、西部地域（20.5%）で2割を超えて高く、秩父地域（8.0%）では1割を下回り低くなっている。性別では男性（21.6%）のほうが女性（15.8%）よりも5.8ポイント高くなっている。年代別では60歳代（21.4%）と70歳以上（21.6%）で比較的高くなっている。職業別では自営業・家族従業（計）（23.0%）で2割強と他の職業に比べて高くなっている。ライフステージ別では高齢期とその他で2割を超えてやや高くなっている。

□第5位／防犯の地域づくりをすすめる

地域別では秩父地域（20.0%）で2割と高く、北部地域（9.6%）で最も低くなっている。年代別では30歳代（20.2%）で約2割と最も高く、40歳代（18.4%）と続いている。職業別では雇用者（計）（17.5%）が他の職業と比べて高くなっている。ライフステージ別では家族成長後期（21.7%）が最も高く、家族形成期（20.0%）がこれに続いている。

□第6位／災害から県民をまもる

地域別では南西部地域（18.1%）と西部地域（17.9%）でやや高くなっている。年代別では40歳代（19.4%）で約2割と高く、性・年代別では女性40歳代（21.0%）が高くなっている。職業別では雇用者（計）（16.2%）でやや高く、ライフステージ別では家族成長前期（17.5%）とその他（17.9%）で高くなっている。

□第6位／雇用の場を広げる

地域別では秩父地域（24.0%）で2割半ばと高くなっている。性・年代別では男性30歳代（20.7%）と男性50歳代（19.4%）で約2割と高くなっている。職業別では雇用者（計）（17.8%）でやや高く、ライフステージ別では独身期（21.7%）と家族成長後期（20.2%）で高くなっている。

□第8位／子育て支援を充実する

性別では女性（16.7％）のほうが男性（11.5％）よりも5.2ポイント高くなっている。年代別では20歳代（26.3％）と30歳代（37.5％）で高く、性・年代別では女性30歳代（45.1％）で4割半ばとなっている。ライフステージ別では家族形成期（54.1％）と家族成長前期（39.6％）で高くなっている。

□第9位／交通事故をなくす

年代別では20歳代（14.2％）と70歳以上（13.7％）でやや高く、性・年代別では男性20歳代（17.5％）と男性30歳代（15.5％）でやや高くなっている。

□第10位／道路や街路を整備する

地域別では秩父地域（16.0％）で最も高くなっている。年代別では50歳代（13.1％）でやや高く、性・年代別では男性40歳代（14.8％）と男性50歳代（14.7％）で1割半ばとなっている。ライフステージ別ではその他（16.5％）で1割半ばとやや高くなっている。

○県政への要望・地域別／市郡規模別／性別／年代別／性・年代別／職業別
／ライフステージ別

順位		1	2	3	4	5	6	8	9	10	11	12	13	15	16	17			
	調査数	高齢者の福祉を充実する	医療サービスの体制を整備する	食品の安全をまもる	自然をまもり、緑を育てる	防犯の地域づくりをすすめる	災害から県民をまもる	雇用の場を広げる	子育て支援を充実する	交通事故をなくす	道路や街路を整備する	地球温暖化を防止する	便利な交通網をつくる	省資源やリサイクルをすすめる	川や大気的环境をまもる	消費生活の安全を高める	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する	公園、緑地を整備する	
全 体		2271	26.0	24.3	22.3	18.6	14.8	14.7	14.7	14.1	10.7	10.4	10.0	9.0	8.6	8.6	7.6	7.4	7.3
地域別																			
南部地域		241	26.6	29.0	22.4	17.4	17.8	14.9	12.4	14.9	9.5	8.3	12.4	7.1	7.5	6.2	7.9	9.1	9.1
南西部地域		193	23.3	23.3	28.5	23.3	16.6	18.1	13.5	17.1	13.0	10.9	8.3	6.7	8.3	8.8	10.9	8.8	7.3
東部地域		347	28.2	22.8	21.3	19.0	13.8	15.9	15.0	12.4	9.8	10.4	8.9	10.1	4.6	11.2	7.8	4.9	7.5
さいたま地域		416	22.8	24.5	19.5	14.9	12.3	12.3	15.6	12.7	9.1	10.8	8.2	10.3	9.6	5.3	6.0	7.2	5.0
県央地域		197	25.9	28.4	17.8	18.3	19.3	10.7	12.7	14.2	10.2	10.2	9.1	9.1	11.7	7.6	8.1	7.1	8.1
川越比企地域		232	30.2	25.9	24.1	20.7	14.7	15.5	17.2	13.8	10.8	8.6	10.3	5.2	9.9	12.5	4.3	9.5	9.5
西部地域		224	28.6	23.7	24.1	20.5	15.6	17.9	14.7	11.6	12.9	11.6	11.2	5.8	8.0	7.1	10.3	7.1	8.5
利根地域		209	27.8	20.1	20.1	18.7	14.8	15.3	15.8	14.4	11.0	12.4	10.5	13.9	8.6	12.4	5.7	8.6	7.7
北部地域		187	22.5	20.3	26.2	19.8	9.6	13.4	12.8	19.3	13.4	10.2	12.8	9.6	12.3	8.0	8.0	5.9	5.3
秩父地域		25	12.0	24.0	28.0	8.0	20.0	12.0	24.0	16.0	4.0	16.0	8.0	24.0	4.0	8.0	16.0	-	-
市郡規模別																			
人口10万以上の市		1685	26.2	25.3	22.5	19.1	14.4	14.8	14.5	13.3	10.0	10.4	9.7	8.9	8.7	8.2	7.1	6.8	6.9
人口10万未満の市		399	21.1	20.8	22.8	15.5	16.3	14.3	16.5	16.5	13.0	11.8	10.8	8.3	6.8	9.0	9.3	8.3	10.0
郡部（町村）		187	34.8	22.5	19.8	21.4	15.0	14.4	12.3	16.6	11.8	7.5	10.2	11.2	11.8	11.2	8.0	10.2	5.3
性別																			
男性		1107	23.8	23.6	19.2	21.6	15.5	14.3	15.7	11.5	12.0	11.7	8.9	9.4	9.7	10.3	6.5	6.8	8.2
女性		1164	28.0	24.9	25.3	15.8	14.0	15.1	13.7	16.7	9.5	9.3	10.9	8.6	7.6	7.0	8.6	7.9	6.4
年代別																			
20歳代		240	10.8	14.6	20.0	19.6	13.8	12.1	16.7	26.3	14.2	10.8	10.8	14.2	5.8	10.4	5.8	9.2	7.5
30歳代		357	10.1	19.9	19.9	15.1	20.2	15.4	17.6	37.5	12.3	11.8	6.2	9.8	10.1	7.8	5.9	13.2	12.3
40歳代		381	18.6	22.8	23.4	14.7	18.4	19.4	17.8	14.2	10.5	11.5	10.2	12.3	9.2	7.9	5.5	8.7	5.8
50歳代		381	25.7	26.5	20.7	18.4	16.0	15.0	18.6	8.7	8.9	13.1	10.2	6.6	8.7	9.4	7.6	8.7	8.4
60歳代		495	34.1	29.1	23.2	21.4	13.1	14.1	12.9	5.5	6.9	8.7	11.1	6.9	10.3	9.3	8.3	3.8	6.1
70歳以上		417	45.6	27.1	25.2	21.6	8.2	11.8	6.7	2.4	13.7	7.7	10.8	7.0	6.5	7.4	11.0	3.1	4.8
性・年代別																			
男性・20歳代		97	12.4	13.4	18.6	25.8	11.3	11.3	15.5	11.3	17.5	10.3	8.2	13.4	4.1	17.5	7.2	9.3	8.2
30歳代		193	7.8	17.1	17.6	18.7	19.2	15.0	20.7	31.1	15.5	12.4	5.7	11.9	9.8	8.3	6.2	11.9	10.9
40歳代		176	17.6	26.1	19.3	18.2	19.9	17.6	17.0	12.5	13.6	14.8	8.5	11.4	9.1	6.3	5.7	5.7	9.1
50歳代		191	24.1	22.5	17.8	20.4	19.4	14.7	19.4	8.4	11.0	14.7	9.4	6.8	9.9	11.0	5.2	8.4	8.9
60歳代		241	32.4	32.0	17.4	24.1	14.1	13.7	15.4	5.4	5.4	9.1	9.5	8.3	13.3	10.8	5.4	4.6	7.5
70歳以上		209	39.2	23.4	24.4	23.4	8.6	12.4	7.2	2.4	13.4	9.1	11.5	7.2	8.1	11.0	9.6	2.9	5.3
女性・20歳代		143	9.8	15.4	21.0	15.4	15.4	12.6	17.5	36.4	11.9	11.2	12.6	14.7	7.0	5.6	4.9	9.1	7.0
30歳代		164	12.8	23.2	22.6	11.0	21.3	15.9	14.0	45.1	8.5	11.0	6.7	7.3	10.4	7.3	5.5	14.6	14.0
40歳代		205	19.5	20.0	26.8	11.7	17.1	21.0	18.5	15.6	7.8	8.8	11.7	13.2	9.3	9.3	5.4	11.2	2.9
50歳代		190	27.4	30.5	23.7	16.3	12.6	15.3	17.9	8.9	6.8	11.6	11.1	6.3	7.4	7.9	10.0	8.9	7.9
60歳代		254	35.8	26.4	28.7	18.9	12.2	14.6	10.6	5.5	8.3	8.3	12.6	5.5	7.5	7.9	11.0	3.1	4.7
70歳以上		208	51.9	30.8	26.0	19.7	7.7	11.1	6.3	2.4	13.9	6.3	10.1	6.7	4.8	3.8	12.5	3.4	4.3
職業別																			
自営業・家族従業（計）		239	25.5	23.8	23.0	23.0	12.1	14.6	13.4	7.5	11.7	10.9	12.1	7.1	10.9	10.0	5.4	5.9	4.6
雇用者（計）		1123	21.0	23.0	19.7	18.4	17.5	16.2	17.8	17.4	9.7	11.0	9.8	11.3	9.0	9.2	6.7	7.9	8.4
無職（計）		907	32.3	26.0	25.5	17.8	12.0	12.9	11.1	11.9	11.7	9.6	9.6	6.6	7.6	7.6	9.3	7.1	6.7
ライフステージ別																			
独身期		295	12.9	15.6	15.9	18.6	17.3	15.9	21.7	12.9	13.6	11.5	9.2	15.3	7.5	10.5	5.8	8.1	5.8
家族形成期		185	7.6	20.0	24.3	15.1	20.0	11.9	14.6	54.1	12.4	11.4	3.8	8.1	8.1	4.3	8.6	14.1	13.5
家族成長前期		240	9.6	21.7	25.0	15.4	18.3	17.5	9.6	39.6	14.2	8.8	10.0	9.2	8.8	10.0	4.6	15.0	11.1
家族成長後期		198	18.2	20.2	21.2	18.2	21.7	12.6	20.2	11.1	10.1	8.1	11.6	9.6	11.6	10.6	6.6	11.1	7.7
家族成熟期		505	29.1	28.7	20.2	17.0	13.3	15.8	18.4	7.5	7.1	10.7	8.7	9.1	9.9	8.7	7.7	6.9	8.1
高齢期		575	40.5	27.0	24.9	21.9	9.9	12.0	8.9	4.0	11.5	8.0	12.2	6.3	7.0	8.5	10.6	3.0	4.9
その他		273	36.3	27.8	24.9	20.1	13.2	17.9	13.2	1.8	8.8	16.5	11.4	7.7	9.2	7.0	5.5	2.6	4.4

18	19	20	21	22	23	24		26	27	28	29	30	31	32	33			36			
青少年を健全に育てる	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	廃棄物対策を充実する	健康づくりをすすめて、疾病を予防する	生活排水対策をすすめる	商業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する	都市のバリアフリー化をすすめる	スポーツ、レクリエーションをさか	市町村が主役の地域づくりをすすめる	芸術・文化活動をさかんにする	人権尊重の社会づくりをすすめる	農林業をさかんにする	観光振興をすすめる	県民参加の行政をすすめる	NPOやボランティアへの活動支援を充実する	IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる	生涯学習対策を充実する	国際交流や国際協力をすすめる	男女共同参画社会の実現をはかる	その他	わからない	無回答
5.7	3.9	3.7	3.5	3.2	3.1	2.4	2.4	2.3	2.2	1.9	1.8	1.5	1.2	1.1	1.0	1.0	1.0	0.5	1.6	3.9	0.1
7.5	2.1	2.1	3.3	5.8	1.2	3.7	2.1	2.1	2.9	1.2	2.5	0.8	0.4	1.2	0.4	1.2	1.7	0.8	2.5	2.5	-
3.1	2.6	3.6	1.0	4.1	2.6	2.6	1.6	1.6	3.1	2.1	0.5	1.0	0.5	1.6	3.6	1.6	1.0	0.5	1.6	0.5	-
6.6	4.6	6.1	3.2	3.7	3.7	3.5	2.0	1.7	2.3	2.0	2.0	2.9	0.9	1.4	1.2	1.2	1.7	0.3	0.6	3.7	0.6
5.5	2.6	5.3	5.0	1.9	4.6	1.4	2.4	3.1	1.7	2.4	1.9	1.2	2.2	0.7	0.7	1.2	0.7	0.7	1.0	9.1	0.2
7.1	5.1	3.6	4.6	4.1	2.5	3.6	5.6	1.0	3.0	1.0	1.0	1.5	-	1.0	0.5	1.0	1.0	-	3.0	2.0	-
3.9	4.3	3.0	3.4	2.6	3.0	1.7	2.2	0.4	1.3	1.3	3.0	0.4	1.7	1.7	0.4	-	0.9	1.3	0.4	3.4	-
8.9	4.0	2.2	4.0	2.2	3.1	1.8	3.6	0.4	1.8	1.8	0.4	1.3	1.8	1.3	0.9	-	0.4	0.4	3.6	0.4	-
4.3	5.3	4.3	3.3	1.4	2.9	1.9	1.4	3.3	1.4	2.4	1.0	1.0	1.4	1.0	1.0	1.0	-	-	2.9	3.3	-
4.3	4.8	-	2.7	3.2	3.2	1.6	0.5	7.5	2.7	2.7	3.2	2.7	1.6	0.5	0.5	1.1	1.1	0.5	-	5.3	-
-	12.0	-	-	8.0	-	-	8.0	-	-	-	8.0	8.0	-	-	-	4.0	-	-	-	4.0	-
5.9	3.6	3.9	3.8	3.3	3.4	2.3	2.3	2.7	2.1	1.7	1.8	1.5	1.4	1.2	1.1	1.0	1.1	0.6	1.5	4.3	0.2
5.3	3.3	3.8	3.5	4.0	2.5	2.8	2.8	0.8	1.8	2.3	2.0	2.0	1.0	1.0	0.8	1.3	0.5	0.3	1.8	3.3	-
4.8	8.0	1.1	1.1	1.1	1.6	2.1	2.7	1.6	3.2	3.2	2.1	1.1	0.5	0.5	0.5	-	1.1	0.5	2.1	2.1	-
5.9	4.1	4.3	3.9	3.7	4.2	2.4	3.4	2.4	1.7	2.7	2.3	1.7	1.6	1.3	1.9	0.9	0.9	0.4	1.4	2.3	0.2
5.6	3.8	3.0	3.2	2.7	2.1	2.3	1.5	2.1	2.6	1.1	1.5	1.4	0.9	1.0	0.1	1.0	1.0	0.7	1.8	5.4	0.1
6.7	3.3	1.3	2.9	1.7	6.3	2.9	5.0	0.4	4.2	1.3	1.3	2.1	0.8	0.4	3.3	0.4	2.9	1.7	2.5	3.8	-
7.6	2.8	2.0	1.1	2.8	5.0	1.4	2.8	0.8	2.2	0.6	0.8	2.2	0.8	0.3	2.8	0.8	1.1	0.3	1.7	1.4	-
4.7	5.0	3.1	1.3	2.1	2.6	2.9	2.9	1.8	2.6	1.6	1.6	1.8	1.6	1.3	0.5	-	1.0	0.3	2.6	3.1	0.3
4.7	4.7	3.4	4.5	3.4	2.1	2.1	2.4	3.7	2.4	3.4	4.2	1.3	0.8	0.8	0.3	1.6	1.8	0.8	1.3	2.6	-
5.7	3.6	5.3	5.9	5.3	2.4	2.2	1.4	2.6	1.4	2.0	1.4	1.2	1.8	1.6	0.2	1.2	-	0.6	1.2	5.3	0.2
5.5	3.8	5.3	4.3	2.9	1.9	2.9	1.4	3.4	1.2	2.2	1.7	1.0	1.2	1.9	-	1.4	-	-	0.7	6.5	0.2
7.2	5.2	2.1	3.1	3.1	10.3	3.1	6.2	-	2.1	2.1	-	3.1	1.0	1.0	7.2	-	2.1	-	-	3.1	-
8.8	3.1	0.5	1.6	3.1	7.3	2.6	5.2	0.5	3.1	0.5	0.5	2.6	0.5	0.5	5.2	1.0	1.6	0.5	1.6	-	-
4.0	4.5	2.3	1.1	3.4	4.0	3.4	5.7	2.3	0.6	1.1	1.1	2.8	2.3	1.1	1.1	-	1.1	-	2.8	1.7	0.6
5.8	5.2	3.7	5.8	3.7	1.0	2.1	2.1	3.7	2.1	5.8	6.3	1.6	1.0	0.5	0.5	0.5	1.6	1.0	0.5	1.6	-
4.1	3.7	7.9	5.0	4.6	4.1	0.8	1.7	3.3	1.7	3.3	2.5	0.8	2.9	1.7	0.4	1.2	-	0.4	1.2	2.1	0.4
6.2	3.3	7.2	5.7	3.8	1.9	3.3	1.9	3.3	1.0	2.9	1.9	0.5	1.4	2.4	-	1.9	-	-	1.4	5.7	-
6.3	2.1	0.7	2.8	0.7	3.5	2.8	4.2	0.7	5.6	0.7	2.1	1.4	0.7	-	0.7	0.7	3.5	2.8	4.2	4.2	-
6.1	2.4	3.7	0.6	2.4	2.4	-	-	1.2	1.2	0.6	1.2	1.8	1.2	-	-	0.6	0.6	-	1.8	3.0	-
5.4	5.4	3.9	1.5	1.0	1.5	2.4	0.5	1.5	4.4	2.0	2.0	1.0	1.0	1.5	-	-	1.0	0.5	2.4	4.4	-
3.7	4.2	3.2	3.2	3.2	3.2	2.1	2.6	3.7	2.6	1.1	2.1	1.1	0.5	1.1	-	2.6	2.1	0.5	2.1	3.7	-
7.1	3.5	2.8	6.7	5.9	0.8	3.5	1.2	2.0	1.2	0.8	0.4	1.6	0.8	1.6	-	1.2	-	0.8	1.2	8.3	-
4.8	4.3	3.4	2.9	1.9	1.9	2.4	1.0	3.4	1.4	1.4	1.4	1.4	1.0	1.4	-	1.0	-	-	-	7.2	0.5
4.2	2.1	8.4	3.8	2.5	5.0	2.5	3.3	2.5	2.9	3.3	4.6	0.8	2.1	1.3	0.4	1.7	1.7	0.8	0.8	4.2	-
5.3	4.0	2.5	2.8	2.8	4.0	2.5	2.7	2.1	2.1	2.0	1.8	1.8	1.1	0.9	1.6	1.0	1.2	0.6	1.9	2.8	0.2
6.6	4.3	3.9	4.4	3.9	1.5	2.1	1.9	2.4	2.0	1.4	1.2	1.4	1.2	1.4	0.3	0.8	0.6	0.3	1.4	5.1	0.1
7.5	3.4	2.4	2.7	2.7	7.5	2.4	4.7	1.0	4.4	1.4	1.4	2.7	0.7	0.3	4.4	1.0	3.4	0.7	3.1	3.4	-
5.9	2.2	-	1.1	2.2	6.5	1.1	1.1	-	2.2	0.5	1.1	2.7	1.1	0.5	2.2	-	0.5	1.6	1.1	0.5	-
7.9	3.8	2.9	1.3	2.1	0.8	1.3	3.8	1.7	1.3	1.3	0.4	0.8	1.3	-	0.4	0.4	0.8	0.4	0.8	2.1	-
7.1	6.1	4.5	1.5	1.5	2.0	4.5	4.0	2.0	1.5	2.5	1.5	2.5	1.5	1.5	0.5	1.0	1.5	0.5	1.5	2.5	-
4.0	2.6	5.7	5.3	3.8	3.4	1.6	1.0	2.4	2.6	2.4	3.4	1.2	1.6	1.6	1.0	0.4	1.4	1.0	0.4	1.2	0.2
6.1	3.8	4.2	5.6	4.5	1.6	3.3	1.9	3.1	0.7	1.9	1.6	1.4	0.9	1.9	-	1.2	-	0.2	1.0	6.3	0.2
3.3	7.0	2.6	1.8	2.9	2.2	4.0	1.8	2.6	2.9	3.3	1.5	1.1	1.1	1.8	0.4	0.7	0.4	0.7	2.9	4.0	0.4

【平成19年以降の上位10項目の推移】

過去5年間の上位10項目の推移をみると、今回1位の「高齢者の福祉を充実する」（1位→1位→1位→1位→1位）と、2位の「医療サービス体制を整備する」（2位→2位→2位→2位→2位）は上位で固定している。3位の「食品の安全をまもる」（5位→3位→6位→8位→3位）は平成20年の3位から連続して順位を下げていたが、今回は順位を大きく上げている。4位の「自然をまもり、緑を育てる」（3位→5位→3位→3位→4位）も連続して5位以内となっている。5位の「防犯の地域づくりをすすめる」（7位→6位→4位→4位→5位）は、平成21年までは順位を上げていたが、今回は順位を下けている。同率6位の「災害から県民をまもる」（8位→10位→10位→13位→6位）は、平成19年から順位を下げていたが、今回は大きく順位を上げている。同率6位の「雇用の場を広げる」（13位→12位→8位→5位→6位）は、平成19年から連続して順位を上げていたが、今回は少し順位を下けている。8位の「子育て支援を充実する」（6位→7位→5位→5位→8位）は過去4年間と比較して、今回は少し順位を下けている。

順位	19年	20年	21年	22年	23年
1	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 26.0%
2	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%	医療サービス体制を整備する 23.9%	医療サービス体制を整備する 24.3%
3	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 22.3%
4	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%
5	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 14.8%
6	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%	雇用の場を広げる 15.8%	災害から県民をまもる 14.7%
7	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%	地球温暖化を防止する 14.1%	雇用の場を広げる 14.7%
8	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%	食品の安全をまもる 12.9%	子育て支援を充実する 14.1%
9	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気環境をまもる 9.6%	交通事故をなくす 10.9%	交通事故をなくす 10.7%
10	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.1%	道路や街路を整備する 10.4%

【上位4項目の10年間の推移】

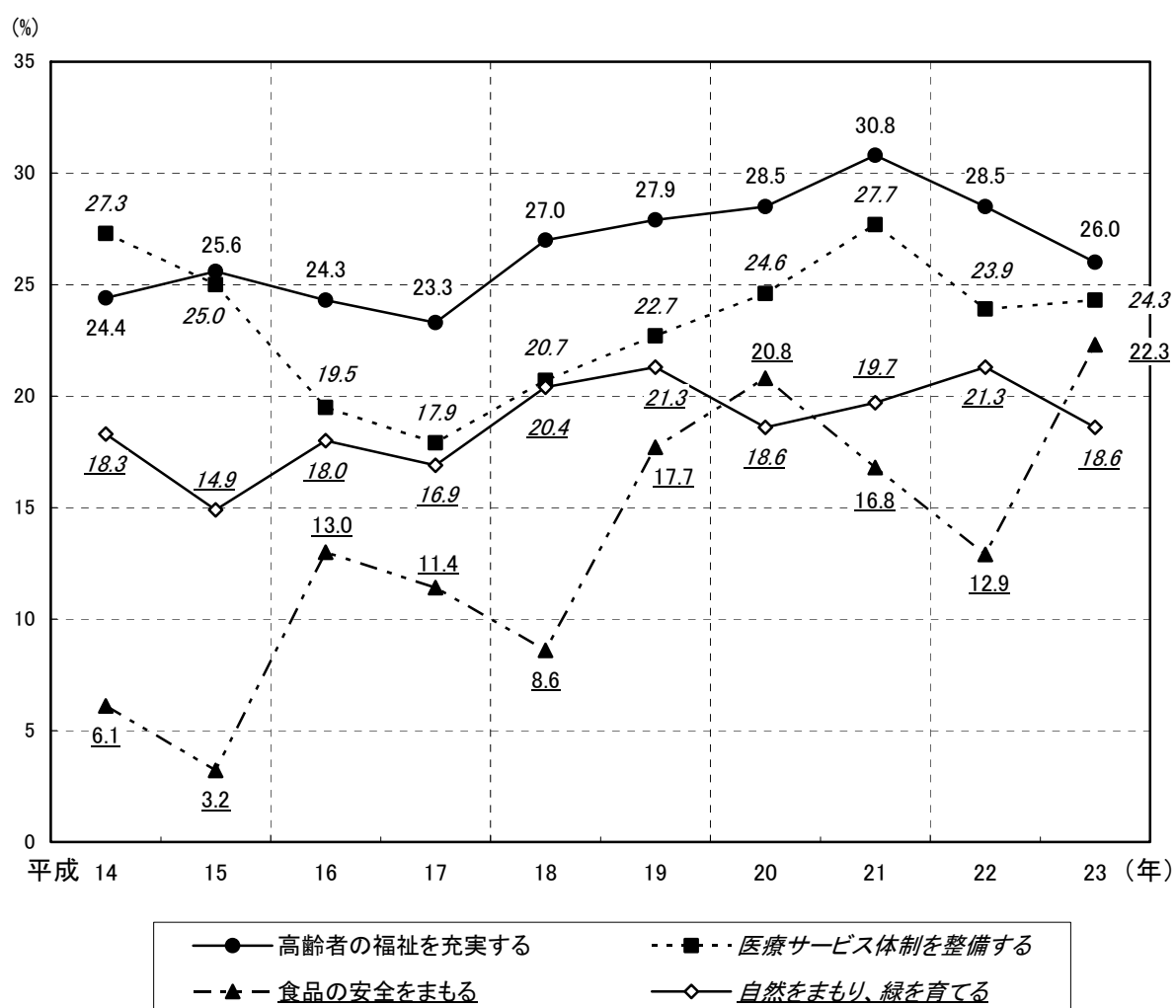
今回の調査で上位となった「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」、「食品の安全をまもる」、「自然をまもり、緑を育てる（平成15年以前は「緑をまもり育てる）」の4項目について、平成14年以降の10年間の推移をみると次のようになっている。

まず、1位の「高齢者の福祉を充実する」は平成14年から16年までは2割半ばで推移し、平成17年以降増加して21年に3割を超えたものの、2年連続で減少し再び3割を下回っている。

2位の「医療サービス体制を整備する」は平成14年から17年までの減少傾向から、18年からは2割を超えて増加傾向に転じていたが、前回やや減少し、今回は横ばいとなっている。

3位の「食品の安全をまもる」は平成19年から20年にかけて大きく増加して2割を超えたが、平成22年には1割強まで戻り、今回は再び2割を超えてこれまでで最も高くなっている。

4位の「自然をまもり、緑を育てる」は、おおむね15から20%の間を推移しており、今回は2割を下回って平成20年と同水準となっている。



【属性別の上位 5 項目】

■地域別

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
南部地域 (n=241)	医療サービス体制を整備する 29.0%	高齢者の福祉を充実する 26.6%	食品の安全をまもる 22.4%	防犯の地域づくりをすすめる 17.8%	自然をまもり、緑を育てる 17.4%
南西部地域 (n=193)	食品の安全をまもる 28.5%	自然をまもり、緑を育てる／高齢者の福祉を充実する／医療サービス体制を整備する 23.3%			災害から県民をまもる 18.1%
東部地域 (n=347)	高齢者の福祉を充実する 28.2%	医療サービス体制を整備する 22.8%	食品の安全をまもる 21.3%	自然をまもり、緑を育てる 19.0%	災害から県民をまもる 15.9%
さいたま地域 (n=416)	医療サービス体制を整備する 24.5%	高齢者の福祉を充実する 22.8%	食品の安全をまもる 19.5%	雇用を広げる 15.6%	自然をまもり、緑を育てる 14.9%
県央地域 (n=197)	医療サービス体制を整備する 28.4%	高齢者の福祉を充実する 25.9%	防犯の地域づくりをすすめる 19.3%	自然をまもり、緑を育てる 18.3%	食品の安全をまもる 17.8%
川越比企地域 (n=232)	高齢者の福祉を充実する 30.2%	医療サービス体制を整備する 25.9%	食品の安全をまもる 24.1%	自然をまもり、緑を育てる 20.7%	雇用を広げる 17.2%
西部地域 (n=224)	高齢者の福祉を充実する 28.6%	食品の安全をまもる 24.1%	医療サービス体制を整備する 23.7%	自然をまもり、緑を育てる 20.5%	災害から県民をまもる 17.9%
利根地域 (n=209)	高齢者の福祉を充実する 27.8%	医療サービス体制を整備する／食品の安全をまもる 20.1%		自然をまもり、緑を育てる 18.7%	雇用を広げる 15.8%
北部地域 (n=187)	食品の安全をまもる 26.2%	高齢者の福祉を充実する 22.5%	医療サービス体制を整備する 20.3%	自然をまもり、緑を育てる 19.8%	子育て支援を充実する 19.3%
秩父地域 (n=25)	食品の安全をまもる 28.0%	便利な交通網をつくる／医療サービス体制を整備する／雇用を広げる 24.0%			防犯の地域づくりをすすめる 20.0%

■市郡規模別

	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
人口 10 万以上の市 (n=1685)	高齢者の福祉を充実する 26.2%	医療サービス体制を整備する 25.3%	食品の安全をまもる 22.5%	自然をまもり、緑を育てる 19.1%	災害から県民をまもる 14.8%
人口 10 万未満の市 (n=399)	食品の安全をまもる 22.8%	高齢者の福祉を充実する 21.1%	医療サービス体制を整備する 20.8%	子育て支援を充実する／雇用を広げる 16.5%	
郡部（町村） (n=187)	高齢者の福祉を充実する 34.8%	医療サービス体制を整備する 22.5%	自然をまもり、緑を育てる 21.4%	食品の安全をまもる 19.8%	子育て支援を充実する 16.6%

■性別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 (n=1107)	高齢者の福祉を充実する 23.8%	医療サービス体制を整備する 23.6%	自然をまもり、緑を育てる 21.6%	食品の安全をまもる 19.2%	雇用の場を広げる 15.7%
女性 (n=1164)	高齢者の福祉を充実する 28.0%	食品の安全をまもる 25.3%	医療サービス体制を整備する 24.9%	子育て支援を充実する 16.7%	自然をまもり、緑を育てる 15.8%

■年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
20歳代 (n=240)	子育て支援を充実する 26.3%	食品の安全をまもる 20.0%	自然をまもり、緑を育てる 19.6%	雇用の場を広げる 16.7%	医療サービス体制を整備する 14.6%
30歳代 (n=357)	子育て支援を充実する 37.5%	防犯の地域づくりをすすめる 20.2%	医療サービス体制を整備する／食品の安全をまもる 19.9%		雇用の場を広げる 17.6%
40歳代 (n=381)	食品の安全をまもる 23.4%	医療サービス体制を整備する 22.8%	災害から県民をまもる 19.4%	高齢者の福祉を充実する 18.6%	防犯の地域づくりをすすめる 18.4%
50歳代 (n=381)	医療サービス体制を整備する 26.5%	高齢者の福祉を充実する 25.7%	食品の安全をまもる 20.7%	雇用の場を広げる 18.6%	自然をまもり、緑を育てる 18.4%
60歳代 (n=495)	高齢者の福祉を充実する 34.1%	医療サービス体制を整備する 29.1%	食品の安全をまもる 23.2%	自然をまもり、緑を育てる 21.4%	災害から県民をまもる 14.1%
70歳以上 (n=417)	高齢者の福祉を充実する 45.6%	医療サービス体制を整備する 27.1%	食品の安全をまもる 25.2%	自然をまもり、緑を育てる 21.6%	交通事故をなくす 13.7%

■性・年代別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性・20歳代 (n=97)	自然をまもり、緑を育てる 25.8%	食品の安全をまもる 18.6%	川や大気環境をまもる／交通事故をなくす 17.5%	雇用の場を広げる 15.5%	
30歳代 (n=193)	子育て支援を充実する 31.1%	雇用の場を広げる 20.7%	防犯の地域づくりをすすめる 19.2%	自然をまもり、緑を育てる 18.7%	食品の安全をまもる 17.6%
40歳代 (n=176)	医療サービス体制を整備する 26.1%	防犯の地域づくりをすすめる 19.9%	食品の安全をまもる 19.3%	自然をまもり、緑を育てる 18.2%	災害から県民をまもる 17.6%
50歳代 (n=191)	高齢者の福祉を充実する 24.1%	医療サービス体制を整備する 22.5%	自然をまもり、緑を育てる 20.4%	防犯の地域づくりをすすめる／雇用の場を広げる 19.4%	
60歳代 (n=241)	高齢者の福祉を充実する 32.4%	医療サービス体制を整備する 32.0%	自然をまもり、緑を育てる 24.1%	食品の安全をまもる 17.4%	雇用の場を広げる 15.4%
70歳以上 (n=209)	高齢者の福祉を充実する 39.2%	食品の安全をまもる 24.4%	自然をまもり、緑を育てる／医療サービス体制を整備する 23.4%	交通事故をなくす 13.4%	
女性・20歳代 (n=143)	子育て支援を充実する 36.4%	食品の安全をまもる 21.0%	雇用の場を広げる 17.5%	自然をまもり、緑を育てる／防犯の地域づくりをすすめる／医療サービス体制を整備する 15.4%	
30歳代 (n=164)	子育て支援を充実する 45.1%	医療サービス体制を整備する 23.2%	食品の安全をまもる 22.6%	防犯の地域づくりをすすめる 21.3%	災害から県民をまもる 15.9%
40歳代 (n=205)	食品の安全をまもる 26.8%	災害から県民をまもる 21.0%	医療サービス体制を整備する 20.0%	高齢者の福祉を充実する 19.5%	雇用の場を広げる 18.5%
50歳代 (n=190)	医療サービス体制を整備する 30.5%	高齢者の福祉を充実する 27.4%	食品の安全をまもる 23.7%	雇用の場を広げる 17.9%	自然をまもり、緑を育てる 16.3%
60歳代 (n=254)	高齢者の福祉を充実する 35.8%	食品の安全をまもる 28.7%	医療サービス体制を整備する 26.4%	自然をまもり、緑を育てる 18.9%	災害から県民をまもる 14.6%
70歳以上 (n=208)	高齢者の福祉を充実する 51.9%	医療サービス体制を整備する 30.8%	食品の安全をまもる 26.0%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	交通事故をなくす 13.9%

■ライフステージ別

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
独身期 (n=295)	雇用の場を広げる 21.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	防犯の地域づくりをすすめる 17.3%	災害から県民をまもる／食品の安全をまもる 15.9%	
家族形成期 (n=185)	子育て支援を充実する 54.1%	食品の安全をまもる 24.3%	防犯の地域づくりをすすめる／医療サービス体制を整備する 20.0%		自然をまもり、緑を育てる 15.1%
家族成長前期 (n=240)	子育て支援を充実する 39.6%	食品の安全をまもる 25.0%	医療サービス体制を整備する 21.7%	防犯の地域づくりをすすめる 18.3%	災害から県民をまもる 17.5%
家族成長後期 (n=198)	防犯の地域づくりをすすめる 21.7%	食品の安全をまもる 21.2%	医療サービス体制を整備する／雇用の場を広げる 20.2%		自然をまもり、緑を育てる 18.2%
家族成熟期 (n=505)	高齢者の福祉を充実する 29.1%	医療サービス体制を整備する 28.7%	食品の安全をまもる 20.2%	雇用の場を広げる 18.4%	自然をまもり、緑を育てる 17.0%
高齢期 (n=575)	高齢者の福祉を充実する 40.5%	医療サービス体制を整備する 27.0%	食品の安全をまもる 24.9%	自然をまもり、緑を育てる 21.9%	地球温暖化を防止する 12.2%
その他 (n=273)	高齢者の福祉を充実する 36.3%	医療サービス体制を整備する 27.8%	食品の安全をまもる 24.9%	自然をまもり、緑を育てる 20.1%	災害から県民をまもる 17.9%

県政への要望10年間の推移(平成14年～平成23年)

	H14	H15	H16	H17	H18
1	医療サービス体制を整備する 27.3%	高齢者の福祉を充実する 25.6%	防犯の地域づくりをすすめる 26.5%	防犯の地域づくりをすすめる 25.5%	高齢者の福祉を充実する 27.0%
2	高齢者の福祉を充実する 24.4%	医療サービス体制を整備する 25.0%	高齢者の福祉を充実する 24.3%	高齢者の福祉を充実する 24.5%	防犯の地域づくりをすすめる 24.5%
3	犯罪から県民をまもる 18.5%	犯罪から県民をまもる 24.8%	医療サービス体制を整備する 19.5%	医療サービス体制を整備する 17.9%	医療サービス体制を整備する 20.7%
4	緑をまもり育てる 18.3%	緑をまもり育てる 14.9%	自然をまもり、緑を育てる 18.0%	自然をまもり、緑を育てる 16.9%	自然をまもり、緑を育てる 20.4%
5	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 17.7%	青少年を健全に育てる 14.8%	地球温暖化を防止する 15.2%	地球温暖化を防止する 16.0%	子育て支援を充実する 19.3%
6	省資源やリサイクルをすすめる 14.1%	廃棄物対策を充実する (ごみ処理など) 13.2%	青少年を健全に育てる 13.7%	子育て支援を充実する 15.3%	災害から県民をまもる 13.1%
7	青少年を健全に育てる 12.9%	公害をなくす 11.4%	雇用の場を広げる 13.6%	青少年を健全に育てる 13.4%	交通事故をなくす 11.1%
8	公害をなくす 12.1%	便利な交通網をつくる 10.1%	食品の安全をまもる 13.0%	雇用の場を広げる 11.7%	地球温暖化を防止する 10.8%
9	交通事故をなくす 12.0%	省資源やリサイクルをすすめる 9.7%	子育て支援を充実する 12.5%	食品の安全をまもる 11.4%	雇用の場を広げる 9.7%
10	道路や街路を整備する 11.2%	家庭、児童福祉を充実する 9.6%	川や大気環境をまもる 10.9%	災害から県民をまもる 10.0%	道路や街路を整備する 9.2%
11	下水道を整備する 10.5%	道路や街路を整備する 8.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.8%	川や大気環境をまもる 9.4%	川や大気環境をまもる 9.1%
12	便利な交通網をつくる 10.1%	交通事故をなくす 8.4%	省資源やリサイクルをすすめる 10.0%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる 8.9%
13	働く人たちの福祉をたかめる 10.0%	働く人たちの福祉をたかめる 7.9%	交通事故をなくす 9.9%	便利な交通網をつくる 8.5%	食品の安全をまもる/ 8.6%
14	公園、緑地を整備する 8.1%	公園、緑地を整備する 7.6%	廃棄物対策を充実する 8.3%	省資源やリサイクルをすすめる 8.4%	青少年を健全に育てる 8.6%
15	家庭、児童福祉を充実する 7.0%	下水道を整備する 7.3%	便利な交通網をつくる 7.3%	交通事故をなくす/ 消費生活の安全をたかめる 8.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%
16	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 6.8%	個性を生かす学校教育を充実する 6.1%	災害から県民をまもる 7.2%	消費生活の安全をたかめる 8.2%	便利な交通網をつくる 8.4%
17	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 6.1%	消費者を保護する 5.7%	消費生活の安全をたかめる 6.3%	道路や街路を整備する 7.9%	廃棄物対策を充実する 7.8%
18	個性を生かす学校教育を充実する 5.9%	商工業を振興し、 中小企業対策をすすめる 5.6%	道路や街路を整備する 5.7%	廃棄物対策を充実する 6.4%	公園、緑地を整備する/ 障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.5%
19	消費者を保護する/ 5.1%	火災や災害から県民をまもる 4.4%	公園、緑地を整備する 5.5%	公園、緑地を整備する 5.9%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる 6.5%
20	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 5.1%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 4.2%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.1%	都市のバリアフリー化をすすめる 4.6%	都市のバリアフリー化をすすめる 5.9%
21	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.0%	県民参加の行政をすすめる 4.2%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 4.5%	生活排水対策をすすめる 4.1%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.6%
22	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 5.0%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 3.7%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する/ 市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%	障害者の社会参加と 福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.0%	消費生活の安全をたかめる 5.5%
23	県民参加の行政をすすめる 4.7%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.3%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.0%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 4.2%
24	火災や災害から県民をまもる 4.3%	衛生対策をすすめる (食品の安全確保など) 3.2%	障害者の社会参加 と福祉対策をすすめる 3.9%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する 3.4%	生活排水対策をすすめる 3.8%
25	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 3.3%	地域の文化をたかめる 2.6%	人権尊重の社会づくりをすすめる 3.0%	県民参加の行政をすすめる 3.0%	商工業を振興し、中小企業・ベン チャー企業への支援を充実する/ 芸術・文化活動をさかんにする 3.0%
26	生涯学習対策を充実する 3.0%	生涯学習対策を充実する 2.5%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.7%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.9%	芸術・文化活動をさかんにする 3.0%
27	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.9%	県や市町村が独自に行える仕事の範 囲を広くする(自治権の拡大) 2.4%	県民参加の行政をすすめる/ 芸術・文化活動をさかんにする 2.5%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.8%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.9%
28	地域の文化をたかめる 2.6%	コミュニティづくりをすすめる 2.2%	芸術・文化活動をさかんにする 2.5%	スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.5%	県民参加の行政をすすめる 2.6%
29	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 2.5%	住宅対策をすすめる 2.1%	生活排水対策をすすめる/ 生涯学習対策を充実する 1.9%	生涯学習対策を充実する 2.1%	人権尊重の社会づくりをすすめる 2.4%
30	コミュニティづくりをすすめる 2.2%	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など)/ 2.0%	生涯学習対策を充実する 1.9%	農林業をさかんにする 1.7%	生涯学習対策を充実する 2.3%
31	土地対策を推進する(土地利用の適 正化、地価の安定など)/ 2.0%	情報システムの整備、 活用をすすめる 2.0%	農林業をさかんにする 1.6%	芸術・文化活動をさかんにする 1.4%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりをすすめる 1.9%
32	住宅対策をすすめる 2.0%	飲料水や工業用水、 農業用水を確保する 1.6%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりをすすめる/ NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.4%	男女共同参画社会の実現をはかる/ NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.2%	男女共同参画社会の実現をはかる/ 農林業をさかんにする/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.3%
33	男女共同参画社会の実現をはかる/ 国際化をすすめる 1.9%	農林業をさかんにする/ 国際化をすすめる 1.5%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.4%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.2%	農林業をさかんにする/ 国際交流や国際協力をすすめる 1.3%
34	国際化をすすめる 1.9%	国際化をすすめる 1.5%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.0%	IT(情報通信技術)を生かした 社会づくりをすすめる 0.9%	国際交流や国際協力をすすめる 1.3%
35	農林業をさかんにする 1.7%	男女共同参画社会の実現をはかる 1.1%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	国際交流や国際協力をすすめる 0.7%	NPOやボランティアへの 活動支援を充実する 1.1%
36	同和問題を解決する 0.7%	同和問題を解決する 0.3%	観光振興をすすめる 0.4%	観光振興をすすめる 0.4%	観光振興をすすめる 1.0%

	H19	H20	H21	H22	H23
1	高齢者の福祉を充実する 27.9%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 30.8%	高齢者の福祉を充実する 28.5%	高齢者の福祉を充実する 26.0%
2	医療サービス体制を整備する 22.7%	医療サービス体制を整備する 24.6%	医療サービス体制を整備する 27.7%	医療サービス体制を整備する 23.9%	医療サービス体制を整備する 24.3%
3	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 20.8%	自然をまもり、緑を育てる 19.7%	自然をまもり、緑を育てる 21.3%	食品の安全をまもる 22.3%
4	地球温暖化を防止する 20.5%	地球温暖化を防止する 20.0%	防犯の地域づくりをすすめる 17.4%	防犯の地域づくりをすすめる 18.1%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%
5	食品の安全をまもる 17.7%	自然をまもり、緑を育てる 18.6%	子育て支援を充実する 17.3%	子育て支援を充実する/ 雇用の場を広げる 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 14.8%
6	子育て支援を充実する 15.8%	防犯の地域づくりをすすめる 17.9%	食品の安全をまもる 16.8%		災害から県民をまもる/ 雇用の場を広げる 14.7%
7	防犯の地域づくりをすすめる 12.7%	子育て支援を充実する 17.2%	地球温暖化を防止する 16.0%		
8	災害から県民をまもる 10.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 11.8%	雇用の場を広げる 12.7%	食品の安全をまもる 12.9%	子育て支援を充実する 14.1%
9	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.3%	消費生活の安全を高める 10.3%	川や大気の状態をまもる 9.6%	交通事故をなくす 10.9%	交通事故をなくす 10.7%
10	交通事故をなくす 9.9%	災害から県民をまもる 10.0%	災害から県民をまもる 9.4%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 10.1%	道路や街路を整備する 10.4%
11	省資源やリサイクルをすすめる 9.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.9%	省資源やリサイクルをすすめる 8.7%	道路や街路を整備する 9.5%	地球温暖化を防止する 10.0%
12	川や大気の状態をまもる 9.3%	雇用の場を広げる 9.5%	学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する 8.5%	省資源やリサイクルをすすめる 9.2%	便利な交通網をつくる 9.0%
13	雇用の場を広げる 8.4%	青少年を健全に育てる 8.7%	消費生活の安全を高める 8.2%	災害から県民をまもる 9.1%	省資源やリサイクルをすすめる/ 川や大気の状態をまもる 8.6%
14	道路や街路を整備する/ 8.5%	便利な交通網をつくる 8.5%	便利な交通網をつくる 7.9%	公園、緑地を整備する 8.4%	消費生活の安全を高める 7.6%
15	便利な交通網をつくる 8.0%	交通事故をなくす 8.3%	交通事故をなくす 7.7%	青少年を健全に育てる 8.3%	消費生活の安全を高める 7.4%
16	消費生活の安全を高める 7.2%	川や大気の状態をまもる 7.5%	道路や街路を整備する 6.8%	廃棄物対策を充実する 8.2%	学力、規律ある態度、体力を身につける 7.4%
17	青少年を健全に育てる 7.1%	道路や街路を整備する 7.2%	青少年を健全に育てる 6.2%	川や大気の状態をまもる 7.4%	公園、緑地を整備する 7.3%
18	公園、緑地を整備する 6.8%	公園、緑地を整備する 5.4%	公園、緑地を整備する 5.9%	便利な交通網をつくる 6.4%	青少年を健全に育てる 5.7%
19	廃棄物対策を充実する 5.5%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.8%	廃棄物対策を充実する 5.0%	消費生活の安全を高める 6.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.9%
20	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 4.6%	廃棄物対策を充実する 4.5%	農林業をさかんにする 3.9%	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 4.2%	廃棄物対策を充実する 3.7%
21	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 4.5%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.7%	都市のバリアフリー化をすすめる 3.8%	都市のバリアフリー化をすすめる/ 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる/ 健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.6%	健康づくりをすすめて、 疾病を予防する 3.5%
22	都市のバリアフリー化をすすめる 4.4%	農林業をさかんにする 3.0%	障害者の社会参加と福祉対策をすすめる 3.6%		生活排水対策をすすめる 3.2%
23	芸術・文化活動をさかんにする/ 生活排水対策をすすめる 2.4%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	健康づくりをすすめて 疾病を予防する 3.3%		商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 3.1%
24	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	生活排水対策をすすめる 3.3%	都市のバリアフリー化をすすめる/ スポーツ、レクリエーションを さかんにする 2.4%
25	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.8%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
26	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
27	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
28	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
29	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
30	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
31	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
32	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
33	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
34	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
35	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%
36	生涯学習対策を充実する/ 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する/ スポーツ・レクリエーションを さかんにする 2.3%	生活排水対策をすすめる 2.4%	市町村が主役の 地域づくりをすすめる 2.7%	農工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する 2.9%	市町村が主役の地域づくりをすすめる 2.3%

Ⅲ 調査票・単純集計結果

埼玉県政世論調査

(平成23年7月)

調査実施主体 埼玉県

【担当 県民生活部 広聴広報課】

【048(830)2850】

調査実施機関

株式会社 サーベイリサーチセンター

東京都荒川区西日暮里2-40-10

0120(227)244 (フリーダイヤル)

I 生活意識

問1 さっそくですが、お宅の暮らし向きは、昨年のごころと比べて楽になりましたか、それとも、苦しくなりましたか。

1.2 楽になった	26.6 少し苦しくなった	46.2 変わらない
3.2 少し楽になった	20.3 苦しくなった	2.4 わからない
		0.1 無回答

(問1で「少し苦しくなった」、「苦しくなった」のいずれかを答えた方に)

問1-1 その理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

62.6	賃金などの収入が増えない、または減った	
18.0	失業、退職、病気などで働き手が減った	
4.7	事業などの経費が増えた	
26.8	家族の増加や物価の上昇などで日常の生活費が増えた	
19.8	教育費が増えた	
19.1	家や自動車、家電などの支出が増えた	
33.0	税金や保険料などの支払いが増えた	
12.3	結婚、出産、病気など特別な出費が増えた	
8.2	金利が低い	
1.0	その他 ()	
0.7	特になし	
0.3	わからない	
0.7	無回答	

問2 お宅の現在の生活程度は、世間一般からみて、この中のどれに属すると思いますか。

- 上の上	24.4	中の上	13.5	下の上	18.7	わからない
0.7 上の下	37.7	中の下	4.8	下の下	0.3	無回答

問3 あなたは、現在の生活について、全体としてどの程度満足していますか。

2.6	大変満足している	36.8	やや不満である	5.3	わからない
43.5	まあ満足している	11.5	大変不満である	0.4	無回答

問4 あなたは、日ごろの生活の中で今お住まいの地域について、どのように感じていますか。
(1) から (22) のそれぞれについて、そう思うものをお選びください。

	だ ま っ た く 思 う	思 ま あ そ う だ と	わ あ ま り そ う 思 わ ない	思 ま っ た く 思 わ ない	わ か ら ない	無 回 答
(1) 街の中や住まいのまわりに緑が多い	13.7	50.2	27.9	6.6	1.2	0.3
(2) 住んでいる地域の空気、川などがきれいで公害の心配がない	4.7	37.5	39.9	13.5	3.9	0.4
(3) 災害が少なく、安心である	13.6	58.2	19.5	5.3	3.1	0.4
(4) 交通事故の心配がなく、安全に生活できる	4.0	32.1	45.7	15.0	3.0	0.4
(5) 犯罪におびやかされることなく生活ができる	4.7	44.2	36.3	10.8	3.5	0.5
(6) 道路・下水道が整っている	12.1	51.4	23.1	10.6	2.2	0.6
(7) 公園・遊び場・集会場などの施設が身近に整っている	11.2	43.3	29.7	12.4	2.8	0.6
(8) 鉄道など交通網が整っている	11.7	48.8	25.4	11.8	1.6	0.7
(9) 住まいの近くに商店などが多く、日常生活に便利である	11.8	39.7	29.5	17.9	0.7	0.4
(10) 医院・病院が身近にあり、病気になっても心配がない	9.1	47.2	29.0	12.9	1.5	0.4
(11) 休日・夜間・急病時などの医療体制が整っている	4.1	33.0	37.4	16.3	8.9	0.3
(12) 体の不自由な人、高齢者のための福祉施設サービスが整っている	2.0	23.7	39.2	13.0	21.5	0.4
(13) 生活必需品の価格が安定していて、生活しやすい	3.6	47.6	34.6	8.4	5.3	0.5
(14) 住まいの近くに学校・教育施設が整っている	9.7	55.9	22.5	5.4	5.5	0.8
(15) スポーツ・レクリエーション活動のための施設や機会が豊富にある	2.5	26.8	43.0	15.1	12.3	0.4
(16) 一流の文化・芸術に直接触れることのできるような施設や機会が整っている	1.1	13.3	43.8	27.8	13.6	0.4
(17) 身近な場所で文化・芸術活動を行う機会や場所が多い	1.2	13.5	42.4	27.0	15.5	0.4
(18) 身近に良い職場があり、そこで働くことができる	1.5	14.8	36.9	27.4	18.3	1.1
(19) 仕事を紹介する施設や、職業訓練を受けることができる施設が整っている	0.4	10.0	36.4	27.4	25.1	0.7
(20) 地域単位でコミュニティ活動を行うための機会や場所がある	2.3	32.2	34.7	11.3	19.1	0.4
(21) 行政に住民の意思・要望が十分に生かされている	0.6	11.7	43.4	24.0	19.9	0.4
(22) 今住んでいるところは全体として住みよいところだと思う	8.0	62.0	22.4	4.7	2.7	0.2

Ⅱ 日常生活

問5 次に、あなたの日常生活などについておたずねいたします。

- (1) あなたは、過去1年間に、自治会活動（清掃活動、防犯パトロール又は地域運動会への参加など）やPTA活動、子ども会活動、学校応援団（読み聞かせボランティアなど）、障害者や高齢者の方々のための活動、青少年健全育成のための活動、みどりと川の再生活動など、地域活動やNPO・ボランティア活動に参加したことがありますか。

38.7 ある

61.3 ない

↓
((1) で「ない」と答えた方に)

(1) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

33.1 仕事や子育て等により忙しく活動する時間がない

18.9 興味がない

13.2 団体・活動についての情報が得られない

10.1 その他 ()

24.8 参加するきっかけが得られない

12.8 特にない

8.1 参加したいと思う団体や活動がない

3.4 わからない

1.9 無回答

(2) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を行ったことがありますか。

※文化芸術活動とは、以下のような分野での活動です。

- ・音楽（クラシック、ロック、ポピュラー、コーラス、演歌など）
- ・美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）
- ・写真（ポートレート、風景、スナップ写真など）
- ・文芸（小説、詩、俳句、短歌など）
- ・生活文化（書道、華道、盆栽など）
- ・国民娯楽（囲碁、将棋など）
- ・舞踊（バレエ、ダンスなど）
- ・伝統芸能（歌舞伎、能・狂言、日本舞踊、和太鼓、箏曲、神楽、獅子舞など）
- ・演劇（現代劇、ミュージカルなど）
- ・演芸（落語、漫談、漫才など）
- ・映画・漫画・アニメ・コンピューターグラフィックス

31.0 ある

68.2 ない

0.8 無回答

(3) あなたは、この1年間に、文化芸術活動を鑑賞するためにホール・劇場、映画館、美術館、博物館などに出かけたことがありますか。

53.9 ある

46.1 ない

0.1 無回答

(4) あなたは、日常生活の中で文化芸術を鑑賞したり、文化芸術活動を行ったりする機会や環境について、満足していますか。

6.6 満足している

23.4 どちらかといえば満足していない

35.8 わからない

21.2 どちらかといえば満足している

12.5 満足していない

0.5 無回答

問6 埼玉県では、週に1回以上スポーツをすることを推奨しています。あなたは、過去1年間に、運動やスポーツをする機会がどのくらいありましたか。ウォーキングや軽い体操（※1）、レクリエーション活動（※2）、スポーツ通勤（※3）なども含めます。

20.3 週に3回以上	10.0 月に1～2回程度	3.4 わからない
10.3 週に2回程度	11.0 年に数回程度	0.4 無回答
14.4 週に1回程度	30.2 ない	-----▶（問6－1へ）

※1 ウォーキングや軽い体操・・・散歩やストレッチ、ラジオ体操などを含む。

※2 レクリエーション活動・・・余暇に自ら楽しむために行う活動。具体的には、釣り、キャンプ、ゲートボール、サイクリング、フォークダンス、民謡踊りなど。

※3 スポーツ通勤・・・通勤時に自転車を利用したり、意識的にウォーキングをしたりすること。

（問6で「月に1～2回程度」「年に数回程度」「ない」のいずれかを答えた方に）

問6－1 週に1回以上運動やスポーツをする機会がなかった理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

47.0 仕事や家事・育児等で忙しくて時間がないから	16.0 費用がかかるから
9.2 体が弱いから	10.1 運動やスポーツは好きでないから
17.7 年をとったから	23.1 機会がなかったから
14.2 身近に場所や施設がないから	4.5 その他（ ）
8.3 仲間がいないから	10.3 特に理由はない
1.5 指導者がいないから	0.5 わからない
	0.4 無回答

問7 消費生活についておたずねいたします。あなたは契約トラブルの相談・助言や商品テストを行っている消費生活センター（または消費生活相談窓口）を知っていますか。

40.5 名前も、行っていることも知っている
40.7 名前は知っているが、何を行っているかは知らない
18.7 名前も何を行っているところかも知らない
0.1 無回答

問8 食品の安全性についておたずねいたします。あなたは、食品の安全性に不安がありますか。

18.8 非常にある	16.0 あまりない
51.4 多少ある	4.9 ほとんどない
8.9 どちらともいえない	0.0 無回答

問9 県内の外国人住民についておたずねいたします。

- (1) 県内の外国人住民は12万人を超えており、今後も増えていくことが予想されています。
あなたは、お住まいの地域に外国人が増えていくことをどう思いますか。

8.9 よいことだと思う
26.7 どちらかといえばよいことだと思う
28.6 あまり、よいことだとは思わない
5.5 よいことだとは思わない
30.0 わからない
0.4 無回答

((1) で「よいことだと思う」、「どちらかといえばよいことだと思う」の
いずれかを答えた方に) ←

(1) - 1 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

61.7 異なる文化に触れる機会が増える	19.7 地域が活性化される
15.2 少子・高齢化が進む中で、人材が確保される	1.6 その他 ()
22.6 新たな視点が加わり魅力ある地域づくりがで きる	4.7 特にな
41.0 国際的な感覚が養われる	1.0 わからない

▶ ((1) で「あまり、よいことだとは思わない」、「よいことだとは思わない」の
いずれかを答えた方に)

(1) - 2 その理由は何ですか。次の中から2つまで選んでください。

63.7 言葉や習慣、生活ルールなどの問題 で、トラブルが起こる	63.4 治安が悪化する (犯罪が増える)
12.8 自治会などの地域活動が難しくなる	1.8 その他 ()
1.8 地域の伝統や文化が損なわれる	1.7 特にな
15.5 日本人の雇用機会が奪われる	0.6 わからない
	0.6 無回答

問10 あなたは、埼玉県に関する情報を主にどこから入手していますか。次の中から3つまで選んでください。

58.3 県広報紙「彩の国だより」	28.6 テレビ・ラジオのニュース（2、3以外）
11.8 県広報テレビ番組「テレ玉 彩の国 ニュース ほっと」（土曜 9:00～9:30）	4.2 ミニコミ紙やタウン紙
2.2 県広報ラジオ番組「FM NACK5 モーニ ングスクエア」（月～金 8:15～8:25）	2.1 ケーブルテレビ・コミュニティFM
6.5 県ホームページ	7.4 インターネット（4、5、7以外）
0.4 県メールマガジン「彩の国メールマガジン」	0.7 県庁・県の地域機関から直接 （窓口、出前講座等）
39.9 市町村の広報紙	1.0 市町村から直接（窓口、出前講座等）
4.4 市町村ホームページ	15.3 自治会・婦人会・老人会などの回覧
41.0 新聞の記事	8.8 口コミ
	1.5 その他（ ）
	0.6 無回答

問11 県広報紙「彩の国だより」を読んだことがありますか。

19.6 毎回読んでいる	16.9 読んだことがない
12.5 ほとんど読んでいる	5.0 「彩の国だより」を知らない
45.6 ときどき読んでいる	0.4 無回答

Ⅲ 自転車利用

埼玉県は自転車保有率が日本一、自転車出荷額が2位、大規模自転車道の整備延長が4位などの特色があります。

このような特色を活かして、自転車利用促進に向けた様々な施策に取り組んでいます。

問12 あなたは主にどのような目的で自転車を利用されますか。次の中から最もよく利用される目的を1つだけ選んでください。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 15.3 通勤、通学 | 1.0 業務（配達などの仕事） |
| 43.5 買い物など日常的な利用 | 1.5 その他（ ） |
| 3.1 健康増進、レクリエーション | 34.0 利用していない → (問13へ) |
| 1.7 スポーツ、トレーニング | 0.1 無回答 |

（問12で「通勤、通学」～「業務（配達などの仕事）」のいずれかを答えた方に）

→問12-1 あなたは問12で回答された目的のため1回あたりどれぐらいの時間自転車を利用されますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 4.3 5分未満 | 21.6 20～30分未満 |
| 24.0 5～10分未満 | 12.8 30分～1時間未満 |
| 31.4 10～20分未満 | 4.5 1時間以上 |
| | 1.3 無回答 |

（問12で「通勤、通学」～「業務（配達などの仕事）」のいずれかを答えた方に）

→問12-2 あなたが自転車に乗っていて危険と覚えることは何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | |
|------------------------------------|
| 33.1 自動車が接近してきたりクラクションを鳴らしてきたりするとき |
| 67.6 路面の段差や側溝の蓋の隙間など、道路の管理状況が悪いとき |
| 43.2 違法駐車（駐輪）や電柱、看板等の障害物があるとき |
| 43.6 交差点等で自動車や歩行者と交錯するとき |
| 59.4 歩行者が広がって歩いているとき |
| 7.6 その他（ ） |
| 4.2 特に危険を感じたことはない |
| 0.5 無回答 |

(全員の方に)

問13 自転車利用の交通ルールについておたずねいたします。あなたは、次の自転車利用の交通ルールを知っていますか。それぞれについてあてはまる方に○をしてください。

	はい	いいえ	無回答
(1) 車両の一種(軽車両)であり、道路交通法で通行の方法等が定められている	90.0	9.4	0.6
(2) 車道の左側走行が原則である	93.8	5.6	0.5
(3) 歩道は歩行者が優先であり、走行する場合は車道寄りを徐行しなければならない	86.2	13.2	0.6
(4) 一時停止や一方通行などの道路標識に従わなければならない	79.6	19.9	0.5
(5) 交差点では専用の信号がある場合を除き、自動車用の信号に従って走行しなければならない	81.0	18.2	0.7
(6) 二人乗りや並走をしてはならない	97.0	2.7	0.3
(7) 夜間、走行するときはライトを点灯しなければならない	99.3	0.5	0.2
(8) 子どもにはヘルメットをかぶらせるよう努めなければならない	86.3	13.3	0.4

問14 あなたが自動車を運転中、または歩行中に自転車に対して危険を感じていることは何ですか。
あてはまるものをすべて選んでください。

【 自動車を運転中 】

41.3	車道を逆走(右側走行)しているとき
55.3	交差点などで一時停止せずに走行しているとき
59.6	数台の自転車が並んで走行しているとき
48.1	急に方向を転換したり止まったりするとき
57.6	夜間、無灯火で走行しているとき
60.9	携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき
3.7	その他()
0.9	特に危険を感じたことはない
22.7	自動車を運転はしない
2.9	無回答

【 歩行中 】

69.8	歩道内を危険なスピードで走行しているとき
55.8	交差点などで一時停止せずに走行しているとき
64.2	歩道内を数台の自転車が並んで走行しているとき
48.4	急に方向を転換したり止まったりするとき
66.9	夜間、無灯火で走行しているとき
73.4	携帯電話の操作や傘を差しながら走行しているとき
34.3	後ろからベルを鳴らされたり怒鳴られたりするとき
2.0	その他()
6.1	特に危険を感じたことはない
0.5	無回答

問15 自転車に関わる事故、特に自転車と歩行者の事故が多発しています。事故を抑制するためにどのような取組が必要だと考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 67.2 自転車が専用（優先）に走行できる道路を整備する
- 51.5 道路の段差の解消や交差点等での見通しをよくするなど自転車の走行環境の改善を行う
- 34.1 自転車利用者や自動車運転者への取締りを強化する
- 70.8 自転車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する
- 28.8 自動車運転者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する
- 30.7 歩行者に対して交通ルールやマナーを周知、徹底する
- 2.7 その他（)
- 0.3 無回答

問16 今後自転車利用を促進するため、どのような取組を進める必要があると考えますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 76.1 街中で自転車が安全に利用できるような道路を整備する
- 29.2 余暇活動のためのサイクリングロードを整備する
- 20.9 自転車で目的地まで迷わずに行けるように看板やマップを整備する
- 13.5 サイクリングイベントや講演会を実施する
- 21.6 広報紙やホームページ等により自転車に関する情報が手軽に得られる環境を整備する
- 51.7 職場や学校等における自転車の交通ルールやマナー教育を充実する
- 43.9 休憩施設や駐輪施設を整備する
- 15.6 レンタサイクルを充実する
- 3.3 その他（)
- 0.6 無回答

IV 生涯学習

「生涯学習」とは、人々がいつでも、どこでも、自由に行う学習活動のことです。学校教育や公民館における講座等の社会教育などの学習機会のほか、自ら進んで行う学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などの様々な学習活動のことです。

問17 あなたは、「生涯学習」という言葉を聞いたことがありますか。

84.0 ある

15.8 ない

0.3 無回答

問18 あなたは、「生涯学習」に関する情報をどのように得ていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

19.4 家族や友人、知人からの口伝え

16.5 公共施設に設置された窓口

16.5 学校や職場からの推薦（機関紙、掲示板、パンフレットなども含む）

29.7 自治会、町内会の回覧や地域住民の連絡

8.7 情報専門紙（誌）

13.5 チラシ、ポスター

29.0 新聞、雑誌

7.1 サークル・グループ、クラブ、同好会

19.1 ラジオやテレビ

0.9 その他（ ）

10.4 インターネット（携帯電話や情報端末など）

28.4 特に得ていない

0.7 無回答

問19 あなたは、この1年くらいの間に、「生涯学習」をしたことがありますか。あてはまるものをすべて選んでください。

12.1 職業上必要な知識・技能（仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など）

9.2 パソコン・インターネットに関すること

4.5 ボランティア活動やそのために必要な知識・技能

2.8 自然体験や生活体験などの体験活動

6.5 家庭生活に役立つ技能（料理、洋裁、和裁、編み物など）

4.1 育児・教育（幼児教育、教育問題など）

14.9 趣味的なもの（音楽、美術、華道、舞踊、書道など）

7.9 教養的なもの（文学、歴史、科学、語学、社会問題など）

16.5 健康・スポーツ（健康法、医学、栄養、ジョギング、水泳など）

2.6 学校（高等・専修・各種学校、大学、大学院など）の正規課程での学習

0.5 その他（ ）

55.9 （この1年くらい）していない -----▶ （問21へ）

0.7 無回答

(問19で「職業上必要な知識・技能(仕事に関係のある知識習得や資格取得)」～「その他」のいずれかを答えた方に)

問20 あなたは、「生涯学習」を通じて身につけた知識・技能や経験を、どのように生かしていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- | | |
|------|---|
| 34.0 | 仕事や就職の上で生かしている |
| 11.2 | ボランティア活動に生かしている |
| 12.1 | 資格を取得した |
| 37.0 | 家庭・日常の生活に生かしている |
| 10.5 | 地域や社会での活動に生かしている |
| 13.4 | その知識・技能や経験を土台にして、さらに広く、深い知識・技能を身につけるよう努めている |
| 5.9 | 他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている |
| 39.9 | 自分の人生がより豊かになっている |
| 35.5 | 自分の健康の維持・増進に役立っている |
| 3.4 | 学業、学校生活の上で生かしている |
| 0.8 | その他 () |
| 5.2 | 生かしていない |
| 1.0 | 無回答 |

(現在、「生涯学習」をしている方も含めて、全員の方に)

問21 あなたは、今後、「生涯学習」をしてみたいと思いますか。

- | | | | |
|------|-------------------|------|---------------------|
| 32.2 | してみたいと思う | 9.1 | どちらかといえば、してみたいと思わない |
| 28.3 | どちらかといえば、してみたいと思う | 12.9 | してみたいと思わない |
| | | 17.2 | わからない |
| | | 0.4 | 無回答 |

-----▶(問21－1へ)

(問21で「してみたいと思う」、「どちらかといえば、してみたいと思う」のいずれかを答えた方に)

問21－1 あなたが、「生涯学習」をしてみたいと思う理由はどのようなことでしょうか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 26.2 現在の仕事や将来の就職・転職に役立てるため
- 14.3 地域や社会をよりよくするため
- 48.5 家庭・日常生活を充実させるため
- 50.8 興味があり、趣味を広げ豊かにするため
- 35.5 教養を高めるため
- 10.7 高度な専門的知識を身につけるため
- 31.7 他の人との親睦を深めたり、友人を得るため
- 16.6 社会の進歩に遅れないよう、世の中のことを知るため
- 31.0 自由時間を有効に活用するため
- 37.7 老後の人生を有意義にするため
- 37.6 健康・体力づくりのため
- 0.6 その他 ()
- 0.9 特に理由はない
- 0.2 無回答

問22 あなたは、どのような「生涯学習」の機会が増えればよいと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 23.8 パソコン、インターネットを活用した学習機会
- 14.7 ボランティア活動の機会
- 19.5 自然体験や生活体験などの体験活動の機会
- 23.4 公民館などにおける都道府県や市町村などの自治体の講座や教室
- 13.2 大学や専門学校、高等学校などで社会人を対象とした科目・コースなど
- 9.2 職場での教育・研修
- 13.9 博物館や美術館などの講座や教室
- 13.8 図書館の図書や情報
- 22.9 カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室
- 4.8 民間の通信教育
- 0.7 その他 ()
- 29.8 特にない
- 1.4 無回答

V 買い物弱者

問23 あなたのご家庭では普段、買い物に出かける回数は週に何回ですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|--------------|--------------|
| 25.0 ほぼ毎日 | 11.4 週1回程度 |
| 20.7 週4～5回程度 | 1.3 2週間に1回程度 |
| 40.9 週2～3回程度 | 0.6 その他（ ） |
| | 0.0 無回答 |

問24 食料品等の日常生活品の買い物で、最も利用する店はどこですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|----------------------|---------------------------------|
| 1.5 個人商店 | 0.0 インターネットショップ（ネットスーパーなど） |
| 4.6 コンビニエンスストア | 2.4 自宅で注文し、商品を届けてくれる事業者（上記8を除く） |
| 87.8 スーパー・ショッピングセンター | 0.2 その他（ ） |
| 2.2 ホームセンター・ドラッグストア | 0.1 無回答 |
| 0.9 百貨店 | |
| 0.2 農協等の直売所 | |
| - 移動販売 | |

（問24で「個人商店」～「移動販売」、「その他」のいずれかを答えた方に）

→ 問24-1 自宅から問24で回答された最も利用する店までの距離はどのくらいですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|-----------------|----------------|
| 19.6 500m未満 | 17.9 2km～5km未満 |
| 36.1 500m～1km未満 | 4.9 5km以上 |
| 20.7 1km～2km未満 | 0.8 無回答 |

（問24で「個人商店」～「移動販売」、「その他」のいずれかを答えた方に）

→ 問24-2 問24で回答された最も利用する店までの主な移動手段は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

- | | |
|---------------------|----------------|
| 16.9 徒歩 | 0.1 コミュニティバス |
| 33.7 自転車 | 0.3 電車 |
| 37.7 自分で運転する自動車・バイク | - タクシー |
| 10.1 家族が運転する自動車・バイク | 0.0 店舗への送迎サービス |
| 0.7 路線バス | 0.2 その他（ ） |
| | 0.3 無回答 |

問25 食料品等の日常生活品等の買い物に不便を感じていますか。

73.7 不便を感じていない -----▶ (問26へ)

22.9 不便を感じているが、日常の買い物には支障はない

3.1 不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある

0.3 無回答

▶ (問25で「不便を感じているが、日常の買い物には支障はない」、「不便を感じており、日常の買い物が困難な状況にある」のいずれかを答えた方に)

問25-1 不便を感じている理由は何ですか。あてはまるものをすべて選んでください。

69.3 歩いていける場所にお店がない(近くに
お店がない)

2.5 自転車などの交通手段がない

2.5 自動車やバイクなどの交通手段がない

12.3 バス・電車などの交通の便が悪い

5.7 身体上の理由でお店まで行くことが困難

3.9 育児のため買い物に出かけにくい

1.4 介護のため買い物に出かけにくい

4.4 買い物を手伝ってくれる人(家族等)がいない

14.0 重いものが持てないため、一度に少量し
か買い物ができない

19.8 既存店の品揃えが良くない

6.6 買い物できる時間に店が開いていない

4.9 その他 ()

1.7 無回答

(全員の方に)

問26 今後、買い物をするときに利用したいサービスは何ですか。利用したいサービスを3つまで選んでください。

16.8 インターネットショッピング(ネット
スーパーなど)

3.6 御用聞き(商店等が自宅まで定期的に
巡回し、注文を受ける)の実施

21.0 宅配サービス(自宅で注文し、商品を
届けてくれるサービス)の実施

12.7 宅配サービス(店舗で買った物を自宅
に届けてくれる)の実施

7.1 配食サービス(栄養バランスが考慮さ
れた宅配弁当等)の実施

4.8 移動スーパー、移動販売の運行

1.8 買い物代行サービス

3.9 コミュニティバスの運行

4.8 店舗への送迎サービス

0.6 乗合タクシー、宅配タクシーの実施

18.4 使いやすい駐車場の整備

9.9 家族の協力

1.0 近隣住民等の協力

16.0 既存店の品揃えの充実

14.9 家の近くにお店を誘致

2.2 バリアフリー施設の導入

9.1 営業時間の延長

0.4 その他 ()

28.8 特になし

0.8 無回答

県政への要望

問27 埼玉県行政全般の中で、現在、あなたが最も重点をおいてほしいもの、特に必要だと思うものを、次の中から3つまで選んでください。

8.6 省資源やリサイクルをすすめる	22.3 食品の安全をまもる
10.0 地球温暖化を防止する	0.5 男女共同参画社会の実現をはかる
18.6 自然をまもり、緑を育てる	1.9 人権尊重の社会づくりをすすめる
8.6 川や大気環境をまもる	1.0 生涯学習対策を充実する
3.7 廃棄物対策を充実する	7.4 学力、規律ある態度、体力を身につける学校教育を充実する
10.7 交通事故をなくす	5.7 青少年を健全に育てる
14.7 災害から県民をまもる	1.8 農林業をさかんにする
7.6 消費生活の安全を高める	1.5 観光振興をすすめる
14.8 防犯の地域づくりをすすめる	3.1 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業への支援を充実する
10.4 道路や街路を整備する	14.7 雇用の場を広げる
3.2 生活排水対策をすすめる	2.3 市町村が主役の地域づくりをすすめる
7.3 公園、緑地を整備する	1.2 県民参加の行政をすすめる
9.0 便利な交通網をつくる	1.1 NPOやボランティアへの活動支援を充実する
2.4 都市のバリアフリー化をすすめる	2.2 芸術・文化活動をさかんにする
1.0 IT（情報通信技術）を生かした社会づくりをすすめる	2.4 スポーツ、レクリエーションをさかんにする
26.0 高齢者の福祉を充実する	1.0 国際交流や国際協力をすすめる
3.9 障害者の社会参加と福祉対策をすすめる	1.6 その他（ ）
14.1 子育て支援を充実する	3.9 わからない
24.3 医療サービス体制を整備する	0.1 無回答
3.5 健康づくりをすすめて、疾病を予防する	

フェースシート

ご意見をお伺いすることは以上で終わりですが、統計解析に必要な事項を少し伺わせてください。

F 1 【性別】

48.7 男 性

51.3 女 性

F 2 【年齢】あなたのお年は満でいくつですか。

5.2 20～24歳

9.1 35～39歳

7.2 50～54歳

10.2 65～69歳

5.3 25～29歳

8.7 40～44歳

9.6 55～59歳

18.4 70歳以上

6.6 30～34歳

8.1 45～49歳

11.6 60～64歳

F 3 【職業】あなたのお仕事は何ですか。

8.1 自営業主

2.5 家族従業（家業手伝い）

35.0 勤め（全日）

14.5 勤め（パートタイム）

18.9 無職の主婦・主夫

2.3 学生

18.7 その他の無職（年金、配当、仕送りなどで暮らしている人。無職の人）

0.1 無回答

（F 3で「自営業主」～「家族従業（家業手伝い）」のいずれかを答えた方に） ←

F 3－1 あなたの仕事の内容は何ですか。

14.2 農林漁業

15.9 自由業（開業医、弁護士、芸術家など）

68.6 商工・サービス業

1.3 無回答

（F 3－1の次はF 4へ）

→（F 3で「勤め（全日）」～「勤め（パートタイム）」のいずれかを答えた方に）

F 3－2 あなたの働き方は何ですか。

59.1 正社員、正規職員

40.7 非正社員（派遣、
契約、嘱託、パート・
アルバイトなど）

0.2 無回答

（F 3－2の次はF 3－3へ）

(F 3で「勤め(全日)」～「勤め(パートタイム)」のいずれかを答えた方に)

F 3-3 あなたの仕事の内容は何ですか。

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 7.3 | 経営・管理職(民間会社・団体の部長以上、官公庁の課長以上) |
| 21.6 | 専門・技術職(教員、勤務医、看護師、技術者、研究員など) |
| 22.9 | 事務職(事務員、オペレーターなど) |
| 20.1 | 生産工程・労務職(工場などの生産工程従事者、大工、土木作業員など) |
| 23.2 | 販売・サービス職(販売員、理美容師、調理師など) |
| 3.4 | その他() |
| 1.4 | 無回答 |

F 4 【県内居住年数】あなたは、埼玉県にお住まいになって何年になりますか。

- | | | | | | |
|-----|---------|-----|-----------|------|-----------|
| 0.5 | 1年未満 | 4.7 | 5年～10年未満 | 19.1 | 20年～30年未満 |
| 1.5 | 1年～3年未満 | 5.9 | 10年～15年未満 | 59.3 | 30年以上 |
| 1.9 | 3年～5年未満 | 6.2 | 15年～20年未満 | 1.0 | 無回答 |

F 5 【出生地】あなたは、埼玉県のお生まれですか。

- | | | | | | |
|------|---------|------|-----------|-----|-----|
| 45.4 | はい(埼玉県) | 54.6 | いいえ(埼玉県外) | 0.1 | 無回答 |
|------|---------|------|-----------|-----|-----|

(F 5で「いいえ(埼玉県外)」と答えた方に)

F 5-1 あなたの出身県はどちらですか。

(都道府県名)

(調査員記入欄)

F 6 【家族人数】いま一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。

- | | | | | | | | |
|------|----|------|----|------|----|-----|------|
| 6.8 | 1人 | 25.0 | 3人 | 10.4 | 5人 | 2.0 | 7人以上 |
| 27.3 | 2人 | 23.9 | 4人 | 4.5 | 6人 | 0.2 | 無回答 |

F 7 【結婚】あなたは結婚していますか。

- | | | | | | | | |
|------|----------------|------|--------|------|--------|-----|-----|
| 19.6 | 未婚 ⇒
(F 8へ) | 69.7 | 既婚・有配偶 | 10.5 | 既婚・離死別 | 0.2 | 無回答 |
|------|----------------|------|--------|------|--------|-----|-----|

(F 7で「既婚・有配偶」～「既婚・離死別」のいずれかを答えた方に)

F 7-1 お子さんは何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。

- | | | | | | | | |
|------|----|------|----|-----|------|-----|-----|
| 19.0 | 1人 | 17.3 | 3人 | 0.3 | 5人以上 | 7.7 | いない |
| 53.1 | 2人 | 2.1 | 4人 | | | 0.4 | 無回答 |

(次ページF 7-1-1へ)

（F 7－1で「1人」～「5人以上」のいずれかを答えた方に）

F 7－1－1 お子さんはそれぞれどんな段階ですか。

8.5 0～3歳	2.1 短大生・専門学校生
7.1 4歳以上で小学校入学前	6.4 大学生・大学院生
15.2 小学生	33.9 学校教育終了・未婚
9.8 中学生	45.9 学校教育終了・既婚
10.3 高校生	0.8 その他（ ）
	0.5 無回答

F 8 【家族形態】お宅の家族形態は、このように分けるとどれにあたりますか。

6.6 単身	56.8 二世帯世帯（親と子）	1.5 その他（ ）
20.9 夫婦のみ	12.3 三世帯世帯（親と子と孫）	1.8 無回答

F 9 【居住形態】お宅のお住まいはこの中のどれにあたりますか。

75.7 持家（一戸建）	3.6 UR都市機構（旧公団）・公社・公営の賃貸住宅・アパート
9.8 持家（分譲マンションなど集合住宅）	0.5 社宅・公務員住宅など給与住宅
10.0 民間の借家（賃貸マンション・アパート、一戸建の借家など）	0.2 住み込み、寮、寄宿舍など
	0.1 その他（ ）
	0.0 無回答

長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。

（参考）都道府県コード一覧

都道府県コード	都道府県名称	都道府県コード	都道府県名称	都道府県コード	都道府県名称	都道府県コード	都道府県名称	都道府県コード	都道府県名称
01	北海道	11	埼玉県	21	岐阜県	31	鳥取県	41	佐賀県
02	青森県	12	千葉県	22	静岡県	32	島根県	42	長崎県
03	岩手県	13	東京都	23	愛知県	33	岡山県	43	熊本県
04	宮城県	14	神奈川県	24	三重県	34	広島県	44	大分県
05	秋田県	15	新潟県	25	滋賀県	35	山口県	45	宮崎県
06	山形県	16	富山県	26	京都府	36	徳島県	46	鹿児島県
07	福島県	17	石川県	27	大阪府	37	香川県	47	沖縄県
08	茨城県	18	福井県	28	兵庫県	38	愛媛県		
09	栃木県	19	山梨県	29	奈良県	39	高知県	48	海外
10	群馬県	20	長野県	30	和歌山県	40	福岡県	99	不明

(参考資料)

世論調査実施状況

- 本県では、昭和43年度から世論調査を実施しており、今回が47回目となります。参考資料に、過去の調査実施状況をまとめました。

(参考資料)

世論調査実施状況

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
1	昭和43年度	8月16日～9月2日	県政全般(県政への関心、暮らし向き、青少年、教育、保健、スポーツ、社会福祉、住宅、環境等)	1,500	個別面接聴取法	84.0%
2	昭和44年度	7月15日～31日	県政全般(自治意識、暮らし向き、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、環境、消費生活等)	1,500	個別面接聴取法	81.3%
3	昭和45年度	9月20日～10月10日	県政全般(自治意識、青少年、教育、保健、社会福祉、住宅、公害、消費生活、農業等)	1,500	個別面接聴取法	86.5%
4		11月9日～24日	広報、具体的な広報の媒体、広聴	1,500	個別面接聴取法	89.1%
5	昭和46年度	9月20日～10月3日	近隣社会、居住環境	1,500	個別面接聴取法	90.7%
6		11月26日～12月9日	大災害に関すること(一般的関心、地震、防火、避難、近隣組織、職場・外出先での対策、地震に対する備えについて)	1,500	個別面接聴取法	86.6%
7	昭和47年度	10月26日～11月4日	県政全般(公害・交通問題、県民の健康とくらし、教育・文化・スポーツを伸ばす等)	1,500	個別面接聴取法	82.5%
8	昭和48年度	11月14日～26日	県政全般(広報、自然環境と開発、福祉、消費生活、ごみ処理、保健、商工、農林、労働、都市環境、教育等)	1,500	個別面接聴取法	84.7%
9	昭和49年度	8月15日～27日	県政全般(現在の住まい、広報、公害、交通、健康、県民のくらし、学校教育、自然保護等)	1,500	個別面接聴取法	80.9%
10	昭和50年度	8月上旬～中旬	県政全般(公害、交通安全、災害、警察、医療、福祉、教育、自然保護と開発、水、住宅、ごみ、商工、農林等)	1,500	個別面接聴取法	77.1%
11		3月9日～18日	学校教育、生活環境、自然環境	1,500	個別面接聴取法	83.0%
12	昭和51年度	7月20日～31日	水問題、福祉問題、コミュニティ問題	1,500	個別面接聴取法	83.9%
13	昭和52年度	6月15日～30日	地域社会、地域福祉、文化活動、医療、献血、暴走族、県政への満足度、県民討論会、県政全般	1,500	個別面接聴取法	83.6%
14	昭和53年度	7月14日～26日	文化の問題、婦人の問題、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.1%
15	昭和54年度	7月10日～26日	みどりの環境、地震災害、県政全般	1,500	個別面接聴取法	81.9%
16	昭和55年度	7月25日～8月11日	老人福祉、21世紀のまちづくり、地価及び宅地問題、県政全般	1,500	留置記入依頼法	87.5%
17	昭和56年度	7月25日～8月14日	水問題、障害者福祉、県政全般	1,500	個別面接聴取法	84.1%
18	昭和57年度	7月23日～8月12日	交通安全、行政改革、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	82.5%
19	昭和58年度	7月20日～8月14日	21世紀の県民生活、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	83.7%
20	昭和59年度	7月20日～8月12日	みどり、快適な環境、文化活動、サービス業、県税、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	80.4%
21	昭和60年度	7月18日～8月11日	高齢化社会、コミュニティ、学校教育、平和、生活意識、県政への要望	1,500	個別面接聴取法	78.4%
22	昭和61年度	7月9日～8月14日	国際交流、健康、快適な環境、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.1%
23	昭和62年度	6月1日～6月30日	住環境、景観、交通網、生涯学習、ボランティア活動、社会意識、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	80.2%

回	年度	調査時期	テーマ	標本数	調査方法	回収率
24	昭和63年度	7月1日～7月31日	県民生活、土地問題、ごみ処理、文化活動、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.7%
25	平成元年度	6月23日～7月23日	高度情報化施策、男女平等意識、青少年健全育成、埼玉コロシアム・埼玉メッセ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
26	平成2年度	7月4日～7月29日	環境保全、交通安全、県税、お墓、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	78.1%
27	平成3年度	7月5日～8月4日	スポーツ・レクリエーション活動、道路整備、ペット問題、商品包装、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.5%
28	平成4年度	6月26日～7月26日	住宅問題、防災、高度情報化施策、個人情報の保護、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	75.0%
29	平成5年度	7月9日～8月4日	新しいくにつくり、人と環境にやさしいリサイクル県づくり、国際化とまちづくり、住みよさ、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	77.2%
30	平成6年度	7月8日～8月10日	消費生活、ボランティア活動・福祉活動への参加について、子どもと家族、県の広報について、生活意識、県政への要望	2,000	個別面接聴取法	76.4%
31	平成7年度	7月1日～7月31日	21世紀の彩の国さいたまの将来像、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	78.3%
32	平成8年度	7月10日～8月11日	ごみ減量化について、身近な自然について、健康と医療サービスについて、高度情報化施策について、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.3%
33	平成9年度	8月16日～9月15日	県政情報、安全な暮らし(防災、高齢者の交通安全、犯罪)、墓地、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.8%
34	平成10年度	7月10日～8月9日	国民体育大会、青少年問題、公園、高齢者福祉、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.9%
35	平成11年度	7月9日～8月8日	埼玉県の緑、子育て支援、ボランティア活動、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
36	平成12年度	7月8日～8月7日	環境全般・環境学習について、公害問題について、廃棄物問題・リサイクルについて、有害な化学物質について、地球温暖化について、環境保全活動について、今後の県の取り組み、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	76.7%
37	平成13年度	6月30日～7月30日	保健・医療、文化・芸術、国際交流・国際協力、生活意識、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	77.2%
38	平成14年度	7月6日～8月5日	農林業の役割、屋外照明による生活環境への影響、日常生活、生活意識、住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.3%
39	平成15年度	7月15日～8月5日	防犯、水環境、食の安全、日常生活、生活意識、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	67.3%
40	平成16年度	7月13日～8月10日	生活意識、日常生活、森林環境、地球温暖化、子どもの虐待、スポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.4%
41	平成17年度	7月2日～8月1日	生活意識、日常生活、子育て支援、みどりの環境税制、消費生活、まちづくり・住みよさ、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.9%
42	平成18年度	7月8日～8月14日	生活意識、日常生活、生活規範とまちづくり、外国人との共生、団塊世代等の人材活用、定住意向、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	65.3%
43	平成19年度	7月13日～8月6日	生活意識、日常生活、消費生活、子どもの安全対策、県民のスポーツ振興、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	73.4%
44	平成20年度	7月11日～8月8日	生活意識、日常生活、住みよさ、みどりと川の再生、大学と地域の連携、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	74.8%
45	平成21年度	7月10日～8月3日	生活意識、日常生活、定住意向、スポーツ振興、水道の未来づくり、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.0%
46	平成22年度	7月9日～8月2日	生活意識、日常生活、消費生活、川の再生、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.1%
47	平成23年度	7月8日～8月1日	生活意識、日常生活、住みよさ、自転車利用、生涯学習、買い物弱者、県政への要望	3,000	個別面接聴取法	75.7%

本報告書の調査データを引用された場合は、
掲載資料 1 部を下記の担当課へ送付願います。

平成23年度

埼玉県政世論調査

平成23年11月発行

埼玉県県民生活部広聴広報課

〒330-9301

埼玉県さいたま市浦和区高砂 3-15-1



埼玉県のマスコット「コバトン」